

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6885 2007/05/00 (事故発生地) 東京都	ACアダプター（インターネット電話アダプター用） AD-164 ミヨシ電子（株） 不明	ACアダプターの外郭ケースが熱変形した。 (製品破損)	ACアダプターの放熱性が十分に考慮されていなかったことから、複数台設置した際、アダプター内の温度が使用可能温度を大幅に上回ったため、トランジスタが異常発熱し、外郭ケースが変形したものと推定される。 (A1)	顧客先を把握している代理店を通じて複数台設置している顧客に対し、代替品の無償交換を実施している。また、代理店から要望があれば1台のみ設置している顧客も同様に実施している。	製造事業者 (受付:2008/03/10)
2009-1443 2009/07/00 (事故発生地) 新潟県	ACアダプター（カセットデッキ用） 不明	ACアダプターのコードをティッシュペーパーで拭いたところ、被覆が剥がれた。 (製品破損)	ACアダプターのコードに、動物がかじったと思われる傷が多数認められることから、動物がコードをかじり被覆を損傷させたため、コードを拭いた際に被覆が剥がれたものと推定される。 (F1)	偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/08/28)
2006-3055 2007/01/22 (事故発生地) 神奈川県	ACアダプター（スイッチングハブ用） LSW10/100-5P用 (株)バッファロー 約5年	ポートスイッチングハブに付属していたACアダプターから突然出火し、量の表面が少し焦げた。 (拡大被害)	アダプター内部にあるフィルムコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサー内部の誘電体フィルムに絶縁破壊が生じて、異常発熱し、アダプター外装ケースが焼損したものと推定される。 (A3)	2007（平成19）年4月3日付けの新聞及び11日付けのホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。	国の行政機関 製造事業者 (受付:2007/01/29)
2006-3813 2006/08/24 (事故発生地) 神奈川県	ACアダプター（スイッチングハブ用） LSW10/100-5P用 (株)バッファロー 約4年	スイッチングハブに付属しているACアダプターから出火し、電源タップに煤が付いた。 (拡大被害)	アダプター内部にあるフィルムコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサー内部の誘電体フィルムに絶縁破壊が生じて、異常発熱し、アダプター外装ケースが焼損したものと推定される。 (A3)	2007（平成19）年4月3日付けの新聞及び11日付けのホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3834 2007/01/00 (事故発生地) 北海道	ACアダプター（スイッチングハブ用） LSW10/100-5P用 (株) バッファロー 約5年	スイッチングハブに付属しているACアダプターから発火した。 (製品破損)	アダプター内部にあるフィルムコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサー内部の誘電体フィルムに絶縁破壊が生じて、異常発熱し、アダプター外装ケースが焼損したものと推定される。 (A3)	2007（平成19）年4月3日付けの新聞及び11日付けのホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/14)
2008-2604 2008/07/14 (事故発生地) 東京都	ACアダプター（スイッチングハブ用） LSW10/100-8PW (株) バッファロー 約5年	スイッチングハブのACアダプターから発煙し、コンセントと周辺の壁が焦げた。 (拡大被害)	基板面を封止する樹脂に導電性の異物が混入したため、絶縁不良となり、基板上でトラッキングが生じ、発煙に至ったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/09/16)
2009-0838 2009/05/18 (事故発生地) 不明	ACアダプター（スピーカー用） HK-H1-A12（ASP-WPS9専用ACアダプターブランド：エレコム（株）） (株) 東商 不明	携帯型音楽プレーヤーをスピーカーに接続したところ、スピーカーのACアダプターから発煙した。 (製品破損)	トランジスターの放熱板が基板に固定（はんだ付け）されていなかったため、振動等のストレスがトランジスターのはんだ付け部に加わってはんだ割れが生じ、過電流が流れてICが破損し、電解コンデンサーに過電圧が加わって内圧が上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年6月17日付けでエレコム（株）のホームページに社告を掲載し、対象製品について無償で交換を実施している。 なお、当該品の輸入は中止している。	輸入事業者 (受付:2009/06/23)
2009-1477 2009/06/24 (事故発生地) 不明	ACアダプター（ネットワーク配信装置用） HK-A112-A06 伊藤忠商事（株） 約2年6か月	ACアダプターから異音が生じ、高温になった。 (製品破損)	電源回路の平滑用電解コンデンサーに不具合品が混入していたため、容量が低下して回路が過負荷状態となり、異常発熱したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、発火等の拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、当該製品は2008（平成20）年3月に販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/09/01)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6341 2008/02/15 (事故発生地) 和歌山県	ACアダプター（ノートパソコン用） 324816-001 日本ヒューレット・パッカ ード（株） 約4年4か月	ノートパソコンの充電ができなくなり、ACアダプターから焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	ACインレットが内部基板に直接はんだ付けする構造であり、ACコードの抜き差しによる機械的ストレスが加わるため、はんだクラックを生じて、接触不良となり発煙したものと推定される。 (A1)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、今後はACインレットのはんだ直付けを改め、インレット端子と基板間を線材による接続に変更することとした。	消費者 (受付:2008/02/19)
2007-2621 2007/07/25 (事故発生地) 静岡県	ACアダプター（ノートパソコン用） 約2年2か月	使用中のノートパソコンのACアダプターのアダプター側コード付け根部分から発煙、発火した。 (製品破損)	コードプロテクター付近の電源コードに屈曲した痕跡がみられることから、コードプロテクター付近に過度な屈曲等の機械的ストレスが加わり、芯線が半断線状態となりスパークしたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2007/07/30)
2009-0738 2009/06/00 (事故発生地) 東京都	ACアダプター（ノートパソコン用） 約3日	パソコンの電源を入れたが作動しないので確認したところ、ACアダプターとパソコンとの接続線が寸断され、焦げている部分があり、敷いていたカーペットも焦げた。 (拡大被害)	事故品のDC出力コードが、複数箇所断線していることから、通電時に断線部でスパークし、カーペットを焦がしたものと考えられるが、断線した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/06/10)
2008-1759 2008/07/00 (事故発生地) 愛知県	ACアダプター（ノートパソコン用） LA65NS0-00 デル（株） 約1年11か月	ノートパソコン用ACアダプターの電源コードの付け根が断線して発熱した。 (製品破損)	取扱説明書に電源コードの取扱いに関する注意表示がなかったため、ACアダプターの電源コードを巻きつけて使用した際、屈曲等の過度な機械的ストレスが加わり、電源コードがプロテクター出口部分で半断線し、異常発熱したものと推定される。 (A4)	拡大被害に至っていないことから、措置はとれなかった。 。なお、2007(平成19)年12月からの取扱説明書には電源コードの巻き方について追記しており、現在は販売を終了している。	消費者 (受付:2008/08/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0142 2009/04/13 (事故発生地) 東京都	ACアダプター（ノートパソコン用） ZYTSC-LED 不明 約4か月	ノートパソコンにACアダプターを接続して使用していたところ、アダプターから発煙した。 (製品破損)	電解コンデンサーの不良により異常発熱したため、外郭樹脂の内側に貼られていた絶縁シートが溶融、発煙したものと推定される。 なお、事故品はノートパソコンの純正品ではなく、被害者が別途購入したものであるが、事業者名等の表示は記載されていなかった。 (A3)	輸入業者等が不明であることから、措置がとれなかったため、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者 (受付:2009/04/14)
2009-2097 2009/08/23 (事故発生地) 東京都	ACアダプター（パソコン用） VGP-AC19V17 ソニーイーエムシーエス（株） 約1年	パソコンを待機状態にしておいたところブレーカーが落ち、再度パソコンの電源を入れたところパソコンから発煙した。 (製品破損)	パソコンに付属のACアダプターが、使用に伴う温度サイクルにより、内部の絶縁テープがずれ易い構造であったため、絶縁不良を生じて漏電し、パソコン内の電子部品が焼損したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年10月27日付けホームページ、及び翌28日付け新聞に社告を掲載するとともに、登録ユーザーへのEメール、及びDMを送付し、無償で対策済製品への交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/26)
2009-2098 2009/07/01 (事故発生地) 埼玉県	ACアダプター（パソコン用） VGP-AC19V17 ソニーイーエムシーエス（株） 約1年5か月	パソコンが漏電し、ブレーカーが落ちた。 (製品破損)	パソコンに付属のACアダプターが、使用に伴う温度サイクルにより、内部の絶縁テープがずれ易い構造であったため、絶縁不良を生じて漏電したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年10月27日付けホームページ、及び翌28日付け新聞に社告を掲載するとともに、登録ユーザーへのEメール、及びDMを送付し、無償で対策済製品への交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/26)
2009-2099 2009/09/12 (事故発生地) 東京都	ACアダプター（パソコン用） VGP-AC19V17 ソニーイーエムシーエス（株） 約1年10か月	パソコンを使用中にブレーカーが落ちた。 (製品破損)	パソコンに付属のACアダプターが、使用に伴う温度サイクルにより、内部の絶縁テープがずれ易い構造であったため、絶縁不良を生じて漏電したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年10月27日付けホームページ、及び翌28日付け新聞に社告を掲載するとともに、登録ユーザーへのEメール、及びDMを送付し、無償で対策済製品への交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2100 2009/10/14 (事故発生地) 東京都	ACアダプター (パソコン用) VGP-AC19V17 ソニーイーエムシーエス (株) 約11か月	パソコンが漏電し、ブレーカーが落ちた。 (製品破損)	パソコンに付属のACアダプターが、使用に伴う温度サイクルにより、内部の絶縁テープがずれ易い構造であったため、絶縁不良を生じて漏電したものと推定される。 (A1)	2009 (平成21) 年10月27日付けホームページ、及び翌28日付け新聞に社告を掲載するとともに、登録ユーザーへのEメール、及びDMを送付し、無償で対策済製品への交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/26)
2007-3856 2007/10/01 (事故発生地) 宮崎県	ACアダプター (パソコン用) 約2年3か月	パソコン付属のACアダプターの本体カバーの一部にヒビが入り、3か所ほど割れて穴が開いていた。 (製品破損)	破損した本体カバー (ポリカーボネート製) の破面は鏡面を呈しており、カバーの張り合わせ面及びネジ止めしている部分に油分の付着が認められたことから、油分の作用によって破損したものと考えられるが、油分の成分及び付着した時点は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/10/22)
2008-3111 2008/10/02 (事故発生地) 三重県	ACアダプター (ポータブルトイレ (洋式、脱臭装置付) 用) 約4年10か月	ポータブルトイレの脱臭装置用ACアダプターのプラグ付近から出火し、家人がプラグを抜く際、手に火傷を負った。 (軽傷)	ACアダプターの差込みプラグをマルチタップのコンセントに接続した際に隙間があったため、その隙間に金属製の異物が入り込み、短絡・スパークしたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/10/17)
2009-0830 2009/06/11 (事故発生地) 東京都	ACアダプター (ミニコンボ用) 約11か月	ミニコンボ用ACアダプターのACインレット周辺が焼損し、近くに置かれていたFMアンテナの被覆が部分的に熱損した。 (拡大被害)	観葉植物に給水する際に当該品のACインレット部分へ水分等が付着したため、トラッキング現象が生じ、焼損に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書に「水をかけたりぬらしたりしない」旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/06/22)

製品区分: 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日月	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5356 2009/03/22 (事故発生地) 広島県	ACアダプター(携帯型音楽プレーヤー用) LI-02AW (株)リンケージ 約2年	携帯型音楽プレーヤーを充電中、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	基板にある抵抗端子のはんだ付け不良により、はんだクラックが発生し発熱・変形したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/03/24)
2008-3237 2008/10/25 (事故発生地) 愛媛県	ACアダプター(携帯電話用) 超コンパクトUSB電源アダプタ アップルジャパン(株) 約1回	携帯電話機の電源アダプターをコンセントに挿したところ、「ボン」という音がして、焦げた臭いが出た。 (製品破損)	ACアダプター内部の電解コンデンサーに不良品が混入したため、内部短絡が生じ安全弁が開いて異臭がしたものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者 (受付:2008/10/27)
2008-4454 2008/12/26 (事故発生地) 愛知県	ACアダプター(携帯電話用) 不明	携帯電話を充電中、ACアダプターが変形した。 (製品破損)	温度ヒューズが溶断していたが、内部の電気部品に異常は認められず、原因を特定することはできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 	輸入事業者 (受付:2009/01/20)
2009-1302 2009/08/01 (事故発生地) 東京都	ACアダプター(光加入者線終端装置用) 不明	ACアダプターコードの付け根部分から銅線が見えていたがそのまま使用していたところ、本体のランプが異常を示したためACアダプターのプラグを抜き差ししたところ、銅線部分から火花が散った。 (製品破損)	ACアダプターコードの本体側プロテクター付近に、過度な外的応力が加わったため、コード被覆及び芯線が損傷して、芯線が露出した状態となり、ACアダプターのプラグを抜き差しした際に、芯線が短絡・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『電源コードを引っ張る、束ねる、無理に折り曲げることはいけません。コードが傷んだら使用しない。火災、感電のおそれがある。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意による事故とみられ、他に同種事故発生情報はなく、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかつた。 	輸入事業者 (受付:2009/08/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1000 2009/06/15 (事故発生地) 不明	ACアダプター（無線LANルーター用） DSA-015IF-05 (株)バッファロー 約7年	無線LANルーター用のACアダプターが発熱し、外郭樹脂が変形してコンセントプレートが変色した。	出力端子間にあるツェナーダイオードが短絡故障したため、整流用ダイオードに過電流が流れ異常発熱し外郭樹脂が熱変形したものと推定される。	2009（平成21）年10月26日付けのホームページに社告を掲載すると共に、販売者及び登録ユーザーにダイレクトメールを送付し、無償で製品交換を行っている。 なお、当該品は既に販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/07/09)
2009-1563 2008/02/00 (事故発生地) 不明	ACアダプター（無線LANルーター用） DSA-015IF-05 (株)バッファロー 不明	無線LANルーター用のACアダプターが発熱し、外郭樹脂が変形してコンセントプレートも変形した。	出力端子間にあるツェナーダイオードが短絡故障したため、整流用ダイオードに過電流が流れ異常発熱し外郭樹脂が熱変形したものと推定される。	2009（平成21）年10月26日付けのホームページに社告を掲載すると共に、販売者及び登録ユーザーにダイレクトメールを送付し、無償で製品交換を実施した。 なお、当該品は既に販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/09/08)
2009-1564 2008/05/26 (事故発生地) 不明	ACアダプター（無線LANルーター用） DSA-015IF-05 (株)バッファロー 不明	無線LANルーター用のACアダプターが発熱し、外郭樹脂が変形してコンセントプレートが変色、変形した。	出力端子間にあるツェナーダイオードが短絡故障したため、整流用ダイオードに過電流が流れ異常発熱し外郭樹脂が熱変形したものと推定される。	2009（平成21）年10月26日付けのホームページに社告を掲載すると共に、販売者及び登録ユーザーにダイレクトメールを送付し、無償で製品交換を実施した。 なお、当該品は既に販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/09/08)
2009-1565 2009/02/23 (事故発生地) 不明	ACアダプター（無線LANルーター用） DSA-015IF-05 (株)バッファロー 不明	無線LANルーター用のACアダプターが発熱し、外郭樹脂が変形して電源タップが変色した。	出力端子間にあるツェナーダイオードが短絡故障したため、整流用ダイオードに過電流が流れ異常発熱し外郭樹脂が熱変形したものと推定される。	2009（平成21）年10月26日付けのホームページに社告を掲載すると共に、販売者及び登録ユーザーにダイレクトメールを送付し、無償で製品交換を実施した。 なお、当該品は既に販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/09/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4574 2009/01/19 (事故発生地) 不明	CDプレーヤー 不明	CDプレーヤーが入っているキャリ ングケースから異臭がし、発煙した。 (拡大被害)	事故品は正常に動作し、内部から発火した痕跡も認 められないことから、製品に起因しない事故と推定さ れる。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとら なかった。	製造事業者 (受付:2009/01/27)
2007-2350 2007/07/16 (事故発生地) 京都府	CDラジカセ GW-6 (株)創和 約1年6か月	ポータブルCDラジカセを使用して いたところ、異臭がし、テープの出入 り口の奥から白煙が出てきた。 (製品破損)	カセットテープ駆動用モーターブラシが異常摩耗し 、巻線が異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみ られる事故であり、最終的に過電流保護回路が作 動して通電を停止し、拡大被害に至る可能性が低 いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/07/20)
2009-1245 2009/07/31 (事故発生地) 埼玉県	DVDプレーヤー DVDC-25 フューズ(株) 約2年5か月	DVDプレーヤーのスイッチを入れ たところ、機器後部から発煙した。 (製品破損)	電源回路に使用されていた電解コンデンサーに不具 合があったため、コンデンサー内部で異常発熱して内 圧が上昇し、安全弁が作動した際に、噴出した電解液 の蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能 性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、今後 の製品は、品質管理を強化する。	消費者センター (受付:2009/08/04)
2009-1435 2009/08/17 (事故発生地) 茨城県	DVDレコーダー 約4年	DVDレコーダーの前面右側上部の 角に左手甲があたり、擦過傷を負った 。 (軽傷)	当該機の近くにあったものを左手で取り上げた際に 、当該機の前面右側上部の角に左手甲があたり、擦過 傷を負ったものと推定される。 なお、当該機の前面右側上部の角にバリなどの異常 はなかった。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/08/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3658 2008/11/20 (事故発生地) 埼玉県	ICレコーダー ICD-P50 ソニー（株） 約6か月	ICレコーダーを使用中、充電池が熱くなり、本体も熱を帯びてふたが閉まらなくなった。 (製品破損)	被害者が電池を装填する際に、電池ボックスの正極端子に無理な力が加わり、端子の位置がずれて基板のグランドパターンに接触したため、電池がショート状態となって異常発熱し、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年4月9日付けホームページに告知を掲載し、対象製品について無償で点検、修理を行っている。	消費者センター (受付:2008/11/28)
2009-0991 2009/06/29 (事故発生地) 富山県	PHS電話機 不明	病院の屋内廃棄物置場から出火した。廃棄物の中にPHS電話機があった。 (製品破損)	事故品は病院が既に廃棄しており、入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/07/08)
2008-4679 2008/12/25 (事故発生地) 大阪府	アイロン 不明	使用中のアイロンの底面が赤熱し、発火した。 (製品破損)	事故品は、本体と電源コードを接続しているファストン端子の修理不良により、ファストン端子が変形したため接触不良が生じて、異常発熱して焼損したものと考えられるが、修理者が確認できず原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/02/02)
2009-1424 2009/07/15 (事故発生地) 福岡県	アイロン TA-B50 東芝ホームテクノ（株） 約14年	使用中のアイロンから発煙し、スポンとアイロン台が焦げた。 (拡大被害)	長期使用（14年）により、サーモスタットの接点が荒れて溶着したため、連続通電状態となり、かけ面が異常温度上昇して、スポンなどを焦がしたものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、安全装置（ヒューズ）が作動して終息していることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者 (受付:2009/08/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0744 2008/05/02 (事故発生地) 大阪府	イオン発生器 XJ-200 不明 約6年	差込みプラグ一体型のマイナスイオン発生器から白煙が出て焦げて変形し、横の柱の上部も焦げた。 (拡大被害)	当該品は集塵部のみ焼損していることから、電極間で異常放電が生じたものと推定されるが、異常放電した原因の特定はできなかった。 (G3)	輸入業者等是不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/05/19)
2009-1275 2009/06/25 (事故発生地) 青森県	イオン発生器 約12日	消費者がイオン発生器の電源スイッチに触れたとき、「ビリッ」と電気を感じた。 (被害なし)	当該品は正常に動作し、スイッチ部等を触れても感電することはなく、漏電等の異常も認められないことから、被害者が触れた際に静電気が生じた可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視することとし、既製品について措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/08/06)
2009-2147 2009/00/00 (事故発生地) 愛知県	インターネット端末機 (HD・DVDレコーダー機能付) IBOX5-M06 日本電算機(株) 不明	インターネット端末機から発煙した。 (製品破損)	電源基板の一次側回路にあるフィルムコンデンサーに不具合があったため、内部短絡が生じ異常発熱して、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/10/30)
2008-1451 2008/07/09 (事故発生地) 宮崎県	エアーコンプレッサー ST-2500-OL (株)ワクイ 約9年	エアーコンプレッサーを使用してパソコンの掃除をしていたところ、タンクの先端が吹き飛んで家にぶつかり、壁が破損した。 (拡大被害)	材質の不適(鋭敏化のある材料)、鑄板形状の不適合(隅丸の壁)及びタンクの溶接部の不具合が重なり、タンク内の水分が溶接部に腐食を生じさせ、内圧変化による金属の収縮がもたらす金属疲労によって破損したものと推定される。 (A1)	2003(平成15)年12月27日付けの新聞に社告を掲載するとともに、販売店の店頭告知等により、製品の回収を行っている。	消費者センター (受付:2008/07/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4635 2008/07/27 (事故発生地) 静岡県	エアコンプレッサー ST-2500-OL (株) ワクイ 不明	車庫で作業中、エアコンプレッサーが破裂し、ガレージの戸が損傷した。 (拡大被害)	材種材質の不適合(鋭敏化のある材料)、鏡板形状の不適合(隅丸の鋭)及びタンクの溶接部の不具合が重なり、タンク内の水分が溶接部に腐食を生じさせ、内圧変化による金属の収縮がもたらす金属疲労によって破損したものと推定される。 (A1)	2003(平成15)年12月27日付けの新聞に社告を掲載するとともに、販売店の店頭告知等により、製品の回収を行っている。	製造事業者 (受付:2009/01/29)
2008-4307 2007/01/14 (事故発生地) 新潟県	エアコンプレッサー CP-1450 (株) ナカトミ 不明	倉庫内でエアコンプレッサーを使用していたところ、発煙し、倉庫内に煙が充満して、保管していたAV機器が煤で汚損した。 (拡大被害)	当該機の安全装置であるサーキットブレーカーの定格が適切でなかったため、高粘度オイルの混入により、モーターが過負荷状態であるにもかかわらずサーキットブレーカーが作動せず、モーターが異常発熱し発火したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年1月14日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店での店頭告知を行い、無償で製品交換を行っている。	製造事業者 (受付:2009/01/13)
2008-4309 2007/01/18 (事故発生地) 奈良県	エアコンプレッサー CP-1460 (株) ナカトミ 不明	倉庫内にスイッチを入れたまま放置していたエアコンプレッサーが発火し、スチールラックを焦がした。 (拡大被害)	当該機の安全装置であるサーキットブレーカーの定格が適切でなかったため、高粘度オイルの混入により、モーターが過負荷状態であるにもかかわらずサーキットブレーカーが作動せず、モーターが異常発熱し発火したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年1月14日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店での店頭告知を行い、無償で製品交換を行っている。	製造事業者 (受付:2009/01/13)
2008-3343 2008/10/27 (事故発生地) 山形県	エアコン 約10年	テーブルタップにエアコンのプラグを差し込み、1年くらいそのままにしていた。掃除をしようと思い抜こうとしたところ、樹脂が変形していてなかなか抜けなかった。 (製品破損)	エアコンの差込みプラグを専用の壁コンセントに接続していなかったため、エアコン使用時の突入電流により、マルチタップの刃受け部の樹脂が、徐々に熱変形したものと推定される。 なお、取扱説明書には『延長コードは使用しない。感電や火災の原因となる。』旨記載されている。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/11/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0040 2009/03/26 (事故発生地) 三重県	エアコン 約1年4か月	使用中のエアコンから「バリバリ」と音がして、破片が飛び、子供の左手薬指に当たって軽傷を負った。 (軽傷)	シロッコファンの羽根が複数枚折れていたが、羽根周辺の本体及び折損した羽根自体に異常はないことから、回転中のシロッコファンに外力が加わったため、羽根が折れて飛び出したものと推定されるが、使用状況の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 消費者センター (受付:2009/04/02)
2008-2781 2008/07/22 (事故発生地) 兵庫県	エアコン 約28年	エアコンのコンセント部分から「バチバチ」と音がして発煙し、コンセント周辺が焦げた。 (製品破損)	差込みプラグを掃除していなかったため、差込みプラグとコンセントの隙間にほこりが溜まり、トラッキング現象が発生して発煙に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/09/24)
2009-0810 2009/06/15 (事故発生地) 愛媛県	エアコン 約3年	エアコンのプラグ部分が焦げた。 (製品破損)	施工業者が、当該品の差込みプラグに延長コードを接続したため、エアコン使用時の突入電流により、差込みプラグと延長コードの刃受け部の樹脂が、徐々に焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には『延長コードを使用しない。火災、感電の原因となる。』旨記載されている。 (D1)	施工業者によって行われた施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	市町村 (受付:2009/06/19)
2008-3783 2008/11/25 (事故発生地) 和歌山県	エアコン 約5年5か月	エアコンの電源コードから発火した。 (拡大被害)	施工業者が電源コードを延長する際に、圧着端子のカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、発火したものと推定される。 なお、据付説明書及び取扱説明書には『電源コードは途中接続しない。』旨記載されている。 (D1)	当該事故原因は、施工業者によって行われた際の施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/12/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2239 2008/08/09 (事故発生地) 兵庫県	エアコン 約30年	使用中のエアコン室内機のファンモーター付近から出火した。 (製品破損)	施工業者が約5年前にエアコンを移設した際、エアコン室内機の差し込みプラグの形状をコンセントに合わせるため、電源コードを切断して、ほかの電源コードを接続したが、接続が不適切で接触不良を起こして異常発熱し、短絡・スパークしたものと推定される。	当該事故原因は、施工業者によって行われた際の施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、販売店及び施工業者に周知することとした。	製造事業者 (受付:2008/09/01)
2009-0285 2009/04/10 (事故発生地) 京都府	エアコン 不明	エアコンの電源コードから発火し、天井と壁の一部が煤けた。 (拡大被害)	施工時に電源コードを改造(延長)していたため、接続部で接続不良が生じて発火したものと推定されるが、施工者が不明のため、原因の特定はできなかった。	施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/24)
2009-1383 2009/06/20 (事故発生地) 福岡県	エアコン 約3年	エアコンを運転中、掃除をするためルーバー部分に手を入れたところ、回転中のファンに指があたり裂傷を負った。 (軽傷)	室内機のルーバー部分は、2列ある風向板の奥にファンがあり一般的な構造であることから、運転中にルーバー部分から吹出口内部へ誤って指を入れたため回転中のファンに指が接触し、負傷したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「掃除をする際には運転を停止し、電源プラグを抜く」旨が記載されている。	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/08/21)
2009-2069 2009/08/31 (事故発生地) 岡山県	エアコン ピーパーエアコン WV1412J 三菱重工業(株) 約25年	エアコンから異臭がし、スイッチ周辺が熱くなり樹脂が溶け出した。 (製品破損)	長期使用(約25年)により、圧縮機用リレー内部の接点が荒れて異常発熱し、絶縁材料が劣化してトラッキング現象が生じ、発火したものと推定される。	2008(平成20)年7月25日付けホームページに告知を掲載し、長期使用のエアコンに対する注意喚起を行っている。また、(財)家電製品協会及び(社)日本冷凍空調工業会においても、エアコンの安全点検チラシやチェックリストの掲載等で、ユーザーへの啓発活動を行っている。	製造事業者 (受付:2009/10/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1385 2006/09/04 (事故発生地) 徳島県	エアコン RAS-312EFH 東芝キャリア (株) 約31年	エアコン室内機から発煙発火し、周辺を焼損した。 (拡大被害)	長期使用(約31年)により、ファンモーターの巻線の絶縁が劣化し、発煙・発火したものと推定される。 (C1)	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、ホームページに「長期エアコン点検の実施のお知らせ」を掲載し、注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/09/21)
2009-0965 2009/06/24 (事故発生地) 東京都	エアコン RAS-255LDR 東芝キャリア (株) 約10年6か月	運転中のエアコンから焦げ臭いにおいがし、運転ランプが消えて発火した。 (製品破損)	当該機内部のファンモーター電源コネクター部にトラッキング現象が発生したとみられる焼損が確認され、過去に使用者がクリーニングをクリーニング業者に依頼していることから、エアコン洗浄液やそれに類似する電気を通しやすい電解物質がコネクター部に付着・残留し、さらに内部に発生した結露でトラッキング現象を誘発したものと推定される。 (B1)	2004(平成16)年8月20日付け新聞、ホームページ及び2006(平成18)年1月から2007(平成19)年5月に新聞折り込みチラシに社告を掲載し配布、無料で点検・修理を行っている。また、ファンモーター電源コネクター部にエアコンクリーニング時の洗浄液及びこれに類似する電解物質の侵入を防止するカバーを取り付け、コネクターカバーの中に絶縁シリコン剤を注入し、水分及び洗浄液等の浸入を防止している。 (B1)	製造事業者 (受付:2009/07/06)
2009-0939 2009/06/23 (事故発生地) 愛知県	エアコン RAS-406LDR 東芝キャリア (株) 約10年	エアコンの電源を入れたところ、異音が生じて発煙し、機器内に炎が見えた。 (製品破損)	当該機内部のファンモーター電源コネクター部にトラッキング現象が発生したとみられる焼損が確認され、焼損付近にエアコン洗浄液などに含まれる成分が検出されたことから、エアコン洗浄液やそれに類似する電気を通しやすい電解物質がコネクター部に付着・残留し、さらに内部で発生した結露でトラッキング現象を誘発したものと推定される。 (B1)	2004(平成16)年8月20日付け新聞、ホームページ及び2006(平成18)年1月から2007(平成19)年5月に新聞折り込みチラシに社告を掲載し配布、無料で点検・修理を行っている。また、ファンモーター電源コネクター部にエアコンクリーニング時の洗浄液及びこれに類似する電解物質の侵入を防止するカバーを取り付け、コネクターカバーの中に絶縁シリコン剤を注入し、水分及び洗浄液等の浸入を防止している。 (B1)	製造事業者 (受付:2009/07/02)
2008-4361 2009/01/11 (事故発生地) 神奈川県	エアコン 不明	木造2階建て家屋の一室から出火し、同室約19平方メートルを焼いた。 (拡大被害)	当該品の室内機と室外機を接続する渡り配線を、被害者がクリップにより接続していたため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、短絡して発火したものと推定される。 (E3)	被害者の設置・施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4691 2009/01/13 (事故発生地) 三重県	エアコン 不明	エアコン室内機付近から発煙し、壁面が焼損した。 (拡大被害)	当該品の室内機と室外機を接続する配線において、圧着スリーブを圧着せず、より線と単線を接続していたため、接続部で接触不良が生じて異常発熱を起こし、短絡して出火したものと推定される。	当該事故原因は、施工業者によって行われた際の施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/02/02)
2008-3587 2008/11/11 (事故発生地) 愛知県	エアコン 約11か月	運転中のエアコンの吹出口に手を入れたところ、ルーバーの一部が破損し、回転中のファンに手が触れて爪が割れた。 (軽傷)	当該品を使用中に、被害者が風の向きを変えようと吹出口のルーバーを動かそうとした際、不安定な体勢で行ったため、誤って指が吹出口の奥まで入ってしまい、内部のファンに触れ、事故に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書には使用中は吸込口、吹出口から指や棒を差し込んだり、中に入れないよう記載されている。	2008(平成20)年発売品から取扱説明書のルーバー操作表現を見直し、注意文を追加し、さらに途中から本体吹出口部にも注意ラベルを貼付している。	輸入事業者 (受付:2008/11/25)
2008-4698 2009/01/12 (事故発生地) 静岡県	エアコン RAS-2215H 日立アプライアンス(株) 約26年7か月	壁に取り付けてあったエアコン(室内機)が、壁から外れてぶら下がる状態となった。 (製品破損)	破面解析の結果、破損部位に白化が認められたことから、長期使用(約26年)の間に、エアコン背面にある固定部の樹脂(ポリスチレン製)が、空気中の油分などにより変質し、さらに清掃時に加わる荷重や運転中の振動等の影響で破損に至ったものと推定される。	経年劣化による事故と見られ、他に同種事故発生の情報がなく、当該製品の市場残存数は寡少とみられることから、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/02/03)
2009-0865 2009/06/22 (事故発生地) 静岡県	エアコン JA-16FW ハイアールジャパンセールス(株) 約11か月18日	窓用エアコンの電源を入れたところ、異臭がして発煙し、機器内で炎が出ていた。 (製品破損)	冷媒注入工程で冷媒配管に無理な力が加わって、ろう付け部に亀裂が生じていたため、冷媒ガスが徐々に漏れ、コンプレッサーが過負荷運転となって異常発熱し、発火に至ったものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	市町村 (受付:2009/06/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0322 2009/04/11 (事故発生地) 東京都	エアコン室外機 約10年	ベランダに床置きしているエアコン 室外機からオイルが漏れていた。 (製品破損)	コンプレッサの下部が腐食したため、潤滑油が漏 れたものと考えられるが、腐食した原因の特定はでき なかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報 はないことから、今後の事故発生状況を注視す ることとし、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/04/27)
2008-4759 2009/01/27 (事故発生地) 群馬県	エアコン室外機 RAZ225X ダイキン工業(株) 約13年	エアコン室外機から発煙した。 (製品破損)	プリント基板とダイオードブリッジのはんだ付け部 で、はんだ量が少ないものがあり、プリント基板と電 装品箱の熱伸縮の差ではんだ部に繰り返し応力が加わ り、はんだクラックが発生したため、電解コンデンサ ーに逆電圧が印加され、コンデンサーが破損し、電解 液が漏れ出てスパークにより着火し、電装品が焼損し たものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年10月19日付けの新 聞及びホームページに社告掲載を行い、無償で修 理・点検を行っている。また、プリント基板の製 造に対しては、品質特性基準で、はんだ盛りの限 度見本を図解し、事故の再発防止に努めるととも に、プリント基板の熱衝撃試験を導入することに より、経年的な熱ストレスについても評価を実施 している。	製造事業者 (受付:2009/02/06)
2008-4272 2008/12/15 (事故発生地) 東京都	エアコン室外機 AR2206X8 ダイキン工業(株) 約12年8か月	使用中のエアコンの運転ランプが点 滅し、エアコンが停止した。販売店が 確認のため通電させたところ、室外機 から発煙した。 (製品破損)	プリント基板とダイオードブリッジのはんだ付け部 で、はんだ量が少ないものがあり、プリント基板と電 装品箱の熱伸縮の差ではんだ部に繰り返し応力が加わ り、はんだクラックが発生したため、電解コンデンサ ーに逆電圧が印加され、コンデンサーが破損し、電解 液が漏れ出てスパークにより着火し、電装品が焼損し たものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年10月19日付けの新 聞及びホームページに社告掲載を行い、無償で修 理・点検を行っている。また、プリント基板の製 造に対しては、品質特性基準で、はんだ盛りの限 度見本を図解し、事故の再発防止に努めるととも に、プリント基板の熱衝撃試験を導入することに より、経年的な熱ストレスについても評価を実施 している。	製造事業者 (受付:2009/01/09)
2008-4652 2009/01/23 (事故発生地) 東京都	エアコン室外機 RA256GX ダイキン工業(株) 約12年	エアコン室外機から大きな音がし、 発煙した。 (製品破損)	プリント基板とダイオードブリッジのはんだ付け部 で、はんだ量が少ないものがあり、プリント基板と電 装品箱の熱伸縮の差ではんだ部に繰り返し応力が加わ り、はんだクラックが発生したため、電解コンデンサ ーに逆電圧が印加され、コンデンサーが破損し、電解 液が漏れ出てスパークにより着火し、電装品が焼損し たものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年10月19日付けの新 聞及びホームページに社告掲載を行い、無償で修 理・点検を行っている。また、プリント基板の製 造に対しては、品質特性基準で、はんだ盛りの限 度見本を図解し、事故の再発防止に努めるととも に、プリント基板の熱衝撃試験を導入することに より、経年的な熱ストレスについても評価を実施 している。	製造事業者 (受付:2009/02/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4597 2009/01/19 (事故発生地) 東京都	エアコン室外機 RA256GX ダイキン工業(株) 約12年4か月	エアコン室外機から異臭がし、発煙した。 (製品破損)	プリント基板とダイオードブリッジのはんだ付け部で、はんだ量が少ないものがあり、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差ではんだ部に繰り返し応力が加わり、はんだクラックが発生したため、電解コンデンサーに逆電圧が印加され、コンデンサーが破損し、電解液が漏れ出てスパークにより着火し、電装品が焼損したものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年10月19日付けの新聞及びホームページに社告掲載を行い、無償で修理・点検を行っている。また、プリント基板の製造に対しては、品質特性基準で、はんだ盛りの限度見本を図解し、事故の再発防止に努めるとともに、プリント基板の熱衝撃試験を導入することにより、経年的な熱ストレスについても評価を実施している。	製造事業者 (受付:2009/01/28)
2009-1097 2009/07/11 (事故発生地) 埼玉県	エアコン室外機 RA225GX ダイキン工業(株) 約14年7か月	エアコン室外機から焦げ臭いにおいがし、動かなくなった。 (製品破損)	プリント基板とダイオードブリッジのはんだ付け部で、はんだ量が少ないものがあり、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差ではんだ部に繰り返し応力が加わり、はんだクラックが発生したため、電解コンデンサーに逆電圧が印加され、コンデンサー自身が破損し、電解液が漏れ出てスパークにより着火し、電装品が焼損したものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年10月19日付けの新聞及びホームページに社告掲載を行い、無償で修理・点検を行っている。また、プリント基板の製造に対しては、品質特性基準で、はんだ盛りの限度見本を図解し、事故の再発防止に努めるとともに、プリント基板の熱衝撃試験を導入することにより、経年的な熱ストレスについても評価を実施している。	製造事業者 (受付:2009/07/17)
2008-3030 2008/10/02 (事故発生地) 福岡県	エアコン室外機 約8年9か月	エアコン室外機から出火した。 (製品破損)	プリント基板の表面に小動物等の糞が多量に付着していることから、糞の影響によりプリント基板上のジャンパー線間で短絡が生じ、出火したものと推定される。 (F1)	偶発的な事故であり、他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	製造事業者 (受付:2008/10/10)
2006-1376 2006/09/05 (事故発生地) 滋賀県	エアコン室外機 AE-3222PV (株)長府製作所 約7年2か月	電源が入っていないエアコン室外機から「ボン」という音がした。 (製品破損)	圧縮機用制御基板にはんだ付け不良があったため、トランジスターに過電流が流れ、トランジスターの樹脂パッケージが焼損したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2006/09/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0362 2009/04/27 (事故発生地) 千葉県	エアコン室外機 約7年	使用中のエアコンの室外機から異臭がし、発煙した。 (製品破損)	外郭樹脂が焼損しているが、内部の電気部品に焼損はなく、正常に動作することから、外的要因による事故と推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/07)
2007-1971 2007/06/14 (事故発生地) 三重県	エアコン室外機 R22BES7 ダイキン工業(株) 約5年8か月	突然、異音がして、エアコン室外機から白煙が上がった。 (製品破損)	事故品は海岸から10m程度しか離れていない場所に設置されており、使用に伴い基板部分に塩分が徐々に付着したため、絶縁性が低下し、パターン間で短絡し発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品は既に生産が終了している。	消費者センター (受付:2007/06/25)
2008-2900 2008/08/08 (事故発生地) 福岡県	エアコン室外機 SRKB28BJ 三菱重工業(株) 約8年	エアコンを使用中、突然ブレーカーが落ちた。 (製品破損)	室外機の内部配線が、冷媒配管と防音材に挟まれていたため、運転中の振動により配線の被覆が摩耗し、露出した芯線が配管に触れて漏電したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/10/03)
2008-2036 2008/07/01 (事故発生地) 沖縄県	エアコン室外機 約3年	修理業者がエアコンを運転しながら故障箇所を確認中に、室外機の圧縮機が破裂した。 (拡大被害)	修理業者の作業ミスにより、冷媒が漏れ圧縮機内に空気が入り込んだため、圧縮機の内部が異常高温・高圧状態となり破裂したものと推定される。 (D2)	当該事故原因は、修理業者によって行われた際の作業ミスによる事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2008/08/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1157 2009/07/16 (事故発生地) 大阪府	エアコン室外機 約2年	エアコンの修理作業をしていたところ、室外機が爆発し、外壁の一部が破損した。 (拡大被害)	修理業者の作業ミスにより、冷媒が漏れ圧縮機内に空気が入り込んだため、圧縮機の内部が異常高温・高圧状態となり破裂したものと推定される。 なお、据付説明書には『空気を混入させない。破裂する危険がある。』旨記載している。	当該事故原因は、修理業者によって行われた際の作業ミスによる事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、2010(平成22)年度以降の生産分に対して警告シールを本体に貼付し、社団法人日本冷凍空調工業会では、工事業者に対して据付説明書を遵守する旨のチラシを配布することとした。	輸入事業者 (受付:2009/07/24)
2009-0320 2009/04/16 (事故発生地) 大阪府	エアコン室外機 不明	エアコンの展示会場で撤去作業をしていたところ、エアコン室外機の圧縮機が破裂し、3人が軽傷を負った。 (軽傷)	修理業者の作業ミスにより、冷媒が漏れ圧縮機内に空気が入り込んだため、圧縮機の内部が異常高温・高圧状態となり破裂したものと推定される。 なお、本体には『空気を混入させない。破裂する危険がある。』旨記載している。	当該事故原因は、撤去業者によって行われた際の作業ミスによる事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、社団法人日本冷凍空調工業会では、工事業者に対して据付説明書を遵守する旨のチラシを配布することとした。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0630 2009/05/21 (事故発生地) 静岡県	エアコン室外機 約10年	エアコンの電源を入れたところ、室外で「ドン」という音がしてブレーカーが落ち、室外機から発煙した。 (製品破損)	当該機は、焼損が著しい基板の樹脂ケース内側に焼け焦げたムカデが残っていることから、内部に入り込んだムカデが基板のパターン間を短絡したため、焼損・発煙したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2009/05/29)
2008-4827 2009/02/06 (事故発生地) 東京都	エアコン室外機 R50AMV ダイキン工業(株) 約8年	エアコン室外機から出火した。 (製品破損)	内部配線の接続端子部にカシメ不良があったため、使用に伴い徐々に接触抵抗が増大して異常発熱し、発火したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて措置をとることとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/12)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1755 2009/08/12 (事故発生地) 広島県	エアポンプ（充電式） 170-6416 コールマンジャパン（株） 約1年	充電中のエアポンプのモーター部分が高温になり、発煙した。 (製品破損)	事故品の写真によると、モーターの巻線が焦げていることから、モーターに不具合が発生してロック状態になったため、過電流が流れて巻線が焦げ、発煙したものと考えられるが、事故品は既に修理されており確認できず、原因の特定はできなかった。 なお、モーターがロック状態で、スイッチが入ったまま充電を行ったことによるものと考えられる。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2009/09/28)
2007-5892 2007/12/18 (事故発生地) 青森県	オイルヒーター 不明	使用中のオイルヒーターから出火し、周辺が焦げた。 (拡大被害)	コントロールパネル部から出火したものと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/01/31)
2005-2450 2006/01/26 (事故発生地) 香川県	オイルヒーター HD3477 (株) フィリップスエレクトロニクスジャパン 不明	暖房用のオイルヒーターのあたりから出火し、女性が負傷した。 (軽傷)	ヒーター用接続端子のリード線のカシメ不良のため、接触抵抗が増加し、異常発熱して周辺の樹脂を焼損し発火したものと推定される。	2001（平成13）年10月16日、同年11月13日、2002（平成14）年9月10日付け新聞に社告を掲載し、製品の回収、無償で点検、修理を行っている。	消防機関 (受付:2006/02/07)
2008-5006 2009/02/18 (事故発生地) 香川県	オイルヒーター 約5年	オイルヒーターを使用していた部屋から発煙し、木造2階建住宅が全焼した。 (拡大被害)	事故品から出火したものと考えられるが、焼損が著しく原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/02/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4770 2009/01/14 (事故発生地) 山梨県	オイルヒーター R030812ECF デロンギ・ジャパン(株) 不明	使用中のオイルヒーターの下部から異臭とともに発煙、発火した。 (製品破損)	製造時に電源コード部のファストン端子のカシメが不完全であったため、カシメ部で異常発熱し、コード絶縁被覆が加熱され発煙、発火したものと推定される。 (A2)	鋼板製フロントパネルで囲われており、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 。なお、当該品は既に生産を終了している。	国の行政機関 (受付:2009/02/06)
2006-0127 2006/04/09 (事故発生地) 兵庫県	オイルヒーター 091521TEC デロンギ・ジャパン(株) 約4年	オイルヒーターを使用中に破裂し、周囲にオイルが飛散した。 (拡大被害)	製造時の放熱フィンのスポット溶接が不完全であったために、スポット溶接部が破損し、穴が空き、オイルが漏れ出したものと推定される。 (A2)	同種事故はまれに発生しているものの、人的被害が発生していないことから、特に措置はとらないが、ホームページにおいて、オイル漏れ時の処置について注意喚起している。 。なお、製造工程におけるスポット溶接の管理を強化することとした。	消費者センター 製造事業者 (受付:2006/04/10)
2008-4496 2009/01/19 (事故発生地) 東京都	オイルヒーター 071221TEC デロンギ・ジャパン(株) 約6年	オイルヒーターのタイマーをセットして使用中、爆発音がして、部屋に白煙と異臭が充満し、畳にしみが付いた。 。 (拡大被害)	製造時の放熱フィンのスポット溶接が不完全であったために、スポット溶接部が破損し、穴が空き、オイルが漏れ出したものと推定される。 (A2)	同種事故はまれに発生しているものの、人的被害が発生していないことから、特に措置はとらないが、ホームページにおいて、オイル漏れ時の処置について注意喚起している。 。なお、製造工程におけるスポット溶接の管理を強化することとした。	消費者センター (受付:2009/01/21)
2009-0106 2009/01/20 (事故発生地) 広島県	オイルヒーター ノガマティックオイルヒーター 長田通商(株) 約14年	オイルヒーターのスイッチパネルから発煙、発火し、スイッチ部分を覆っているプラスチック樹脂が溶けて飛び散り、カーペットが焦げた。 (拡大被害)	長期使用(約14年)により、サーモスタットの接点が悪化し、接触不良が生じ異常発熱して出火したものと推定される。 (C1)	2009(平成21)年3月31日付け新聞に社告を掲載し、使用を中止するよう注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/04/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-5246 2007/12/19 (事故発生地) 京都府	オイルヒーター CLV-065 (株)セラヴィ 約1年1か月	使用中のオイルヒーターから異臭がし、ヒーター左上部から白煙が出た。	転倒オフスイッチにファストン端子を接続する工程で作業不良があったため、接触不良を起こして異常発熱し、絶縁被覆が発煙、焼損したものと推定される。	2008(平成20)年3月15日付け新聞に社告を掲載し注意喚起を行うとともに、対象製品の改修を実施している。	消費者センター (受付:2008/01/07)
2008-3859 2008/12/08 (事故発生地) 三重県	オイルヒーター CLV-065 (株)セラヴィ 約2年	使用中のオイルヒーターから焦げ臭いにおいがし、マイクロスイッチ部分の端子が焦げた。	転倒オフスイッチにファストン端子を接続する工程で作業不良があったため、接触不良を起こして異常発熱し、絶縁被覆が発煙、焼損したものと推定される。	2008(平成20)年3月15日付け新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに対象製品の改修を実施している。	消費者センター (受付:2008/12/10)
2007-5718 2008/01/03 (事故発生地) 大阪府	オイルヒーター CLV-065 (株)セラヴィ 約2か月	使用中のオイルヒーターから発煙し、機器のパネル内に炎が見えた。	電源コードと内部配線を接続するネジの締め付けが弱かったため、接触不良を起こし、発熱して出火に至ったものと推定される。	2008(平成20)年3月15日付けで新聞社告を掲載し注意喚起を行うとともに、対象製品の改修を実施している。	消防機関 (受付:2008/01/23)
2008-3766 2008/11/18 (事故発生地) 千葉県	オイルヒーター CLV-065 (株)セラヴィ 約9日	使用中のオイルヒーターの温度調節部分から発火し、部屋に煙が充満した。電源プラグを抜いて消火した。	電源コードと内部配線を接続するネジの締め付けが弱かったため、接触不良を起こし、発熱して出火に至ったものと推定される。	2008(平成20)年3月15日に新聞社告を掲載し注意喚起を行うとともに、対象製品の改修を実施している。 なお、一部の販売店に無償点検・修理実施の連絡が周知徹底されていないことが判明したため、その販売店から購入されたお客様に2008(平成20)年12月からDMにより無償点検・修理実施の案内をすることとした。	消費者センター 輸入事業者 (受付:2008/12/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3866 2008/11/17 (事故発生地) 和歌山県	オイルヒーター CLV-065 (株)セラヴィ 約7日	使用中のオイルヒーターから煙が出たので使用を中止した。 (製品破損)	電源コードと内部配線を接続するネジの締め付けが弱かったため、接触不良を起こし、発熱して出火に至ったものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年3月15日に新聞社告を掲載し注意喚起を行うとともに、対象製品の改修を実施している。 なお、一部の販売店に無償点検・修理実施の連絡が周知徹底されていないことが判明したため、その販売店から購入されたお客様に2008(平成20)年12月からDMにより無償点検・修理実施の案内をすることとした。	輸入事業者 (受付:2008/12/11)
2007-6395 2007/12/22 (事故発生地) 大阪府	オイルヒーター 約10年	使用中のオイルヒーターが倒れて機器の一部が変色し、オイルが漏れてカーペットが汚れた。 (拡大被害)	当該品のキャスターが変形したり取付部が緩んでいたため、転倒しやすくなっており、転倒した際にフィンの結合部が破損してオイルが漏れ、ヒーターが油面から露出したため、過熱状態となり焼損したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2008/02/20)
2008-4188 2008/12/23 (事故発生地) 山形県	オイルヒーター 約5年	使用中のオイルヒーターのタイマーダイヤル付近が溶けて、煙が出た。 (製品破損)	本体内部のサーモスタット部に炭化した異物が認められることから、サーモスタットに異物が入り込んだため、接点間で接触不良となって異常発熱し、温度調節用の樹脂製ダイヤル及び外郭樹脂の一部が溶融、発熱したものと考えられるが、異物の種類及び異物が入り込んだ原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/01/06)
2009-2322 2009/10/02 (事故発生地) 東京都	オーブントースター ET-RT85 象印マホービン(株) 約9か月	オーブントースターが電源を入れているのに突然通電し、電源ボタンを押しても切れなかった。 (製品破損)	一時的に誤作動したため、リレーがオン状態になってヒーターに通電された可能性が考えられるが、事故品の動作確認においては正常に動作し異常は認められないことから、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/11/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0798 2009/03/11 (事故発生地) 千葉県	オーブントースター Z-PT2256 (KT) (ブランド: PRINCESS) 三洋電機 (株) 約3年	使用中のオーブントースターの右側に火が見えたので確認したところ、電源コード接続部付近が焦げていた。 (製品破損)	電源コードと内部リード線の接続端子部における取り付けネジの締付け不良により、異常発熱し、発火したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/18)
2009-0799 2009/05/18 (事故発生地) 東京都	オーブントースター Z-PT2256 (KT) (ブランド: PRINCESS) 三洋電機 (株) 約2年5か月	使用中のオーブントースターから、「パチッ、パチッ」と音がして、機器側面から発火した。 (製品破損)	電源コードと内部リード線の接続端子部における取り付けネジの締付け不良により、異常発熱し、発火したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/18)
2009-1327 2009/07/15 (事故発生地) 静岡県	オーブントースター 約1か月8日	使用中のオーブントースターから大きな音がし、前面のガラスが割れた。 (製品破損)	当該製品の前面は強化ガラス製で、表面についた傷や異物などが起点となり、使用中に自然破壊したものと考えられるが、全てのガラス破片を回収できなかったことから、起点となった傷等が確認できず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/08/12)
2009-1503 2009/08/17 (事故発生地) 神奈川県	オーブントースター 約5年	パイを焼くため予熱をしていたオーブントースターのドアを開ける際に、手がドアに触れて火傷を負った。 (軽傷)	当該品に異常は認められないことから、予熱により高温となっていたドアの内側部分に、被害者の手が触れたため、火傷を負ったものと推定される。 なお、本体表示及び取扱説明書には『使用中や使用直後は金属部やドアガラスに触れない。やけどのおそれがある。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/09/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0856 2008/05/24 (事故発生地) 秋田県	オーブントースター PLM-29710 株式会社東京衡機製造所 約1年5か月27日	オーブントースターのタイマースイッチを入れたところ、1分ほどして「ピー」と音が鳴り、庫内側面から煙が出た。 (製品破損)	当該品は、ヒーター線とリード線をネジで締め付け固定しているが、ネジの締め付け不足があったため、接触不良が生じ、異常発熱して、リード線が断線し、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、製造組立時に各接続部に緩み、締め付け忘れ等の確認を徹底させることにより、品質管理の強化を行った。	消費者センター (受付:2008/05/28)
2007-2199 2007/06/15 (事故発生地) 岩手県	オーブントースター 約1年	使用中のトースターから煙が上がって、トースター本体と上に載せていた木製の皿とその中に入っていたウェットティッシュの包装が焦げた。 (拡大被害)	被害者が通電状態でその場を離れたため、バターを塗ったパンが発火し、本体上部に載せていた木製の皿等が焦げたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/07/09)
2008-4313 2008/12/27 (事故発生地) 栃木県	カラーテレビ 不明	木造平屋住宅から出火し、約90平方メートルを全焼した。 (製品破損)	当該品の電源コードが家具等により踏まれた状態で使用されていたため、機械的ストレスを受けて芯線が半断線となり、短絡・スパークし、出火に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/13)
2007-0916 2007/04/21 (事故発生地) 埼玉県	カラーテレビ 28T-D301 (ブランド:三菱電機 (株)) (株) イーヤマ 約5年	テレビから発煙し、煤が出た。 (拡大被害)	偏向ヨーク端子部のはんだ量のばらつきと、製品の通電による熱ストレスで、はんだ付け部に亀裂を生じ、これが進行して破断状態になり放電現象を生じ、発煙したものと推定される。 (A2)	2003 (平成15) 年8月20日付けの新聞及びホームページに告知文を掲載し、無料で点検・修理を行っている。 なお、当該製品は、放電による端子部の焼損が生じた場合には、電源ラインの短絡検出回路が作動し電源が切れ、また、端子部やその周辺部品及び製品の外郭樹脂には難燃材を用いている。	製造事業者 (受付:2007/05/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0083 2009/04/05 (事故発生地) 愛知県	カラーテレビ（ブラウン管） 不明	テレビ付近から出火し、木造2階建て住宅が焼損した。 (拡大被害)	テレビの電気部品に出火に至る痕跡は認められないことから、当該製品からの出火ではないと推定される。 (F2)	製造業者等は不明であり、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/04/07)
2009-0542 2009/05/07 (事故発生地) 三重県	カラーテレビ（ブラウン管） C-21B80 三洋電機（株） 約6年	テレビの電源を入れたところ、本体後部からパチパチ音がして、画面が映らなかった。 (製品破損)	フライバックトランス製造時に、絶縁材に異物が混入する等の不良があったため、使用に伴い高圧巻線とフェライトコア間で絶縁不良となり、スパークしたものと推定される。 (A2)	保護回路が作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2009/05/22)
2008-3775 2007/08/00 (事故発生地) 神奈川県	カラーテレビ（ブラウン管） 28C-W90 シャープ（株） 約7年	テレビの電源を入れたところ、電源周辺から煙と炎が出た。 (製品破損)	フライバックトランス内に充填している絶縁用エポキシ樹脂に隙間があったため、巻線とフェライトコア間で絶縁不良となってスパークし、発煙したものと推定される。 なお、バックカバーの隙間から見えたスパークが、炎に見えたものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/12/05)
2009-1149 2009/07/17 (事故発生地) 神奈川県	カラーテレビ（ブラウン管） C-25A100 三洋電機（株） 約3年11か月	テレビの電源を入れたところ、裏側から発煙した。 (製品破損)	フライバックトランス内部に異物が混入していたため、表面でスパークが生じて水平出力トランジスタや抵抗が過負荷状態となり、異常発熱して発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、安全回路が作動し終息していることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2009/07/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3615 2008/11/20 (事故発生地) 岩手県	カラーテレビ（ブラウン管） C-21B80 三洋電機（株） 約5年7か月	テレビのスイッチを入れたところ、「パチパチ」という音が出た。 (製品破損)	フライバックトランス内部に埋め込んでいる高圧ダイオードを、正規の位置よりも外郭に近い位置に固定したため、高圧ダイオードとフェライトコア間で絶縁不良となり、スパークしたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、今後も引き続き市場での事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2008/11/26)
2009-0928 2009/06/21 (事故発生地) 千葉県	カラーテレビ（ブラウン管） W28-GF3 (株)日立製作所 約10年	テレビを視聴中に発煙した。 (製品破損)	ブラウン管に取り付けてある偏向ヨーク基板のバランスコイルのはんだ付け部が、熱膨張係数や繰り返し使用によるヒートサイクルに対する熱対策不足であったため、はんだクラックが生じ、アーク放電により基板が炭化し発煙に至ったものと推定される。 (A1)	2003（平成15）年1月29日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、チラシの配布及びポスターの掲示を継続して行い、無償で点検・修理を実施している。	製造事業者 (受付:2009/07/02)
2009-0041 2009/03/23 (事故発生地) 千葉県	カラーテレビ（ブラウン管） W28-GF3X (株)日立製作所 約9年	視聴中のテレビから異臭がし、発煙した。 (製品破損)	ブラウン管に取り付けてある偏向ヨーク基板のバランスコイルのはんだ付け部が、熱膨張係数や繰り返し使用によるヒートサイクルに対する熱耐力不足であったため、はんだクラックが生じ、アーク放電により基板が炭化し発煙に至ったものと推定される。 (A1)	2003（平成15）年1月29日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、チラシの配布及びポスターの掲示を継続して行い、無償で点検・修理を実施している。	製造事業者 (受付:2009/04/02)
2009-0255 2009/03/25 (事故発生地) 愛知県	カラーテレビ（ブラウン管） 約7年	視聴中のテレビから異臭がして、上部後ろから火が出た。 (製品破損)	事故品の外郭及び内部はペースト状の異物で異常に汚れていたことから、ブラウン管のアノード端子とアース間で異物を介して放電し、アノードキャップが焼損したものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/04/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0481 2009/05/12 (事故発生地) 北海道	カラーテレビ（ブラウン管） KV-28DR1 ソニー（株） 約8年	テレビをつけたところ、画面が映らず、異臭とともに「パチパチ」という音がしてバックカバーの隙間から火花が見え、発煙した。	事故品の偏向ヨーク上にある基板のコイル端子部が、はんだ付け不良によりはんだクラックを生じて接触不良となり、異常発熱し発煙したものと推定される。	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該事業者はブラウン管テレビの製造事業から撤退している。	消費者 (受付:2009/05/15)
2009-0486 2009/05/05 (事故発生地) 徳島県	カラーテレビ（ブラウン管） KV-28DR1 ソニー（株） 約9年	視聴中のテレビから「パチパチ」という音がして、内部から火花が散って発煙した。	事故品の偏向ヨーク上にある基板のコイル端子部が、はんだ付け不良によりはんだクラックを生じて接触不良となり、異常発熱し発煙したものと推定される。	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該事業者はブラウン管テレビの製造事業から撤退している。	消費者センター (受付:2009/05/15)
2009-2291 2009/11/08 (事故発生地) 茨城県	カラーテレビ（ブラウン管） 約7年	カラーテレビの電源を入れたところ、焦げ臭いにおいがし、機器内部が赤く光った。	修理業者が行ったフライバックトランスのはんだ付けに不良があったため、接触不良が生じて水平発振回路の抵抗に過電流が流れ、異常発熱し発煙したものと推定される。	修理業者によって行われた修理不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではなく、異常発熱した抵抗が断線して終息していることから、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/11/16)
2008-4849 2008/12/04 (事故発生地) 北海道	カラーテレビ（ブラウン管） KV-28SF7 ソニー（株） 不明	視聴中のテレビから異音が生じ、画面が消え、異臭が生じた。	水平回路に使用されているコンデンサーが部品の製造焼成工程で不具合を生じていたため、湿気の影響を受けて絶縁劣化しショートして、発煙したものと推定される。	2003（平成15）年7月29日付けホームページ及び同30日付け新聞に社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	消費者センター (受付:2009/02/12)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3656 2008/06/20 (事故発生地) 東京都	カラーテレビ（ブラウン管） TH-28FG15 パナソニック（株） 約8年	テレビをつけたところ、異臭がし、「ボン」という音とともに裏側から煙が出た。 (製品破損)	水平出力回路に部品不良のセラミックコンデンサーが混入したため、当該機に電源を投入した際に、セラミックコンデンサーがショートモードで故障し、異臭がし、発煙したものと推定される。 (A3)	発煙のみで終息しており、最終的に過電流保護回路が作動して通電を停止し、拡大被害に至る可能性は低いことから、既販品については、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/11/28)
2009-1185 2009/07/26 (事故発生地) 東京都	カラーテレビ（ブラウン管） 21CL-HS1 (株)日立リビングサプライ 約10年	視聴中のテレビの画面が突然消えて異音が出た。しばらくして電源を入れ直したら機器上部から煙が出て悪臭が出た。 (製品破損)	水平偏向回路のセラミックコンデンサーに不良品が混入していたため、内部短絡により異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/28)
2009-2425 2009/09/26 (事故発生地) 京都府	カラーテレビ（ブラウン管） 不明	掃除のためにテレビを持ち上げたところ、バックカバーが外れてテレビが落下し、テレビ台が歪んで、足の甲に打撲を負った。 (軽傷)	製造事業者のサービス部門が事故品を修理した際、樹脂カバーを取り付けるネジの締め付けが過剰であったため、カバーの樹脂製ボスが破損し、事故に至ったものと推定される。 (D2)	修理作業員に対し、締め付けトルク管理を周知徹底することとした。	輸入事業者 (受付:2009/11/27)
2008-2878 2008/09/03 (事故発生地) 青森県	カラーテレビ（ブラウン管） CT-25ST1 船井電機（株） 約13年7か月	テレビのスイッチを入れたところ、背面から青い煙が出てショートした。 (製品破損)	長期使用（13年間）により、フライバックトランスがレイヤショートしたため、電解コンデンサに過電流が流れ内部圧力が上昇し、安全弁が作動した際に、噴出した電解液の蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (C1)	2007（平成19）年8月7日付けホームページに告知を掲載し、長期使用製品の注意喚起を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/10/01)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4311 2009/01/06 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（ブラウン管） C29-BL60 (株) 日立製作所 約12年	カラーテレビの電源を入れたところ、異音が生じ、ブラウン管の背面部から発煙した。 (製品破損)	長期使用（約10年）により、電解コンデンサーが劣化し発熱したため、内圧が上昇して安全弁が作動し、電解コンデンサーの電解液が蒸気となり、噴出したものと推定される。 (C1)	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	国の行政機関 (受付:2009/01/13)
2008-4870 2009/02/04 (事故発生地) 富山県	カラーテレビ（ブラウン管） KT-20SY (株) 日本ポスティング（倒産） 約10年	視聴中のテレビから「ボン」と音が生じ、後方から白煙が出た。 (製品破損)	長期使用（約10年）により、電源回路基板の電解コンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡を生じて、焼損・発煙したものと推定される。 (C1)	輸入事業者が倒産しており、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/02/13)
2009-0962 2009/07/03 (事故発生地) 東京都	カラーテレビ（ブラウン管） 28C-FZ10 シャープ（株） 約11年	視聴中のテレビから異音が生じ、本体後方から白煙が出た。 (製品破損)	長期使用（約11年）により、メイン基板電源部の平滑用電解コンデンサーが劣化し発熱したため、内圧が上昇して安全弁が作動し、電解コンデンサーの電解液が蒸気となり、噴出したものと思われる。 (C1)	保護回路が作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、既製品について措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/06)
2009-2299 2009/11/04 (事故発生地) 埼玉県	カラーテレビ（ブラウン管） 28C-FB10 シャープ（株） 約11年	視聴中のテレビから異音が生じ、発煙した。 (製品破損)	長期使用（約11年）により、電源回路内の電解コンデンサーが劣化し、絶縁不良により異常発熱して、内圧が高まり安全弁が開き蒸気が噴出したものと推定される。 (C1)	安全装置（電流ヒューズ）が作動し終息しており、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/11/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5100 2009/02/20 (事故発生地) 福井県	カラーテレビ（ブラウン管） 28W10 (株) 東芝 約15年	視聴中のテレビから発煙した。 (製品破損)	長期使用（約15年）により、電源回路の電解コンデンサーが劣化し発熱したため、内圧が上昇して安全弁が作動し、電解コンデンサー内部の電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (C1)	電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2009/03/03)
2008-5194 2009/02/23 (事故発生地) 神奈川県	カラーテレビ（ブラウン管） AV-29X1 日本ビクター（株） 約17年	視聴中のカラーテレビから発煙した。 (製品破損)	長期使用（約17年）により、電源電圧制御回路の電解コンデンサーが劣化したため、スイッチングトランスの二次側出力電圧が上昇して、二次側回路の電解コンデンサーに過電圧が加わり、異常発熱により内圧が上昇して安全弁が作動し、電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/03/10)
2008-3925 2008/11/28 (事故発生地) 福岡県	カラーテレビ（ブラウン管） KV-14GT2 ソニー（株） 約19年	視聴中のカラーテレビの後部から煙が出て、機器の裏部分が溶けて出火し、たんすが汚れた。 (拡大被害)	長期使用（約19年）により、電源基板上にある消磁コイル用の正特性サーミスターが劣化して異常電流が流れ、発煙・焼損したものと推定される。 (C1)	最終的に電流ヒューズが作動して終息していることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/12/15)
2009-1239 2009/07/27 (事故発生地) 京都府	カラーテレビ（ブラウン管） 33C-V11 シャープ（株） 約20年	テレビから異臭、異音がし、左後方下部から火が見えた。 (製品破損)	長期使用（約20年）により、フライバックトランスのフォーカスケース部が温度、湿度や埃等の影響で絶縁劣化したため、ケース表面で高電圧がリークし火花が見えたものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/08/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3645 2008/11/23 (事故発生地) 北海道	カラーテレビ（ブラウン管） 25L1 (株) 東芝 約20年	視聴中のテレビの映像が暗くなって横線が入り、発煙して異臭が生じた。 (製品破損)	長期使用（約20年）により、電源基板上のセラミックコンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡を発生して、焼損・発煙したものと推定される。 (C1)	経年劣化による事故とみられ、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該製品は既に生産が終了している。	消費者センター (受付:2008/11/27)
2008-4856 2009/01/26 (事故発生地) 愛知県	カラーテレビ（ブラウン管） 25JS52 (株) 東芝 約22年	視聴中のテレビから突然異音が生じ、発煙した。 (製品破損)	長期使用（約22年）により、フライバックトランスのフォーカス部ケースが温度・湿度・埃・油煙等の影響で絶縁劣化し、クラックが発生して、高電圧がリークしたものと推定される。 (C1)	2004（平成16）年4月13日、2006（平成18）年11月7日付の新聞及びホームページ、2008（平成20）年1月8日付のホームページに社告を掲載し、製品の無償点検・修理を実施している。また、フライバックトランス部の材料の変更や構造の見直しを実施するとともに、1990（平成2）年以降、（社）電子情報技術産業協会の制定した自主基準をもとに、高圧部の空間距離の確保、部品材料の難燃化等の処理をすることにより安全性の確保を図っている。	製造事業者 (受付:2009/02/12)
2008-3197 2008/10/18 (事故発生地) 福島県	カラーテレビ（ブラウン管） TH14-N17 松下電器産業（株）（現在：パナソニック（株）） 約25年	テレビの電源スイッチを入れたところ、テレビの内部から発煙したので、電源プラグをコンセントから抜いた。 (製品破損)	長期使用（約25年）により、フライバックトランス内部の高圧巻線が絶縁劣化してレイヤショートし、発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、ヒューズ抵抗が作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2008/10/23)
2008-3693 2007/10/00 (事故発生地) 岩手県	カラーテレビ（ブラウン管） KV-6PR1 ソニーイーエムシーエス（株） 約8年	4台のテレビを業務用で使用していたところ、1ヶ月の間に立て続けに火を噴いた。 (製品破損)	長期使用（約9年）により、水平偏向回路に使用しているコンデンサーが劣化し、抵抗値上昇により内部圧力が上がり、安全弁が作動して噴出した電解液にブラウン管の電子銃の明かりが写って炎に見えたものと推定される。 (C1)	電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に生産が終了している。	消費者 (受付:2008/12/01)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0864 2009/06/19 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（ブラウン管） 28W-FK6 三菱電機（株） 約5年	視聴中のテレビが映らなくなり、発煙した。 (製品破損)	電解コンデンサの内部短絡により異常発熱したため、電解コンデンサの内圧が上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報はなく、電流ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/06/25)
2008-3822 2008/12/07 (事故発生地) 滋賀県	カラーテレビ（ブラウン管） 不明	集合住宅の一室から出火し、同室約3.46平方メートルを焼いた。 (拡大被害)	当該機の外郭樹脂が焼損しているものの、基板や配線等に発火の痕跡は認められないことから、製品に起因する事故ではないものと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2008/12/09)
2008-3329 2008/10/26 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（ブラウン管） 28C-FZ10 シャープ（株） 約8年	視聴中のテレビの下と裏側から発煙した。 (製品破損)	当該機の電源回路に使用されていた電解コンデンサーに不具合があったため、コンデンサー内部で異常発熱して内圧が上昇し、安全弁が作動した際に、噴出した電解液の蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	保護回路が作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、既製品について措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/11/04)
2008-4815 2009/02/08 (事故発生地) 栃木県	カラーテレビ（ブラウン管） 25S77 (株) 東芝 不明	テレビの背面から発煙し、プラスチックの焦げたようなにおいがした。 (製品破損)	当該機の電源回路に使用されていた電解コンデンサーに不具合があったため、コンデンサー内部で異常発熱して内圧が上昇し、安全弁が作動した際に、噴出した電解液の蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	保護回路が作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、既製品について措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/02/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0697 2009/05/27 (事故発生地) 奈良県	カラーテレビ（ブラウン管） TV-14GT55（ブランド：アイワ（株）） ソニー（株） 約6年	テレビのスイッチを入れたところ、機器の両側から白煙が出た。 (製品破損)	部品製造時の作業ミスにより、偏向ヨークのコイル部分に傷が付き、通電時にレイヤーショートが発生し、発煙が生じたものと推定される。 (A2)	2008（平成20）年6月12日付けホームページに社告を掲載し、無償修理を実施している。 (A2)	消費者センター (受付:2009/06/08)
2008-4187 2008/12/22 (事故発生地) 福島県	カラーテレビ（ブラウン管） 28T-D301（ブランド：三菱（株）） （株）イーヤマ 約7年	テレビを見ていたら映像がゆがんで、テレビの側面から煙が出た。 (製品破損)	偏向ヨーク端子部のはんだ量のばらつきと、製品の通電による熱ストレスで、はんだ付け部に亀裂を生じ、これが進行して破断状態になり放電現象を生じ、発煙したものと推定される。 (A2)	2003（平成15）年8月20日付けの新聞及びホームページに告知文を掲載し、無料で点検・修理を行っている。 なお、当該製品は、放電による端子部の焼損が生じた場合には、電源ラインの短絡検出回路が作動し電源が切れ、また、端子部やその周辺部品及び製品の外郭樹脂には難燃材を用いている。 (A2)	消費者センター (受付:2009/01/06)
2008-3547 2008/11/11 (事故発生地) 宮城県	カラーテレビ（ブラウン管） 28C-PB1 シャープ（株） 約8年	視聴中にテレビの両脇から発煙した。急いでコンセントを抜いたので大事に至らなかったが、テレビが映らなくなった。 (製品破損)	偏向ヨーク部の基板上にある画像補正用コイルの端子が、はんだ量不足であったため、製品の通電による熱ストレス等によりはんだクラックが生じ、アーク放電により基板が炭化し発煙したものと推定される。 (A2)	2004（平成16）年12月17日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。 (A2)	消費者センター (受付:2008/11/21)
2009-1924 2009/10/04 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（ブラウン管、ビデオ一体型） VT-21GH9 シャープ（株） 約6年	視聴中のテレビから異音が生じ、後方から火花と白煙が出た。 (製品破損)	製造時においてアノードケーブル（フライバックトランスの高電圧をブラウン管に印加するためのケーブル）に傷等があったため、絶縁不良によりブラウン管のアース部との間で放電し、ケーブルクランプ（アノードケーブルとブラウン管の絶縁距離を確保するための樹脂製部品）が焼損したものと推定される。 (A2)	保護回路が作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品は既に生産を終了している。 (A2)	輸入事業者 (受付:2009/10/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0917 2009/03/27 (事故発生地) 兵庫県	カラーテレビ（ブラウン管、ビデオ付） 約11年	ビデオ付テレビのビデオ取り出しボタンを押したところ、ビデオカセットが出てくると同時に機器内部から発煙した。 (製品破損)	メイン基板に亀裂が発生した際に、フライバックトランスへの電源供給用のパターン（銅箔）が切れたため、切れたパターン間で放電し、発煙したものと推定されるが、使用状況等が不明であり、基板に亀裂が発生した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、保護装置が作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者 (受付:2009/07/01)
2009-1832 2009/07/23 (事故発生地) 山口県	カラーテレビ（プラズマ） 約4年7か月	プラズマテレビの差込みプラグ（接地ピン付）と変換アダプターの間が焼損し、壁が煤で汚損した。 (拡大被害)	アンテナ線の同軸ケーブルの一部に溶融痕があることから、誘導雷サージにより、同軸ケーブル及び電源の差込プラグに過電流が流れ差込プラグ内で生じた放電により、絶縁低下して短絡し、焼損したものと推定される。 (F1)	偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 消費者センター (受付:2009/10/06)
2009-1307 2009/07/30 (事故発生地) 神奈川県	カラーテレビ（プラズマ） PD-35DV50 日本ビクター（株） 約4年5か月	テレビの電源を入れたところ、異常音がして、テレビ背面から発煙した。 (製品破損)	プラズマディスプレイパネルの電源回路に用いられている電解コンデンサーに不良品が混入していたため、内圧が上昇して安全弁が作動し、電解液が噴出したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/08/10)
2009-0500 2008/10/00 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（プラズマ） d: 4232GJ バイ・デザイン（株） 約2年6か月	テレビの調子が悪くなったので、メーカーに電話して指示に従って操作をしていたところ、機器背面から発煙し、電源が入らなくなった。 (製品破損)	プラズマパネルの駆動用ICに不良品が混入したか、プラズマパネルの異常により、過負荷状態となり当該ICが発煙したものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因は不明であり、他に同種事故発生情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/05/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0354 2009/04/18 (事故発生地) 北海道	カラーテレビ（プラズマ） P50-HR02 (株)日立製作所 約1か月	テレビの電源を入れたところ、機器後部から異音とともに火花が発生し、右手に火傷を負った。 (軽傷)	プラズマパネルの負荷電流が変動した際に、電源回路のトランジスターに過電圧が加わる回路構成であったため、トランジスターが焦げて破損し、リアカバーの隙間から飛び出した部品が手に当たり、火傷を負ったものと推定される。 (A1)	電流ヒューズが作動して終息し、発火に至る可能性は低いことから、既販品については今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008（平成20）年12月生産分から回路変更を行っており、2009（平成21）年4月に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/05/07)
2009-0396 2009/04/24 (事故発生地) 静岡県	カラーテレビ（プラズマ） W32-P5000 (株)日立製作所 約5年6か月	テレビの電源を入れたところ、画像が出ずに異音とともに発煙した。 (製品破損)	電源回路に使用されていた電解コンデンサーに不具合があったため、同一回路上の別の電解コンデンサーに過電圧が加わって安全弁が作動し、電解液が霧状に噴出したものが煙のように見えたものと推定される。 (A3)	電流ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/05/08)
2009-0736 2009/06/08 (事故発生地) 静岡県	カラーテレビ（プラズマ） PH-5000DFK バイ・デザイン（株） 約1年3か月	テレビの電源を入れた途端、大きな音とともに青い炎が上がった。 (製品破損)	電源回路上の抵抗に不良品が混入したため、抵抗の特性が低下して、スイッチング制御ICに過電流が流れ、ICが破損したものと推定される。 なお、基板や外郭樹脂に発火した痕跡は認められないことから、ICが破損した際のスパークが放熱口等の隙間から見えたものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、既販品について措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、今後の製品については製造工場において品質管理の強化を図ることとした。	消費者センター (受付:2009/06/10)
2009-0654 2009/04/01 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（プラズマ） 約2日	テレビ付近から出火し、住宅を全焼した。 (拡大被害)	当該機は正面左側の焼損が著しいものの、その箇所には発火源となる電気部品はなく、また、現場の焼損状況は当該機が設置されている場所よりも、さらに左側の焼損が著しいことから、当該機から出火したものではないと判断されるため、製品に起因する事故ではないものと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/06/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3538 2008/10/19 (事故発生地) 東京都	カラーテレビ(液晶) AQUOS LC-26GD2 シャープ(株) 約3年	テレビスタンドが破損して視聴中のテレビが床に落下し、家具や電気カーペットに傷がついた。 (拡大被害)	テレビの角度調整時に勢いよくテレビ本体を操作することにより、過度の応力がテレビスタンドに繰り返し加わり、スタンド支柱と台座との接合部(樹脂製)のネジ穴部分が破損し、ぐらつきが発生した状態で使い続けた結果、スタンド支柱が台座から外れ、テレビが落下したものと推定される。製造工程ではネジ締め付けトルクを管理しているが、接合部の強度が不足していた可能性も考えられる。 (B3)	2009(平成21)年1月13日にホームページ及び販売店名簿により所有者への告知を行い、スタンド支柱部分の強度を上げた部品に交換する修理を実施している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/11/19)
2008-3602 2008/11/13 (事故発生地) 埼玉県	カラーテレビ(液晶) LC-26GD2 シャープ(株) 不明	以前からテレビの足の部分が弱く画面が下がりが味になっていたが、とうとう折れて本体部分が落下した。その際、落下を防ごうとして手首と首を捻挫した。 (軽傷)	テレビの角度調整時に勢いよくテレビ本体を操作することにより、過度の応力がテレビスタンドに繰り返し加わり、スタンド支柱と台座との接合部(樹脂製)のネジ穴部分が破損し、ぐらつきが発生した状態で使い続けた結果、スタンド支柱が台座から外れ、テレビが落下したものと推定される。製造工程ではネジ締め付けトルクを管理しているが、接合部の強度が不足していた可能性も考えられる。 (B3)	2009(平成21)年1月13日にホームページ及び販売店名簿により所有者への告知を行い、スタンド支柱部分の強度を上げた部品に交換する修理を実施している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/11/26)
2009-1526 2009/03/00 (事故発生地) 高知県	カラーテレビ(液晶) SKJ-LT20D エスケイジャパン(株) 約3年	テレビの電源を入れたところ、映像、音声ともに出ないで焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	バックライト電源制御基板上のトランスに不良品が混入したため、巻線がレイヤショートし発煙したものと推定される。 なお、保護装置が作動して通電が停止し、音声が出なくなったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報はなく、発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/09/04)
2009-1765 2009/08/25 (事故発生地) 三重県	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200W (株)ダイナコネクティブ 約15日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	製造事業者 (受付:2009/09/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1884 2009/09/01 (事故発生地) 島根県	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200B (株)ダイナコネクティブ 約15日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)
2009-1885 2009/09/00 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200B (株)ダイナコネクティブ 約15日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)
2009-1886 2009/09/08 (事故発生地) 兵庫県	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200W (株)ダイナコネクティブ 約15日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)
2009-1887 2009/09/16 (事故発生地) 京都府	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200W (株)ダイナコネクティブ 約15か月	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1888 2009/09/16 (事故発生地) 岐阜県	カラーテレビ（液晶） DY-185SDK200B (株) ダイナコネクティブ 約15日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)
2009-1889 2009/09/24 (事故発生地) 大阪府	カラーテレビ（液晶） DY-185SDK200W (株) ダイナコネクティブ 約15日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)
2009-1890 2009/09/23 (事故発生地) 宮城県	カラーテレビ（液晶） DY-185SDK200B (株) ダイナコネクティブ 約1か月	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)
2009-1891 2009/09/26 (事故発生地) 愛媛県	カラーテレビ（液晶） DY-185SDK200W (株) ダイナコネクティブ 約1か月	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1902 2009/09/28 (事故発生地) 埼玉県	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200W (株)ダイナコネクティブ 約1か月	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/09)
2009-1903 2009/10/04 (事故発生地) 愛媛県	カラーテレビ(液晶) DY-185SDK200W (株)ダイナコネクティブ 約40日	視聴中の液晶テレビから発煙した。 (製品破損)	製造工程内において電源基板のエイジングをする際に、誤って過電圧を印加したことにより、ダイオードに過電流が流れて破損し、さらに電源基板の動作チェック時に検査もれがあったため、使用時にダイオードが異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年11月17日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/10/09)
2008-3249 2008/10/10 (事故発生地) 和歌山県	カラーテレビ(液晶) ZT0-5102 (株)ゾックス 約2年10か月	視聴中のテレビから、突然炎と煙が出た。 (製品破損)	製造時に不具合のあったコンデンサーが混入したため、安全弁が作動したものと推定される。 (A3)	安全弁が作動し終息しており、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に製造、輸入、販売を終了している。	消費者センター (受付:2008/10/29)
2009-0539 2009/04/20 (事故発生地) 愛知県	カラーテレビ(液晶) UB32J アプライド(株) 約3年2か月	テレビを視聴中、「バーン」という音とともに後方から発煙し、電源が入らなくなった。 (製品破損)	電源ユニットの電解コンデンサーに不具合品が混入したため、電解コンデンサーが異常発熱し、内圧が上昇して破裂し電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、通電が停止し終息しており、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/05/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3205 2008/10/19 (事故発生地) 東京都	カラーテレビ(液晶) 約3年	液晶テレビを視聴中、突然電源が切れ、それ以降電源が入らなくなった。 (製品破損)	電源ユニットを交換したところ、正常に動作したことから、電源ユニットに不具合があったものと推定されるが、不具合部品が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、電源が切れて終息し、発煙、発火等に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/10/23)
2009-0816 2009/06/11 (事故発生地) 佐賀県	カラーテレビ(液晶) 約1年	テレビの電源を入れたところ、異臭がして裏側から発煙した。 (製品破損)	電源基板に接続する電源コードのコネクタ端子、電源コード、ブッシングが焼損し、発煙したものと考えられるが、接触不良や溶融痕など異常発熱した痕跡は確認できず、使用状況も不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/06/22)
2007-3786 2007/09/21 (事故発生地) 神奈川県	カラーテレビ(液晶) TAL0032(ブランド: TECO) 三協(株) 約2年	視聴中のテレビから破裂音とともに煙が上がった。 (製品破損)	電源基板上にある電解コンデンサーが部品不良によって異常発熱し、内圧が上昇して破裂したことにより、電解液が蒸気となり噴出し、その蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	平成21(2009)年3月1日より、顧客リストに基づき、訪問して改修(電源ユニットの交換)を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/10/16)
2008-1222 2005/11/25 (事故発生地) 神奈川県	カラーテレビ(液晶) TAL0032(ブランド: TECO) 三協(株) 約4か月	テレビから発煙した。 (製品破損)	電源基板上にある電解コンデンサーが部品不良によって異常発熱し、内圧が上昇して破裂したことにより、電解液が蒸気となり噴出し、その蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	平成21(2009)年3月1日より、顧客リストに基づき、訪問して改修を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/06/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1223 2006/05/08 (事故発生地) 不明	カラーテレビ（液晶） TAL0032（ブランド： TECO） 三協（株） 約10か月	テレビから発煙した。 (製品破損)	電源基板上にある電解コンデンサーが部品不良によって異常発熱し、内圧が上昇して破裂したことにより、電解液が蒸気となり噴出し、その蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	平成21（2009）年3月1日より、顧客リストに基づき、訪問して改修を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/06/24)
2008-1224 2006/06/14 (事故発生地) 不明	カラーテレビ（液晶） TAL0032（ブランド： TECO） 三協（株） 約11か月	テレビから発煙した。 (製品破損)	電源基板上にある電解コンデンサーが部品不良によって異常発熱し、内圧が上昇して破裂したことにより、電解液が蒸気となり噴出し、その蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	平成21（2009）年3月1日より、顧客リストに基づき、訪問して改修を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/06/24)
2008-1225 2007/02/20 (事故発生地) 不明	カラーテレビ（液晶） TAL0032（ブランド： TECO） 三協（株） 約1年7か月	テレビから発煙した。 (製品破損)	電源基板上にある電解コンデンサーが部品不良によって異常発熱し、内圧が上昇して破裂したことにより、電解液が蒸気となり噴出し、その蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	平成21（2009）年3月1日より、顧客リストに基づき、訪問して改修を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/06/24)
2009-1701 2009/09/14 (事故発生地) 大分県	カラーテレビ（液晶） W28-L5000 日立コンシューマエレクト ロニクス（株） 約5年	視聴中の液晶テレビから異音とともに白煙が出た。 (製品破損)	電源基板上の電解コンデンサーに不良品が混入していたため、コンデンサー内部で異常発熱して内圧が上昇し、安全弁が作動した際に、噴出した電解液の蒸気が煙のように見えたものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/09/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1312 2009/07/19 (事故発生地) 愛知県	カラーテレビ（液晶） W26L-H80（ブランド：（株）日立製作所） 大同日本（株） 不明	視聴中のテレビから発煙した。 (製品破損)	当該機の電源ユニット部に使用しているバリスターに絶縁性能の低いものが混入し、電源を入れた際に生じるサージ電圧が繰り返し加わったことにより、バリスターが絶縁破壊して故障し、発煙したものと推定される。 (A3)	2007（平成19）年10月11日にプレスリリースするとともに同日付けホームページに社告を掲載し、無償点検・修理を行っている。また、2006（平成18）年3月から、電源回路の保護方式をバリスターを使用しない方式に変更している。	販売事業者 (受付:2009/08/11)
2008-4517 2008/12/25 (事故発生地) 福岡県	カラーテレビ（液晶） 約5年4か月	テレビの取っ手を持って移動させようとしたところ、取っ手が破損してテレビが落下し、床が傷つき、足の甲にけがを負った。 (軽傷)	破損した取っ手（ポリスチレン製）の破面の一部に白化が見られ、当該箇所に過大な応力が集中して折損したものと考えられるが、被害者によって破面のほとんどの部分に接着剤が塗布されていたため破面解析が困難な状態にあり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/22)
2009-1382 2009/08/19 (事故発生地) 群馬県	カラーテレビ（液晶、DVD内蔵） DY-LC20SDDW (株) ダイナコネクティブ 約40日	カラーテレビの上部が溶け、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	ディスプレイ用バックライトとインバーター基板のコードコネクタ部が接続不良であったため、使用中に外れ無負荷状態となりインバーター出力電圧が上昇しコネクタ内の端子間で放電が生じてコネクタ樹脂、コードが焼損したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し必要に応じて措置をとることとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2009/08/21)
2008-0359 2008/04/02 (事故発生地) 神奈川県	キッチンカウンター 不明 MTクリエイト（倒産） 約6年	キッチンカウンターのコンセント（2口）にオーブントースターと電子レンジを接続して使用していたところ、コンセント付近から発火し、付近の壁が焦げた。 (拡大被害)	電源コードの本体引き出し部に、コードプロテクター等の保護機能がない構造であったため、コードが壁面に当たって過度の屈曲や機械的ストレスが加わり、断線・スパークしたものと推定される。 (A1)	輸入業者は既に倒産（2006（平成18）年10月）しており、措置はとれなかった。	販売事業者 (受付:2008/04/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0360 2008/03/20 (事故発生地) 千葉県	キッチンカウンター 不明 MTクリエイト(倒産) 約6年	キッチンカウンターのコンセントに電子レンジを接続して使用していたところ、コンセントコード付近から発火し、本体裏側が焦げた。 (製品破損)	電源コードの本体引き出し部に、コードプロテクター等の保護機能がない構造であったため、コードが壁面に当たって過度の屈曲や機械的ストレスが加わり、断線・スパークしたものと推定される。 (A1)	輸入業者は既に倒産(2006(平成18)年10月)しており、措置はとれなかった。	販売事業者 (受付:2008/04/18)
2009-1805 2009/05/15 (事故発生地) 広島県	キッチンカウンター OS-75TDK (株)ベルキッチン 約2年4か月	キッチンカウンターのコンセント(2口)に炊飯器を接続して使用していたところ、異臭がし、キッチンカウンター内部のコードが断線した。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線、スパークしたものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/10/02)
2009-1806 2009/06/27 (事故発生地) 北海道	キッチンカウンター OS-75TDK (株)ベルキッチン 約7年3か月	キッチンカウンターのコンセント(2口)に炊飯器とコーヒーメーカーを接続して使用していたところ、コンセント付近から発煙し、キッチンカウンター内部のコードが断線した。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線、スパークしたものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/10/02)
2009-2608 2009/09/24 (事故発生地) 大阪府	キッチンカウンター OS-75TDK (株)ベルキッチン 約5年10か月	キッチンカウンターのコンセント(2口)に炊飯器を接続していたところ電源コードから火花が出た。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線、スパークしたものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/12/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2609 2009/10/08 (事故発生地) 静岡県	キッチンカウンター OS-75TDK (株) ベルキッチン 約4年5か月	キッチンカウンターのコンセント(2口)に電気ポットと炊飯器を接続して使用していたところ、焦げ臭いにおいがし、電源コードから火花が出た。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線、スパークしたものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/12/10)
2009-2606 2008/03/06 (事故発生地) 広島県	キッチンカウンター OS-75TDK (株) ベルキッチン 約7年2か月	キッチンカウンターのコンセント(2口)の電源コードが切れて通電しなくなった。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/12/10)
2009-2607 2009/06/02 (事故発生地) 広島県	キッチンカウンター OS-75TDK (株) ベルキッチン 約5年	キッチンカウンターのコンセント(2口)の電源が入らなくなった。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/12/10)
2009-2610 2009/11/13 (事故発生地) 長野県	キッチンカウンター OS-75TDK (株) ベルキッチン 約4年5か月	キッチンカウンターのコンセント(2口)の電源コードが切れ、コンセントの電源が入らなくなった。 (製品破損)	当該製品は、スライド式カウンター(引き出すことができる棚)にコンセントを組み付けており、スライドした際に配線に屈曲が加わる構造であったため、繰り返し使用により配線が断線したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年12月10日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを発送し、販売店にはチラシを配布し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/12/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3101 2008/10/08 (事故発生地) 山口県	コーヒーマーカー メリタ JCM-555 メリタジャパン (株) 約1回	コーヒーマーカーに付属の保温ポットを使用後に洗おうとしたところ、「ポーン」という破裂音とともにガラスが飛び散った。 なお、当該保温ポットは、ソーダ石灰ガラス製の真空二重びん（まほうびん）であった。	事故品口部に破損の起点が認められ、そのガラス破片にひずみが観察されたことから、事故品は、本来除外されるべき不良品であり、強度が低下した残留ひずみ部分に熱衝撃等が加わったため、破損したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視することとし、既販品についての措置はとらなかった。 なお、当該製品の取り扱いについて、ホームページ上に注意喚起を掲載するとともに、出荷前のガラス検品の頻度を増やし、組立工場でのガラス受入検査（温水・冷水の試験、寸法のチェック）を、抜取検査から全数検査に変更することとした。	消費者センター (受付:2008/10/17)
2008-2915 2008/10/03 (事故発生地) 石川県	コーヒーマーカー 約3年	使用中のコーヒーマーカーのスチームノズルが外れ、火傷するくらい熱い蒸気が出て周囲を汚損した。	当該品は、スチームノズルの固定部が変形したため、保持力が低下しスチームの圧力に耐えられずノズルが外れ、蒸気が噴出したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、スチームノズルが変形した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/10/06)
2009-1076 2009/04/02 (事故発生地) 千葉県	コーヒーマーカー MD9740 ネスレ日本 (株) 約8か月	コーヒーマーカー内部の電気配線部が溶融した。	内部配線を接続するファストン端子に接触不良があったため異常発熱し、端子部の保護カバーと配線被覆が溶融・発煙したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、在庫品は当該部位の点検を実施して出荷し、今後の製品については品質管理の強化を図ることとした。	輸入事業者 (受付:2009/07/16)
2008-0641 2008/04/15 (事故発生地) 北海道	コーヒーマーカー（エスプレッソ式） ネスプレッソ C90 ネスレ日本 (株) ネスプレッソ事業部 約1年3か月	エスプレッソ式のコーヒーマーカーを使用後、本体内にセットしていたコーヒーカプセルを取り出そうと上蓋レバーを上げたところ、カプセルが破裂してコーヒーエキスが飛び散り、電源が切れた。	当該機のヒーターユニットにある温度センサーが不良品であったため、ヒーターが過熱して蒸気が異常発生し、停止ボタンを押しても蒸気が残留して、コーヒーカプセル内に蒸気の圧力が加わった状態で上蓋レバーを開いた際、コーヒーカプセルのアルミ箔が膨張し破裂したものと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、温度ヒューズが溶断しヒーターの過熱は終息している。	消費者センター (受付:2008/05/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2377 2006/11/21 (事故発生地) 神奈川県	コピー機 FC1 キヤノン (株) 約15年	使用中のコピー機電源部から「パチパチ」という音がして、炎が上がった。 (製品破損)	長期使用(約15年)により、電源ユニット基板上にあるセラミックコンデンサーとグラウンドパターン間において、埃や湿気等の影響により絶縁性が劣化し、トラッキング現象を起こしたものと推定される。 (C1)	2007(平成19)年1月18日付けホームページ、及び1月19日付けの新聞に社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/14)
2008-2497 2008/05/29 (事故発生地) 岐阜県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック (株) 約4年1か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/09)
2008-2800 2006/05/28 (事故発生地) 愛知県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック (株) 約2年11か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)
2008-2801 2006/12/31 (事故発生地) 三重県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック (株) 約6年2か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2802 2007/09/10 (事故発生地) 岡山県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック(株) 約6年2か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)
2008-2803 2007/09/14 (事故発生地) 岐阜県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック(株) 約5年2か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)
2008-2804 2008/01/09 (事故発生地) 愛知県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック(株) 約9年2か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (被害なし)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)
2008-2805 2008/01/15 (事故発生地) 愛知県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック(株) 約9年2か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (被害なし)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子(サイリスタ)が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2806 2008/03/13 (事故発生地) 静岡県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック（株） 約9年4か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (被害なし)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子（サイリスタ）が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。	2008（平成20）年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)
2008-2807 2008/04/12 (事故発生地) 福岡県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック（株） 約7年3か月	使用中のコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子（サイリスタ）が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。	2008（平成20）年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/25)
2008-3709 2008/11/14 (事故発生地) 三重県	コピー機 プレシオ1560 東芝テック（株） 約10年	使用中にコピー機の後部から発煙した。 (製品破損)	電源基板上にあるヒーター用のスイッチング素子（サイリスタ）が定格不足であったため、電源を入れる際に発生する突入電流によりサイリスタが焼損、発煙したものと推定される。	2008（平成20）年12月19日付けホームページに社告を掲載するとともに、リース・販売した顧客に直接連絡し、無償で部品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/12/02)
2008-4641 2009/01/27 (事故発生地) 京都府	コンセント付家具 WMK-60D (株)山善 約1年	キッチンキャビネットのコンセント部分の配線が短絡した。 (製品破損)	内部配線を固定していなかったため、引き出しの開閉等によって配線に引っ張り応力が加わり、芯線が半断線状態となり短絡・スパークしたものと推定される。	2009（平成21）年7月22日付け新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で改修を行っている。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了している。	消防機関 (受付:2009/01/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1217 2008/06/10 (事故発生地) 長野県	コンタクトレンジ煮沸器 J610701 (ブランド: ポシユロム・ジャパン (株)) オムロン松阪 (株) 約17年	コンタクトレンジ煮沸器から発火し、コンセント部分と周囲の壁が焦げた。	本体に収納できるスライド式プラグのすき間から、水または消毒液が浸入したため、本体内部の電極間でトラッキング現象が生じ、発火したものと推定される。	2009 (平成21) 年7月10日付けで、自社及びブランド事業者のホームページに告知を掲載し、取扱い上の注意喚起を行っている。 なお、当該品は、過去に消毒液の付着によって合成樹脂製上皿がひび割れし、トラッキング現象が生じて、発火した事例があることから、1989 (平成元) 年9月5日、1993 (平成5) 年3月24日付けで、新聞に社告を掲載し、改善品に無償交換が行われている。	消費者センター (受付:2008/06/24)
2008-1869 2008/08/04 (事故発生地) 長崎県	ジューサー BM-JE08 象印マホービン (株) 約1年2か月	使用中にジューサーのふたが破損して、飛んできたふたの破片で指に軽傷を負った。	当該製品の構成部品であるABS樹脂製フィルタースタンドの成形時に不具合があり、ウェルド部の強度が不足したため、使用に伴う振動や衝撃によって破損し、破片が飛散したものと推定される。	2008 (平成20) 年10月11日付けの新聞及びホームページにて社告を掲載し、フィルタースタンド、ファイバークースふた及び本体ふたの各樹脂製部品について、強化対策品との交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2008/08/08)
2008-2511 2008/08/21 (事故発生地) 埼玉県	ジューサー BM-JE08 象印マホービン (株) 不明	使用中にジューサーのふたが飛んできて腕にあたり皮膚が赤くなった。	当該製品の構成部品であるABS樹脂製フィルタースタンドの成形時に不具合があり、ウェルド部の強度が不足したため、使用に伴う振動や衝撃によって破損し、破片が飛散したものと推定される。	2008 (平成20) 年10月11日付けの新聞及びホームページにて社告を掲載し、フィルタースタンド、ファイバークースふた及び本体ふたの各樹脂製部品について、強化対策品との交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2008/09/10)
2008-5378 2009/03/18 (事故発生地) 埼玉県	ジューサーミキサー 約5回	ジューサーミキサーを使用した後、本体を洗浄したところ、カッターの刃が欠けているのに気付いた。	カッターの刃に欠けは見られず、4枚刃のうちの1枚のみに刃の変形があり、刃先が下方向にめくれていることから、カッター部を洗浄した際等に、刃に何らかの硬い物がぶつかったため、刃の一部が変形したものと推定される。	消費者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/03/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2536 2008/08/00 (事故発生地) 埼玉県	ジューサーミキサー 約14日8回	ジューサーミキサーに食材を入れて作動させたところ、本体とジューサーカップの境目から出火し、発煙した。 (製品破損)	材料が多かったため、過負荷状態となりモーターブ ラシの火花が大きくなって、発煙したものと考えられ るが、事故品を確認できないため、調査できなかった 。 (G2)	事故品が確認できないことから、調査不能であ るため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/09/10)
2008-4182 2008/12/18 (事故発生地) 神奈川県	ジューサーミキサー 約18年	使用中のジューサーミキサーの容器 が割れ、金属片が飛んで手にけがを負 った。 (軽傷)	長期間(約18年)の使用により遠心カゴの樹脂枠 (ASA樹脂)又はフィルター(SUS304)のス ポット溶接部が劣化し、使用時の遠心力により遠心カ ゴが破損して樹脂製の容器ふたを破損させたため、フ ィルターの破片が飛散したものと考えられるが、事故 品の確認ができなかったため、原因の特定はできな かった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。	製造事業者 (受付:2009/01/06)
2008-2754 2008/07/16 (事故発生地) 神奈川県	ジューサーミキサー(ミ ル付) BM-JS08 象印マホービン(株) 約9か月	使用中のジューサーミキサーのふた やフィルターが突然破損した。 (製品破損)	当該製品の構成部品であるABS樹脂製フィルタ ースタンドの成形時に不具合があり、ウェルド部の強度 が不足したため、使用に伴う振動や衝撃によって破損 したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年10月11日付けの新 聞及びホームページにて社告を掲載し、フィルタ ースタンド、ファイバークেসふた及び本体ふた の各樹脂製部品について、強化対策品との交換を 実施している。	輸入事業者 (受付:2008/09/22)
2006-2488 2006/12/03 (事故発生地) 神奈川県	シューズドライヤー 約6年6か月	シューズドライヤーを使おうとした ところ、ファンモーターが回らず煙が 出たため、電源を切ってコンセントか らプラグを抜いていたが、約10分 後に再び発煙、発火し、床が焼けた。 (拡大被害)	ファンモーターが動作せずヒーターが異常過熱し、 本体内部に堆積したほこりが発火した可能性が考えら れるが、ファンモーターが動作しなかった原因やほこ りの堆積状況等が不明であり、原因の特定はできな かった。 (G1)	事故原因は不明であり、他に同種事故発生の情 報はないことから、今後の事故発生状況を注視し 、必要に応じて対応することとした。 なお、今後は取扱説明書に、『履物の塵、ほこ り等をよく払って使用する。火災の原因となる。 』旨記載することとした。	製造事業者 (受付:2006/12/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5091 2008/08/10 (事故発生地) 長崎県	シュレッダー 約1年6か月	シュレッダーが紙詰まり状態になったため、スプレー式の潤滑剤を吹きかけた後、操作スイッチのオートモードで作動を確認し「逆転」にしたところ、爆発音がして手に火傷を負った。	シュレッダー内部にスプレー式の潤滑油を噴射したため、スプレー缶に含まれる可燃性ガスがシュレッダー内部に滞留し、この可燃性ガスに整流子モーターの火花が引火したものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には「可燃性のスプレーを使用すると引火・爆発の危険がある」旨の注意表示があった。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/02)
2008-4821 2008/10/23 (事故発生地) 大阪府	シュレッダー 約2年	シュレッダーが紙詰まり状態になったので、操作スイッチの「細断」「逆転」を繰り返していたところ、爆発音とともに火が出て、手に火傷を負った。	シュレッダー内部にスプレー式の潤滑油を噴射したため、スプレー缶に含まれる可燃性ガスがシュレッダー内部及び周辺に滞留し、この可燃性ガスに整流子モーターの火花が引火したものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には「可燃性のスプレーを使用すると引火・爆発の危険がある」旨の注意表示があった。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/02/10)
2008-4583 2008/12/20 (事故発生地) 神奈川県	シュレッダー 約2年	使用中のシュレッダーが止まり、火花が出て発煙した。	モーターのカーボンブラシが摩耗したため、火花が大きくなり異常発熱し、モーターコイルの防錆油及び絶縁材から発煙したものと考えられるが、カーボンブラシが摩耗したのは、製造上によるものか、使用上によるものか、原因の特定はできなかった。 なお、シュレッダーが停止したのは、温度保護装置（サーマルプロテクター）が作動したためと推定される。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2009/01/27)
2008-2985 2008/07/31 (事故発生地) 千葉県	シュレッダー 約1年	使用中のシュレッダーが突然爆発し、紙受けのごみ袋が溶け、髪の毛やまつ毛が少し焦げた。	事故品の電気部品に異常は認められず、モーターやスイッチから出火した痕跡もないことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/10/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3450 2008/11/02 (事故発生地) 新潟県	シュレッダー 不明	シュレッダーを使用中に紙づまりを生じたため、逆転ボタンを押して紙を取り除いたところ爆発し、目の上などに軽傷を負った。 (軽傷)	事故品の電気部品に異常は認められず、モーターやスイッチから出火した痕跡もないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/11/13)
2008-4530 2008/12/31 (事故発生地) 北海道	シュレッダー 約3年	使用中のシュレッダーが突然爆発し、爆風で腕と顔に火傷を負った。 (軽傷)	事故品の電気部品に異常は認められず、モーターやスイッチから出火した痕跡もないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/01/23)
2009-0367 2009/05/03 (事故発生地) 山口県	シュレッダー 約3年	シュレッダーに紙を入れたところ、「バン」という音とともに爆発して、発煙、発火し、煙により角膜に傷がついた。 (軽傷)	事故品は正常に動作し、モーター、基板等の電気部品に異常は認められないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 市町村 (受付:2009/05/07)
2008-4194 2008/12/22 (事故発生地) 東京都	シュレッダー SCA-415D アイリスオーヤマ(株) 約3年4か月	プラグを差し込んだままでスイッチは切っていたシュレッダーから異音が生じ、機器裏側のコードの付け根あたりから発煙、発火した。 (製品破損)	制御基板上のフィルムコンデンサーの部品不良により、コンデンサー内部で絶縁不良となり短絡し、発煙、発火したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/01/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1922 2007/04/00 (事故発生地) 大阪府	シュレッダー A4クロス アイリスオーヤマ (株) 約1年	事務所で使用していたシュレッダーの電源コード本体付け根部分から火花が出た。 (製品破損)	電源コードの本体側コードプロテクター部で断線し、焼損していることから、当該部の壁面への圧迫や屈曲等による強い機械的ストレスがコードに加わり、被覆が損傷し、芯線が半断線状態となり短絡・スパークしたものと推定される。 (B1)	2007(平成19)年7月31日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償でコードの交換を行っている。 なお、2005(平成17)年7月以降の製品については、さらなるコードの耐衝撃、強度向上のため、二重被覆の電源コード(VCTFKコード)に変更している。	消費者 (受付:2007/06/20)
2007-1923 2007/04/00 (事故発生地) 大阪府	シュレッダー EX-A4C アイリスオーヤマ (株) 約1年	事務所で使用していたシュレッダーの電源コード本体付け根部分から、大きな音とともに火が出た。 (製品破損)	電源コードの本体側コードプロテクター部で断線し、焼損していることから、当該部の壁面への圧迫や屈曲等による強い機械的ストレスがコードに加わり、被覆が損傷し、芯線が半断線状態となり短絡・スパークしたものと推定される。 (B1)	2007(平成19)年7月31日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償でコードの交換を行っている。 なお、2005(平成17)年7月以降の製品については、さらなるコードの耐衝撃、強度向上のため、二重被覆の電源コード(VCTFKコード)に変更している。	消費者 (受付:2007/06/20)
2009-0815 2009/05/05 (事故発生地) 岐阜県	シュレッダー 約3年1か月	シュレッダー付近から出火し、木造2階建て住宅を全焼した。 (拡大被害)	電源コード引き込み部に溶融痕が認められ、解析した結果、一次痕が二次痕が判定できなかったことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/06/19)
2009-0248 2009/03/00 (事故発生地) 東京都	スープ調理器 Y-2500 山本電気 (株) 約2日	スープ調理器で豆乳を作っていたところ、調理物があふれて軽い火傷を負った。 なお、取扱説明書で使用が推奨されている付属の容器カバーは、装着していなかった。 (軽傷)	当該製品はサイフォン方式のスープ調理器で、漏斗状の上容器に具材を入れ、調理物(液体)が漏斗の筒を通して上下容器を往復する構造であった。豆乳調理中に形成された膜が、漏斗筒部を塞いだために、上下容器の接続部からあふれた豆乳が、容器カバーを装着していなかったことで直接皮膚に接触し、火傷を負ったものと推定される。 なお、製品には、調理物があふれる危険性について注意表示されていなかった。	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視することとし、既製品についての措置はとらなかった。 なお、今後の製品については、出荷時に容器カバーの装着を必須とするチラシを同梱することとした。	消費者センター (受付:2009/04/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3204 2008/10/10 (事故発生地) 東京都	スチームアイロン SY-8800 (株) 総通 約2年	塩水に電極を浸け、通電時の発熱によりスチームを発生させるアイロンを使用中、スチームが勢いよく噴き出し、スイッチ付近から青白い火花が飛んでショートした。 (製品破損)	スチーム用水タンクに取り付けられた電極端子の埋め込みに不具合があったため、水タンク内から塩水が漏れ内部配線に付着し、塩水により電流が流れ異常発熱して内部配線の絶縁被覆が劣化し、短絡、スパークを生じたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/10/23)
2008-3594 2008/11/02 (事故発生地) 愛知県	スチームアイロン TA-GX100 東芝ホームテクノ (株) 不明	使用中のアイロンを立てたところ、本体後部から湯が出て、左腿に火傷を負った。 (軽傷)	事故品の気化室カバーの取付けが、カシメ不良であったため、隙間が生じスチームが漏れ本体後部から熱湯となって出たものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、2008(平成20)年4月から、カシメ工程の品質管理を徹底するとともに、カシメ不良への対策として、シール材を変更している。	製造事業者 (受付:2008/11/25)
2009-1434 2009/08/26 (事故発生地) 東京都	スチームアイロン アバンティス70 181560 (ブランド: ティファール) (株) グループセブ ジャパン 約2年	使用中のアイロンをスタンドに置いたところ、においがして発煙し、炎が見えた。 (製品破損)	電源コードの本体内接続端子部が、接触不良により異常発熱し、端子台の樹脂が炭化して絶縁不良となり、短絡・スパークしたものと考えられるが、接続端子部が接触不良となった原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/08/27)
2008-1148 2008/06/15 (事故発生地) 大阪府	スチームアイロン FV-4250JO (ブランド: ティファール) (株) グループセブ ジャパン 約1年	使用中のスチームアイロンの本体とコードの接続部分から突然発火した。 (製品破損)	当該機内部のコード押さえで電源コード芯線を傷付けたため、電源コードの可動式プロテクターによってコードに応力が加わり徐々に素線が切れ、最終的に断線した際、スパークとともに異臭がしたものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年7月25日付けで製造事業者のHP上で注意喚起を掲載した。 なお、コード押さえ部品の形状を2007(平成19)年3月初旬生産品より変更している。	消費者センター (受付:2008/06/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4382 2009/01/05 (事故発生地) 埼玉県	スチームアイロン FV-4250JO (ブランド： ティファール) (株) グループセブ ジャ パン 不明	アイロンを使用中、火花が出てスチ ーム吹出口から炭のようなものと煙が 出た。 (製品破損)	当該機内部のコード押さえで電源コード芯線を傷付 けたため、電源コードの可動式プロテクターによっ てコードに応力が加わり徐々に素線が切れ、最終的に断 線した際、スパークとともに異臭がしたものと推定さ れる。 (A1)	2008 (平成20) 年7月25日付けで製造 事業者のHP上で注意喚起を掲載した。 なお、コード押さえ部品の形状を2007 (平 成19) 年3月初旬生産品より変更している。	消費者センター (受付:2009/01/19)
2008-4047 2008/12/20 (事故発生地) 福島県	スチームアイロン 約2年	アイロンに水を入れて温まるのを待 っていたら、焦げる臭いがしだし部屋 中に煙が充満した。 (製品破損)	当該品は正常に動作し発煙等の異常はなく、分解し たところヒーター部に炭化物の付着が認められること から、注水の際に異物が混入したため、加熱されて一 時的に発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『にごった水等は使わない。 腐食や故障の原因となる。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/12/24)
2008-4437 2008/12/24 (事故発生地) 北海道	スチームクリーナー (モ ツップ型) 約2回	使用中のスチームクリーナーのモツ ップ部分から火花が散った。 (被害なし)	事故品を調査していた中国の工場が倒産し、事故品 が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であ るため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/01/20)
2009-0623 2009/04/00 (事故発生地) 神奈川県	ステレオ (アンプ) DSP-Z11 ヤマハ (株) 約11か月	アンプのフロントパネルと可動パネ ルの隙間に落とした物を取り出すた めに、可動パネルを半開きにして、指を 差し込み左右に動かして探していたと ころ、フロントパネルの角で指を切っ た。 (軽傷)	当該品は、フロントパネルの角の面取りが不十分で あったため、指が触れた際に軽傷を負ったものと推定 される。 (A2)	他に同種事故の情報はなく、通常は触れること のない部分であるため、既販品については、措置 はとらなかった。 なお、2009 (平成21) 年5月18日以降 の新規生産品については、面取り量を増やす加工 を追加し、限度見本を作成して管理する製造工程 の改善を行った。	輸入事業者 (受付:2009/05/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4185 2008/09/26 (事故発生地) 神奈川県	ディスポージャー DPMK (株) INAX 約1年1か月	ディスポージャーが作動したまま止まらなくなり、本体側面のカバーが熱で溶融した。 (製品破損)	熱湯などによる急激な温度変化や洗剤の影響を受けやすい構造であったため、本体を流し台の排水口に固定する接続部に亀裂が生じ、漏れた汚水が本体カバーの継ぎ目から内部に浸入し、基板上でトラッキング現象が生じ、モーターへの電源供給が止まらなくなるとともに外郭樹脂が溶融したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年7月28日付けホームページに社告を掲載し、無償で点検修理を実施している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/01/06)
2008-4509 2009/01/19 (事故発生地) 東京都	デジタルフォトフレーム SV1011 コダック(株) 約2日	使用中のデジタルフォトフレームから「ボン」という音がし、焦げ臭いにおいがして発煙した。 (製品破損)	当該品の基板上に使用している現在日時バックアップ用のニッケル水素電池のガスケットが外れており、外郭樹脂や絶縁テープ等の一部が溶融・焼損しているが、原因の特定はできなかった。 (G3)	製品に起因する事故であるが、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、2008(平成20)年6月以降の生産品は、ニッケル水素電池からコンデンサーに部品を変更することとした。	輸入事業者 (受付:2009/01/22)
2007-2611 2007/07/22 (事故発生地) 福島県	トースター 不明	施設の一室から出火し、トースターやカーペットの一部が焼けた。 (拡大被害)	トースターから出火したのと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/07/30)
2008-1485 2008/07/11 (事故発生地) 東京都	トースター KT-680 (株)カンサイ 約1年	使用開始後約5分のポップアップ式トースターから30cm余の炎が上がったので、流しに持って行って水をかけて消火した。中のパンはほとんど焼けていなかった。 (製品破損)	事故品の基板の焼損が激しく、基板と電源コードの圧着部分が炭化して電源コードが外れていることから、当該部分からの異常発熱で発火したと考えられるが、当該部分が異常発熱した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/07/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1192 2009/06/00 (事故発生地) 愛知県	トースター 10617JP (株)大石アンドアソシエイツ 約1年11か月	ポップアップ式トースターでパンを焼き上げたが、パンを取り出した後もスイッチが切れず、本体が触れないほど高温になった。 (製品破損)	当該品のポップアップレバーと連動する電源スイッチに接点不良品が混入したため、接点が異常発熱して、付近の樹脂が熱変形したことにより、スイッチが切れなくなり本体が熱くなったものと推定される。 (A3)	他に同種事故の情報はなく、温度ヒューズが作動し拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/07/28)
2008-4005 2008/01/00 (事故発生地) 愛知県	ノートパソコン Lavie L PC-LL370FD NECパーソナルプロダクツ(株) 約1年2か月	ノートパソコンの電源が入らなくなり、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	ACアダプターからの充電電流を制御するICに不良品が混入したため、ICが内部短絡を起こし、周辺のダイオードや基板パターンが焼損したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/19)
2007-5318 2007/08/21 (事故発生地) 奈良県	ノートパソコン 約4年	ノートパソコンとパソコン2台及びプリンターをUSB切替器に接続して、パソコンを使用していたところ、電源をオフ状態にしていたノートパソコンから異臭がし、机上のガラス板が割れた。 (拡大被害)	USB切替器に不具合が生じたため、当該ノートパソコンの電源オフ時に、USB切替器を経由して他のパソコンから電圧が印加されてCPUが異常発熱し、底面ケースが溶融した可能性が考えられるが、USB切替器が入手できないことから、調査できなかった。	USB切替器が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2008/01/09)
2009-0467 2009/04/20 (事故発生地) 東京都	ノートパソコン dynabook AX/2525CMS (PAAX2525CMS) (株)東芝 約4年9か月	ノートパソコンの上面の一部が熱変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0714 2004/10/05 (事故発生地) 不明	ノートパソコン dynabook AX/2525CMS (PAAX2525CMS) (株) 東芝 約3か月	パソコン内部が発熱し、キーボードの一部が変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/10)
2009-0715 2004/10/20 (事故発生地) 長崎県	ノートパソコン dynabook AX/2525CMS (PAAX2525CMS) (株) 東芝 約4か月	パソコンのキーボードの一部が変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/10)
2009-0716 2004/11/19 (事故発生地) 不明	ノートパソコン dynabook AX/2525CMS (PAAX2525CMS) (株) 東芝 約4か月	パソコン内部が発熱し、キーボードの一部が変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/10)
2009-0717 2004/12/22 (事故発生地) 愛知県	ノートパソコン dynabook AX/2525CMS (PAAX2525CMS) (株) 東芝 約7か月	パソコンの電源スイッチを投入後、しばらくして筐体の一部が変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0718 2005/01/07 (事故発生地) 兵庫県	ノートパソコン dynabook AX/2525CMS (PAAX2525CMS) (株) 東芝 約7か月	パソコン内部が発熱し、キーボードの一部が変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/10)
2009-0719 2005/01/14 (事故発生地) 大阪府	ノートパソコン dynabook AX/2525CDSV (PAAX2525CDSV) (株) 東芝 約6か月	パソコン内部が発熱し、筐体の一部が変形した。 (製品破損)	パソコン起動時においてパソコンが応答しなくなる状態になった場合に、CPUの放熱が十分に行えなくなるため、CPU直上のキーボード右上部が熱変形したものと推定される。 (A1)	2004(平成16)年12月17日及び2005(平成17)年3月11日付けホームページに告知を掲載し、パソコンが応答しなくなった場合においても放熱制御が行われるよう、ファームウェアを更新し無償で配信している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/10)
2009-0529 2009/04/22 (事故発生地) 神奈川県	ノートパソコン HP Mini 1000 NE576PA-AAAA 日本ヒューレット・パッカ ード(株) 約2日	未使用のノートパソコンのバッテリーの一部が溶けていた。 (製品破損)	バッテリーパック製造時に、バッテリーセルに傷を付け、セル内に湿気が入り電圧が低下したが、セル間の電圧のアンバランスを検知するプログラムの設定が適切でなかったため、安全装置が作動せずバッテリーパックが不安定な状態となって異常発熱し、バッテリーパックの樹脂ケースを溶融させたものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年6月10日より、ユーザーに対して更新プログラムを配信している。 なお、今後の生産品については、プログラムを更新するとともに、バッテリーセルに保護テープを貼付することとした。	販売事業者 (受付:2009/05/21)
2007-3368 2007/09/01 (事故発生地) 愛知県	ノートパソコン PC-VA16SAGEAEFG NECパーソナルプロダク ツ(株) 約2か月	ノートパソコンの電源を切るうとしたところ、「バチバチ」と音がして、本体左後部から発煙と異臭がし、ノートパソコンを持ち上げた際に、左手小指に軽い火傷を負った。 (軽傷)	メイン基板上のセラミックコンデンサーに不良品が混入したため、異常発熱して発煙、異臭がしたものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2007/09/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2051 2009/07/02 (事故発生地) 福岡県	ノートパソコン VGN-TZ71B ソニーイーエムシーエス(株) 約1年7か月	電源を入れた状態のパソコンのカメラの裏側が溶けて変形し、触れた右手の中指に軽い熱傷を負った。 (製品破損)	液晶画面上方の枠内に内蔵された小基板の部品不良により、基板部で短絡が生じ、電流増加によって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で修理、点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/10/21)
2009-0696 2009/05/29 (事故発生地) 京都府	ノートパソコン PC-LJ7007E NECパーソナルプロダクツ(株) 約6年	ノートパソコンをシャットダウンした後、電源コードの接続部周辺から発煙した。 (製品破損)	基板上にある液晶画面用コネクタにフレキシブルケーブルを差し込む製造工程で作業ミスがあったため、近くにあったチップコンデンサーに応力が加わりマイクロクラックが生じ、使用とともに徐々に絶縁性が低下し、最終的に内部ショートして発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、コンデンサーの発煙、焦げのみで終息しており、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 製造事業者 (受付:2009/06/08)
2008-4951 2008/02/06 (事故発生地) 長野県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダクツ(株) 不明	ノートパソコンから発煙した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低いものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生したため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年2月12日付けのホームページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)
2008-4952 2008/02/11 (事故発生地) 徳島県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダクツ(株) 不明	ノートパソコンから発煙した。 (被害なし)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低いものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生したため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年2月12日付けのホームページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4953 2008/02/20 (事故発生地) 鹿児島県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダク ツ(株) 約3年8か月15日	ノートパソコンから発煙した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低い ものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に 微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生し たため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定 される。	2009(平成21)年2月12日付けのホー ムページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)
2008-4954 2008/03/19 (事故発生地) 愛知県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	ノートパソコンから発煙した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低い ものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に 微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生し たため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定 される。	2009(平成21)年2月12日付けのホー ムページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)
2008-4955 2008/04/19 (事故発生地) 神奈川県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	ノートパソコンから発煙した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低い ものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に 微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生し たため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定 される。	2009(平成21)年2月12日付けのホー ムページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)
2008-4956 2008/05/29 (事故発生地) 神奈川県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	ノートパソコンの電源が切れ、発煙 した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低い ものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に 微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生し たため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定 される。	2009(平成21)年2月12日付けのホー ムページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4957 2008/07/14 (事故発生地) 広島県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	ノートパソコンから発煙した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低いものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生したため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年2月12日付けのホームページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)
2008-4958 2008/07/23 (事故発生地) 山梨県	ノートパソコン PC-LL7509D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	ノートパソコンから発煙した。 (製品破損)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低いものがあり、使用環境温度・湿度の影響により内部に微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生したため、過電流が生じて発熱し異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年2月12日付けのホームページで告知し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/18)
2009-0039 2009/02/26 (事故発生地) 愛知県	ノートパソコン PC-LM5005D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	使用中のノートパソコンから異臭が発生し、本体底面に穴が開き、机が焦げた。 (拡大被害)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低いものがあり、通常の使用環境での温・湿度の影響により内部に微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生したため、過電流が生じて発熱し、コンデンサーの0.5ミリメートル下にある樹脂製の底面ケースに数ミリ程度の穴が開いたものと推定される。 (A3)	2007(平成19)年7月13日付けのホームページで告知するとともに、ユーザーにDMの送付及び電子メールを送信し、無償修理を行っている。 なお、今後の商品については、部品の信頼性試験を強化し、経時的不具合の検出をさらに強化することとした。	製造事業者 (受付:2009/04/02)
2009-0684 2009/05/10 (事故発生地) 大阪府	ノートパソコン PC-LM5008D NECパーソナルプロダク ツ(株) 不明	使用中のノートパソコンから異臭がし、本体に穴が開き、ふとんが焦げた。 (拡大被害)	使用されていたコンデンサーの中に、耐湿性の低いものがあり、通常の使用環境での温・湿度の影響により内部に微小なクラックが発生し、吸湿して絶縁破壊が発生したため、過電流が生じて発熱し、コンデンサーの0.5ミリメートル下にある樹脂製の底面ケースに数ミリ程度の穴が開いたものと推定される。 (A3)	2007(平成19)年7月13日付けのホームページで告知するとともに、ユーザーにDMの送付及び電子メールを送信し、無償修理を行っている。 なお、今後の商品については、部品の信頼性試験を強化し、経時的不具合の検出をさらに強化することとした。	製造事業者 (受付:2009/06/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3614 2007/02/14 (事故発生地) 埼玉県	ノートパソコン 約2年1か月	使用中のパソコンから焦げたにおいがした後、後部付近から煙が出たのでCPU付近のふたを開け確認したところ、部品が焼けて亀裂が入っていた。 なお、2005(平成17)年9月にも同じ製品で同様の現象が起り、修理している。	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/03/01)
2008-4198 2008/11/23 (事故発生地) 北海道	ノートパソコン 約9日	ノートパソコンを充電していたところ、キーボード部分が焦げて発煙した。	事故品のマザーボード基板上の回路に過電圧が加わり、複数の電子部品が異常発熱し焼損して、隣接するキーボードを焦がした可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	輸入事業者 (受付:2009/01/07)
2008-3127 2008/07/28 (事故発生地) 北海道	ノートパソコン 約1か月14日	ノートパソコンを開けたところ、金具、ビスが外れて手の甲に当たり、擦過傷を負った。	当該製品のヒンジ部分の破損原因について特定することができなかったこと、また、部品の飛び出しによる負傷の可能性は低いことから、事故原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/10/20)
2008-1116 2008/05/26 (事故発生地) 東京都	ノートパソコン 約1年2か月	ノートパソコンを使用中に右手が赤くなり、『チクチク』と痛み出した。	当該品に異常は認められないことから、使用時の温度上昇の影響により、低温火傷に近い状態となった可能性が考えられるが、使用状況の詳細が不明なため、原因の特定はできなかった。 なお、取扱説明書には『本体底面やパームレストに長時間接触していると低温火傷のおそれがある。キーボードを使用の際は、定期的に休憩をとり、パームレストから手を離す。』旨記載されている。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2008/06/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0918 2009/06/07 (事故発生地) 東京都	ノートパソコン VGN-TZ92S ソニーイーエムシーエス(株) 約1年2か月	ノートパソコンをソファに置いていたところ、焦げ臭いにおいがし、バッテリーとソファの一部が焦げて溶けた。 (拡大被害)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡したことによって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で点検、修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/07/01)
2009-1446 2009/07/24 (事故発生地) 東京都	ノートパソコン VGN-TZ90HS ソニーイーエムシーエス(株) 約1年10か月	パソコンを起動中、焦げ臭いにおいがしてディスプレイの枠が変形し、触れた左手人差し指が赤くなった。 (軽傷)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡したことによって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で点検、修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/08/31)
2009-1447 2009/07/25 (事故発生地) 東京都	ノートパソコン VGN-TZ90S ソニーイーエムシーエス(株) 約1年11か月	パソコンから異臭がして電源差込部が変形し、触れた左手人差し指と親指が赤くなった。 (軽傷)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡したことによって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で点検、修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/08/31)
2009-1448 2009/07/31 (事故発生地) 鳥取県	ノートパソコン VGN-TZ90NS ソニーイーエムシーエス(株) 約2年	パソコンをベッドの上に置いていたところ、コネクタ付近が焦げて変形し、キャリングカバーも焦げた。 (拡大被害)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡したことによって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で点検、修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/08/31)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2052 2009/09/18 (事故発生地) 広島県	ノートパソコン VGN-TZ90S ソニーイーエムシーエス(株) 約2年3か月	使用中のパソコンのDCジャック部周辺が変形し、パソコンを持ち上げた左手人差し指に軽い熱傷を負った。 (製品破損)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡したことによって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で修理、点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/10/21)
2009-2053 2009/09/24 (事故発生地) 東京都	ノートパソコン VGN-TZ72B ソニーイーエムシーエス(株) 約2年5か月	パソコンの排気口部分から発煙して、プラグ差込口付近が溶けて変形し、パソコンを持ち上げた左手人差し指に軽い熱傷を負った。 (製品破損)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡したことによって異常発熱し、熱変形したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年9月4日付け、ホームページに社告を掲載し、無償で修理、点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/10/21)
2007-3133 2007/08/25 (事故発生地) 福島県	ノートパソコン D400E アロシステム(株) 約3年10か月	パソコンを数時間使っていたら、焦げ臭いにおいがし、キーボードの下から煙が出た。 (製品破損)	内部配線の引き回しの不良により、本体と液晶画面を接続する内部配線が液晶画面の開閉時に可動部に接触し、内部配線の被覆が損傷し、短絡した際に発煙したものと推定される。 (A2)	最終的に保護装置が作動して通電が停止し、発煙のみで終息していることから、既製品について措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2007/08/28)
2008-1940 2008/07/15 (事故発生地) 静岡県	ノートパソコン(モバイル型) HP2133 日本ヒューレット・パッカ ード(株) 約10日	ノートパソコンをセットアップ中に本体裏面が高温になり、指先に軽い火傷を負った。 (軽傷)	当該品は、モバイルタイプのノートパソコンで手に持って長い時間使用したため、本体底面の発熱で軽い低温火傷を負ったものと推定される。 なお、画面上で確認できる内蔵のマニュアルには火傷に関する注意表示がされているが、冊子に注意表示は記載されていなかった。 (A4)	他に同種事故発生の情報がないことから、既製品については、措置はとらなかった。 なお、2008(平成20)年9月末日から低温火傷に関する注意表示を冊子に追加している。	消費者センター (受付:2008/08/12)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4447 2009/01/11 (事故発生地) 東京都	バスポンプ FBP-59 (株) ジェイオーケー 約4か月	使用中のふる用ポンプから発煙した。 (製品破損)	当該品のポンプモーター軸の防水パッキンの厚さが均一でなかったため、モータ内部に水が浸入して、過負荷状態になり、電源基板にあるパワートランジスタに過電流が流れ、発煙したものと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/20)
2008-3820 2008/09/22 (事故発生地) 神奈川県	パソコン 2196-47M 日本アイ・ピー・エム(株) 約8年2か月	パソコンから異臭がし、キーボードの一部が溶けて穴が開いた。 (製品破損)	キーボード内部の基板上にある制御ICが内部短絡したため、近接する抵抗に過電流が流れ、異常発熱・焼損して外郭樹脂を溶かし穴を開けたものと考えられるが、制御ICが内部短絡した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、抵抗がオープン状態で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2008/12/08)
2008-0751 2008/05/07 (事故発生地) 東京都	パソコン 不明	パソコン電源ケーブルの本体側コネクタ付近を触ったところ、感電した。 (軽傷)	パソコン本体内部に液体が浸入した痕跡があることから、誤ってパソコンに液体をかけたため、内部に液体が浸入して漏電し、電源ケーブルの本体側コネクタ付近に触れた時に感電したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/05/20)
2008-3643 2008/09/29 (事故発生地) 東京都	パソコン 0406Lm-i701 (株) マウスコンピュータ 約4年2か月	使用中のデスクトップパソコンから発煙し、異臭が立ち込めた。 (製品破損)	メイン基板上に使用しているダイオードに不良品が混入したため、ダイオードが内部短絡し異常発熱して、発煙・焼損したものと推定される。	他に同種事故の情報はなく、単品不良とみられる事故であり、筐体は金属を用いており火災等の拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は2004年7月に製造・販売が終了している。	製造事業者 (受付:2008/11/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2606 2007/07/22 (事故発生地) 山形県	パソコン 約4年11か月	使用中のパソコンから煙が出て部屋中に煙が充満し、電源が切れて作動しなくなった。 (拡大被害)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/07/27)
2008-4195 2008/05/00 (事故発生地) 東京都	パソコン 約3年	冷却水の漏れが原因でパソコンが起動しなくなり、パソコンを置いていたフローリングの床にシミができた。 (拡大被害)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2009/01/06)
2007-0657 2007/04/10 (事故発生地) 福岡県	パソコン 約1年3か月	パソコン付近から出火し、住宅が全焼した。 (拡大被害)	事故品の焼損が著しいため、原因の特定ができなかった。 (G2)	事故品の焼損が著しく、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター 製造事業者 (受付:2007/05/15)
2008-1393 2008/07/03 (事故発生地) 大阪府	パソコン 約2年11か月	使用中のデスクトップパソコンから焦げ臭いにおいがして発煙し、火花が散った。 (製品破損)	事故品は既に廃棄されており、入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/07/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0478 2009/05/08 (事故発生地) 静岡県	パソコン VGC-M50B/S ソニーイーエムシーエス(株) 約4年5か月	パソコンの電源が入らず、焦げ臭いにおいがした後、「パン」という爆発音とともに発煙した。 (製品破損)	電源ユニットに使用しているダイオードが不良品であったため、内部短絡により過電流が流れて異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A3)	ヒューズが作動して発煙のみで終息し、さらに電源ユニットは金属ケースで囲われており、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/05/14)
2009-0675 2009/06/03 (事故発生地) 石川県	パソコン FMVCE40Y 富士通(株) 約4日	使用中のパソコンから異音とともに煙が出て、電源が切れて作動しなくなった。 (製品破損)	電源ユニット内のダイオードに不良品が混入したため、内部短絡し異常発熱を生じて発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、電流ヒューズの作動により拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/06/04)
2009-0853 2009/06/22 (事故発生地) 東京都	パソコン INSPIRON 545S デル(株) 約17日	パソコンを使用中、突然画面が消えたので電源を入れ直したところ、異音が生じ、本体から発煙した。 (製品破損)	電源ユニット内部の一部が焼損したものと推定されるが、焼損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/06/24)
2008-2083 2008/07/18 (事故発生地) 長野県	パソコン Endeavor Pro4300 エプソンダイレクト(株) 約5か月	パソコンの電源を入れたところ、しばらくして「バーン」という破裂音とともに電源が切れ、発煙した。 (製品破損)	電源回路に使用しているセラミックコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサーが異常発熱して短絡し、トランジスターに過電流が流れて異常発熱し、樹脂製パッケージが破損した際に、発煙、異音が生じたものと推定される。 (A3)	最終的に電流ヒューズが溶断して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、今後は品質管理の徹底を図ることとした。	製造事業者 (受付:2008/08/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1864 2008/07/01 (事故発生地) 茨城県	パソコン Endeavor Pro4300 エプソンダイレクト(株) 約4か月	パソコンの電源を入れたところ、異臭がして破裂音とともに電源が切れた。 (製品破損)	電源回路に使用しているセラミックコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサーが異常発熱して短絡し、異臭が発生するとともに、トランジスターに過電流が流れて異常発熱し、樹脂製パッケージが破損した際に、異音が生じたものと推定される。 (A3)	最終的に電流ヒューズが溶断して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、今後は品質管理の徹底を図ることとした。	製造事業者 (受付:2008/08/07)
2008-3221 2008/10/17 (事故発生地) 神奈川県	パソコン LX90R/D 富士通(株) 約2年8か月	使用中のデスクトップ型パソコンの画面が消えて金属が燃える臭いがし、煙が出て、パソコン内部に火が見えた。 (製品破損)	電源基板上のコンデンサーのはんだ付け部とグラウンド間で短絡したため、過電流により異常発熱し、基板および抵抗が焼損したものと考えられるが、短絡した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2008/10/24)
2008-1410 2008/06/28 (事故発生地) 神奈川県	パソコン Dimension2400C デル(株) 約4年5か月	パソコンの電源を入れたところ、焦げ臭いにおいがして発煙し、異音が生じて電源が切れた。 (製品破損)	電源供給ユニット基板上のACコネクタのはんだ付け接続部が機械的疲労により接続不良となり、接触不良を生じて発熱し、焼損、発煙したものと推定される。 (A2)	当該機の外郭は金属製であり、拡大被害の可能性は低いことから、既製品については、特に措置はとらないが、2008(平成20)年9月30日付けホームページで掲載し、稀に発煙すること等があった場合は、連絡するよう呼びかけている。 なお、はんだ付け工程のはんだ面の高さ、限度見本の見直しなど検査工程の管理を強化している。	消費者 (受付:2008/07/08)
2008-3210 2006/09/16 (事故発生地) 長崎県	パソコン Dimension4600c デル(株) 約2年6か月	使用中のパソコンから異音が生じ、機器背面から発火した。 (製品破損)	電源供給ユニット基板上のACコネクタのはんだ付け接続部が機械的疲労により接続不良となり、接触不良を生じて発熱し、焼損、発煙したものと推定される。 (A2)	当該機の外郭は金属製であり、拡大被害の可能性は低いことから、既製品については、特に措置はとらないが、2008(平成20)年9月30日付けホームページで掲載し、稀に発煙すること等があった場合は、連絡するよう呼びかけている。 なお、はんだ付け工程のはんだ面の高さ、限度見本の見直しなど検査工程の管理を強化している。	輸入事業者 (受付:2008/10/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0280 2009/04/18 (事故発生地) 大阪府	パソコン 約2年5か月	集合住宅の一室のパソコンの電源コード付近から出火し、約50平方メートルを全焼した。 (拡大被害)	当該品本体に発火した痕跡は認められず、電源コードに溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕か判定できず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/04/22)
2009-0704 2009/06/06 (事故発生地) 栃木県	パソコン 約4年	パソコンの電源を入れて5～6分後に異臭がし、発煙、発火した。 (製品破損)	本体内蔵のハードディスク用の電源コネクタが1ピン分ずれて接続されていたため、ショートし電源コネクタのコードが異常発熱し発煙、発火したものと考えられるが、販売後、電源コネクタピンがずれて接続された経緯が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/06/09)
2009-0123 2009/04/03 (事故発生地) 愛知県	パソコン Endeavor MR2100 エプソンダイレクト (株) 約3年	使用中のパソコンから異臭がし、発煙した。 (製品破損)	冷却用ファンユニットのファンコイルまたは回転制御用ICに不良品が混入したため、巻線に過電流が流れ、発熱・発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/04/10)
2008-4426 2006/08/00 (事故発生地) 神奈川県	パソコン (テレビ付) FMV-T50G 富士通 (株) 約2年4か月	パソコンの電源を入れても液晶のバックライトがつかず異臭がし、発煙したので電源部品を交換したが、約2年後同様の事故が発生した。 (製品破損)	電源ユニットの電解コンデンサーが故障し異常発熱したため、電解コンデンサーの内圧が上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/01/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1785 2009/07/31 (事故発生地) 愛媛県	パソコン（テレビ付） FMVLX70L 富士通（株） 約2年4か月20日	使用中のパソコンの下部から発煙した。 (軽傷)	電源ユニット内に使用されているフィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、コンデンサーが内部短絡等により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A3)	発煙のみで終息しており、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/09/30)
2009-2032 2009/04/20 (事故発生地) 三重県	パソコン（テレビ付） FMVLX70L 富士通（株） 約3年11か月	パソコン使用中、電源ケーブル付近から煙が出た。 (製品破損)	電源ユニット内に使用されているフィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、コンデンサーが内部短絡等により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A3)	発煙のみで終息しており、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/10/21)
2009-2033 2009/08/18 (事故発生地) 東京都	パソコン（テレビ付） FMVLX90LD 富士通（株） 約4年	パソコン背面から焦げたにおいがした。 (製品破損)	電源ユニット内に使用されているフィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、コンデンサーが内部短絡等により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A3)	発煙のみで終息しており、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/10/21)
2009-2035 2009/09/02 (事故発生地) 愛知県	パソコン（テレビ付） FMVLX70LG 富士通（株） 約4年1か月	パソコンの左側から発煙した。 (製品破損)	電源ユニット内に使用されているフィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、コンデンサーが内部短絡等により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A3)	発煙のみで終息しており、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/10/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1231 2009/07/25 (事故発生地) 大阪府	パソコン（テレビ付） IT-PC26M1 シャープ（株） 約3年10か月	パソコンのモニターの背面、右上通風孔から異臭がし、発煙、発火した。 (製品破損)	電源基板上のフィルムコンデンサーに不良品が混入していたため、内部短絡により発熱し、発煙したものと推定される。 (A3)	2009（平成21）年6月8日付けホームページに告知を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	消費者 (受付:2009/08/03)
2008-5322 2009/03/12 (事故発生地) 神奈川県	パソコン（テレビ付） バリュースター PC-VH3007A NECパーソナルプロダクツ（株） 約5年	使用中のパソコンから発煙し、煙を吸って気分が悪くなった。 (軽傷)	本体内蔵の電源ユニットで使用しているコイルのコア材に、異なった部品が誤って使用されたため、コイルが異常発熱し、隣接するコンデンサーが長期間の温度ストレスのため、コンデンサーの内部損失が大きくなり、自己発熱により誘電体フィルムが劣化し、誘電体を挟む電極間でショートし、コンデンサー内部のフィルムが熱膨張して、コンデンサー外装樹脂に亀裂が入り、発煙したものと推定される。 (A2)	平成18年12月18日にホームページ及び19日付けの新聞に社告を掲載し、当該機種の出荷済み品について回収・修理を行っている。	消費者センター (受付:2009/03/19)
2008-5188 2009/01/14 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（DVDドライブ） 不明	パソコンに接続したDVDドライブ付近から出火し、パソコンと近くに置いたデジタルカメラの一部が溶けた。 (拡大被害)	DVDドライブの電源スイッチはOFFの状態樹脂が溶着しており、電源基板にも異常はないことから、当該製品からの出火ではないと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/09)
2009-0333 2009/04/13 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（ケーブルモデム） TeraJet735 住商情報システム（株） 不明	通電中のパソコンのケーブルモデムから異臭がした。 (製品破損)	チップトランジスタが異常発熱したため、異臭がしたものと考えられるが、異常発熱した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、異臭のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-7023 2008/02/25 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（ス イッチングハブ） FSW8A（W） （株）コレガ 約2年6か月	パソコンを使用中に異臭がし、スイ ッチングハブが熱くなって、器具の表 面が焦げた。 (製品破損)	電解コンデンサーの部品不良によって安全弁が動作 したことにより、電源部周辺が異常発熱したため、樹 脂ケースが溶けて変形したものと推定される。 (A3)	2005（平成17）年9月12日付けの新聞 及びホームページに社告を掲載し、製品の回収を 行っている。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了している 。 (受付:2008/03/17)	消費者
2009-1881 2009/09/01 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（ス キャナー） 約4年11か月	スキャナーを清掃していたところ、 装置内部の金具に右手が触れて、親指 の付け根に切り傷を負った。 (軽傷)	スキャナーの内部が確認できない状況でスキャナー 内部を清掃した際に、布等でスキャナー内部の板バネ を引っかけたため板バネが変形し、親指の付け根に触 れて切り傷を負ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるが、 2008（平成21）年10月から、事業者のホ ームページに掲載する取扱説明書に、スキャナー 内部の清掃時の注意事項を追記した。また、後継 機種については、2008（平成21）年10月 から出荷の製品に、注意図記号ラベルを貼付する とともに、清掃時の注意事項を記載したリーフレ ットを添付する。 (受付:2009/10/07)	輸入事業者
2009-0767 2009/04/21 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（ハ ードディスク） HDL-GT1.0 （株）アイ・オー・デー タ 機器 約11か月	室内で焦げ臭いにおいがし、ハード ディスクから大量に発煙した。 (製品破損)	電源回路ユニットの製造工程で、チョークコイルを 覆っているシールド銅板を取り付ける際にコイルを傷 つけたため、チョークコイルの巻線と銅板の間で短絡 が生じ、発煙したものと推定される。 (A2)	安全装置（電流ヒューズ）が作動し終息し、事 故部位は金属ケースで覆われており、拡大被害に 至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況 を注視し、必要に応じて対応することとした。 (受付:2009/06/15)	消費者
2008-1710 2008/07/06 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（ハ ードディスク） 約1日	ハードディスクから発煙し、使用で きなくなった。 (製品破損)	当該品に異常電圧が印加されたため、ダイオードが 破損し発煙したのと考えられるが、接続していた電 源装置や使用状況等が確認できないことから、原因の 特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。 (受付:2008/08/04)	消費者センター

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2238 2009/11/03 (事故発生地) 東京都	パソコン周辺機器（ハードディスク用ケース） SDB-4U-BK (株)セリング 約1年7か月	ハードディスクより発煙・発火した。 (製品破損)	制御基板上に使用しているICが不良品であったため、内部短絡により過電流が流れて異常発熱し、発煙・焼損したものと推定される。 (A3)	輸入事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。 	消費者センター (受付:2009/11/10)
2009-0306 2005/10/22 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中にエラー表示が消えなくなり、プリンターのプリントヘッド付近から白煙が出た。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱、発煙したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。 	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0307 2005/11/00 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中に突然プリンターが止まり、機内から発煙した。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱、発煙したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。 	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0308 2005/12/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから発煙した。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱、発煙したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。 	輸入事業者 (受付:2009/04/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0309 2005/12/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターのプリントヘッド周辺から煙が出た。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱、発煙したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0310 2005/12/24 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	交換のため、インクカートリッジを取り出したところ、プリンターのヘッド部分から煙が出た。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱、発煙したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0304 2005/09/00 (事故発生地) 京都府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから異音が生じ、プリントヘッド周辺が溶けた。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0305 2005/10/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 約1年8か月	カラー印刷ができなくなったので確認したところ、プリンターのプリントヘッド周辺が焦っていた。 (製品破損)	プリントヘッドの電気回路部分が絶縁劣化し、インクを通じて短絡回路が形成されて発熱したものと推定されるが、事故品を紛失しているため、詳細な調査ができず、原因の特定はできなかった。 (G2)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5098 2008/10/00 (事故発生地) 兵庫県	パソコン周辺機器（プリンター） 約1年	プリンターで印刷したところ、紙の一部が焦げた。 (拡大被害)	事故品の内部を確認したところ、焼損や異常発熱の痕跡は認められず、印刷を行った際も用紙の焼損は生じないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (G1)	消費者センター (受付:2009/03/02)
2007-3708 2007/09/17 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 約4年	使用中のプリンターのインク部分周辺から発煙し、焦げ臭いにおいがしてきた。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2007/10/09)
2009-0311 2006/05/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターのプリントヘッドから煙が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0312 2006/06/00 (事故発生地) 東京都	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷後しばらくして、プリンターから煙が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0313 2006/08/00 (事故発生地) 熊本県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 約2年6か月	プリンターのインクカートリッジを交換しようとしたところ、発煙し、プリンターのヘッド周辺が溶けていた。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0314 2006/07/29 (事故発生地) 愛知県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから異臭がして発煙し、インクヘッドのインク吹出口付近から出火した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0315 2006/08/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンター本体から煙が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0316 2006/08/23 (事故発生地) 栃木県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源を入れたところ、エラー表示が出て発煙し、プリントヘッドから火花が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0317 2006/09/03 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源が落ちて、インクカートリッジ部分から煙が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0374 2006/10/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0375 2006/10/00 (事故発生地) 東京都	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0378 2006/11/00 (事故発生地) 福井県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのヘッド部分から発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0380 2006/12/00 (事故発生地) 愛知県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	不具合のためプリンターのヘッド部分を取り付け直していたところ、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0381 2007/01/00 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから発煙し、部品の一部が溶けた。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0383 2007/01/00 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源を入れたところ、ヘッド部分から異臭がし、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0384 2007/03/00 (事故発生地) 千葉県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのヘッド付近から発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0386 2007/04/00 (事故発生地) 兵庫県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源を入れたところ、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0387 2007/04/27 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから焦げ臭いにおいがしたので前カバーを開けたところ、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0388 2007/06/00 (事故発生地) 福岡県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源が入らず、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0389 2007/06/01 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから発煙し、ヘッド付近から火花が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0570 2007/07/13 (事故発生地) 東京都	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのインクを交換後、排紙トレイの周辺から発煙し、火花が出た。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0571 2007/07/16 (事故発生地) 岐阜県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのインクを交換後、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0572 2007/07/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから異臭がし、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0573 2007/08/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから発煙し、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0574 2007/08/00 (事故発生地) 静岡県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源を入れようとしたところ、発煙し、異臭がした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0575 2007/08/00 (事故発生地) 群馬県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのヘッド部から発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0576 2007/08/00 (事故発生地) 東京都	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0578 2007/09/05 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのフロントカバーを開けたところ、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0579 2007/09/07 (事故発生地) 神奈川県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷後、プリンターから発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0580 2007/09/00 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0582 2007/09/00 (事故発生地) 静岡県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターのプリントヘッド辺りから発煙し、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0583 2007/09/19 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから発煙し、異臭がした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0584 2007/09/23 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから発煙し、異臭がした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0585 2007/10/00 (事故発生地) 静岡県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターに紙が詰まり、何度か電源を入れ直したところ、発煙した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱、発煙した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0318 2006/12/00 (事故発生地) 徳島県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	印刷中のプリンターから火花が出て、電源が入らなくなった。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/27)
2009-0376 2006/10/00 (事故発生地) 京都府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターが動かなくなり、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0377 2006/10/31 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのヘッド部分を交換時、ヘッドが焼損した。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0379 2006/12/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターのヘッド部分が動かず、溶けていた。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0382 2007/01/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから異音と異臭がした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)
2009-0385 2007/03/21 (事故発生地) 群馬県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源を入れたところ、焦げ臭いにおいがし電源が入らなかった。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0569 2007/06/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0577 2007/09/00 (事故発生地) 兵庫県	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターの電源ランプが点灯せず、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2009-0581 2007/09/00 (事故発生地) 不明	パソコン周辺機器（プリンター） PIXUS 560i キヤノン（株） 不明	プリンターから異臭がし、電源が入らなくなった。 (製品破損)	純正インクには含まれていない成分の影響、または、プリントヘッドに加わった何らかの外力の影響により、プリントヘッドの電気回路の絶縁封止部が損傷して絶縁性が低下し、インクを介して短絡し、発熱した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年5月20日付けのホームページにお知らせを掲載し、カタログ及び取扱説明書に注意喚起文を追加することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/26)
2008-4213 2008/11/28 (事故発生地) 埼玉県	パソコン周辺機器（プリンター） 約1年	プリンター付近から出火し、機器の一部を焼損した。 (製品破損)	電源コードが短絡し出火した可能性が考えられるが、使用状況が不明のため、原因の特定はできなかった。 (G1)	他に同種事故発生の情報はなく、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/01/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-7022 2008/03/11 (事故発生地) 東京都	パソコン周辺機器（マウス） 約1日	マウスのパッケージを開封したところ、刺激臭がして目が「チカチカ」し、吐き気がした。 (軽傷)	事故品（パッケージ）から複数の揮発性有機化合物（VOC）が検出され、事故の症状を引き起こす可能性のあるナフタレン等が含まれていたことから、パッケージ内に滞留し、開封時に一気に放散したVOCを吸引したことで体調不良になったものと考えられるが、同等品からはこれらの化学物質が検出されず、物質の帰属及び原因物質の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/03/17)
2009-0705 2009/04/27 (事故発生地) 岡山県	パソコン周辺機器（マウス） 約6年	使用中のマウスのケーブル付け根部分から発火した。 (製品破損)	事故品のケーブル付け根部分に屈曲や機械的ストレスが加わったため、断線、短絡してスパークしたものと考えられるが、既に廃棄されており、入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/06/09)
2008-5252 2009/02/10 (事故発生地) 三重県	パソコン周辺機器（モデム） 約1日	パソコンに接続したモデムの上部から発煙し、パソコンも故障した。 (拡大被害)	モデムに発煙に至るような異常は確認できず、別のパソコン等を接続すると正常に作動することから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/03/13)
2008-3980 2008/11/15 (事故発生地) 徳島県	パソコン周辺機器（レーザープリンター） 約4年8か月	使用中のレーザープリンターから焦げ臭いにおいがし、フロントカバー内のドラムカートリッジ右下から出火してプリンター内部が焼損した。 (製品破損)	製品内部にゴキブリの死骸があり、ゴキブリが高圧基板の異極間で短絡して焼損した可能性も考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2008/12/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1162 2009/07/01 (事故発生地) 愛知県	パソコン周辺機器（レーザープリンター） LP-7700（ブランド：セイコーエプソン（株）） 富士ゼロックス（株） 約6年4か月	プリンターの紙詰まりのため、カバーを開けたが全部除去できず、カバーを閉めておいたところ、異臭がし、本体内に火花が見えた。 (製品破損)	転写用の電源回路にある半導体素子（IC）が短絡故障したため、給電していた導電樹脂製の転写ロールの電圧が異常に高くなり、近接する板金と放電が生じて着火し、残留用紙と周囲の樹脂まで延焼したものと推定される。 (A3)	2009（平成21）年9月7日付け販売事業者のホームページにて社告を行い、連絡があれば、戸別訪問にて樹脂キャップの取付を実施している。	製造事業者 (受付:2009/07/24)
2008-3276 2008/10/22 (事故発生地) 静岡県	パソコン周辺機器（外付けハードディスク） HDPC120GVS 三菱化学メディア（株） 約4か月	パソコンを使用していたところ、外付けハードディスクから焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	制御基板上の入力電圧制御用ICに、定格不足のものが混入したため、入力電圧に耐えられず、異常発熱して異臭を発生したものと推定される。 (A3)	2008（平成20）年10月24日付けホームページに告知を掲載し、無償で製品交換を行っている。 なお、当該電子部品を使用した製品の製造・販売を中止するとともに、その後の製品については、部品メーカーを変更し、品質管理の徹底をすることとした。	輸入事業者 (受付:2008/10/29)
2008-3236 2008/10/03 (事故発生地) 大阪府	パソコン周辺機器（外付けハードディスク） HDPC120GVS 三菱化学メディア（株） 約3か月	パソコンを使用していたところ、突然電源が落ち、外付けハードディスクから発煙した。 (製品破損)	制御基板上の入力電圧制御用ICに、定格不足のものが混入したため、入力電圧に耐えられず、異常発熱して発煙したものと推定される。 (A3)	2008（平成20）年10月24日付けホームページに告知を掲載し、無償で製品交換を行っている。 なお、当該電子部品を使用した製品の製造・販売を中止するとともに、その後の製品については、部品メーカーを変更し、品質管理の徹底をすることとした。	輸入事業者 (受付:2008/10/27)
2008-1395 2008/05/00 (事故発生地) 奈良県	パソコン周辺機器（外付けハードディスク用ラック） 約5年	パソコン用ハードディスクラックが作動しなくなり、確認したところ配線が燃えていた。 (製品破損)	事故品の内部配線に過電流が流れたため、異常発熱し、短絡し焼損したものと考えられるが、接続していた周辺機器等が入手できないことから、原因の特定はできなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/07/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3105 2008/10/15 (事故発生地) 東京都	パソコン用ディスプレイ (CRT) SOTEC P17ANK1A オンキヨー (株) 約6年10か月10日	使用中のパソコンから「バチバチ」という異音が生じて発煙、発火し、ディスプレイ上部のプラスチックが溶けて大きな穴が開いた。 (製品破損)	モニター上部付近が焼損しており、消磁コイルが異常発熱し出火に至ったものと考えられるが、異常発熱した原因は特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/10/17)
2008-5153 2009/02/25 (事故発生地) 埼玉県	パソコン用ディスプレイ (液晶) PCVD-15XD6 ソニーイーエムシーエス (株) 約7年	パソコンを使用中、突然ディスプレイから発煙し、部品の焼けるにおいがした。 (製品破損)	インバーターユニット上のチップ型電流ヒューズが溶断する際、ヒューズモールド樹脂が加熱されて発煙したものと考えられるが、溶断した原因がヒューズの不良によるものか、インバーター回路の故障によるものか特定できなかった。 (G3)	チップ型電流ヒューズが溶断して終息し、さらに金属板で覆われており、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/03/06)
2008-3442 2008/09/29 (事故発生地) 青森県	パソコン用ディスプレイ (液晶) VL-16DS1 富士通 (株) 約6年	パソコンを朝からつけてそのままにしていたところ、昼過ぎに焦げ臭いにおいを感じて調べたら、ディスプレイの裏側が焦げていた。 (製品破損)	インバーター基板上のチップセラミックコンデンサーに不良品が混入していたため、絶縁不良により過電流が流れ異常発熱して焼損し、外郭樹脂の通気孔にすずが付着したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/11/12)
2009-0889 2009/06/23 (事故発生地) 福井県	パソコン用ディスプレイ (液晶) FMVC935L3 富士通 (株) 約3年	使用中のパソコン用ディスプレイから異臭が生じ、発煙した。 (製品破損)	ディスプレイ内部のバックライト端子とリード線の接続部で、はんだ付け不良があったため、はんだ付けが外れてスパークが発生し、リード線接続部を押し込んでいる樹脂が焼損、発煙したものと推定される。 (A2)	最終的にオープン状態で終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/06/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1281 2009/05/30 (事故発生地) 大阪府	パソコン用ディスプレイ(液晶) VL-15TX3G 富士通(株) 約10年	起動中のパソコンの液晶モニターから焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	液晶パネル用インバーター回路の出力トランジスタに特性不良のものが混入したため、当該トランジスタが異常発熱し、近傍のコンデンサーが破損したものと推定される。 (A2)	2001(平成13)年2月8日付けホームページに社告を掲載するとともに、登録ユーザーへダイレクトメールを送付し、無償で対策済み部品への交換を実施している。 なお、2006(平成18)年3月31日、当該製品の通常保守終了(販売終了後5年)に伴い、社告対応を終了した。	消費者 (受付:2009/08/07)
2008-3535 2008/11/13 (事故発生地) 東京都	パネルヒーター PHA-1000 象印マホービン(株) 約30年	コンセントにつないでスイッチは入れてない状態のパネルヒーターから、突然50cmぐらいの炎が上がった。 (製品破損)	コントロールボックス内のリレーから出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故の発生状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/11/19)
2008-3824 2008/12/03 (事故発生地) 広島県	ハンドランプ FHL-4 (株)シバタ 約1年	織物工場内で使用していたハンドランプの電球のねじ込み部付近から発火した。 (製品破損)	インバーター基板に使用されている抵抗器の不具合により、使用中に抵抗器から発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年6月27日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・交換を行っている。 なお、製造事業者に品質管理の徹底を指示し、今後は、輸入した際、全品点灯試験を実施することとした。	消費者センター (受付:2008/12/09)
2009-1756 2009/09/19 (事故発生地) 島根県	ハンドランプ FHL-1 (株)シバタ 約1回	使用中のハンドランプから「パチン」という音がして、発煙した。 (製品破損)	インバーター基板にある抵抗に不良品が混入したため、抵抗が短絡故障し電解コンデンサーが過負荷状態となり安全弁が開いて、電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/09/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2502 2001/08/08 (事故発生地) 東京都	ビデオデッキ VC-BS770 日本電気ホームエレクトロ ニクス(株) 約10年	待機中のビデオカセットレコーダーから異臭がして発煙した。 (拡大被害)	長期使用(約10年)により、電源回路の1次側電解コンデンサーが、容量低下したため、2次側にあるタイマー回路部のトランジスターに過電圧が加わり異常発熱し、発煙、発火したものと推定される。 (C1)	2008(平成20)年9月10日付け新聞及びホームページに告知を掲載し、使用中止の注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2008/09/09)
2009-1119 2009/05/05 (事故発生地) 兵庫県	ビデオデッキ SLV-RS7 ソニー(株) 約16年	待機状態のビデオカセットレコーダーから発煙した。 (製品破損)	長期使用(約16年)により、電源ユニット内の電解コンデンサーの封口部が劣化して液漏れし、基板表面に付着した電解液に短絡電流が流れ、発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生情報はなく、電源ユニットは金属で囲まれており、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/22)
2007-4314 2007/11/06 (事故発生地) 島根県	ビデオデッキ WV-H2 ソニー(株) 約13年	ビデオデッキのコンセントを差し込んだところ、本体内部のコード接続付近から火花が出て焼け焦げた臭いがした。 (製品破損)	電源基板のACインレット端子にはんだ盛り量の不足があったため、電源コードコネクタの挿抜が繰り返された際、はんだ付け部に繰り返しストレスが加わり、はんだクラックが徐々に生じスパークが発生したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2007/11/12)
2007-6424 2008/02/17 (事故発生地) 大阪府	ビデオデッキ WV-H2 ソニー(株) 約13年	待機状態のビデオデッキのAC入力部のコネクタ付近から火花が出た。 (製品破損)	電源基板のACインレット端子にはんだ盛り量の不足があったため、電源コードコネクタの挿抜が繰り返された際、はんだ付け部に繰り返しストレスが加わり、はんだクラックが徐々に生じスパークが発生したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 消防機関 (受付:2008/02/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1598 2007/06/11 (事故発生地) 宮城県	ビデオデッキ 約12年6か月	ビデオデッキから火花が出て、発煙した。テレビボード、じゅうたん、フローリングなどが消火時に濡れた。 (拡大被害)	当該品に金属製異物（キーホルダー）が入り込んでいたため、異物が内部充電部に接触して短絡したことにより過電流が流れ、電解コンデンサーの安全弁が作動し噴出した蒸気が煙に見えたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2007/06/14)
2008-4771 2009/01/00 (事故発生地) 栃木県	ビデオデッキ（DVDプレーヤー一体型VHSビデオデッキ） VZ-DV1G（S） 三洋電機（株） 約6年10か月	ビデオデッキから発煙した。 (製品破損)	電源基板上の電解コンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサーの容量が変化して電源回路の電圧が変動し、トランジスターに過電流が流れ、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、ヒューズ抵抗が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2009/02/06)
2008-5155 2009/01/00 (事故発生地) 神奈川県	ファクシミリ 約10年	ファクシミリを置いていた台が焦げていた。また、ファクシミリのハンドスキャナーのコード表面のビニールが剥がれて落ちており下にあった封筒も焦げていた。 (製品破損)	ハンドスキャナーのコードは、外側の樹脂被覆が変色し剥がれているが、内部配線には異常なく、ファクシミリ本体にも焼損等の異常は確認されないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/03/06)
2007-0423 2007/03/21 (事故発生地) 兵庫県	フードプロセッサー 約1年6か月	フードプロセッサーから発火した。 (製品破損)	事故品の電源コードに溶融痕が認められたが、焼損が著しく、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2007/04/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0628 2009/03/15 (事故発生地) 神奈川県	フードプロセッサ－ マジックブレットデラックス MB-1001J (株)オークローンマーケティング 約1日1回	フードプロセッサ－を2分ほど使用していたところ、煙が出て動かなくなった。 (製品破損)	定格時間が1分であるにも拘わらず、それ以上連続運転したため、ブレード軸が摩擦により過熱し、食材の水分が蒸発するとともに周囲樹脂の溶融によって発煙したものと推定される。 なお、本体表示及び取扱説明書には、『1分以上連続運転しない』旨記載されているが、連続運転した場合に発煙・故障等に至る旨は記載されていなかった。	発熱、発煙するのみであり、拡大被害に至る可能性は低いことから措置はとらなかった。 なお、2008(平成20)年4月30日出荷分より、差込みちらしに『1分を超えて使用すると過熱し故障する』旨記載し同梱している。	輸入事業者 (受付:2009/05/29)
2008-5049 2009/02/20 (事故発生地) 千葉県	フードプロセッサ－ マジックブレットデラックス MB-1001J (株)オークローンマーケティング 約1か月	使用中のフードプロセッサ－から突然煙が噴き上がった。 (製品破損)	定格時間が1分であるにも拘わらず、それ以上連続運転したため、ブレード軸が摩擦により過熱し、食材の水分が蒸発するとともに周囲樹脂の溶融によって発煙したものと推定される。 なお、本体表示及び取扱説明書には、『1分以上連続運転しない』旨記載されているが、連続運転した場合に発煙・故障等に至る旨は記載されていなかった。	発熱、発煙するのみであり、拡大被害に至る可能性は低いことから措置はとらなかった。 なお、2008(平成20)年4月30日出荷分より、差込みちらしに『1分を超えて使用すると過熱し故障する』旨記載し同梱している。	消費者 (受付:2009/02/26)
2009-1546 2009/08/29 (事故発生地) 埼玉県	フードプロセッサ－ マジックブレットデラックス MB-1001J (株)オークローンマーケティング 約1か月	フードプロセッサ－に付属の耐熱カップに砂糖と水を入れ、電子レンジで加熱して取り出したところ、カップの底に穴が開いており、内容物が穴から流れ落ちて足の甲に火傷を負った。 (軽傷)	当該容器は、ポリプロピレン製(耐熱温度140℃)で、「電子レンジOK」と表示されたものであったが、糖分の多い内容物を加熱したため耐熱温度を超えて高温となり、容器が溶融して穴が開いたものと推定される。 なお、取扱説明書等に、電子レンジでの使用に際して、糖分が多い食品を加熱する場合、耐熱温度を超える危険性については記載されていなかった。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/09/07)
2008-4045 2008/12/19 (事故発生地) 栃木県	ふとん乾燥機 TFD96 テスコム電機(株) 約1年1か月	使用中に煙が出て、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	タイマースイッチに接点の接触抵抗の大きい不良品が混入したため、タイマー接点が異常発熱し異臭がしたものと推定される。	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 また、生産継続中の製品は接点のクリーニング工程の管理を徹底し、接触抵抗値測定的全数検査を実施している。	消費者センター (受付:2008/12/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6050 2008/01/26 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 約1か月	ふとん乾燥機のスイッチを入れたところ、異臭がして発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/02/07)
2007-6459 2008/02/13 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 約1日	ふとん乾燥機のスイッチを入れたところ、ホースとエアーマットの接続部から異臭がして、発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/02/25)
2008-0277 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機を初めて使用したところ、作動せずに発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/15)
2008-0278 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機から発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0279 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機を使用中、発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/15)
2008-0280 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機を初めて使用したところ、作動せずに発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/15)
2008-0281 2008/02/07 (事故発生地) 不明	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 約1回	ふとん乾燥機を初めて使用したところ、作動せずに異臭がして発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/15)
2008-4625 2008/06/00 (事故発生地) 愛媛県	ふとん乾燥機 FK-650 (株) 泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機を使用しようとしたが、風が出ず、電源が切れて発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4626 2008/08/00 (事故発生地) 愛知県	ふとん乾燥機 FK-650 (株)泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機を使用中、発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/28)
2008-4627 2009/01/00 (事故発生地) 岐阜県	ふとん乾燥機 FK-650 (株)泉精器製作所 不明	ふとん乾燥機を使用中、発煙した。 (製品破損)	送風用ファンモーターに、衝撃に弱い不具合品が混入したため、軸受けがずれてモーターが動作せず、ヒーターが過熱し発煙したものと推定される。 (A3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で対象製品の点検、または交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/28)
2008-3850 2008/11/00 (事故発生地) 埼玉県	ふとん乾燥機 約20年	ふとん乾燥機のプラグ付近のコードから火花が出て、コンセントが焦げた。 (製品破損)	電源コードに捻れ及びプラグ側コードプロテクター部の芯線に屈曲が認められることから、電源コードのプロテクター部に屈曲等の機械的ストレスが繰り返し加えられ、芯線に半断線が生じて異常発熱し、被覆が溶融して短絡・スパークしたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、ホームページに配線器具の日常点検を促す注意喚起を掲載するとともに、日本配線器具工業会と連携して啓発パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2008/12/10)
2009-0044 2009/03/28 (事故発生地) 北海道	ふとん乾燥機 約2年	ふとん乾燥機の電源スイッチを入れてコンセントに差し込んだところ、「ボン」という音とともにコードが破裂し、火花が散った。 (製品破損)	電源コードを持ってコンセントから抜くことをくり返していたため、差し込みプラグの根元部で芯線が半断線状態となり、短絡・スパークし、火花が出たものと推定される。 なお、取扱説明書には、『プラグを抜く時は電源コードを持って引き抜かない。ショートして発火することがある。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/04/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0001 2007/03/18 (事故発生地) 岐阜県	ふろ用投げ込み式ヒーター ハイパワー風呂ポット TSE-22-T (HI) (株) 津田商事 約6か月	使用後のふろポットをスイッチを切って脱衣所に置いていたところ、発火し、脱衣所をほぼ全焼した。 (拡大被害)	当該品の中間スイッチやサーモスタット等の不具合により、安全装置が故障して機能せず、ヒーターへの電源供給が継続して空焚き状態となり、発火に至ったものと推定される。 なお、2006（平成18）年9月より、追加の安全装置として自動電源遮断装置を別途配布していたが、被害者は取り付けを行っていなかった。	2007（平成19）年5月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で回収、自動電源遮断装置の取り付けを行っている。さらに、同年5月7日に経済産業省は注意喚起のプレスリリースを行った。	販売事業者 販売事業者 (受付:2007/04/02)
2009-2126 2009/09/27 (事故発生地) 北海道	ヘアアイロン 約1年	ヘアアイロンを使用中、「バン」という音とともに火花が飛び、腕に軽い火傷を負い、靴下に穴が空いた。 (軽傷)	事故品の電源コード本体側にねじれが見られることから、ねじれ、屈曲等の繰り返しにより、電源コードの本体側プロテクター付近で芯線が疲労断線して発熱し、芯線間がスパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『電源コードを強く引っ張ったり、屈曲を繰り返すと断線する』旨記載されていた。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/10/28)
2008-3421 2008/10/12 (事故発生地) 兵庫県	ヘアアイロン KHC-2500（ブランド：小泉成器（株）） (株) 淀川電器製作所 約1年10か月	ヘアアイロン使用中、突然「パチパチ」と音がして光り、先端のスチーム用タンク部分が飛び出した。 (軽傷)	事故品内部のPTCヒーターが過熱して、周囲を焼損したものと推定されるが、過熱した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/11/11)
2008-4495 2009/01/16 (事故発生地) 神奈川県	ヘアアイロン ツヤグラアイロン KF-88 （ブランド：（株）プレミアム） (株) ピー・エル・シーインターナショナル 約2か月	ヘアアイロンを使用していたところ、本体が異常に高温になり金属プレートの周りの樹脂部分が溶けて部品が外れ、本体が触れた頬が赤くなった。 (軽傷)	製造時にICプログラムの設定を誤り、リセット機能を残してしまったため、電源ボタン（1個）及び温度調節ボタン（2個）を同時に押した際に、上限温度の設定が解除されてヒーターが異常過熱し、頬が火傷するとともに外郭樹脂が溶融したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、今後は製品検査の徹底を図ることとした。	消費者センター (受付:2009/01/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0543 2008/04/28 (事故発生地) 群馬県	ヘアアイロン BDM7-1 (株)丸隆 不明	ヘアアイロンを使用中、機器本体とコードの接合部分から煙が出ており、敷物が焦げていた。 (拡大被害)	電源コードの接続部端子が、はんだ付け不良であったため、はんだクラックを生じスパークし発熱、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、今後は品質管理体制及び製造工程・検査工程を見直し、改善の再徹底を図るように指導した。	消費者センター (受付:2008/04/28)
2009-2328 2009/10/28 (事故発生地) 三重県	ヘアアイロン 約2年	使用後のヘアアイロンをテーブルに置いたところ、発煙し、テーブルが焦げた。 (拡大被害)	電源コードの本体側コードプロテクター部に亀裂が認められることから、屈曲等過度の機械的ストレスが繰り返し加えられ、芯線に半断線が生じて異常発熱し、被覆が溶融して短絡・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『電源コードを強く引っ張ったり、屈曲を繰り返すと断線する』旨記載されていた。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/11/20)
2008-3355 2006/11/13 (事故発生地) 神奈川県	ヘアカーラー RS6P (株)クレイツ 不明	ヘアカーラーの本体に電源を入れたところ、6本差してあったカーラーのうちの1本が外側へ飛び出し、キャップが外れた。 (製品破損)	外郭樹脂が密閉構造であったため、内部のヒーターの発熱により内圧が上昇し、破裂したものと推定される。 (A1)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、2008(平成20)年1月販売分より、外側樹脂に穴を開け圧力が抜ける構造にした。	輸入事業者 (受付:2008/11/06)
2008-2886 2008/08/00 (事故発生地) 東京都	ヘアカーラー RS6P (株)クレイツ 約3年10か月	ヘアカーラーを温めていたところ、爆発音とともに異臭が発生し、周囲のプラスチック部分が飛んで中心部から発火した。 (製品破損)	外郭樹脂が密閉構造であったため、内部のヒーターの発熱により内圧が上昇し、破裂した際に内部配線が断線してスパークしたものと推定される。 (A1)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、2008(平成20)年1月販売分より、外側樹脂に穴を開け圧力が抜ける構造にした。	消費者センター (受付:2008/10/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1882 2009/09/28 (事故発生地) 大阪府	ヘアドライヤー TID300 テスコム電機(株) 約1年1か月	使用中のヘアドライヤーから異臭がしたので確認したところ、内部が赤くなっていた。 (製品破損)	コイル状のヒーター線をマイカ板に固定する際に、ヒーター線の一部が伸びた状態であったため、ヒーター線が抵抗に接触して過電流が流れ、抵抗が異常発熱したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、温度ヒューズが作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、今後は作業者の指導を徹底するとともに、検査を強化することとした。	輸入事業者 消費者センター (受付:2009/10/07)
2009-0813 2009/05/00 (事故発生地) 静岡県	ヘアドライヤー 約2年	使用中のヘアドライヤーが突然電源コードの付け根から発火し、衣類が焦げた。 (拡大被害)	ドライヤーを使用した後、電源コードを本体に巻き付けていたことから、電源コードの本体出口付近に過度の屈曲ストレスが繰り返し加わり、電源コードが半断線状態となり、異常発熱によって短絡・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『電源コードを本体に巻かない』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であり、他に同種事故発生の情報もないことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/06/19)
2009-2017 2009/10/14 (事故発生地) 島根県	ヘアドライヤー MHD-1100 (株) マツバラ 不明	使用後のヘアドライヤーをコンセントに差し込んだまま置いていたところ、「パチパチ」という音がして発煙、発火した。 (拡大被害)	ファンモーターが停止した状態でヒーターへの通電が継続したため、異常発熱し出火したものと考えられるが、ファンモーターが停止した原因は、焼損が著しく特定できなかった。 なお、当該品は、電源スイッチの接続不良により、同様な事故が発生するため社告された対象品であったが、接続不良は認められなかった。 (G1)	輸入事業者は倒産しており、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は、電源スイッチの接続不良のため、倒産前の1996(平成8)年5月から自主回収し、翌年9月7日付けで社告を実施していた。	消防機関 (受付:2009/10/20)
2008-5382 2009/03/02 (事故発生地) 千葉県	ヘアドライヤー 約1年2か月	ヘアドライヤーを使用中、プラスチック臭を感じたので確認したところ、吹き出し口とフードの一部が溶けていた。 (製品破損)	吸い込み口から毛髪が吸い込まれたため、ファンに絡み付いて回転が低下し、ヒーターが異常過熱して吹き出し口の樹脂を溶かしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『髪が吸い込み口に吸い込まないようにする。故障ややけどの原因になる。』旨記載されていた。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/03/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0526 2009/05/10 (事故発生地) 鹿児島県	ヘアドライヤー 約2年6か月	ヘアドライヤーを使用中に、着脱式のノズルが外れて二の腕にあたり、火傷を負った。 なお、普段からノズルが外れるため、ガムテープで固定していた。	吸い込み口を塞ぐような使用により、風の流れが阻害されてヒーターが過熱し、樹脂製の着脱式ノズルが熱変形し、本体から外れ易くなっていたことから、被害者がノズルをガムテープで固定したため、ヒーター熱により粘着剤が軟化し、ノズルが外れガムテープが腕に貼り付き、火傷を負ったものと推定される。 なお、取扱説明書には『吸い込み口を塞がない。本体が変形したり異常がある時は使用を中止する。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/05/21)
2009-1831 2009/09/30 (事故発生地) 千葉県	ヘアドライヤー 約1年6か月	使用中のヘアドライヤーの送風口から発煙、発火し、「ボン」という音とともにコンセントからコードが抜けて飛んできた。	差込みプラグのコードプロテクター付近の電源コードに屈曲した痕跡がみられることから、使用中や収納時にコードプロテクター部に過度の繰り返し機械的ストレスが加わり、芯線が徐々に断線して発熱し、短絡・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『コードに無理な力を加えない。本体に巻き付けない。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/10/05)
2009-1241 2009/07/25 (事故発生地) 大阪府	ヘアドライヤー HD-N1260DU 九州日立マクセル(株) 不明	ヘアドライヤーをコンセントに差し込んだままユニットバスの壁に吊しておいたところ、大きな音とともにドライヤーのハンドル下部が焼損し、ユニットバスの壁の一部を汚損した。	雑音防止用コンデンサーの耐電圧性能に関する品質にはばらつきがあったため、品質の悪いコンデンサーが電源ラインからの高いサージ電圧を受けたことで破裂し、スパークが飛び、近接している外郭樹脂が溶けたものと推定される。	2006(平成18)年10月24日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収を行った。また、雑音防止用コンデンサーの調達を高信頼性部品へ変更するとともに、コンデンサー回路に保護装置を追加するなどの改善を実施した。	輸入事業者 (受付:2009/08/03)
2009-0989 2009/06/15 (事故発生地) 静岡県	ヘアドライヤー 約3年	ヘアドライヤーを自宅の居間で使用していたところ、異臭がして火花が出た。握り手と電源コードの接合部分が溶けて切れた。	使用時の屈曲繰り返し等により電源コード付け根付近が半断線し、使用時の電流による発熱から被覆が絶縁破壊してショートしたものと推定される。 なお、取扱説明書には「電源コードを傷つけない、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因となる」旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に販売を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1684 2009/09/14 (事故発生地) 兵庫県	ヘアドライヤー 約2年	旅館に設置していたドライヤーを使用していたところ、突然爆発し、プッシング部分の被覆が顔に飛び散って火傷を負った。 (軽傷)	使用中や収納時に本体側コードプロテクター部に過度の繰り返し機械的ストレスが加わり、芯線が徐々に断線して発熱、短絡し、スパークが発生したものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	不明 (受付:2009/09/16)
2009-1683 2009/08/08 (事故発生地) 東京都	ヘアドライヤー 約5年	ヘアドライヤーを使用していたところ、突然「パチッ」という音がし、プッシング部分から火花が出てコードが焼き切れ、手の皮が剥けた。 (軽傷)	使用中や収納時に本体側コードプロテクター部に繰り返し機械的ストレスが加わり、芯線が徐々に断線して発熱、短絡し、スパークが発生したものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/09/16)
2009-2000 2009/10/05 (事故発生地) 神奈川県	ヘアドライヤー 約8年11か月	ヘアドライヤーを洗面台で使用中、突然火花が出て、使用できなくなった。 (製品破損)	使用中や収納時に本体側コードプロテクター部に繰り返し機械的ストレスが加わり、芯線が徐々に断線して発熱、短絡し、スパークが発生したものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/10/16)
2009-0748 2009/05/10 (事故発生地) 東京都	ヘアドライヤー 不明	使用中のドライヤーの電源コードが本体付根部分で断線してスパークした。 (製品破損)	事故品のコードプロテクター部に屈曲による曲がりがあることから、使用により無理な屈曲が加わったため断線し、スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書に『電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。』旨記載されていた。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/06/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3810 2008/11/18 (事故発生地) 北海道	ヘアドライヤー 約3年	ヘアドライヤーを使用していたところ、本体側のコード接続部から火花が飛び、腕に火傷を負った。 (軽傷)	事故品の本体側コード取付部が断線しており、日常的に被害者がコードを束ねるなどして、コード取付部に屈曲等の機械的ストレスが繰り返し加えられ、断線・スパークし、腕を火傷したものと推定される。 なお、取扱説明書に『電源コードを束ねたりしない。』旨記載されていた。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	市町村 (受付:2008/12/08)
2009-0110 2009/03/12 (事故発生地) 東京都	ヘアドライヤー 不明	ドライヤーを使用中、電源コードが本体付け根部で断線してスパークし、右手に火傷を負った。 (軽傷)	事故品は家庭用のものを業務用として店舗で使用されていたため、本体側プロテクター付近が過度の繰り返し屈曲等を受けて断線しスパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には「業務用として使用しない」旨記載されている。	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/04/09)
2009-0841 2009/06/20 (事故発生地) 大阪府	ヘアドライヤー 約6か月	使用中のヘアドライヤーから焦げ臭いにおいがして発煙し、電源が切れた。 (製品破損)	事故品は既に廃棄されており、入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/06/23)
2008-0850 2008/05/08 (事故発生地) 大阪府	ヘアドライヤー 約6か月	使用中のドライヤーから大きな音がし、発煙した。 (拡大被害)	樹脂製の送風ファンが破損し、ファンの一部がヒーターに付着したため、発煙したのと考えられるが、使用状況等が不明のため、ファンが破損した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、措置はとらなかった。	国の行政機関 国の行政機関 (受付:2008/05/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0022 2009/00/00 (事故発生地) 宮城県	ヘアドライヤー EH537 パナソニック 電気 (株) 約20年	20年前に購入したドライヤーを海外用として時々使用していたが、5年前からほぼ毎日使用していた。最近、ドライヤー本体の一部が熱で溶けているのに気付いた。 (製品破損)	長期使用(約20年)により、本体内部にほこりが堆積し、正常な風の流が阻害され局部的にヒーターが過熱し、この熱によりほこりが焦げた際に、外部樹脂が溶融したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、発火等の拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/04/01)
2009-2001 2009/10/14 (事故発生地) 千葉県	ヘアドライヤー DR-310 (株) 泉精器製作所 約3年10か月	ヘアドライヤーを使用中、吹き出し口とコードの根元が溶け、「バン」という音とともに火花が散って断線した。 (製品破損)	電源コードの耐屈曲性が低かったか、あるいはコードの被覆に傷等があったため、コードの屈曲により芯線が断線し、スパークに至ったものと推定されるが、原因の特定はできなかった。 なお、吹き出し口(ノズル)については、以前使用中に本体を落下させ、ファンが破損して風量が低下したため、温風温度が高くなり、徐々にノズルが熱変形したものと推定される。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/10/16)
2008-3144 2007/07/00 (事故発生地) 不明	ヘアドライヤー TU51 テスコム 電機 (株) 不明	ヘアドライヤーのファンが回らなくなり、電源プラグの根元付近が溶けた。 (製品破損)	電源コードの耐屈曲性が低かったか、あるいはコードの被覆に傷等があったため、コードの屈曲により芯線が半断線し、発熱・溶融したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については電源コードのコード付け根付近の構造を改良するなどの措置を講じている。	輸入事業者 (受付:2008/10/20)
2007-6806 2008/02/28 (事故発生地) 東京都	ヘアドライヤー VSD-1205 (ブランド：小泉成器 (株)) (株) 三栄コーポレーション 約3年	ドライヤーを使用中、突然大きなスパーク音が生じたので、びっくりしてドライヤーを胸元に落とし、衣服が焦げて軽傷を負った。 (軽傷)	電源コードの本体側コードプロテクタの耐屈曲性が低く、コードプロテクタ付近に、屈曲や機械的ストレスが加わって半断線状態となり、短絡・スパークしたものと推定される。 (A1)	ホームページに注意喚起を掲載し、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/03/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4138 2006/03/06 (事故発生地) 神奈川県	ヘアドライヤー VSD-1205 (ブランド: 小泉成器 (株)) (株) 三栄コーポレーション 不明	使用中のドライヤーの電源コードが本体側の付け根付近で断線した。 (製品破損)	電源コードの本体側コードプロテクタの耐屈曲性が低く、コードプロテクタ付近に、屈曲や機械的ストレスが加わって半断線状態となり、短絡・スパークしたものと推定される。 (A1)	ホームページに注意喚起を掲載し、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2008-4139 2006/08/29 (事故発生地) 東京都	ヘアドライヤー VSD-1205 (ブランド: 小泉成器 (株)) (株) 三栄コーポレーション 不明	使用中のドライヤーの電源コードが本体側の付け根付近で断線した。 (製品破損)	電源コードの本体側コードプロテクタの耐屈曲性が低く、コードプロテクタ付近に、屈曲や機械的ストレスが加わって半断線状態となり、短絡・スパークしたものと推定される。 (A1)	ホームページに注意喚起を掲載し、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2009-1004 2009/06/29 (事故発生地) 愛知県	ヘアドライヤー 約3年	ヘアドライヤーを使用中、突然電源コードの本体出口付近から火が出て、右手親指の付け根周辺に火傷を負った。 (軽傷)	電源コード全体が著しく捻れ、本体出口付近には折れ跡も確認できることから、電源コードの本体出口部分に過度の屈曲ストレスを繰り返し加えたため、電源コードが半断線状態となって異常発熱し、短絡・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『コードが捻れたまま使用しない。コードは引っ張ったり屈曲を繰り返さない。断線して火花が出ることがある。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であり、他に同種事故発生の情報もないことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/07/10)
2009-0686 2009/05/02 (事故発生地) 奈良県	ヘアドライヤー 約2年8か月	使用中のヘアドライヤーから異音が生じ、電源コードから火が出た。 (拡大被害)	電源コード全体にねじれや屈曲疲労の痕跡が見られることから、電源コードに過度な屈曲や機械的ストレスが加わり、半断線状態となり短絡・スパークしたものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には、『コードを本体に巻き付けたり、無理に引っ張ったり、ねじったりしない。火災や感電、ショート、やけどのおそれがある。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/06/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0042 2009/03/00 (事故発生地) 大阪府	ヘアドライヤー 約4か月	ヘアドライヤーのブラシ部分が溶け、ヒーターが焼けた。 (製品破損)	当該機の吸い込み口から毛髪が吸い込まれ、ファンに絡み付いて回転しにくい状態で使用し続けたため、ヒーターが異常過熱し熱風が出て、吸い込まれた毛髪が焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には『毛髪が吸い込み口に吸い込まれると、やけど、故障のおそれがある。』、『温風が熱くなり髪が焦げたり、やけどのおそれがあるので吸い込み口はこまめに手入れする。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であり、最終的に安全装置が作動し、発火に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/04/03)
2007-5724 2007/10/06 (事故発生地) 兵庫県	ヘアドライヤー 約4か月	使用中のヘアドライヤーのブローブラシの一部が溶け、髪の毛が焦げた。 (軽傷)	当該機の吸い込み口から毛髪が吸い込まれ、ファンに絡み付いて回転しにくい状態で使用し続けたため、ヒーターが異常過熱し熱風が出て毛髪が焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には『毛髪が吸い込み口に吸い込まれると、やけど、故障のおそれがある。』、『温風が熱くなり髪が焦げたり、やけどのおそれがあるので吸い込み口はこまめに手入れする。』旨記載されている。	他に同種事故発生の情報がなく、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2008/01/23)
2009-0463 2009/05/00 (事故発生地) 新潟県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 約2年	使用中のヘアドライヤーから「ボン」と大きな音がし、発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	消費者センター (受付:2009/05/13)
2009-1088 0000/00/00 (事故発生地) 山梨県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1089 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)
2009-1090 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)
2009-1091 0000/00/00 (事故発生地) 岐阜県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)
2009-1092 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1093 0000/00/00 (事故発生地) 愛媛県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)
2009-1094 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)
2009-1096 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)
2009-1095 0000/00/00 (事故発生地) 愛媛県	ヘアドライヤー DMI-12 (有) デリオ 不明	ヘアドライヤーのスイッチ部分から 発煙、発火した。 (製品破損)	当該製品の『OFF-弱-強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF-弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。 (A1)	スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/07/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6326 2007/12/10 (事故発生地) 京都府	ヘアドライヤー 約2年	使用中のドライヤーのコードの付け根部分から火が出て、パジャマを焦がし、胸部に火傷を負った。 (軽傷)	当該品の本体側コードプロテクターの端部に屈曲等の機械的ストレスが繰り返し加わったため、コードの芯線が断線ショートし、スパークが生じた可能性も考えられるが、使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/02/19)
2008-4133 2008/12/14 (事故発生地) 福岡県	ヘアドライヤー EH5442 パナソニック電気(株) 約10か月	ヘアドライヤーを使用中、熱いものが顔に当たったので振り払ったところ、瞼の上と目尻と頬の3か所に火傷を負った。 (軽傷)	当該品内部にあるサーモスイッチの固定接点がカシメ不足であったため、接触抵抗が増加し異常過熱してカシメ部のゆるみが増し、スパークが生じカシメ部の穴がさらに増して、固定接点が脱落し顔に当たったものと推定される。 (A2)	他に同種事故の情報はなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2009-0625 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	ヘアドライヤー(ブラシ付) EH7913-W パナソニック電気(株) 約3年7か月	使用中のヘアドライヤーから、白い光が出て、本体に穴が空いた。 (製品破損)	コイル状のヒーター線が送風モーターの分圧用抵抗に接触したため、ヒーター線に過電流が流れて溶断し、外郭樹脂に触れて樹脂が溶融したものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/05/28)
2009-0597 2009/05/09 (事故発生地) 北海道	ヘアドライヤー(ブラシ付) 約1か月	かつらをつけた状態でヘアドライヤーを使用していたところ、内部から火が出てかつらが焦げ、消火の際に手に火傷を負った。 (軽傷)	ヒーター、ファン、ファンモーター及び電源コードに異常は認められず、サーモスタットも溶着していないことから、発火に至った原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/05/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1269 2009/07/00 (事故発生地) 広島県	ヘアドライヤー（ブラシ付） 約1年	使用中のヘアドライヤーから「パチパチ」という音がし、ブラシのプラスチック部分が焦げた。 (製品破損)	事故品に通電したところ正常に作動し、樹脂の溶融や異常な温度上昇は認められないことから、吸い込み口を塞ぐこと等により、正常な風の流れが阻害されてヒーターが過熱し、サーモスタットが作動し『パチパチ』音がするとともに、吹き出し口（ヘアブラシ部）の樹脂が一部溶融したものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/08/06)
2008-3509 2008/11/10 (事故発生地) 兵庫県	ヘアドライヤー（ブラシ付） 約1回	カールドライヤーのスイッチを入れたところ、本体が赤くなり発煙した。 (軽傷)	当該品のファンモーター内部に異物（棒状樹脂）が混入し回転しない状態であったため、ヒーターが過熱し発煙したものと推定されるが、異物がいつの時点で混入したのか不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/11/18)
2007-6522 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ペット用ヒーター テキオンヒーター 角型Mサイズ H Z ・ K A W A I J A P A N (株) 約2年	ペット用のヒーターを使用していたところ、コード部分から発火した。 (製品破損)	ペットの使用に対する横方向の屈曲に対して、強度が不十分のため、電源プラグ部分付近で断線が生じ、短絡したものと推定される。 (A1)	2007（平成19）年10月29日及び2008（平成20）年8月1日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了しており、後継機種はコンセントプラグ部分の設計を変更し、取扱説明書に表示の追加を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/02/26)
2008-0117 0000/00/00 (事故発生地) 三重県	ペット用ヒーター テキオンヒーター 角型Lサイズ H Z ・ K A W A I J A P A N (株) 約4か月	ペット用ヒーターを使用していたところ、コンセントプラグから発火し、軽い火傷を負った。 (軽傷)	ペットの使用に対する横方向の屈曲に対して、強度が不十分のため、電源プラグ部分付近で断線が生じ、短絡したものと推定される。 (A1)	2007（平成19）年10月29日及び2008（平成20）年8月1日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了しており、後継機種はコンセントプラグ部分の設計を変更し、取扱説明書に表示の追加を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0549 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ペット用ヒーター テキオンヒーター 角型Lサイズ H Z ・ K A W A I J A P A N (株) 不明	ペット用ヒーターを使用していたところ、電源プラグ部分が破損した。 (製品破損)	ペットの使用に対する横方向の屈曲に対して、強度が不十分のため、電源プラグ部分付近で断線が生じ、短絡したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年10月29日及び2008(平成20)年8月1日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了しており、後継機種はコンセントプラグ部分の設計を変更し、取扱説明書に表示の追加を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/04/30)
2007-6521 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	ペット用ヒーター テキオンヒーター 角型Mサイズ H Z ・ K A W A I J A P A N (株) 不明	ペット用のヒーターを使用していたところ、コンセントプラグから発火した。 (製品破損)	横方向の屈曲に対して、強度が不十分のため、電源プラグ部分付近で断線が生じ、短絡したものと考えられるが、事故品を入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は、電源コード接続部分の亀裂・断線の可能性があるとして、2007(平成19)年10月29日及び2008(平成20)年8月1日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行うとともに、後継機種はコンセントプラグ部分の設計を変更し、取扱説明書に表示の追加を行った。	輸入事業者 (受付:2008/02/26)
2007-0524 2007/04/25 (事故発生地) 神奈川県	ペット用ヒーター テキオンヒーター角型M 94779 ドギーマンハヤシ株式会社 約6か月	犬用のヒーターを使っていたところ、コンセントプラグとコードの境目付近から火花が出て発熱し、煙が出て、畳が焦げた。 (拡大被害)	犬が本体をくわえて走り回ったり、コードをくわえて振り回すなど、ペットの使用に対する横方向の屈曲に対して、強度が不十分のため、短期間使用(約6ヶ月)で断線が生じ、短絡したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年10月29日及び2008(平成20)年8月1日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了しており、後継機種はコンセントプラグ部分の設計を変更し、取扱説明書に表示の追加を行っている。	消費者 販売事業者 (受付:2007/05/07)
2008-4960 2009/02/13 (事故発生地) 広島県	ペット用ヒーター 約2年	使用中の犬用ヒーターのプラグとコードの境目付近から火が出た。 (製品破損)	差し込みプラグのプッシング部分に繰り返し外力を受けたため、電源コードが断線、ショートして火花が生じたものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/02/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3208 2008/10/07 (事故発生地) 静岡県	ペット用ヒーター 約2年	使用中のペット用ヒーターのプラグ付近から火花が出た。 (製品破損)	差込みプラグのプッシング部分で片側のみ断線しており、断線付近の芯線に屈曲痕があることから、繰り返しの屈曲を受けたため、片側が断線して、火花が出たものと推定される。 なお、本体はケージ内で使用されていることから、繰り返しの屈曲は、被害者の取扱いによるものと思われる。	被害者の不注意とみられる事故であるため、既販品については措置はとらなかった。 なお、2008(平成20)年度製造分から、プラグ形状をL型に変更している。	消費者センター 輸入事業者 (受付:2008/10/23)
2009-0525 2009/05/15 (事故発生地) 東京都	ペット用ヒーター 約5か月	ペット用ヒーターをケースの天井から吊して使用していたところ、落下し、ケース床面などが溶解して異臭と煙が出た。 (拡大被害)	被害者が針金を用いて本体を吊していたため、使用時に本体が落下し、下に置いてあった樹脂製トレーが溶融したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『ケージ内側の天井に付属のネジで固定する。』旨記載されている。	被害者の設置・施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/05/20)
2008-4262 2008/12/26 (事故発生地) 宮城県	ペット用ヒーター 不明	集合住宅の一室から出火し、ペットのかごと床0.2平方メートルを焼損した。 (拡大被害)	被害者はかごにバスタオルを被せ、側に置いたペット用ヒーターのスイッチを入れたまま外出していたことから、ヒーターの輻射熱でバスタオルが過熱され発火し、周囲に延焼したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/09)
2009-2084 2009/10/01 (事故発生地) 北海道	ポータブルDVDプレーヤー KT-GK6800 (株)ガイズジャパン(倒産) 約3年	ポータブルDVDプレーヤーの専用バッテリーに充電中、接続端子付近の樹脂が溶融した。 (製品破損)	バッテリーの接続端子付近にある半導体素子(IC)が異常発熱して、バッテリーの外装樹脂が溶融したものと考えられるが、原因は特定できなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/10/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0934 2009/06/25 (事故発生地) 大阪府	ポータブルDVDプレーヤー PDV-1915 (ブランド：(株)山善) (株)東商 約2年	ポータブルDVDプレーヤーのバッテリーパックが膨張していた。 (製品破損)	バッテリーパックのセル製造工程で、セル内部の封入シールが不完全で隙間が生じていたため、隙間から湿気が入り込み電解液と化学反応してガスが発生し、セルが膨張したものと推定される。 (A2)	2008 (平成20)年9月2日付けでブランド事業者のホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/07/02)
2008-3454 2008/10/29 (事故発生地) 奈良県	ポータブルDVDプレーヤー SD-P1600 (株)東芝 約2年10か月	充電中のDVDプレーヤーから焦げ臭いにおいがし、バッテリー部分が溶融して、床が変色した。 (拡大被害)	バッテリーパック内のセルの電極が短絡したため、異常発熱して、バッテリーパック及び本体キャビネット部を溶融させ、床を変色させたものと考えられるが、焼損が著しく、電極が短絡した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/11/13)
2009-1580 2009/09/03 (事故発生地) 北海道	ポータブルDVDプレーヤー 約2年6か月	ポータブルDVDプレーヤーが燃えて、じゅうたんと床の一部が焦げた。 (拡大被害)	バッテリー部から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、使用状況も不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (受付:2009/09/10)	消防機関
2008-1645 2008/07/22 (事故発生地) 石川県	ポータブルDVDプレーヤー JY-PDP0703 (株)如水 約6か月19日	使用中のポータブルDVDプレーヤーが爆発音とともに発火し、床を焦がした。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーパック内のセル内部で短絡し、異常発熱が生じ焼損したものと考えられるが、焼損が著しいため、短絡した原因の特定はできなかった。 (G3)	他に同種事故発生の情報がなく、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は、既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2008/07/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1443 2008/06/20 (事故発生地) 山梨県	ポータブルDVDプレーヤー(液晶テレビ付) SD-P120DT (株) 東芝 約6か月20日	液晶テレビ付きDVDプレーヤーの電源が入らなかったため確認したところ、機器キャビネットの一部が溶融していた。 (拡大被害)	バッテリーセルが異常発熱したために機器キャビネットを溶融させたものと推定されるが、バッテリーセルが異常発熱した原因については特定できなかった。 (G3)	2009(平成21)年10月15日付けのホームページ及び10月20日付けの新聞に社告を掲載し、対象バッテリーパックの無償交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/07/10)
2009-1313 2009/07/30 (事故発生地) 愛知県	ポータブルDVDプレーヤー(液晶テレビ付) SD-P120DT (株) 東芝 約1年7か月	電源オフの液晶テレビ付きDVDプレーヤーから発煙、発火し、機器キャビネットの一部とテーブルの表面が溶融した。 (製品破損)	バッテリーセルが異常発熱したために機器キャビネットを溶融させたものと推定されるが、バッテリーセルが異常発熱した原因については特定できなかった。 (G3)	2009(平成21)年10月15日付けのホームページ及び10月20日付けの新聞に社告を掲載し、対象バッテリーパックの無償交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/08/11)
2009-1852 2009/09/24 (事故発生地) 埼玉県	ポータブルDVDプレーヤー(液晶テレビ付) SD-P120DT (株) 東芝 約1年	液晶テレビ付きDVDプレーヤーから火花が出てバッテリーが焼損していたため、庭に持ち出そうとしたところ、破裂音とともに火花が上がり、カーテンと床を焼損した。 (拡大被害)	バッテリーセルが異常発熱したために機器キャビネットを溶融させたものと推定されるが、バッテリーセルが異常発熱した原因については特定できなかった。 (G3)	2009(平成21)年10月15日付けのホームページ及び10月20日付けの新聞に社告を掲載し、対象バッテリーパックの無償交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/10/06)
2008-3609 2008/11/21 (事故発生地) 埼玉県	ホットサンドメーカー 約10年	ホットサンドメーカーで食パンを焼いていて、2枚目を焼いたところ、5～6分しても表面は焦げ目が付かず、焦げ臭くなったので、電源プラグを抜きパンを取り出すと裏面は炭化状態であった。また、下に敷いていた包装紙が焦げ、事故品を置いていた台が少し焼けていた。 (拡大被害)	事故品は、裏面が全体的に溶融し変形していたが、機能は正常に働き、パンの焼き上がり状態にも異常は見られず、使用状況が不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (G1)	消費者センター (受付:2008/11/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0069 2009/04/01 (事故発生地) 高知県	ホットプレート 約3年	使用中のホットプレートから異臭がし、温度調節部分から発火した。 (製品破損)	本体のコントローラー接続ソケットの端子部が異常発熱したため、接続していたコントローラーの端子が加熱され、コントローラーの外郭樹脂が焼損したものと考えられるが、異常発熱した原因は特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (G1)	消費者センター (受付:2009/04/06)
2006-3086 2006/12/22 (事故発生地) 宮城県	マッサージチェア EP3510 パナソニック電工(株) 約1年5か月	電気マッサージ器が焼損、フローアーカーペットの一部も焼いた。 (拡大被害)	たたき用モーターの電源コードの固定位置が、使用中の振動により繰り返し屈曲負荷を受ける箇所であったため、電源コードが半断線となり、その後の使用により異常発熱し発火したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年1月31日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品について無償で点検・修理を行っている。 なお、今後の生産品については、たたき用モーターの電源コードの耐屈曲性及び固定方法を変更するとともに、周囲の信号線に難燃性チューブを被せることとした。	製造事業者 (受付:2007/01/30)
2009-1408 2009/07/05 (事故発生地) 東京都	ミキサー 約5年3か月	使用中のハンドミキサーのコード接続部分から焦げ臭いにおいがして、発煙した。 (製品破損)	モーターの巻線がレイヤショートし、コード接続部の隙間から発煙したものと考えられるが、製造時に巻線に傷を付ける等の製造不良によるものか、定格時間を超えて使用していたことによるものか、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/08/25)
2008-4944 2009/02/11 (事故発生地) 福井県	ミキサー(ミル付) 不明	使用中のミキサーのモーター部から発煙し、ミキサーの底の滑り止めゴムが焦げた。 (製品破損)	モーターの巻線が異常発熱したため、巻線等から発煙したものと推定されるが、使用状況等の詳細が不明なため、原因の特定はできなかった。 (G1)	輸入業者が倒産しており、事故原因は不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/02/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5432 2009/03/28 (事故発生地) 神奈川県	ミニマット（電気マット） 約14年	電気マットのスイッチを消そうとしたところ、突然スイッチ部分から発火し、プラスチックカバーが熱で変形して、敷いていたカーペットの一部が焦げた。 (拡大被害)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと推定されるが、使用状況等が不明であり、スイッチの爪部分が破損した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/03/31)
2008-3650 2008/11/20 (事故発生地) 広島県	ミニマット（電気マット） TC-45 (株)テクノマツオ 不明	座ぶとんの下で使用していた電気座布団の裏側が焼け、下に敷いていた敷物が焦げた。 (拡大被害)	使用時に外力が加わり、ヒーター線がずれて重なり合い異常に発熱した状態になったにもかかわらず、安全装置が正常に作動しなかったため、焼損に至ったものと推定される。	2008（平成20）年2月15日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、後継機種ではヒーター線に検知線を追加して異常温度を検知するとともに、取扱説明書の文字を太くし、アンダーラインを引く等、使用上の注意事項について目立つ記載を行った。	消費者センター (受付:2008/11/28)
2008-4119 2008/12/10 (事故発生地) 大阪府	ミニマット（電気マット） DZ-456 森田電工（株） 約14年	使用中の電気マットから焦げ臭いにおいがし、一部が焦げた。 (製品破損)	使用時に外力が加わり、ヒーター線がずれて重なり合い異常に発熱した状態になったにもかかわらず、安全装置が正常に作動しなかったため、焼損に至ったものと推定される。	2008（平成20）年2月15日付けホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、後継機種ではヒーター線に検知線を追加して異常温度を検知するとともに、取扱説明書の文字を太くし、アンダーラインを引く等、使用上の注意事項について目立つ記載を行った。	消費者センター (受付:2008/12/26)
2008-4566 2009/01/14 (事故発生地) 京都府	ミニマット（電気マット） M&Mホットクッション MHC-098A 共同開発（株）：所在不明 約7年	使用中の電気座布団から発煙した。 (製品破損)	使用時に外力が加わり、ヒーター線がずれて重なり合い異常に発熱した状態になったにもかかわらず、安全装置が正常に作動しなかったため、焼損に至ったものと推定される。	事業者の所在不明で連絡がつかず、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/01/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4215 2008/12/21 (事故発生地) 兵庫県	ミニマット（電気マット） YMM-455（ブランド：山善） ワタナベ工業（株） 約4年	ミニマットをふとんの中で使用していたところ、本体の一部と寝具類が焦げた。	接着強度が十分でなかったため、通常使用においてヒーター線が固定位置より移動して重なり合い、お互いの発熱によりヒーター線の被覆が溶け、スパークが発生したため、上下層のフェルトを焦がし発煙に至ったものと推定される。 なお、当該製品にはサーモスタットと温度ヒューズが装着されていたが、異常発熱した箇所と離れていたため作動しなかったものと推定される。	2007（平成19）年1月22日及び2008（平成20）年12月1日付けのホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。 なお、過去にヒーター線の移動により通電不良になった苦情があったことから、2005（平成17）年7月より接着強度を増した製品に設計変更している。	輸入事業者 (受付:2009/01/07)
2008-4637 2009/01/24 (事故発生地) 香川県	ミニマット（電気マット） EL-K452 (株) エレックス 約3年1か月	ふとんの中にミニマットを入れて使用していたところ、焦げ臭くなり、円型に燃えた跡が残っていた。	被害者がふとんで使用したことにより、部分的に異常に発熱した状態になったにもかかわらず、安全装置が正常に作動しなかったため、焼損に至ったものと推定される。 なお、本体表示には『就寝時の暖房器として使用しない。』旨記載されている。	他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/01/29)
2009-0251 2009/04/17 (事故発生地) 福井県	ミニマット（電気マット） OHC-99（ブランド：(株) オーム電機） サン・ウォームコーポレーション（株）（倒産） 不明	電気マットをふとんの間に置いて使用中、異臭がし、ふとんなどが焦げた。	被害者が事故品をふとんの間に挟んで使用したことにより、部分的に異常に発熱した状態になったにもかかわらず、安全装置が正常に作動しなかったため、焼損に至ったものと推定される。 なお、本体表示には『就寝時の暖房器として使用しない。』旨記載されている。	2010（平成22）年1月12日付けで、販売者である（株）オーム電機のホームページに取扱上の注意事項を掲載した。	消費者センター (受付:2009/04/20)
2009-0276 2009/04/19 (事故発生地) 福井県	ラジオ（携帯用） 約3か月	聴取中のラジオが、大きな爆発音とともに出火した。	ラジオの内部に出火した痕跡は認められず、ラジオ周辺に熱源、火源となるものがないとの使用者の説明から、事故原因を特定することはできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/04/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4335 2008/12/29 (事故発生地) 香川県	ラジカセ 約8年	ラジカセを使用中にカセットが動かなくなったので、布団の上に置いて操作していたら火花が散って、シーツが焦げた。	使用後に電源コードを本体に巻き付けて保管していたため、電源コードのプロテクタ部に機械的ストレスが繰り返し加えられ、芯線が半断線が生じて異常発熱し、被覆が溶融して短絡・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には、『電源コードを引張ったり、傷つけたりしない。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/14)
2008-0722 2008/04/22 (事故発生地) 兵庫県	ラミネーター RL-A3T フジプラ (株) 約3年4か月	ラミネーターを電源を入れたまま放置していたら、発煙発火し、テーブルの天板とカーテンに煤がかかった。	コントロール基板上の銅箔間でトラッキング現象が生じ、発火したものと考えられるが、トラッキング現象が生じた原因の特定はできなかった。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/05/15)
2009-1436 2009/08/17 (事故発生地) 愛知県	ラミネーター LTA-321N (ブランド: アイリスオーヤマ (株)) (株) オーヤマ 約1年2か月	ラミネーターを使用するため電源を入れておいたところ、当該品を載せていた書類棚の樹脂製引き出し付近から出火した。	ヒーター線とリード線のハトメ接続部にカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱して断線・シヨートし、高温の溶融金属が外郭カバーの通気口から下に落ち、書類棚の樹脂製引き出しが発火したものと推定される。	2009 (平成21) 年9月29日付け新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、顧客へのDMの送付及び販売店での店頭告知を実施し、無償で製品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/08/28)
2006-1669 2006/10/04 (事故発生地) 東京都	ラミネーター LPD3217 (ブランド: フジプラ (株)) 住友商事マシネックス関西 (株) 約11か月	電源を入れて、しばらく離れていたラミネーターから発煙し、本体と床の一部を損傷し、壁面が煤で汚れた。	帯状のヒーター線を銅製のリード線と重ねてねじり、閉端接続子によりカシメ接続しており、カシメ不良や断線等を生じやすい構造であったため、接触不良により異常発熱し、発火に至ったものと推定される。	2006 (平成18) 年11月8日付けの新聞及びブランド事業者ホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理および製品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2006/10/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2923 2004/07/26 (事故発生地) 兵庫県	リモコン（シーリングファン付き照明器具） WF436用付属リモコン オーデリック（株） 約7か月	シーリングファン付シャンデリアのリモコンが発熱して異常に熱くなり、操作ができなくなった。 (被害なし)	リモコンのスライド式スイッチが中間位置で短絡する構造のものを使用していたため、スイッチが中間位置となった際に、電池が短絡状態となり発熱し、電池ふた及び切替スイッチが変形したものと推定される。 (A1)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、中間位置で短絡しないスイッチに変更している。	製造事業者 (受付:2007/08/21)
2008-0289 2008/04/08 (事故発生地) 神奈川県	リモコン（テレビチューナー用） 約5年	リモコンから異臭がするので開けてみたところ、電池の挿入部分が溶融し、電池が発熱して外装が剥がれていた。 (製品破損)	電池が異常発熱したため、電池の外装が剥がれ、リモコンの樹脂を溶融したことが考えられるが、リモコンの基板上に使用している電解コンデンサのリード線が折れ、リモコン内部に繊維状の異物や液体等が付着した痕跡等が見られるが、使用状況等は不明であり、原因の特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 。なお、当該品は、既に販売を終了している。	消費者センター (受付:2008/04/15)
2008-3772 2008/11/14 (事故発生地) 埼玉県	リモコン（ビデオカメラ用） 約1年2か月	1才の幼児がビデオカメラのリモコンをいじっていた。様子がおかしいのを見たら、細い棒で勘合部のロックを解除し、引き出さないと開かないはずのリモコンの電池ホルダーが開いていて、中のボタン電池を飲み込んでいた。 (軽傷)	事故品のロック機構は正常であり、歯の生え揃っていない幼児がリモコンを口の中に入れて際に、偶然本体とフタの勘合部の隙間に歯が入り、ロックを外す力とフタを引き出す力が同時に加わったため、電池ホルダーが開き電池を飲み込んだものと推定される。 (F2)	製品には問題がない事故であるため、措置はとらなかった。 。なお、ホームページに「付属のリモコンにはボタン電池を使用しています。乳幼児が間違えて電池を飲み込んだり、使用機器から電池を取り出したりしないよう、使用機器や電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。」との注意喚起を掲載した。	消費者センター 製造事業者 (受付:2008/12/05)
2007-0641 2007/04/00 (事故発生地) 不明	レターオープナー L0-30 住金物産マテックス（株） 約4か月	使用中のレターオープナーから、焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	本体に使用しているマイクロスイッチに不良品が混入したため、接点不良により異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 。なお、当該事故を受けて工場における検査及び当該輸入事業者における検査の徹底を図り、2009（平成21）年3月に販売を終了した。	輸入事業者 (受付:2007/05/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6635 2008/02/18 (事故発生地) 千葉県	ワードプロセッサ OASYS LX-C700 OALXC700J 富士通（株） 約7年10か月	ワードプロセッサの具合が悪く、異音がするので、カバーを開けたところ、内部でスパークしていた。 (製品破損)	ACインレットの端子がはんだ付け不良であったため、はんだクラックを生じ、スパークしたものと推定される。 なお、ACインレット部はネジでフレームに固定されている。 (A2)	当該品はバッテリーを内蔵していないことから、同様の事象が発生した場合、画面が突然消えるなどといった不具合が生じて、ユーザーが異常に気付くものと考えられ、本体内部でスパークするのみで拡大被害には至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/02/28)
2009-0227 2009/04/08 (事故発生地) 大阪府	液晶モニター（テレビチューナー付） IT-26M1 シャープ（株） 約4年	液晶モニターの背面から発煙した。 (製品破損)	電源基板内のフィルムコンデンサーに不良品が混入していたため、内部短絡により発熱し、発煙したものと推定される。 (A3)	2009（平成21）年6月8日付けホームページに告知を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/04/20)
2007-6672 2008/02/23 (事故発生地) 愛知県	延長ケーブル（監視カメラ用） AP-20BR (有) エムエムネットワークシステム 約10日	監視カメラに接続した映像及び電源（ACアダプター）用延長ケーブルが触れないほど発熱していた。 (製品破損)	延長ケーブルの映像用と電源用にケーブルを分岐する端子内部において、素線の端末処理が悪く乱れがあったため、異極線に接触して端子部分で発熱したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、既販品について措置はとらなかった。 なお、製造工場に対して品質管理の強化を指示した。	消費者センター (受付:2008/03/03)
2009-1444 2009/07/00 (事故発生地) 福岡県	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リパティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売（株） 約2年11か月	屋外専用蚊取り装置を使用していたところ、配線がショートし、スイッチが入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線のコネクタ一部が、絶縁不良となったため、短絡・焼損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の特定はできなかった。 (G3)	2009（平成21）年9月より、顧客リストをもとに、無償でコネクタ一部を絶縁材によりモールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/08/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1515 2009/08/16 (事故発生地) 愛知県	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リ バティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売(株) 約2年11か月	屋外専用蚊取り装置を使用していた ところ、配線がショートし、スイッチ が入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線 のコネクター部が、絶縁不良となったため、短絡・焼 損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の 特定はできなかった。 (G3)	2009(平成21)年9月より、顧客リスト をもとに、無償でコネクター部を絶縁材によりモ ールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基 板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/09/03)
2009-1516 2009/08/23 (事故発生地) 愛知県	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リ バティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売(株) 約1年1か月	屋外専用蚊取り装置を使用していた ところ、配線がショートし、スイッチ が入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線 のコネクター部が、絶縁不良となったため、短絡・焼 損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の 特定はできなかった。 (G3)	2009(平成21)年9月より、顧客リスト をもとに、無償でコネクター部を絶縁材によりモ ールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基 板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/09/03)
2009-1517 2009/08/20 (事故発生地) 鹿児島県	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リ バティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売(株) 約2年11か月	屋外専用蚊取り装置を使用していた ところ、配線がショートし、スイッチ が入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線 のコネクター部が、絶縁不良となったため、短絡・焼 損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の 特定はできなかった。 (G3)	2009(平成21)年9月より、顧客リスト をもとに、無償でコネクター部を絶縁材によりモ ールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基 板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/09/03)
2009-1518 2009/08/22 (事故発生地) 不明	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リ バティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売(株) 約3年1か月	屋外専用蚊取り装置を使用していた ところ、配線がショートし、スイッチ が入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線 のコネクター部が、絶縁不良となったため、短絡・焼 損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の 特定はできなかった。 (G3)	2009(平成21)年9月より、顧客リスト をもとに、無償でコネクター部を絶縁材によりモ ールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基 板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/09/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1519 2009/07/00 (事故発生地) 山口県	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リ パティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売(株) 不明	屋外専用蚊取り装置を使用していた ところ、配線がショートし、スイッチ が入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線 のコネクター部が、絶縁不良となったため、短絡・焼 損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の 特定はできなかった。 (G3)	2009(平成21)年9月より、顧客リスト をもとに、無償でコネクター部を絶縁材によりモ ールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基 板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/09/03)
2009-1520 2009/08/16 (事故発生地) 神奈川県	屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット「リ パティプラス」MM3100 ヤナセ産業機器販売(株) 約3年	屋外専用蚊取り装置を使用していた ところ、配線がショートし、スイッチ が入ったまま停止した。 (製品破損)	本体内部の、バッテリーから基板に接続される配線 のコネクター部が、絶縁不良となったため、短絡・焼 損したものと推定されるが、絶縁不良となった原因の 特定はできなかった。 (G3)	2009(平成21)年9月より、顧客リスト をもとに、無償でコネクター部を絶縁材によりモ ールドするとともに、電流ヒューズの追加及び基 板に絶縁材を塗布する改良を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/09/03)
2008-5289 2009/03/10 (事故発生地) 青森県	屋内配線 不明	木造2階建て住宅から出火して、約 90平方メートルを全焼し、家人1人 が死亡し、1人が煙を吸い軽傷を負っ た。1階台所付近が激しく燃えている 。 (死亡)	台所の屋内配線からの出火したものと考えられるが 、焼損が著しく原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかっ た。	製品評価技術基盤機 構 (受付:2009/03/17)
2009-0344 2008/11/10 (事故発生地) 岐阜県	温水洗浄便座 TCF975L 東陶機器(株) 不明	温水洗浄便座から異臭がして、発煙 し、機器外郭の一部が変形、変色した 。 (製品破損)	コントローラー基板の温水ヒーター用コネクター 接続部において、ある期間の部品メーカー製コネク ターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使 用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネク ター一部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により 基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火 花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間 でスパーク・発火したものと推定される。	2007(平成19)年4月17日付けの新聞 及びホームページに社告を掲載するとともに、新 聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送 付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/04/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0345 2009/01/07 (事故発生地) 鳥取県	温水洗浄便座 TCF970L 東陶機器（株） 不明	温水洗浄便座の外郭の一部が変形、変色した。 (製品破損)	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター一部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/04/30)
2009-0930 2009/05/11 (事故発生地) 福井県	温水洗浄便座 TCF975L 東陶機器（株）（現：T O T O（株）） 約9年	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター一部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/07/02)
2009-2411 2009/10/30 (事故発生地) 大阪府	温水洗浄便座 TCF970 東陶機器（株） 不明	温水洗浄便座を使用中、タンク下方から発煙した。 (製品破損)	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター一部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者 (受付:2009/11/26)
2007-5722 2008/01/07 (事故発生地) 熊本県	温水洗浄便座 DLS-64-BG アサヒ衛陶（株） 不明	温水洗浄便座からプラスチックが溶けるようなにおいがした。 (製品破損)	フィルムコンデンサーのはんだ付け部に不良があったため、はんだクラックが生じて接触不良となり、異常発熱して焼損し、異臭がしたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/01/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3707 2008/11/26 (事故発生地) 京都府	温水洗浄便座 TCF840 東陶機器(株) 約13年10か月	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	温水タンクに亀裂が入ったため、漏水により基板上にある電圧制御用ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに亀裂が入った原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2008/12/02)
2009-1215 2009/06/14 (事故発生地) 東京都	温水洗浄便座 ウォッシュレットG TCF740 TOTO(株) 約10年	温水洗浄便座の左側から漏水した後、本体から発煙した。 (製品破損)	温水タンクに亀裂が入ったため、漏水により基板上にある電圧制御用ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに亀裂が入った原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/07/29)
2009-1809 2009/08/03 (事故発生地) 東京都	温水洗浄便座 ウォッシュレットG TCF741 TOTO(株) 約10年	温水洗浄便座から水漏れしていたが、使用できたのでそのまま使用していたところ、樹脂が焼ける臭いがし、気分が悪くなり嘔吐した。 (軽傷)	温水タンクに亀裂が入ったため、漏水により基板上にある電圧制御用ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに亀裂が入った原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、発火に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/10/02)
2009-1271 2008/00/00 (事故発生地) 福岡県	温水洗浄便座 TCF741 TOTO(株) 約10年	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	温水タンク部で漏水が生じたため、漏水により基板上にある電圧制御用ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンク部で漏水した原因の特定はできなかった。 (G3)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/08/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2008-5287 2008/09/10 (事故発生地) 北海道	温水洗浄便座 TCF611#SC1 TOTO (株) 約12年	温水洗浄便座（ABS樹脂製）の一部に亀裂と焦げがあり、便器部分にすずが付着していた。 なお、事故品は日常的にトイレ用洗剤で清掃されていた。	亀裂の破面に溶剤亀裂を示す鏡面と疲労破壊を示すストライエーションが確認されたことから、トイレ用洗剤の影響でクラックが発生し、その状態で継続使用されたために、着座の都度、クラック部分のヒーター線への応力集中が繰り返され、ヒーター線が断線してスパークし、周囲の樹脂が焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書及びしおりには、樹脂が傷んで、割れてけがをするおそれがあるとして、トイレ用洗剤等の使用を禁止する旨が記載されていたが、製品本体には同事項が表示されていなかった。	便座内のヒーター線の電流値は0.8A（80W）と小さく、ヒーター線が断線した場合は通電されなくなり、拡大被害に至る可能性が低いことから、既製品についての措置はとらなかった。 なお、後継機種については便座の材質をポリプロピレンに変更するとともに、製品にひび割れが入った状態のまま使いつづけると、火災や感電の原因になる旨を、取扱説明書に記載している。	医療機関 (受付:2009/03/17)
2008-5185 2009/03/05 (事故発生地) 北海道	温水洗浄便座 TCF611#SC1 TOTO (株) 約12年	トイレから焦げ臭いにおいがし、温水洗浄便座（ABS樹脂製）に亀裂が入って一部が焦げていた。 なお、事故品は日常的にトイレ用洗剤で清掃されていた。	亀裂の破面に溶剤亀裂を示す鏡面と疲労破壊を示すストライエーションが確認されたことから、トイレ用洗剤の影響でクラックが発生し、その状態で継続使用されたために、着座の都度、クラック部分のヒーター線への応力集中が繰り返され、ヒーター線が断線してスパークし、周囲の樹脂が焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書及びしおりには、樹脂が傷んで、割れてけがをするおそれがあるとして、トイレ用洗剤等の使用を禁止する旨が記載されていたが、製品本体には同事項が表示されていなかった。	便座内のヒーター線の電流値は0.8A（80W）と小さく、ヒーター線が断線した場合は通電されなくなり、拡大被害に至る可能性が低いことから、既製品についての措置はとらなかった。 なお、後継機種については便座の材質をポリプロピレンに変更するとともに、製品にひび割れが入った状態のまま使いつづけると、火災や感電の原因になる旨を、取扱説明書に記載している。	医療機関 (受付:2009/03/09)
2008-4977 2009/02/02 (事故発生地) 愛知県	温水洗浄便座 DV-217 (株) INAX 約4年9か月	温水洗浄便座の内部基板が発熱し、外部カバーの一部がへこんだ。	洗浄用水ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により漏水が発生し、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れたが、安全装置（温度ヒューズ）が付いていなかったため、駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	2008（平成20）年12月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2009/02/19)
2009-1437 2009/08/09 (事故発生地) 宮崎県	温水洗浄便座 DV-215 (株) INAX 約5年	温水洗浄便座の内部基板が発熱し、外部カバーにへこみができた。	洗浄用水ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により漏水が発生し、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れたが、安全装置（温度ヒューズ）が付いていなかったため、駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	2008（平成20）年12月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/08/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0906 2006/09/20 (事故発生地) 福岡県	温水洗浄便座 CW-101 (ブランド (株) INAX) アイシン精機 (株) 約14年	温水洗浄便座から異臭がし、本体の一部が焼損した。 (製品破損)	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。 (G1)	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2007/05/22)
2008-5117 2009/02/27 (事故発生地) 埼玉県	温水洗浄便座 AL-5020II (ブランド: 旭硝子 (株)) 東京ゼーゼル (株) (倒産) 約20年	木造平屋住宅から出火して、約80平方メートルを全焼し、家人1人が消火の際に軽い火傷を負った。 (軽傷)	被害者が便器の詰まりを直すために、事故品の電源を入れたまま便器から外した際に、出火したものと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 なお、事故品の温水洗浄機能は約7年前から故障しており、暖房便座機能のみで使用していた。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製品評価技術基盤機構 販売事業者 (受付:2009/03/03)
2008-1284 2008/05/12 (事故発生地) 大阪府	温水洗浄便座 約2年	子供が当該製品の便座内側前部で身体の一部を挟み、けがを負った。 (軽傷)	便座内側前部にバリや鋭利な部分はみあらず、被害者が便座にはまり込んだ状態から勢いよく飛び出した際にけがを負ったことから、便座にはまり込んだため便座内側前部に皮膚を強く押し当ててしまい、飛び出した際に皮膚を擦ってしまったためけがを負ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関 (受付:2008/06/30)
2009-0534 2009/03/25 (事故発生地) 埼玉県	加湿器 ML-iG40A 森田電工 (株) 約3か月	加湿器から水漏れし、床やカーテンが変色した。 (拡大被害)	水槽と蒸発皿をつないでいるシリコンチューブが一部破れたため、水漏れしたものと考えられるが、シリコンチューブが破れた原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/05/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2153 2006/11/01 (事故発生地) 大阪府	加湿器 KL-3042 森田電工（株） 約1年	就寝中、「パチパチ」と音がして、加湿器内部から発火した。 (製品破損)	本体と水槽の間にあるシリコンゴムのパッキンに変形（キズ）があり、その部分から水漏れしたため、基板上に水がかかり異極間が短絡して、発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、水槽と本体を一体化し、シリコンゴムパッキンのない構造に変更している。	消費者センター 製造事業者 (受付:2006/11/30)
2008-4861 2009/02/00 (事故発生地) 東京都	加湿器（超音波式） KX-69UP (株)シー・シー・ピー 約2か月	ペットボトルを使う加湿器を使用していたところ、突然本体底から煙が出て、プラスチックの焦げたようなにおいがした。 (製品破損)	水槽に残った水を捨てる際に、送風口から水が浸入しやすい構造であったため、送風ファンの駆動用のICが短絡し、焼損したものと推定される。 (A1)	他に同種事故発生の情報がなく、電流ヒューズが溶断して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	市町村 (受付:2009/02/12)
2007-6058 2008/02/03 (事故発生地) 青森県	加湿器（超音波式） 約3日	超音波式の加湿器を使用したところ、家人3名に頭痛がした。 (軽傷)	当該製品は、超音波の振動でタンク内の水を霧状に放出して加湿するもので、事故品を確認したところ異常はなく、タンク内の水はほぼ一日に一度の割合で入れ替えられていたことから、細菌等の繁殖も考えにくい状況であった。超音波による微細な振動が体調に影響した可能性は考えられるものの、因果関係は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/02/07)
2008-3929 2008/11/19 (事故発生地) 長野県	家庭用太陽光発電システム用接続箱 NTB-06 日東工業（株） 不明	家庭用太陽光発電システム用接続箱のプリント基板と太陽電池からの配線の一部が焼損し、壁面の一部が焦げた。 (拡大被害)	家庭用太陽光発電システム用接続箱のケース上部に穴が開いていたため、風雨の強い時に内部に雨が浸入し、接続端子部でトラッキングを起こして発火したものと推定される。	2006（平成18）年8月25日付けホームページに社告を掲載するとともに、DMを送出し、対象品について無償で改修を実施している。 なお、2001（平成13）年4月より、接続ユニットのケース上部の穴をなくしている。	製造事業者 (受付:2008/12/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1830 2009/09/02 (事故発生地) 富山県	懐中電灯(充電式) 不明	充電式懐中電灯のバッテリーを外そうとしたところ、右手親指の爪が引っ掛かって剥がれた。 (軽傷)	事故品バッテリー装着部分のロック機構の外し荷重は4.38kgで、形状にバリ等の異常は認められなかった。当該製品は建築現場等で使用する作業用の携帯電灯で、使用中にバッテリーが不意に落下しないようにロック機構の外し荷重が高めに設計されており、ロック機構を外す際、不用意に力を込めて指が滑るなどした拍子に、爪が引っ掛かって剥がれたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/10/05)
2007-6768 2008/02/27 (事故発生地) 熊本県	学習机 LR-412 大商産業(株) 約5年	学習机に組み込まれている電気スタンドから発煙した。 (製品破損)	フィルムコンデンサーのリード線に無理な力を加えたため、コンデンサーが内部短絡し、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、最終的に保護回路が働いて通電が停止し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、今後は品質管理の徹底を行うこととした。	消費者センター (受付:2008/03/05)
2007-5503 2008/01/12 (事故発生地) 群馬県	換気扇 不明	10階建てホテルの客室の換気扇から煙が出て、宿泊客12人が病院に搬送された。 (軽傷)	事故品のモーター巻線が異常発熱し、周囲の絶縁材から発煙したものと考えられるが、事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/01/18)
2009-1032 2009/06/27 (事故発生地) 新潟県	換気扇 FV-25PFP 松下精工(株)(現在:パナソニックエコシステムズ) 約34年	台所の換気扇から出火した。 (製品破損)	長期使用(約34年)により、モーターの回転軸が固着しロックしたため、モーター巻線に過電流が流れ、発熱・発火に至ったものと推定される。 (C1)	2008(平成20)年6月2日付けホームページに告知を掲載し、長期使用の換気扇に対する注意喚起を行っている。また、(財)家電製品協会及び(社)日本電機工業会においても、換気扇の安全点検チラシやチェックリストの掲載等で、ユーザーへの啓発活動を行っている。	製造事業者 (受付:2009/07/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1510 2009/08/17 (事故発生地) 広島県	換気扇 UL-258 (株)日立製作所(現在: 日立アプライアンス(株)) 約38年	使用中の換気扇の一部が焼損し、内 壁などが煤で汚損した。 (拡大被害)	長期使用(約38年)により、モーターコイルが絶 縁劣化し、レイヤショートが生じ、発火に至ったもの と推定される。 (C1)	事業者は自社のホームページに長期使用の換気 扇に関する注意喚起を掲載している。また、財 団法人家電製品協会等の4団体では、経済産業省 と協力して、現在、長期使用家電製品に関する注 意喚起チラシを各自治体を通じて全国の各世帯に 配布している。	製造事業者 (受付:2009/09/03)
2009-0940 2009/05/17 (事故発生地) 東京都	換気扇(レンジフード) VMR-75 タカラスタンダード(株) 約1年6か月	スイッチを押しても換気扇が止まら ず、スイッチの裏側から発煙した。 (製品破損)	事故品の写真によると、風量「中」スイッチの配線 接続端子に発熱の痕跡があることから、接続端子部の 接触不良により発熱・発煙し、スイッチボックス(難 燃製樹脂)が熱変形したため、スイッチが切れなかつ たものと推定されるが、事故品は既に廃棄されている ため、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情 報はないことから、今後の事故発生状況を注視す ることとし、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/07/02)
2008-2045 2008/07/26 (事故発生地) 群馬県	換気扇(床下用) 約7年7か月	洗面脱衣所の床下から出火し、火災 になった。床下には床下換気扇が設置 されていた。 (拡大被害)	電源供給用端子台の内部にある金属が溶融してい ることから、異極間でトラッキングが発生し、焼損し たものと考えられるが、焼損が著しく、原因の特定はで きなかった。 (G1)	製造業者等は所在が不明であり、事故原因が不 明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/08/20)
2008-3173 2008/10/19 (事故発生地) 福岡県	換気扇(浴室用) EK-2511F(ブランド:大 建工業(株)) 西武電機工業(株) 約30年	浴室に設置された換気扇付近から出 火し、壁などを焼いた。 (拡大被害)	長期使用(約30年)により、モーターの軸が固着 したため、スイッチを入れた際に、コイルが異常発熱 して絶縁劣化し、短絡・スパークを生じて発火したも のと推定される。 (C1)	製造業者が倒産しているため、措置はとれなか った。	消防機関 (受付:2008/10/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3201 2008/10/21 (事故発生地) 大阪府	魚焼き器 EF-VS40 象印マホービン(株) 約1日	使用中の魚焼き器の扉を開けたところ、蒸気が吹き上がり、顔面に軽傷を負った。 (軽傷)	事故品のヒーター及びタイマーに異常は認められず、再現試験の結果、蒸気の噴出も見られなかったことから、被害者が調理途中に顔を近づけてふたを開けたため、熱気が顔に当たったものと推定される。 なお、取扱説明書の注意表示が不十分であった。	他に同種事故発生の情報がないことから、既販品について措置はとらなかった。 なお、今後は取扱説明書に『調理中や調理後にふたを開けるときは、本体に顔を近づけない。』旨記載することとした。	消費者センター (受付:2008/10/23)
2007-1904 2007/06/12 (事故発生地) 東京都	空気浄化機(光触媒) 約1回	使用中の空気浄化機から発火した。 (製品破損)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2007/06/20)
2008-5092 2009/02/10 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 約1回	空気清浄機を購入した当日、電源を入れて設定を行っていたところ、吹き出し口から火花が出た。 (製品破損)	フィルター及びその周囲が焼損していたが、通電したところ正常に動作し、内部の電気部品に異常発熱や短絡等も認められないことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/02)
2007-0351 2007/04/15 (事故発生地) 兵庫県	空気清浄機 AKA-J320 タイガー魔法瓶(株) 約2年10か月	使用中の空気清浄機からプラスチックの溶けたにおいがし、背面部が発熱していた。 (製品破損)	モーター製造時に組み立て不良があったため、通電中にモーターが停止して巻線が異常発熱し、異臭がしたものと推定される。	他に同種事故発生情報はなく、最終的に温度ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	消費者 製造事業者 (受付:2007/04/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2324 2007/07/18 (事故発生地) 不明	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機のスイッチ操作を行ったところ、指先に静電気のような電気ショックを感じた。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、外郭樹脂が帯電して、被害者が触れようとした際に静電気により感電したものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2007-5085 2007/09/05 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 約5か月	使用中の空気清浄機から火花が出て発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2007/12/26)
2008-2281 2008/08/26 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約1年	空気清浄機の真ん中にある電線部分から小さな炎が出て、周辺の部品が溶け、プラスチックの焦げたにおいがした。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	消費者 (受付:2008/09/02)
2008-2320 2006/10/09 (事故発生地) 不明	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄器から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2321 2006/10/26 (事故発生地) 北海道	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2322 2006/10/05 (事故発生地) 福岡県	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約9か月	使用中の空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2323 2007/06/04 (事故発生地) 不明	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2325 2007/06/29 (事故発生地) 不明	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機の底部が焦げた。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2326 2007/08/03 (事故発生地) 神奈川県	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、異音が生じた。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2327 2007/08/21 (事故発生地) 不明	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機から異音が生じて、放電現象が発生した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2328 2007/09/03 (事故発生地) 不明	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2329 2007/10/23 (事故発生地) 埼玉県	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約3年6か月	使用中の空気清浄機から、異音が生じて火花と発煙を生じた。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2330 2007/11/07 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約9か月	空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2331 2007/10/29 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約12か月	使用中の空気清浄機から異音が発生し、集塵板が焦げた。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2332 2007/12/11 (事故発生地) 大阪府	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約2年	使用中の空気清浄機から異臭がして、集塵板が焦げた。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2333 2007/12/21 (事故発生地) 神奈川県	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約3年	使用中の空気清浄機から異音と異臭、放電現象が発生した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2334 2008/03/28 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパ ー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約12か月	使用中の空気清浄機から発煙し、火花が出た。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2335 2008/04/21 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパ ー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2336 2008/05/28 (事故発生地) 千葉県	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパ ー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 不明	使用中の空気清浄機から異音と放電光が発生した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)
2008-2337 2008/07/04 (事故発生地) 三重県	空気清浄機 IU397 (ブランド: シャーパ ー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約3年	使用中の空気清浄機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既販品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/09/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2778 2008/09/05 (事故発生地) 神奈川県	空気清浄機 IU397 (ブランド：シャーパー・イメージ) 三井物産 (株) (現在は (株) アントレックスに事業譲渡) 約1年8か月	空気清浄機を清掃した後、コンセントに電源プラグを差し込んでスイッチを入れたところ、火花と煙が出た。 (製品破損)	静電吸着式の集塵ユニットや本体に付着したほこり・水分等の影響によって、絶縁性能が低下して放電が生じ、樹脂表面の一部が焦げ発煙し、異臭を生じたものと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、安全装置が作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとし、既製品について措置はとらないが、2008 (平成20) 年10月31日付けブランド (シャーパー・イメージ) のホームページに『適切に集塵ユニットの清掃を行わないと、異音・放電が発生する場合があります。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2008/09/24)
2008-2205 2008/08/08 (事故発生地) 東京都	空気清浄機 約2年	使用中の空気清浄機から発煙し、内部のフィルター等を焼損した。 (製品破損)	内部の電気部品に異常は認められず、正常に動作しており、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2008/08/28)
2007-2033 2007/06/15 (事故発生地) 大阪府	空気清浄機 (マイナスイオン発生式) 約4年1か月	運転中の空気清浄機の吹き出し口から火が出て、上部の蛍光灯カバーの一部が焼損した。 (拡大被害)	吹き出し口の左側付近で異常放電が生じ、出火に至ったものと考えられるが、当該部の焼損が著しく、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、既に当該品の販売は終了している。	消防機関 (受付:2007/06/27)
2009-0256 2009/03/30 (事故発生地) 東京都	携帯CDプレーヤー (付属乾電池ケース) EBP-25 ソニーイーエムシーエス (株) 約3年	CDプレーヤーの乾電池を交換する際、乾電池ケースと乾電池が熱くなっており、指に火傷を負った。 (軽傷)	電池ケースの出力コードの材質及び構造の不良により、使用中の折り曲げ、引っ張り等の機械的ストレスを受けて、出力コードの芯線が半断線状態となりショートし、装填された電池が短時間で放電し、電池及び内部配線が発熱したものと推定される。 (A1)	2003 (平成15) 年11月19日、2004 (平成16) 年10月14日付けホームページに社告を掲載し、乾電池ケースを改良品と無償で交換している。	輸入事業者 (受付:2009/04/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4351 2007/11/08 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA004J/A) アップルジャパン (株) 約2年	使用中の携帯音楽プレーヤーが、異常発熱、変形し、手に火傷を負った。 (軽傷)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 (G1)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は無償交換を実施し、異常発熱が生じていなくても問い合わせがあった場合は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2007/11/13)
2007-6952 2008/02/15 (事故発生地) 茨城県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA004J/A) アップルジャパン (株) 約1年	携帯型音楽プレーヤーをパソコンにつないで充電中、異音が生じて発熱し、大きく変形した。 (製品破損)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 (G1)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は無償交換を実施し、異常発熱が生じていなくても問い合わせがあった場合は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者 (受付:2008/03/13)
2007-7144 2007/05/29 (事故発生地) 埼玉県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA107J/A) アップルジャパン (株) 約1年8か月	携帯型音楽プレーヤーをパソコンに接続して充電していたところ、「シュー」という音とともに発熱し、火花が出て直後に本体が変形した。 (製品破損)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。 (G1)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は無償交換を実施し、異常発熱が生じていなくても問い合わせがあった場合は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2008/03/24)
2008-2343 2008/08/30 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー iPod nano アップルジャパン (株) 約4年7か月	パソコンに接続して約30分使用後の携帯型音楽プレーヤーより爆発音がし、火花が飛び散り足に軽い火傷を負った。 (軽傷)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。 (G3)	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2008/09/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3306 2008/10/29 (事故発生地) 神奈川県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA004J/A) アップルジャパン (株) 約3年1か月	携帯型音楽プレーヤーを充電中、突然「ボン、パン」という音とともに白煙が上がって本体が飛び、じゅうたんの一部を焼き、煙を吸い込んで喉を痛めた。	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者 (受付:2008/11/04)
2008-5314 2009/03/17 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA005J/A) アップルジャパン (株) 約2年20日	携帯型音楽プレーヤーを他社製充電用ACアダプターに接続して充電していたところ、ゴムが焼けるような異臭がして、操作ボタンが溶け、熱膨張でつなぎ目が裂け、畳が焦げた。	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者 (受付:2009/03/18)
2008-5359 2009/02/24 (事故発生地) 埼玉県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA005J/A) アップルジャパン (株) 約1年6か月	携帯型音楽プレーヤーを充電のできる他社製スピーカーで充電していたところ、本体から発煙、発火し、スピーカーが焦げた。	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2009/03/24)
2009-0923 2009/06/29 (事故発生地) 千葉県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA107J/A) アップルジャパン (株) 約4年	携帯音楽プレーヤーを使用後、スイッチを切って床に置いたところ、発火し、カーペットが焦げた。	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2009/07/01)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2028 2009/10/06 (事故発生地) 長野県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA099J/A) アップルジャパン (株) 約4年1か月	充電中の携帯型音楽プレーヤーから異臭がして発煙し、焦げて、下にあったMD・CDプレーヤーも熱で変色した。 (拡大被害)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2009/10/20)
2009-2061 2009/10/19 (事故発生地) 神奈川県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA107J/A) アップルジャパン (株) 約3年5か月	携帯型音楽プレーヤーをパソコンにつないで充電していたところ、突然白煙を出し煤が付着した。 (製品破損)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2009/10/21)
2009-2106 2009/10/23 (事故発生地) 千葉県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano アップルジャパン (株) 約6年	携帯型音楽プレーヤーを他社製充電器で充電していたところ、「ボン」という音がして発煙した。樹脂製の床材の一部が溶け、プレーヤーを触った際に指に火傷を負った。 (軽傷)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形したものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。 なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者センター (受付:2009/10/26)
2007-7147 2008/03/20 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA004J/A) アップルジャパン (株) 約2年2か月	夜間、ノートパソコンからUSBケーブルで携帯型音楽プレーヤーの充電を行ったが、翌朝、当該プレーヤーの操作パネルが溶け、側面から黒い内部物質が出てテーブルに付着した。 (拡大被害)	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形するとともに、バッテリーの内部物質が出たものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は無償交換を実施し、異常発熱が生じていなくても問い合わせがあった場合は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者 (受付:2008/03/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0821 2008/05/22 (事故発生地) 沖縄県	携帯型音楽プレーヤー iPod nano (MA004J/A) アップルジャパン(株) 約2年9か月	携帯型音楽プレーヤーを充電中、異常発熱、変形し、本体から火花と煙が出るとともに、黒い内部物質が出てフロアリングが2cm四方汚れた。	バッテリーの繰り返し使用等によって、絶縁不良が生じて異常発熱し、本体が変形するとともに、バッテリーの内部物質が出たものと推定されるが、絶縁不良の原因は特定できなかった。	2008(平成20)年8月20日付けホームページに告知を掲載し、異常発熱が生じた製品は無償交換を実施し、異常発熱が生じていなくても問い合わせがあった場合は、内蔵バッテリーの無償交換を実施している。	消費者 (受付:2008/05/27)
2008-0666 2008/04/22 (事故発生地) 鹿児島県	携帯電話機 不明	ふる場の脱衣所のたんすの上に携帯電話を置いていたところ、異音が生じ、携帯電話が床に落ちて発煙し、床も焦げた。	バッテリーと蓋の間に異物が挟み込まれていたため、バッテリーが凹み内部短絡が生じ、異常発熱したものと考えられるが、異物の種類や使用状況が不明のため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2008/05/09)
2009-1754 2009/08/04 (事故発生地) 広島県	携帯電話機 約1年1か月	充電中の携帯電話機が異常に熱く、焦げ臭くなり、通話できなくなった。	バッテリーパックに異常は認められず、アンテナ部(通話用、地デジ用、ブルートゥース用)や、液晶がスポット的に焼損しており、電子レンジで加熱する実験をしたところ、同様の焼損状況が再現されたことから、外部からの影響により焼損した可能性が考えられるが、使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/09/28)
2008-4872 2009/01/13 (事故発生地) 東京都	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	携帯電話機のヒンジが曲がっていたので、まっすぐに直そうとしたところ、ヒンジの隙間から発煙した。	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板(柔軟性のある基板)で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。	2009(平成21)年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4700 2008/03/11 (事故発生地) 東京都	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	使用中の携帯電話が発熱し、火花が散った。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/03)
2008-4113 2008/10/27 (事故発生地) 愛媛県	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	携帯電話のヒンジ隙間部分から発煙した。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/12/26)
2008-4873 2009/01/18 (事故発生地) 大阪府	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	携帯電話機を開けようとしたところ、ヒンジの隙間から発煙した。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/13)
2008-4701 2008/04/11 (事故発生地) 北海道	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	充電後の携帯電話のヒンジ部分から発煙した。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3274 2008/09/29 (事故発生地) 大阪府	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	携帯電話の電源を切った際、ヒンジ部から発煙した。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/10/29)
2008-4702 2008/07/28 (事故発生地) 大阪府	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	使用中の携帯電話のヒンジ部分から火花が散った。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/03)
2009-0242 2008/03/00 (事故発生地) 東京都	携帯電話機 W55T (株)東芝モバイルコミュニケーション社 不明	携帯電話機を充電中、ヒンジ部分から発煙した。 (製品破損)	ヒンジを含む本体はマグネシウム合金製で、材質的に硬いが脆い特性があるため、落下等の衝撃が加わると、ヒンジ全体が破損して内部のフレキシブル基板（柔軟性のある基板）で支える状態となり、そのまま使用を続けたことで、フレキシブル基板が破損してパターンが断線し、さらに開閉を行った際にパターン間でショートして発煙したものと推定される。 (B1)	2009（平成21）年2月3日付けホームページに注意喚起を掲載するとともに、フレキシブル基板のパターンが断線した際に、エラー表示しバイプレーターが連続動作するソフトウェアを無料で配信している。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/20)
2008-3831 2008/08/22 (事故発生地) 不明	携帯電話機 約4か月	充電中の携帯電話機が発熱し、一部が変形した。 (製品破損)	ヒンジ部に砂が入り込んだため、フレキシブル基板の絶縁皮膜が削れてショートし、ヒンジ部の樹脂が変形したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2008/12/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3661 2008/10/10 (事故発生地) 不明	携帯電話機 約5か月	携帯電話機をポケットに入れていたところ、突然熱くなり、一部が変形した。 (製品破損)	ヒンジ部に砂が入り込んだため、フレキシブル基板の絶縁皮膜が削れてショートし、ヒンジ部の樹脂が変形したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、砂が入り込んだ原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2008/11/28)
2008-4541 2009/01/22 (事故発生地) 神奈川県	携帯電話機 約9年3か月	携帯電話を取るうとしたところ、カメラレンズ右横のメッキ部分が剥がれて尖っていたために、左手親指に切創を負った。 (軽傷)	メッキ剥がれ部分に打痕が見られることから、メッキ部分に強い衝撃を受け、メッキ及び本体樹脂がはく離し、これが起点となりメッキがはがれ、バリ状となったため、指でなぞった際に切創を負ったものと推定されるが、衝撃を受けた原因は特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2009/01/26)
2008-3333 2006/07/00 (事故発生地) 愛知県	携帯電話機 FOMA D902i用電池パック D06 三菱電機(株) 約3か月	携帯電話を充電中、電話機の上に腕を置いた状態で寝てしまったために、右肘に火傷を負った。 (軽傷)	携帯電話に異常は認められず、事故時に使用していたリチウムイオンバッテリーは既に交換されており、事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は、携帯電話会社とともに2006(平成18)年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2008/11/04)
2008-4451 2008/09/24 (事故発生地) 静岡県	携帯電話機 約1年6か月	携帯電話機をポケットに入れていたところ、電話機から熱い液体が流れ出て、足に軽い火傷を負い、衣服にしみができた。 (軽傷)	事故品は正常に機能し異常発熱は認められず、本体に溶融、焼損等の異常発熱した痕跡はなく、バッテリーにも液漏れ、膨れ等の異常はないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/01/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5273 2009/03/04 (事故発生地) 東京都	携帯電話機 不明	携帯電話機が発熱したため、指先に火傷を負い、本体を落下させてしまった。 (軽傷)	通常使用中の温度上昇に異常発熱は認められず、本体に溶融、焼損等の異常発熱した痕跡はなく、バッテリーにも液漏れ、膨れ等の異常はないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/16)
2009-1734 2009/09/12 (事故発生地) 長崎県	携帯電話機 不明	携帯電話を充電中、異音が生じて電池パック付近から火花が散って破裂し、ふとんが焦げた。 (拡大被害)	電池パックに外部から力が加わったため、バッテリーが内部短絡し異常発熱したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/09/25)
2009-0480 2009/04/25 (事故発生地) 千葉県	携帯電話機 不明	携帯電話にACアダプターを接続してベッドの上で充電していたところ、異臭が生じ、シーツが焦げた。 (拡大被害)	電池パック部を中心に焼損していたが、本体内部の基板に発火した痕跡はなく、電池パック内部の電極が短絡した明確な痕跡も認められないことから、使用状況等も不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/15)
2009-0054 2009/03/18 (事故発生地) 東京都	携帯電話機 不明	ズボンのポケットから携帯電話機を取り出そうとしたら、リアカバーが外れ、リアケースの中央付近を指で触れたところ、激痛が走り赤く腫れた。 (軽傷)	電池接続端子の一部(リアケースの中央付近)が引き出された状態に変形していることから、変形部に指を触れたものと推定される。しかし、通常の使用において電池接続端子は当該形状に変形せず、電池接続端子に何らかの外力が加えられたため、電池接続端子が変形したものと推定されることから、製品に起因しない事故と考えられる。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0476 2009/03/27 (事故発生地) 島根県	携帯電話機 約6か月16日	着信が鳴ったので携帯電話を耳にあてたところ、大きな音がしたため聴覚障害を負った。 (軽傷)	当該品に異常は認められず、使用状況をもとに再現試験を行ったが、大きな音は確認できなかったため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/14)
2009-1555 2009/04/18 (事故発生地) 静岡県	携帯電話機 約1年10か月	携帯電話が持てないほど熱くなった。 (被害なし)	当該品は正常に動作し、通常使用中の温度上昇に異常発熱は認められず、本体に溶融、焼損等の異常発熱した痕跡はなく、バッテリーにも異常は認められないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/09/07)
2009-0892 2009/06/04 (事故発生地) 広島県	携帯電話機 不明	充電器に接続した携帯電話を右頬の下に置いたまま就寝したところ、低温火傷を負った。 (軽傷)	当該品は待機、使用、充電状態などにおいて異常は認められず、事故状況をもとに再現試験を行ったが、充電中の温度上昇に異常発熱は認められなかったため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/06/29)
2008-1496 2008/06/27 (事故発生地) 栃木県	蛍光ランプ FHC27ED, FHC34EL, FHC41ED NECライティング(株) 約3年5か月	蛍光ランプが突然消えたため器具から外したところ、樹脂の部分が焦げたように変色しており、一部が割れた。 (製品破損)	ランプロ金樹脂が、ランプの熱及び紫外線の影響を受けやすい構造及び材質であったため、変色、破損したものと推定される。 (A1)	照明器具の保護回路が働き変色、破損で終息しており、拡大被害に至っていないことから、既販については措置はとらなかった。 なお、ランプロ金樹脂は、2003(平成15)年5月から、ガラス繊維30%を添加し、同年9月から、熱の影響を受けにくくするため、フィラメント部分を5mm高くした。	消費者センター (受付:2008/07/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0709 2008/11/14 (事故発生地) 神奈川県	蛍光ランプ 不明	ダウンライトから燃えた蛍光ランプが床に落ち、照明器具上方にある空調ダクトの防熱材に延焼した。 (拡大被害)	事故品は廃棄されており、入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/06/09)
2008-1979 2008/08/07 (事故発生地) 福島県	蛍光ランプ（スパイラル型） EFSP13EL (株) オーム電機 約1年	電球型の蛍光灯を電気スタンドに取り付けスイッチを入れたところ、電球内部から火が出た。 (製品破損)	当該機は、蛍光管が使用末期になると、インバータ回路基板上のトランジスタに過電流が流れる場合があるため、トランジスタが破損し、抵抗が焼損して発煙したものと推定される。 (A1)	他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は、既に生産を終了しており、2005（平成17）年3月以降生産の後継機種については、内部回路を改良している。	国の行政機関 (受付:2008/08/14)
2009-1359 2009/07/26 (事故発生地) 奈良県	蛍光ランプ（スパイラル型、電球型） FL-32SPA (株) 高儀 不明	シャンデリアにスパイラル型蛍光ランプを使用したところ、発火した。 (製品破損)	蛍光ランプ内のインバータ基板に不具合があったため、部品が異常発熱して焼損し、蛍光管が破損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/08/18)
2009-1481 2008/09/03 (事故発生地) 不明	蛍光ランプ（スパイラル型、電球型） FL-32SPA (株) 高儀 不明	照明器具に装着したスパイラル型蛍光ランプから発煙した。 (製品破損)	蛍光ランプ内のインバータ基板に不具合があったため、部品が異常発熱して焼損し、蛍光管が破損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/09/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0794 2009/05/19 (事故発生地) 香川県	蛍光ランプ（環形） 不明	蛍光ランプから火花が出た。 (製品破損)	当該品の通電確認をしたところ、寿命末期に生じる点滅を繰り返す状態であり、フィラメント付近が赤色に発光していることから、これが火花のように見えたものと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、特に措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/06/17)
2009-2208 2009/10/11 (事故発生地) 熊本県	蛍光ランプ（殺菌ランプ） 約2日	ペットショップ内で、一般照明器具に殺菌ランプを取り付けて使用していたところ、3人が皮膚障害などを発症した。 (軽傷)	照明器具の施工業者が、紫外線による殺菌を目的とした当該品を店舗に設置したため、殺菌ランプの紫外線が皮膚、角膜に直接照射され皮膚や角膜に障害が生じたものと推定される。 なお、取扱説明書には、『絶対に直接光や反射光を見たり、皮膚に当てない。視力障害、炎症の原因となる。』旨記載されている。 (D1)	施工業者によって行われた施工不良による事故であり、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、当該品は通常店先での陳列販売は行わず取り寄せ販売する製品で、照明器具メーカーにより、施工業者へ注意喚起を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/11/06)
2008-3020 2008/10/05 (事故発生地) 東京都	蛍光ランプ（電球型） パルックボール EFG25EL パナソニック（株） 約1年	壁付けで使用している電球型蛍光灯から発煙し、ビニール臭がした。 (製品破損)	インバーター回路用のフィルムコンデンサーが、半ショート状態となって発熱し、コンデンサーが焼損、発煙したものと推定されるが、コンデンサーが半ショート状態となった原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因は不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/10/09)
2008-3280 2008/10/21 (事故発生地) 愛知県	蛍光ランプ（電球型） SコンパクトEFD-12ED (株)オーム電機 約53日	シャンデリアの電球型蛍光ランプが点滅して根元付近が溶け、異臭がして発煙した。 (製品破損)	ガラスの封止工程が不完全であったため、管球に徐々に空気が流入し、通電時にフィラメントが異常発熱して、蛍光管支持部の樹脂が溶融したものと推定される。 (A2)	最終的にフィラメントが切れて終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、既製品について措置はとらなかった。 なお、蛍光管の製造工程における封止作業の作業品質の向上を指示した。	消費者センター (受付:2008/10/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-5387 2007/12/24 (事故発生地) 東京都	蛍光ランプ（電球型） EFS13EL 13WE26 兼松（株） 約3年	照明が点滅したので電球を交換するために、照明器具のカバーをはずしたところ、電球とソケットの接続部から炎と煙が吹き出していた。	ガラス管のガス封入部の肉厚が薄い部分があり強度不足であったため、熱膨張収縮、輸送中の振動などによって微細な損傷が生じ少しずつ空気が入り込み、フィラメント部が異常発熱し付近のガラス管が加熱され、本体樹脂ケースが焼損し発煙したものと推定される。	2009（平成21）年3月6日付けでHP上に当該品の使用を中止する旨掲載している。 なお、当該品は2004年に製造を終了している。	消費者センター (受付:2008/01/11)
2007-5924 2008/01/20 (事故発生地) 石川県	蛍光ランプ（電球型） EFS13EL 13WE26 兼松（株） 約4年	居室にいたところ異臭がし、電球型蛍光灯の発光管の根元付近が黒っぽく変色しており、一部が焦げていた。	ガラス管のガス封入部の肉厚が薄い部分があり強度不足であったため、熱膨張収縮、輸送中の振動などによって微細な損傷が生じ少しずつ空気が入り込み、フィラメント部が異常発熱し付近のガラス管が加熱され、本体樹脂ケースが焼損し発煙したものと推定される。	2009（平成21）年3月6日付けでHP上に当該品の使用を中止する旨掲載している。 なお、当該品は2004年に製造を終了している。	消防機関 (受付:2008/02/01)
2008-2916 2008/09/29 (事故発生地) 石川県	蛍光ランプ（電球型） EFS13EL 13WE26 兼松（株） 約1年	使用中の電球型蛍光ランプが突然点かなくなり、蛍光管根元付近の樹脂ケースが黒く焦げた。	ガラス管のガス封入部の肉厚が薄い部分があり強度不足であったため、熱膨張収縮、輸送中の振動などによって微細な損傷が生じ少しずつ空気が入り込み、フィラメント部が異常発熱し付近のガラス管が加熱され、本体樹脂ケースが焼損し発煙したものと推定される。	2009（平成21）年3月6日付けでHP上に当該品の使用を中止する旨掲載している。 なお、当該品は2004年に製造を終了している。	消費者 (受付:2008/10/06)
2008-3445 2008/10/31 (事故発生地) 栃木県	蛍光ランプ（電球型） EFD-12ED 東芝ライテック（株） 不明	点灯して約5分後に「ボン」という音がして電気が消え、電球の根元の金属部分から白い煙が出た。	フィルムコンデンサーに絶縁不良があったため、内部短絡し発煙したものと推定される。	発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/11/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1704 2009/07/07	蛍光ランプ（電球形） EFG21EL 東芝ライテック（株）	点灯中の電球形蛍光ランプが突然消え、異臭がした。	フィルムコンデンサーに絶縁不良があったため、内部短絡し発煙したものと推定される。 なお、当該品はコンデンサーが焼損した際に、口金と樹脂カバーの隙間よりランプ外部へ空気を排出し、減圧される構造になっているが、排出量が間に合わずガラスグローブが外れる恐れがある。	2007（平成19）年7月11日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、自主的な無償交換を行っている。 なお、当該製品は既に生産を終了しており、2004（平成16）年6月生産分よりコンデンサーのフィルム厚変更と工程検査を追加し、後継機種は、ランプ内圧が上昇した場合に口金と点灯回路内部樹脂カバーの隙間から減圧する構造に対し、樹脂カバーに孔を設け直接外部へ排出、減圧する構造としている。	製造事業者 (受付:2009/09/18)
2009-0521 2008/12/29	蛍光ランプ（電球形） EFG21EL 東芝ライテック（株）	焦げたにおいがして、突然電球が切れ、電球根元から白煙が出た。	フィルムコンデンサーに絶縁不良があったため、内部短絡し発煙したものと推定される。 なお、当該品はコンデンサーが焼損した際に、口金と樹脂カバーの隙間よりランプ外部へ空気を排出し、減圧される構造になっているが、排出量が間に合わずガラスグローブが外れる恐れがある。	2007（平成19）年7月11日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、自主的な無償交換を行っている。 なお、当該製品は既に生産を終了しており、2004（平成16）年6月生産分よりコンデンサーのフィルム厚変更と工程検査を追加し、後継機種は、ランプ内圧が上昇した場合に口金と点灯回路内部樹脂カバーの隙間から減圧する構造に対し、樹脂カバーに孔を設け直接外部へ排出、減圧する構造としている。	製造事業者 (受付:2009/05/20)
2009-2316 2009/11/11	蛍光ランプ（電球形） EFG21ED 東芝ライテック（株）	点灯中の電球形蛍光灯が破損し、照明器具も破損した。	ランプ寿命時の点灯回路の負荷上昇により、コンデンサーが破損したため、トランジスター・整流ブリッジがショートし、パターンヒューズが断線した。この過程でコンデンサーのフィルム焼損が発生したため、ランプ内圧が急激に上昇し、口金と樹脂カバーの隙間よりランプ外部へ空気を排出し、減圧される構造になっているが、排出量が間に合わず、異臭とともにランプよりガラスグローブが外れたものと推定される。	2007（平成19）年7月11日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、自主的な無償交換を行っている。 なお、当該製品は既に生産を終了しており、2004（平成16）年6月生産分よりコンデンサーのフィルム厚変更と工程検査を追加し、後継機種は、ランプ内圧が上昇した場合に口金と点灯回路内部樹脂カバーの隙間から減圧する構造に対し、樹脂カバーに孔を設け直接外部へ排出、減圧する構造としている。	製造事業者 (受付:2009/11/18)
2007-6146 2008/02/01	蛍光ランプ（電球形） EFG21EL 東芝ライテック（株）	電球形の蛍光灯から煙が出た。	ランプ寿命時の点灯回路の負荷上昇により、コンデンサーが破損したため、トランジスター・整流ブリッジがショートし、パターンヒューズが断線した。この過程でコンデンサーのフィルム焼損が発生したため、発煙したものと推定される。 なお、当該品はコンデンサーが焼損した際に、口金と樹脂カバーの隙間よりランプ外部へ空気を排出し、減圧される構造になっているが、排出量が間に合わずガラスグローブが外れる恐れがある。	2007（平成19）年7月11日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、自主的な無償交換を行っている。 なお、当該製品は既に生産を終了しており、2004（平成16）年6月生産分よりコンデンサーのフィルム厚変更と工程検査を追加し、後継機種は、ランプ内圧が上昇した場合に口金と点灯回路内部樹脂カバーの隙間から減圧する構造に対し、樹脂カバーに孔を設け直接外部へ排出、減圧する構造としている。	消費者センター (受付:2008/02/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1889 2008/08/03 (事故発生地) 静岡県	蛍光ランプ（電球型） EFG21EL 東芝ライテック（株） 不明	シャンデリア型の照明器具の電球8 個のうち、1個から白煙が出た。	ランプ寿命時の点灯回路の負荷上昇により、コンデ ンサーが破損したため、トランジスター・整流ブリッ ジがショートし、パターンヒューズが断線した。この 過程でコンデンサーのフィルム焼損が発生したため、 発煙したものと推定される。 なお、当該品はコンデンサーが焼損した際に、口金 と樹脂カバーの隙間よりランプ外部へ空気を排出し、 減圧される構造になっているが、排出量が間に合わず ガラスグローブが外れる恐れがある。	2007（平成19）年7月11日付け新聞及 びホームページに社告を掲載し、自主的な無償交 換を行っている。 なお、当該製品は既に生産を終了しており、 2004（平成16）年6月生産分よりコンデン サーのフィルム厚変更と工程検査を追加し、後継機 種は、ランプ内圧が上昇した場合に口金と点灯回 路内部樹脂カバーの隙間から減圧する構造に対し 、樹脂カバーに孔を設け直接外部へ排出、減圧す る構造としている。	消費者センター (受付:2008/08/08)
2007-6749 2007/12/00 (事故発生地) 福岡県	蛍光ランプ（電球型） EFD23EL 富士見産業（株） 不明	電球型蛍光ランプをシャンデリアに 取り付けて使用していたところ、ラン プから発煙した。	基板上の電源回路の電解コンデンサーが故障し異常 発熱したため、電解コンデンサーの内圧が上昇し、安 全弁が作動して内部電解液が蒸気となって噴出したも のと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみ られる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/03/05)
2008-3702 2008/11/26 (事故発生地) 茨城県	蛍光ランプ（電球型） 約2年	電球型蛍光灯が点灯中（点灯後2時 間）に発煙した。	蛍光ランプのガラス管に微細な傷が入り、空気が入 り込んだため、フィラメントの電圧が上昇し、フィル ムコンデンサーに過電流が流れて異常発熱し、発煙し たものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原 因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情 報はなく、拡大被害に至っていないことから、今 後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応す ることとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/12/01)
2008-5115 2009/02/16 (事故発生地) 静岡県	蛍光ランプ（電球型） EFS13EL 13WE26 ミヤショウプロダクツ（株） （コモライフ（株）に吸 収合併） 約2年	電球型蛍光灯から異臭がし、電球と ソケットの接続部が焦げた。	蛍光管の根元部が異常発熱したために、本体樹脂部 を熱変形させて発煙、熱損傷したものと考えられるが 、異常発熱した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、フィラメントが溶断し て通電が停止し拡大被害に至っていないことから 、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応す ることとした。 なお、当該品は既に販売を終了している。	消費者センター (受付:2009/03/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1797 2009/09/00 (事故発生地) 東京都	蛍光ランプ（電球型） EFS22EL 22WE26 ミヤショウプロダクツ（株） （コモライフ（株）に吸収合併） 不明	電球のガラス部分が突然落下し、口金部分から炎が出た。 (製品破損)	蛍光管の根元部が異常発熱したために、本体樹脂部を熱変形させて発煙、熱損傷したものと考えられるが、異常発熱した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、フィラメントが溶断して通電が停止し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は2006年5月に販売を終了している。	消費者センター (受付:2009/10/01)
2008-4200 2008/12/05 (事故発生地) 大阪府	蛍光ランプ（電球型） EFS13EL 13WE26 ミヤショウプロダクツ（株） 約1年	電球型蛍光灯が焼損した。 (製品破損)	蛍光管の根元部が異常発熱したために、本体樹脂部を熱変形させて発煙、熱損傷したものと考えられるが、異常発熱した原因特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、ヒューズが作動し拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に販売を終了している。	消防機関 (受付:2009/01/07)
2008-4975 2009/01/31 (事故発生地) 神奈川県	蛍光ランプ（電球型） EFA13EL-E-U 東芝ライテック（株） 約1年	照明がついたり消えたりした後、ソケット付近から発煙した。 (製品破損)	製造時に蛍光管内に不純ガスが混入したため、ランプ電圧の上昇によりトランジスタが破壊し、回路に過電流が流れて、抵抗が焦げるとともに、電解コンデンサの安全弁が作動し、電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者 (受付:2009/02/19)
2009-0747 2009/05/18 (事故発生地) 千葉県	蛍光ランプ（電球型） EFA13ED-E-U 東芝ライテック（株） 不明	家庭で使用されている照明器具の6灯用及び4灯用に取り付けられていた10個の電球型蛍光ランプのうちの1個が発煙した。 (製品破損)	製造時に蛍光管内に不純ガスが混入したため、ランプ電圧の上昇によりトランジスタが破壊し、回路に過電流が流れて、抵抗が焦げるとともに、電解コンデンサの安全弁が作動し、電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/06/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1071 2009/07/04 (事故発生地) 大阪府	蛍光ランプ（電球型） EFA13EL-E-U 東芝ライテック（株） 約1年6か月	ダウンライトの電球型蛍光ランプの1つが消え、発煙して異臭がし、液だれが発生した。 (製品破損)	製造時に蛍光管内に不純ガスが混入したため、ランプ電圧の上昇によりトランジスタが破壊し、回路に過電流が流れて、抵抗が焦げるとともに、電解コンデンサの安全弁が作動し、電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 なお、事故品に液だれが生じた痕跡は確認できなかった。	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/07/16)
2009-0746 2009/06/08 (事故発生地) 神奈川県	蛍光ランプ（電球型） EFA25EL/22 東芝ライテック（株） 不明	照明器具を点灯したところ、6個のうち1個の電球型蛍光灯から発煙した。 (拡大被害)	点灯回路のフィルムコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサーのフィルムが溶融し、発煙したものと推定される。	他に同種事故発生情報はなく、発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/06/11)
2009-2112 2009/10/08 (事故発生地) 北海道	蛍光ランプ（電球型） EFA12EL 東芝ライテック（株） 約7年	電球型蛍光ランプから発煙し、異臭がした。 (製品破損)	点灯回路基板のフィルムコンデンサーに不良品が混入したため、内部短絡を生じて異常発熱し、発煙を生じたものと推定される。	他に同種事故発生情報はなく、発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/10/27)
2008-5178 2009/02/23 (事故発生地) 大阪府	蛍光ランプ（電球型） EFG21ED コーナン商事（株） 約7日	使用中の照明器具の電球型蛍光ランプが突然切れて異臭がし、ランプの口金付近の樹脂の一部が溶けた。 (製品破損)	電子安定器のトランジスタに不良品が混入したため、トランジスタがショートモードで故障し、回路上の抵抗に過電流が流れて発熱、焼損したものと推定される。	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、今後は部品の品質管理の徹底を図るとともに、完成品の検査方法を厳しくする（エージングラインでの通電時間を長くする）こととした。	消費者センター (受付:2009/03/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1948 2009/10/03 (事故発生地) 愛知県	蛍光ランプ（電球型） EFD-13EXN (株) オーム電機 約2年2か月	クリップ式電気スタンドのスイッチを入れたところ、蛍光ランプ（電球型）の明かりがすぐに消えたため、そのままにしておいたところ、突然「パンパン」という音がして発煙した。	当該蛍光ランプは、使用末期になるとインバーター回路基板上のトランジスターに過電流が流れる場合があるため、トランジスターが破損し、抵抗が焼損して発煙したものと推定される。	発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は、既に生産を終了しており、蛍光ランプ（電球型）の後継機種については、回路の変更を行っている。	消費者センター (受付:2009/10/14)
2008-4516 2009/01/21 (事故発生地) 神奈川県	蛍光ランプ（電球型） EFA-13ELKN（ブランド： コーナン商事（株）） (株) オーム電機 不明	使用中の照明器具の4つの電球型蛍光灯のうちの1つが異音を発生して突然切れ、同時に白煙が上がって焦げたようなにおいがした。	当該品は、蛍光管が使用末期になると、インバーター回路基板上のトランジスターに過電流が流れる場合があるため、トランジスターが破損し、抵抗が焼損して発煙したものと推定される。	発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は、既に生産を終了しており、後継機種については、回路の変更を行っている。	消費者 (受付:2009/01/22)
2009-1498 2009/08/31 (事故発生地) 神奈川県	蛍光ランプ（電球型） EFD13EL (株) オーム電機 約6年	蛍光ランプを点灯中、異音が生じ、ランプの根元が赤くなって煙が出た。	当該品は、蛍光管が使用末期になると、インバーター回路基板上のトランジスターに過電流が流れる場合があるため、トランジスターが破損し、抵抗が焼損して発煙したものと推定される。	発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は、既に生産を終了しており、後継機種については、回路の変更を行っている。	消費者 (受付:2009/09/02)
2008-4124 2008/11/07 (事故発生地) 大阪府	蛍光ランプ（電球型、 スパイラル型） TW-32L 32W (株) 三共コーポレーシ ョン 不明	点灯中の蛍光ランプの管球が破損した。	蛍光ランプ内のインバーター基板に不具合があったため、部品が異常発熱し、熱の影響により蛍光管が破損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。	2009（平成21）年5月19日より販売店等で告知を行い、製品の回収を行うとともに返金対応を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4125 2008/11/10 (事故発生地) 岡山県	蛍光ランプ（電球形、 スパイラル型） TW-32L 32W (株)三共コーポレーシ ョン 不明	点灯中の蛍光ランプが破損した。 (製品破損)	蛍光ランプ内のインバーター基板に不具合があったため、部品が異常発熱し、熱の影響により蛍光管が破損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。	2009（平成21）年5月19日より販売店等で告知を行い、製品の回収を行うとともに返金対応を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2008-4126 2008/11/26 (事故発生地) 北海道	蛍光ランプ（電球形、 スパイラル型） TW-32L 32W (株)三共コーポレーシ ョン 不明	トイレで使用中の蛍光ランプの管球が破損し、飛散した破片で便座と壁が傷ついた。 (拡大被害)	蛍光ランプ内のインバーター基板に不具合があったため、部品が異常発熱し、熱の影響により蛍光管が破損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。	2009（平成21）年5月19日より販売店等で告知を行い、製品の回収を行うとともに返金対応を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2008-4127 2008/12/01 (事故発生地) 東京都	蛍光ランプ（電球形、 スパイラル型） TW-32L 32W (株)三共コーポレーシ ョン 不明	点灯中の蛍光ランプが破損した。 (製品破損)	蛍光ランプ内のインバーター基板に不具合があったため、部品が異常発熱し、熱の影響により蛍光管が破損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。	2009（平成21）年5月19日より販売店等で告知を行い、製品の回収を行うとともに返金対応を行っている。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2008-3971 2008/12/09 (事故発生地) 大阪府	蛍光ランプ（電球形、 スパイラル型） TW-32L (株)三共コーポレーシ ョン 約1日	蛍光ランプを作業灯に接続して使用していたところ、破裂音とともに蛍光ランプの一部が落下し、床に敷いていた作業用養生シート等が焦げた。 (拡大被害)	蛍光ランプ内のインバーター基板に不具合があったため、部品が異常発熱し、発煙・焼損したものと推定されるが、不具合の原因は特定できなかった。	2009（平成21）年5月19日より販売店等で告知を行い、製品の回収を行うとともに返金対応を行っている。	輸入事業者 消費者センター (受付:2008/12/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0811 2009/06/05 (事故発生地) 静岡県	蛍光ランプ（電球形、スパイラル型） JS1226-64-2P トータル・アイ（株） 約7日	使用中の照明器具から異臭がして発煙し、ソケットの一部が変色した。 (製品破損)	電子点灯回路のコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサー内部で異常発熱し、発煙に至ったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、今後の製品については部品メーカー及び組立工場において品質管理の強化を図ることとした。	輸入事業者 (受付:2009/06/19)
2009-0803 2009/05/21 (事故発生地) 東京都	蛍光ランプ（電球形、スパイラル型、マイナスイオン発生機能付） EFTR20EX-D (株) アドメイン 約1日1回	照明器具のカバーを調節中、蛍光ランプの電極部分に指が触れ、激しい痛みを感じた。 (軽傷)	イオン発生器の電極部分が露出した構造であったため、電極に指が触れ感電したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年10月26日付けホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	消費者センター (受付:2009/06/18)
2008-5271 2009/02/16 (事故発生地) 千葉県	高圧洗浄機 HD8/60（ブランド：アサダ（株）） マルヤマエクセル（株） 約1年	使用中の高圧洗浄機から発煙し、ポンプの電気回路部と樹脂カバーが焼損した。 (拡大被害)	内部配線接続部のファストン端子に接触不良があったため、異常発熱し発火した可能性が考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因は不明であり、他に同種事故発生の情報もないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)
2007-3719 2007/04/25 (事故発生地) 兵庫県	作業灯 RG-300K (株) 畑屋製作所 約1か月	使用中の作業灯の電源コードの付け根から発火し、右手薬指の先に火傷を負った。 (軽傷)	本来固定用として使用すべきところ、角度調整用把手を持って繰り返し使用していたため、電源コードの付け根付近に応力がかかり、断線・スパークしたものと推定される。 なお、当該製品の本体表示には「把手は固定使用時の角度調節用である」旨記載されていた。 (B4)	本体表示に「固定作業用照明器具なので、ハンドランプ（移動用）として使用しない。」旨追記することとした。	消費者 (受付:2007/10/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4276 2007/07/00 (事故発生地) 兵庫県	作業灯 RG-300K (株) 畑屋製作所 約1か月	使用中の作業灯から発火し、コードに穴が開いた。 (製品破損)	本来固定用として使用するべきところ、角度調整用把手を持って繰り返し使用していたため、電源コードの付け根付近に応力がかかり、断線・スパークしたものと推定される。 なお、当該製品の本体表示には「把手は固定使用時の角度調節用である」旨記載されていた。	本体表示に「固定作業用照明器具なので、ハンドランプ（移動用）として使用しない。」旨追記することとした。	消費者 (受付:2007/11/07)
2008-1459 2008/06/30 (事故発生地) 大阪府	時計（交流式） DL503R セイコークロック（株） 約13年	電気置時計の電源プラグ付近で火花が散り、電源コードのビニールと銅線が破損した。 (製品破損)	長期使用（約13年間）により、電源コードの電源プラグ側プロテクターの付け根の部分に繰り返し機械的なストレスが加えられたため、芯線が半断線して火花が発生したものと推定される。	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/07/11)
2007-4305 2007/08/06 (事故発生地) 福島県	室内灯（蛍光灯） FM4021GL オーデリック（株） 約17年11か月	自宅兼用事務所天井の蛍光灯のスイッチを入れたところ、火花が出て、点かなくなった。 (製品破損)	長期使用（約17年）により、安定器の巻線の絶縁皮膜が劣化したため、レイヤショートしてスパークしたものと推定される。	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がなく、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2007/11/09)
2008-2649 2008/07/24 (事故発生地) 愛知県	充電器（デジタルカメラ用） BC-50 富士フイルム（株） 約4か月	デジタルカメラ用充電器のプラグをコンセントから外したところ、プラグが分解した。 (製品破損)	一部の製品において、プラグ栓内間の樹脂に仕様と異なる材料が混入したため、強度が低下し破損したものと推定される。	2008（平成20）年9月19日付けホームページに告知を掲載し、製品を回収すると共に無償交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2008/09/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3294 2007/01/28 (事故発生地) 三重県	充電器（携帯型空気清浄機用） DAS-CHRB（エアサプライ専用） 大作商事（株） 不明	首にかけて使用する携帯用空気清浄機から発火し、着ていたエプロンの一部が焦げた。	空気清浄機本体には、充電できないリチウム一次電池を付属していたにもかかわらず、充電器を同梱して販売していたため、被害者が一次電池を充電してしまい、使用する際に電池が異常発熱し、発火したものと推定される。 なお、付属のリチウム一次電池には日本語による注意表示は記載されていなかった。	2007（平成19）年2月1日及び2月9日付のホームページに社告を掲載し、回収を行っている。 なお、当該品は販売を中止し、今後は空気清浄機本体のリチウム一次電池は、日本語による注意表示を行うこととした。	輸入事業者 (受付:2007/02/08)
2006-3295 2007/01/29 (事故発生地) 愛知県	充電器（携帯型空気清浄機用） DAS-CHRB（エアサプライ専用） 大作商事（株） 約4日	首にかけて使用する携帯用空気清浄機から発火し、破裂して着衣の一部が燃え、胸元と顔に火傷を負った。	空気清浄機本体には、充電できないリチウム一次電池を付属していたにもかかわらず、充電器を同梱して販売していたため、被害者が一次電池を充電してしまい、使用する際に電池が異常発熱し、発火したものと推定される。 なお、付属のリチウム一次電池には日本語による注意表示は記載されていなかった。	2007（平成19）年2月1日及び2月9日付のホームページに社告を掲載し、回収を行っている。 なお、当該品は販売を中止し、今後は空気清浄機本体のリチウム一次電池は、日本語による注意表示を行うこととした。	輸入事業者 (受付:2007/02/08)
2006-3296 2007/02/01 (事故発生地) 大阪府	充電器（携帯型空気清浄機用） DAS-CHRB（エアサプライ専用） 大作商事（株） 不明	首にかけて使用する携帯用空気清浄機から、「ボン」という音とともに焦げ臭いにおいがして、電池の一部が変形し、表面が熱で溶解した。	空気清浄機本体には、充電できないリチウム一次電池を付属していたにもかかわらず、充電器を同梱して販売していたため、被害者が一次電池を充電してしまい、使用する際に電池が異常発熱し、発火したものと推定される。 なお、付属のリチウム一次電池には日本語による注意表示は記載されていなかった。	2007（平成19）年2月1日及び2月9日付のホームページに社告を掲載し、回収を行っている。 なお、当該品は販売を中止し、今後は空気清浄機本体のリチウム一次電池は、日本語による注意表示を行うこととした。	輸入事業者 (受付:2007/02/08)
2006-3297 2007/02/02 (事故発生地) 神奈川県	充電器（携帯型空気清浄機用） DAS-CHRB（エアサプライ専用） 大作商事（株） 約2日	首にかけて使用する携帯用空気清浄機から発火し、破裂して着衣の一部が燃え、胸元と顔に火傷、打撲を負った。	空気清浄機本体には、充電できないリチウム一次電池を付属していたにもかかわらず、充電器を同梱して販売していたため、被害者が一次電池を充電してしまい、使用する際に電池が異常発熱し、発火したものと推定される。 なお、付属のリチウム一次電池には日本語による注意表示は記載されていなかった。	2007（平成19）年2月1日及び2月9日付のホームページに社告を掲載し、回収を行っている。 なお、当該品は販売を中止し、今後は空気清浄機本体のリチウム一次電池は、日本語による注意表示を行うこととした。	輸入事業者 (受付:2007/02/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0558 2009/03/28 (事故発生地) 東京都	充電器（携帯電話用、 リチウムポリマーバッ テリー式） ECO充電器MBL PBOX1CJ114i011 長信ジャパン（株） 不明	ACアダプターで充電器の内蔵バッ テリーに充電していたところ、発煙、 発火し、じゅうたんと床に置いていた 衣服の一部が焦げ、手に軽い火傷を負 った。 (軽傷)	製造時にバッテリーパックに強い外力を加えたため 、バッテリーが内部短絡し、発煙、発火したものと推 定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後 の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応する こととした。 なお、今後は製品検査の強化を図ることとした 。 (受付:2009/05/25)	輸入事業者
2007-7091 2008/03/18 (事故発生地) 沖縄県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約3回	電動ドライバーの電池パックを充電 していたところ、異臭がして、確認す ると電池パックが発煙し、外郭樹脂が 変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコン が誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過 充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸 気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推 定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可 能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、 必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池 の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマ イコンの誤作動を検知してマイコンをリセットす るとともに充電を遮断するプログラムを追加した 製品に改良している。 (受付:2008/03/19)	消防機関
2008-0031 2007/09/03 (事故発生地) 神奈川県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電 器に差し込み充電していたところ、電 池パックから発煙し、樹脂製ケース部 分が変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコン が誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過 充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸 気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推 定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可 能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、 必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池 の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマ イコンの誤作動を検知してマイコンをリセットす るとともに充電を遮断するプログラムを追加した 製品に改良している。 (受付:2008/04/02)	輸入事業者
2008-0032 2007/05/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電 器に差し込み充電していたところ、電 池パックから発煙し、樹脂製ケース部 分が変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコン が誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過 充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸 気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推 定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可 能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、 必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池 の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマ イコンの誤作動を検知してマイコンをリセットす るとともに充電を遮断するプログラムを追加した 製品に改良している。 (受付:2008/04/02)	輸入事業者

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0033 2007/07/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1か月	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0034 2006/12/00 (事故発生地) 広島県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1か月	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0035 2007/06/00 (事故発生地) 青森県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0036 2007/12/00 (事故発生地) 秋田県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0037 2007/09/00 (事故発生地) 神奈川県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0038 2007/06/00 (事故発生地) 新潟県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約2か月	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0039 2007/03/00 (事故発生地) 茨城県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0040 2007/07/00 (事故発生地) 鹿児島県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0041 2007/10/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0042 2007/07/00 (事故発生地) 茨城県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約5か月	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0043 2007/07/00 (事故発生地) 大阪府	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1年	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0044 2007/08/00 (事故発生地) 大阪府	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約21日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0045 2007/06/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0046 2007/02/00 (事故発生地) 群馬県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約2日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0047 2007/09/00 (事故発生地) 群馬県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0048 2007/03/00 (事故発生地) 群馬県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約2日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0049 2007/10/00 (事故発生地) 神奈川県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約3か月	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0050 2007/01/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0051 2007/09/00 (事故発生地) 茨城県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約3日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0052 2008/02/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0053 2007/08/00	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） (事故発生地) 東京都	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0054 2007/10/00	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） (事故発生地) 鹿児島県	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0055 2007/08/00	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） (事故発生地) 大阪府	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0056 2007/06/00	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） (事故発生地) 千葉県	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分が変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0057 2007/04/00 (事故発生地) 千葉県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0058 2007/05/00 (事故発生地) 新潟県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1か月	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0059 2007/03/00 (事故発生地) 愛知県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約1日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0060 2007/12/00 (事故発生地) 福岡県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0061 2007/10/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約7日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0062 2007/07/00 (事故発生地) 栃木県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0063 2007/12/00 (事故発生地) 鹿児島県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0064 2007/06/00 (事故発生地) 青森県	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約3日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0065 2007/07/00 (事故発生地) 北海道	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0066 2007/08/00 (事故発生地) 北海道	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 不明	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2008-0067 2007/09/00 (事故発生地) 東京都	充電器（電動工具用） BC-1204 リョービ（株） 約3日	電動ドライバーの電池パックを充電器に差し込み充電していたところ、電池パックから発煙し、樹脂製ケース部分に変形した。 (製品破損)	外部からのノイズの影響により充電制御用マイコンが誤作動したため、電池パックの充電が停止されず過充電により異常発熱し、電池の安全弁から電解液の蒸気が噴出するとともに、外郭樹脂が変形したものと推定される。 (A1)	ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。 なお、2007（平成19）年5月より、電池の異常発熱を検知し充電を遮断する回路、及びマイコンの誤作動を検知してマイコンをリセットするとともに充電を遮断するプログラムを追加した製品に改良している。	輸入事業者 (受付:2008/04/02)
2009-1214 2009/07/25 (事故発生地) 神奈川県	充電器（電動工具用） 約1回	電動ドライバーを充電していたところ、充電器から発煙した。 (製品破損)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/07/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3819 2008/11/18 (事故発生地) 愛知県	充電器（電動車いす） 約5年	電動車いすのバッテリーを充電していたところ、充電器から発煙した。 (製品破損)	当該品は、純正品より容量の大きいトランスに交換されており、トランスの異常によりレイヤショートが発生し、または充電していたバッテリーの異常によりトランスに過電流が流れ、焼損に至った可能性が考えられるが、トランスが交換された経緯は不明であり、並列で充電して使用していたバッテリー2個のうち1個は被害者から提供されなかったため確認できず、原因の特定はできなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/12/08)
2008-0699 2008/04/29 (事故発生地) 北海道	除湿乾燥機 RV-HA60 象印マホービン（株） 約1年	当該製品のスイッチを入れてしばらくすると、異臭がしたため確認すると発煙していた。 (製品破損)	空気中の湿気を吸着する円盤状のローターに可燃性物質が吸着したため、除湿するためのヒーター熱で加熱されたことにより発煙・発火し、ファンの樹脂ケースが溶解した可能性が考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	2008（平成20）年8月21日付けのホームページ及び8月22日付けの新聞に社告を掲載し、無償で修理・点検、あるいは代替品との交換を行っている。 なお、当該品は、既に生産を終了している。	国の行政機関 (受付:2008/05/14)
2008-5227 2009/02/25 (事故発生地) 愛知県	除湿乾燥機 F-YZC100 松下エコシステムズ（株） （現在：パナソニックエコシステムズ（株）） 約7か月	使用中の除湿乾燥機から異臭がし、発煙した。 (製品破損)	除湿ローターを組み付ける部分の金属プレートに取付不良があったため、除湿ローターが金属プレートに接触し、除湿ローターの回転が停止して局部的にヒーターで加熱されて、白煙が生じたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、除湿ローターは不燃材であり拡大被害に至る危険性は低いことから、既製品についての措置はとらなかった。 なお、当該品は既に販売を終了しているが、今後は同構造製品の生産時には品質管理を強化する。	消費者センター (受付:2009/03/11)
2006-2650 2006/11/29 (事故発生地) 埼玉県	除湿乾燥機 約5年	除湿乾燥機のタンクの水を捨てて本体にセットしたところ、スイッチも入っていないのに吹き出しから煙が出てきた。 (製品破損)	本体内部の接続パイプに熱による溶解が見られることから、事故時に本体内部の送風状態に異常が生じたこと等により、接続パイプ周辺が異常に温度上昇したものと考えられるが、通電確認では異常な温度上昇は認められず、原因の特定はできなかった。 (G1)	他に同種事故発生の情報はなく、温度ヒューズが作動して発煙のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2007/01/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5135 2009/02/26 (事故発生地) 石川県	除湿器 約2年7か月	使用中の除湿器の電源コードのプロテクター部分に煤が付着していた。 (製品破損)	事故品の電源コードプロテクター部分は応力により変形していることから、使用の際、応力が加わっていたため、芯線が断線、短絡しスパーク等により、煤が付着したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/03/05)
2007-6684 2007/10/29 (事故発生地) 福井県	除湿器 約4年	除湿器を使用していたところ、ブレーカーが作動して停電し、除湿器から出火していた。 (拡大被害)	当該品から出火したものと考えられるが、基板等が焼失し残存しておらず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/03/03)
2008-3209 2008/10/11 (事故発生地) 宮城県	除湿器 TSI-DH2001 燦坤日本電器(株) 約4年	使用中の除湿器から炎が上がり、本体が焼損し、壁のコンセントカバーが溶けた。 (拡大被害)	当該品の内部に使用されているコンデンサーに不具合品が混入したため、コンデンサーが内部短絡等により異常発熱して、焼損に至ったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、既販品について措置はとらなかった。 なお、当該品は、既に販売を終了している。	消費者センター (受付:2008/10/24)
2009-1121 2009/07/09 (事故発生地) 神奈川県	除湿機 RD-1040DK (株)日立製作所 約9年	除湿機の差込みプラグの樹脂部分が溶融し、栓刃が抜け出てきた。 (製品破損)	差込みプラグ内の電源コード接続部がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱して差込みプラグの樹脂部を軟化させ、コンセントから抜く際に、栓刃が樹脂部から抜け出したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3240 2008/10/12 (事故発生地) 大阪府	除湿機 約4年	乳児が除湿機のフィルター内部のフィンに触れて、左手人差し指と中指に擦過傷を負った。 (軽傷)	乳児が当該機に掴まり立ちをした際、吸気口のフィルターを外してしまったため、内部の熱交換器のフィンに触れ、擦過傷を負ったものであるが、当該フィルターは、上部2箇所のレバーを押し下げながら、手前に引き、さらに上方向に持ち上げないと外れない構造で、容易に外れるものとは言えないため、偶発的に発生したものと推定される。 なお、取扱説明書には掃除の際、熱交換器のフィンで手を切らないように必ず、手袋をはめて行う旨等が記載されている。 (F2)	製品には問題がない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/10/27)
2009-0927 2009/06/21 (事故発生地) 東京都	除湿機 約10年	除湿機を運転中に火出し室内全体が煤で汚損された。 (拡大被害)	被害者が電源コードを交換した際に、電源コードをねじり接続したため、接触不良により異常発熱し、短絡し発火したものと推定される。 なお、取扱説明書には「電源コードの破損や加工を禁止する」旨記載されている。 (E4)	被害者の修理不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/07/02)
2007-1863 2005/01/00 (事故発生地) 香川県	小型電気温水器（洗面化粧台内蔵） 約5年	洗面化粧台で手を洗うため蛇口をひねり、湯を出したところ、出湯した水で感電し衝撃で転倒した。 (軽傷)	電気店が電気温水器のアース工事をしておらず、さらに井戸水を使用して配管工事されていたため、ヒーターが腐食して絶縁劣化し、漏電したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「井戸水を使用しない。アース工事をしないと感電する」旨記載されていた。 (D1)	当該事故原因は、施工業者によって行われた際の施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	国の行政機関 (受付:2007/06/18)
2008-4176 2006/05/23 (事故発生地) 不明	照明器具 不明	照明器具を使用中、3個のガラス製の笠（セード）のうち1個から「バシッ」という異音が生じ、破片が落ちてきた。 (製品破損)	ガラスセードの表面についた傷等が、繰り返しの使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと考えられるが、すべての破片を回収できなかったことから、破損の起点は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、同種製品で、使用者の取り付け時の不具合によるとみられるガラスセード破損事故が複数発生したため、2006（平成18）年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3269 2008/10/06 (事故発生地) 栃木県	照明器具 不明	照明器具を使用中、5個のガラス製の笠(セード)のうち3個がひび割れし、さらにそのうちの1個から破片が落ちてきた。 (製品破損)	ひび割れたガラスセード3個の破損の起点は、いずれも最下部(縁)とみられ、当該箇所付近に複数の傷等があったことから、このうちの1つが繰り返しの使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと考えられるが、傷等が生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、同種製品で、使用者の取り付け時の不具合によるとみられるガラスセード破損事故が複数発生したため、2006(平成18)年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	消費者センター (受付:2008/10/29)
2009-1523 2009/08/27 (事故発生地) 新潟県	照明器具 RP8119 日立照明(株)(現在:日立ライティング(株)) 約15年	照明器具を使用中、明かりが消え、白煙が発生し焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	長期使用(約15年)により、蛍光灯安定器の二次巻線の絶縁皮膜が劣化し、レイヤショートが生じ異常発熱して発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報がなく、蛍光ランプのフィラメントの断線により終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し必要に応じ措置をとることとした。	消費者センター (受付:2009/09/04)
2008-4174 2006/05/09 (事故発生地) 東京都	照明器具 TIP-6371 瀧住電機工業(株) 約3か月	照明器具を使用中、3個のガラス製の笠(セード)のうち1個が破損して落下し、下にあった食卓機の天板に傷がついた。 なお、当該セードは、円筒釣鐘形で上下が開口しており、上側開口部にソケットを差し入れてソケットリングをねじ込み、上側開口部周辺のガラスをソケット及びソケットリングで挟み込む形で固定される構造であり、消費者が組み立てる製品である。 (拡大被害)	破損の起点がセードの上側開口部に確認されたことから、使用者が取り付け際のソケットリング締め過ぎ等によって生じた微細な傷が、繰り返しの使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと推定される。また、当該セードは手吹き工法で製造されており、成形時のゆがみ等が事故に影響した可能性も考えられる。 なお、締め過ぎを防止する措置はとられていなかった。 (B1)	当該製品を設置してから、一定期間(1~2年)を超えて発生する可能性が低いとみられる事故であるため、今後の事故発生に注視することとし、既製品についての措置はとらなかった。 なお、2006(平成18)年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)
2008-4175 2005/05/29 (事故発生地) 兵庫県	照明器具 TIP-6371 瀧住電機工業(株) 約29日	照明器具を使用中、突然「ピンッ」という異音が生じ、3個のガラス製の笠(セード)のうち1個にひびが入った。 なお、当該セードは、円筒釣鐘形で上下が開口しており、上側開口部にソケットを差し入れてソケットリングをねじ込み、上側開口部周辺のガラスをソケット及びソケットリングで挟み込む形で固定される構造であり、消費者が組み立てる製品である。 (製品破損)	破損の起点がセードの上側開口部に確認されたことから、使用者が取り付け際のソケットリング締め過ぎ等によって生じた微細な傷が、繰り返しの使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと推定される。また、当該セードは手吹き工法で製造されており、成形時のゆがみ等が事故に影響した可能性も考えられる。 なお、締め過ぎを防止する措置はとられていなかった。 (B1)	当該製品を設置してから、一定期間(1~2年)を超えて発生する可能性が低いとみられる事故であるため、今後の事故発生に注視することとし、既製品についての措置はとらなかった。 なお、2006(平成18)年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4178 2006/07/18 (事故発生地) 埼玉県	照明器具 TGR-6527 瀧住電機工業(株) 約4か月	照明器具を使用中、5個のガラス製の笠(セード)のうち1個が破裂音とともに飛散して落下し、床面に傷がついた。 なお、当該セードは、円筒釣鐘形で上下が開口しており、上側開口部にソケットを差し入れてソケットリングをねじ込み、上側開口部周辺のガラスをソケット及びソケットリングで挟み込む形で固定される構造であり、消費者が組み立てる製品である。	破損の起点がセードの上側開口部に確認されたことから、使用者が取り付けた際のソケットリング締め過ぎ等によって生じた微細な傷が、繰り返し使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと推定される。また、当該セードは手吹き工法で製造されており、成形時のゆがみ等が事故に影響した可能性も考えられる。 なお、締め過ぎを防止する措置はとられていなかった。	当該製品を設置してから、一定期間(1~2年)を超えて発生する可能性が低いとみられる事故であるため、今後の事故発生に注視することとし、既販品についての措置はとらなかった。 なお、2006(平成18)年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)
2008-4177 2006/05/22 (事故発生地) 神奈川県	照明器具 TGR-6370 瀧住電機工業(株) 約2年	照明器具を使用中、3個のガラス製の笠(セード)のうち1個が破損し、下側約3分の2が落下した。 なお、当該セードは、円筒釣鐘形で上下が開口しており、上側開口部にソケットを差し入れてソケットリングをねじ込み、上側開口部周辺のガラスをソケット及びソケットリングで挟み込む形で固定される構造であり、消費者が組み立てる製品である。	破損の起点がセードの上側開口部に確認されたことから、使用者が取り付けた際のソケットリング締め過ぎ等によって生じた微細な傷が、繰り返し使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと推定される。また、当該セードは手吹き工法で製造されており、成形時のゆがみ等が事故に影響した可能性も考えられる。 なお、締め過ぎを防止する措置はとられていなかった。	当該製品を設置してから、一定期間(1~2年)を超えて発生する可能性が低いとみられる事故であるため、今後の事故発生に注視することとし、既販品についての措置はとらなかった。 なお、2006(平成18)年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)
2008-4180 2007/08/20 (事故発生地) 兵庫県	照明器具 不明	照明器具のガラス製の笠(セード)が破損して落下し、床面に傷がついた。 なお、当該セードは、円筒釣鐘形で上下が開口しており、上側開口部にソケットを差し入れてソケットリングをねじ込み、上側開口部周辺のガラスをソケット及びソケットリングで挟み込む形で固定される構造であり、消費者が組み立てる製品である。	破損の起点がセードの上側開口部に確認されたこと及びソケットリングの上下が逆になっていたことから、使用者が誤ってソケットリングを上下逆さまに取り付けたことにより、小さな接触面積でセードを締め付けたこととなり、局所的に応力が集中したためにセードに亀裂が入って破損に至ったものと推定される。	消費者の施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、2006(平成18)年10月から、ソケットリングから受ける応力が、より分散するようにガラスセード上側開口部の形状を変更した。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)
2008-4179 2007/05/22 (事故発生地) 岡山県	照明器具 約5か月	照明器具を使用中、3個のガラス製の笠(セード)のうち1個が破損し、破片の一部が落下した。	破損の起点はガラスセード最下部(縁)とみられ、当該箇所付近に複数の傷等があったことから、この一つが繰り返し使用による熱ストレスで伸展して破損に至ったものと考えられるが、傷等が生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、同種製品で、使用者の取り付け時の不具合によるとみられるガラスセード破損事故が複数発生したため、2006(平成18)年10月から、ガラスセード上側開口部の形状変更及びゴムパッキンを付属することで取り付け時の締め付け強度を緩和するとともに、全数検査を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0627 2008/11/00 (事故発生地) 不明	照明器具(クリスマスツリー用) BSX806BR (株)スパイス 約1回	購入後初めて点灯した直後に、異臭が発生し、発煙した。 (製品破損)	基板に電源コードをはんだ付けする際に、素線の処理が悪く異極間を短絡させていたため、通電直後にスパークが発生し、基板を炭化させ、異臭をともない発煙に至ったものと推定される。 (A2)	2009(平成21)年4月14日付けホームページに社告を掲載し、製品の回収および代金の返済を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/05/28)
2009-0897 2009/06/15 (事故発生地) 大阪府	照明器具(クリップ式) SL-116-SL (株)ニトリ 未使用	クリップライトのクリップ部分をつなぐ樹脂製の部品が外れて飛び、目にあたった。 (被害なし)	樹脂製クリップの軸部は、スプリングを装着してクリップ軸穴に通した後、両端の受け穴にキャップを挿入して固定する構造であるが、キャップ外径より受け穴が大きかったためキャップが外れ、スプリングの反力によりキャップが飛んだものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はないが、事故部品は射出成形品で系統的に不良品が発生する可能性があることから、組み立て工程での検査方法を全数検査に変更した。	消費者センター (受付:2009/06/30)
2006-3591 2007/02/14 (事故発生地) 東京都	照明器具(コンパクト蛍光灯) FR-54703K-PS17 エルティータクニカ(株) 約15年	4灯用器具のランプ1本の口金の一部が溶けた。 (製品破損)	ランプ寿命末期にフィラメントから飛散した金属物質が、電極部の根元(ガラス)に堆積し、さらにフィラメントが断線した際に、堆積物を通して電極間に電流が流れて発熱したことにより、ランプ口金部の樹脂が溶融したものと推定される。 なお、安定器は、電極回路に電流が流れないときは動作を停止する構造であったが、堆積物の影響により電極間に電流が流れたため、動作が停止しなかった。 (A1)	電子安定器の安全回路については、2006(平成18)年に(社)日本照明器具工業会の基準の見直しとともに、これに準拠した構造に変更した。また、2001(平成13)年から2002(平成14)年にランプの口金樹脂を自己消火性のものに変更している。	製造事業者 (受付:2007/02/28)
2008-4183 2008/12/22 (事故発生地) 千葉県	照明器具(シーリングファン付き) SCCF-42 (株)シバコーポレーション 不明	使用中の照明器具から異臭がし、煙が出た。 (拡大被害)	ファンモーター用の運転コンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサーが焼損し、異臭及び発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/01/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0992 2009/07/05 (事故発生地) 埼玉県	照明器具（シーリング ライト） OL111148 オーデリック（株） 約9年10か月	天井についている照明器具のスイッチを入れたところ、異音が生じて発火し、天井が焦げた。 (製品破損)	インバーター基板上のトランジスターに不良品が混入したため、内部短絡により破壊し異音が生じたものと推定される。 なお、事故品には発火した痕跡が認められないことから、天井の焦げについては、器具の発熱の影響により天井クロスが変色したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報はなく、インバーター基板は金属製のカバーで覆われており、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/07/08)
2008-3477 2008/11/04 (事故発生地) 大阪府	照明器具（シーリング ライト） KEC-9972 丸善電機（株） 約6年	点灯中のシーリングライトが消灯し、焦げ臭いにおいがしたのでカバーを外したところ、発煙した。 (製品破損)	基板上の平滑用電解コンデンサーの不具合により発熱したため、電解コンデンサーの内圧が上昇し、安全弁が作動して内部の電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/11/14)
2009-0290 2009/04/22 (事故発生地) 東京都	照明器具（シーリング ライト） 約2か月	天井に取り付けている照明器具のカバー（セード）部分が突然落下し、下にあったガラステーブルに亀裂が入った。 (拡大被害)	当該製品のセードが不完全に取り付けられたため、外部の振動等によって、取り付け用のツメが外れ、セードが落下したものと推定される。 (E3)	被害者の設置不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/04/24)
2008-5384 2009/03/23 (事故発生地) 埼玉県	照明器具（シーリング ライト） 約6年2か月	点灯中の台所天井のシーリングライトのカバーの隙間から、「ポツ」という音とともに煙が出たためカバーを外したら、安定器が焦げていた。 (製品破損)	被害者が60Hz地域用のシーリングライトを50Hz地域で使用したため、安定器の出力電流が増加し、巻線間が絶縁不良となり、短絡し異常発熱して、焼損したものと推定される。 なお、本体には「60Hz」、取扱説明書には「使用地域の周波数以外のものを使うと火災・故障する」旨、記載されていた。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/03/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0661 2008/04/18 (事故発生地) 大阪府	照明器具（センサーライト） 約4年	寺院の外壁に設置したセンサーライト付近から出火して木綿製の幕に着火し、外壁などの一部を焼損した。 (拡大被害)	法事用幕をセンサーライトに覆い被せていたため、強風により幕が揺れる等してライトが点灯し、ライトのレンズ部に接触した幕が加熱されて出火したものと推定される。 なお、取扱説明書には『電球を布や紙などで覆ったり、燃えやすいものに近づけない。火災の原因となる。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2008/05/09)
2009-0706 2009/05/26 (事故発生地) 大阪府	照明器具（センサーライト、LED） 不明	足もとセンサーライトから異臭がし、外側プラスチック部分の一部が溶融した。 (製品破損)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/06/09)
2009-1123 2009/06/20 (事故発生地) 岐阜県	照明器具（ダウンライト） 約3か月	住宅展示場で天井から出火する火災が発生した。 (拡大被害)	ダウンライトを断熱材で覆う施工不良があったため、ダウンライトの周りが異常発熱し、接続された屋内配線の被覆が熱溶融して短絡・スパークが発生し、火災に至ったものと推定される。 なお、本体には『火災の恐れがあるため、断熱材で覆わない』、施工説明書には『断熱材までの距離を10cm以上離す。』旨表示されている。	施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、施工業者は特定できなかった。	販売事業者 (受付:2009/07/22)
2009-1287 2009/05/20 (事故発生地) 北海道	照明器具（ダウンライト） 約1年6か月	照明器具から発煙し、器具が変色した。 (製品破損)	当該品の変色部分の成分を分析したところ、製品には使用されていない成分が確認されたことから、反射板等に付着した異物がランプ熱によって変色、発煙したものと推定される。	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/08/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1409 2007/06/24 (事故発生地) 大阪府	照明器具（ハロゲンランプ） IHP96000R（ブランド：東芝ライテック（株）） 東金工業（株） 不明	照明器具が焦げた。 (製品破損)	本体内部の温度上昇に対して、電源コードの被覆の耐熱温度が不足していたため、電源コードの本体接続部付近の被覆が熱劣化し、ショートして焦げたものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年11月5日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	販売事業者 (受付:2009/08/25)
2009-1410 2007/07/23 (事故発生地) 大阪府	照明器具（ハロゲンランプ） IHP96000R（ブランド：東芝ライテック（株）） 東金工業（株） 不明	照明器具が焦げた。 (製品破損)	本体内部の温度上昇に対して、電源コードの被覆の耐熱温度が不足していたため、電源コードの本体接続部付近の被覆が熱劣化し、ショートして焦げたものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年11月5日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	販売事業者 (受付:2009/08/25)
2009-1411 2007/08/20 (事故発生地) 鹿児島県	照明器具（ハロゲンランプ） IHP96000R（ブランド：東芝ライテック（株）） 東金工業（株） 不明	照明器具が落下した。 (製品破損)	本体内部の温度上昇に対して、電源コードの被覆の耐熱温度が不足していたため、電源コードの本体接続部付近の被覆が熱劣化し、ショートして断線し、本体が落下したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年11月5日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	販売事業者 (受付:2009/08/25)
2009-1412 2008/02/14 (事故発生地) 福岡県	照明器具（ハロゲンランプ） IHP96000R（ブランド：東芝ライテック（株）） 東金工業（株） 不明	照明器具が落下した。 (製品破損)	本体内部の温度上昇に対して、電源コードの被覆の耐熱温度が不足していたため、電源コードの本体接続部付近の被覆が熱劣化し、ショートして断線し、本体が落下したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年11月5日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	販売事業者 (受付:2009/08/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1413 2009/02/18 (事故発生地) 東京都	照明器具（ハロゲンランプ） IHP96000R（ブランド：東芝ライテック（株）） 東金工業（株） 不明	照明器具のコードが焦げて落下した。 (製品破損)	本体内部の温度上昇に対して、電源コードの被覆の耐熱温度が不足していたため、電源コードの本体接続部付近の被覆が熱劣化し、ショートして断線し、本体が落下したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年11月5日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	販売事業者 (受付:2009/08/25)
2007-5911 2008/01/05 (事故発生地) 大阪府	照明器具（ろうそく形） なし 三和物産（株） 約19日	葬儀の祭壇で使用中の電気式ろうそくから発熱、発火し、量の一部が焼け焦げた。 (拡大被害)	当該品の電球ソケット金具の配線接続部において空間距離が不足していたため、異極間で短絡し、出火したものと推定される。 なお、当該製品の空間距離は技術基準に適合していなかった。 (A1)	他に同種事故発生情報がなく、当該品は葬儀用であり、初七日を過ぎると廃棄されるものであることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、今後は、配線接続部を改善するとともに、出荷前の点灯検査において異常の有無の確認を徹底することとした。	消防機関 (受付:2008/02/01)
2007-2036 2007/06/25 (事故発生地) 鳥取県	照明器具（蛍光灯） RP781KA 日立ライティング（株） 約6年	蛍光灯を点灯したまま外出し、約2時間半後に帰宅したところ、蛍光灯から発煙していた。 (製品破損)	32W用の蛍光灯を点灯させる安定器の一次巻線に発熱した形跡があったことから、安定器巻線表面の絶縁物（ポリエステル樹脂）が、局部的に絶縁破壊を起こしたため、短絡を生じ発熱及び発煙したものと推定される。 (A3)	最終的に電流ヒューズが断線し動作が停止するため、発煙のみで拡大被害に至らないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品の製造は既に終了している。	消防機関 (受付:2007/06/27)
2008-3812 2008/10/22 (事故発生地) 兵庫県	照明器具（蛍光灯） HA9783 松下電工（株） 約10年	蛍光灯から「パチパチ」と音がして消え、安定器内とカバーにすすがついた。 (製品破損)	インバーター回路基板上のランプ用コネクタが、はんだ付け不良であったため、クラックが生じ、基板上の半導体素子（トランジスタ）が過負荷状態となり異常発熱し、焼損して反射板等にすすがつき、不点灯となったものと推定される。 (A2)	他に同種事故の情報はなく、単品不良とみられ、基板は金属製カバーで覆われており拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1471 2009/08/24 (事故発生地) 静岡県	照明器具（蛍光灯） 約2年2か月	照明器具から火花が出て、基板の一部が焦げ、器具本体の底に水が溜まっていた。 (製品破損)	インバーター基板の焼損した回路パターン周囲には水分等が付着した痕跡があることから、液体によりショートが生じ、焼損したものと考えられるが、水分等が付着した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (G1)	消費者センター (受付:2009/08/31)
2006-1522 2006/07/00 (事故発生地) 東京都	照明器具（蛍光灯） 約1年1か月	ダイニングキッチンの照明器具内の部品が焦げ、発煙した。 (製品破損)	ランプソケットの差し込み不足により接触不良となり、異常発熱したものと考えられるが、差し込み不足が製造時、輸送時または施工時のどの時点で生じたのか、特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 (G1)	製造事業者 (受付:2006/10/05)
2006-1521 2005/08/11 (事故発生地) 京都府	照明器具（蛍光灯） 約1年	照明器具が焦げ臭くなって点滅するためランプを交換しようとしたら、器具内の部品が焦げていた。 (製品破損)	ランプソケット部付近で異常発熱した可能性が考えられるが、事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 (G2)	製造事業者 (受付:2006/10/05)
2007-0322 2007/03/18 (事故発生地) 東京都	照明器具（蛍光灯） FT-88001-GL15（ブランド：（株）東芝ライテック） エルティーテクニカ（株） 約2年	店舗階段の天井に設置された照明器具から発煙し、安定器の周辺が焦げた。 (製品破損)	ランプ寿命等によりグロースタータのバイメタルが溶着した際、安定器内蔵の保護装置が作動しなかったため、安定器が異常発熱し焼損したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。 (A3)	製造事業者 (受付:2007/04/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4048 2008/12/23 (事故発生地) 香川県	照明器具（蛍光灯） EPT3000（ブランド：東芝 ライテック（株）） 和光電気（株） 約6年	照明器具から発煙した。 (製品破損)	基板上の電解コンデンサーの内部短絡により異常発熱したため、電解コンデンサーの内圧が上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	電流ヒューズが作動し終息しており、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2008/12/24)
2009-0368 2009/04/28 (事故発生地) 千葉県	照明器具（蛍光灯） EPT3000（ブランド：東芝 ライテック（株）） 和光電気（株）（現在：（ 株）LDF） 不明	使用中の蛍光灯器具から発煙した。 (製品破損)	基板上の電解コンデンサーの内部短絡により異常発熱したため、電解コンデンサーの内圧が上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	電流ヒューズが作動し終息しており、外郭は金属製で拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/05/07)
2008-4222 2009/01/07 (事故発生地) 福岡県	照明器具（蛍光灯） 不明	空家の軒下に設置されていた蛍光灯付近から出火し、積算電力量台座が溶けた。 (拡大被害)	蛍光灯の内部配線に溶痕が認められるが、配線が短絡した原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/01/08)
2009-2433 2009/07/07 (事故発生地) 東京都	照明器具（蛍光灯） 約9年	照明器具から発煙した。 (製品破損)	施工業者が天井裏に設置すべき電子安定器が器具本体の上に取り付けたため、電子安定器の電解コンデンサーが劣化し、内部短絡が生じて内圧上昇し、安全弁が動作して電解液の蒸気が噴出したものと推定される。 (D1)	施工業者の施工不良による事故であり、電流ヒューズが作動して終息し、電子安定器の外郭も金属で覆われており拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/11/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2609 2007/07/23 (事故発生地) 福島県	照明器具（蛍光灯） 7L209-T5（ブランド： NECライティング（株）） ツジコー（株） 不明	使用中の蛍光灯から火花が出て、天井が焦げた。 (製品破損)	照明器具内の電源線接続部において、芯線を押さえる爪の屈曲角度が浅かったことから、電線との接触が不十分となり、接触抵抗が増大して発熱し電線が焼損し、発煙に至ったものと推定される。 なお、天井の跡は、器具天井面に取り付けてある緩衝用スポンジの色移りであった。 (A2)	発熱、発煙で終息しており、拡大被害に至っていないことから、既製品については措置はとらなかった。 なお、2002（平成14）年3月に製造工程を改善し改良し、2005（平成16）年3月に生産を終了している。	消費者センター (受付:2007/07/27)
2009-0491 2009/05/13 (事故発生地) 大阪府	照明器具（蛍光灯） DX-85242（ブランド：大 光電機（株）） 大明（株） 約10年	照明器具を点灯中に蛍光灯が点滅し、その後発煙した。 (製品破損)	長期使用（約10年）により、インバーター基板上の電解コンデンサーが劣化したため、内部短絡を生じ内圧が上昇して、安全弁が作動し電解液が白煙となり噴出したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2009/05/18)
2009-0353 2009/04/08 (事故発生地) 北海道	照明器具（蛍光灯） FR-42700-PS17（ブランド： 東芝ライテック（株）） エルティータクニカ（株） 約13年	天井埋込型の蛍光灯器具から発煙した。 (製品破損)	長期使用（約13年）により、インバーター基板上の電解コンデンサーが劣化し発熱したため、内圧が上昇して安全弁が作動し、電解コンデンサー内部の電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2009/05/07)
2009-1403 2009/08/09 (事故発生地) 北海道	照明器具（蛍光灯） 6C48 NECライティング（株） 約14年	台所で使用中の吊り下げ式の蛍光灯器具から発煙し、黒い煤が飛散したため、スイッチを切った。 (製品破損)	長期使用（約14年）により、安定器の巻線部分が絶縁劣化し、レイション短絡が発生して発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、安定器は金属ケースで覆われており、最終的に電流ヒューズが溶断して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/08/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1673 2009/09/04 (事故発生地) 東京都	照明器具（蛍光灯） RC8B04 日立照明（株）（現在：日立ライティング（株）） 約21年	照明器具から発煙した。 (製品破損)	長期使用（約21年）により、蛍光灯安定器の一次巻線の絶縁被覆が劣化し、レイヤショートが生じ異常発熱して発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、一次巻線が断線し終息しており、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/09/15)
2009-2555 2009/10/12 (事故発生地) 群馬県	照明器具（蛍光灯） 光源氏346 オーデリック（株） 約24年6か月	照明器具から焦げ臭いにおいがし、ポツという音とともに火花が出て、器具の内部に炎が見えたので、器具を外して吹き消した。翌日調べたら、コイル部分がショートしており、畳の上に溶けたプラスチックの塊が落ちていた。 (製品破損)	長期使用（約24年）により、32W側安定器の一次側コイルが絶縁劣化し、レイヤショートし異常発熱してコイルの絶縁樹脂が焼損、発煙したものと推定される。 (C1)	ホームページに長期間使用による熱劣化した場合、安定器から発煙、発火する旨注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2009/12/08)
2008-3109 2008/09/05 (事故発生地) 青森県	照明器具（蛍光灯） PM4219RSC 日立ライティング（株） 約36年	小学校の教室で、使用中の室内灯1台が突然音とともに切れ、液体が飛散して児童のランドセルや衣服に付着した。 (製品破損)	長期使用（約36年）により、事故品に使用されているコンデンサーが劣化したため、異常発熱して破裂し、絶縁用のポリ塩化ビフェニール（PCB）が飛散したものと推定される。 (C1)	当該事業者は、2001（平成13）年2月よりホームページに告知を掲載し、対象器具の判別方法等を情報提供している。また、文部科学省は2009（平成21）年1月27日付けで教育機関関係者に、PCBを使用した蛍光灯器具の確認徹底を周知するとともに、経済産業省は同日付で（社）日本照明器具工業会に、対象器具の判別方法といった情報提供等の要請を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/10/17)
2008-1495 2008/06/28 (事故発生地) 福岡県	照明器具（蛍光灯） AH-54502（ブランド：コイズミ照明（株）） （株）光電器製作所 約17年	料理店の宴会場に設置されている照明器具から、突然発煙した。 (製品破損)	点灯回路が故障したため、点灯回路内の部品が異常発熱して外郭樹脂の発火に至ったものと考えられるが、点灯回路の基板は焼失しており、故障した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/07/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1208 2008/06/12 (事故発生地) 愛知県	照明器具（蛍光灯、インバーター式） FPH-2600SRZK（ブランド： 東芝ライテック） 和光電気（株） 約9年	蛍光灯が突然消灯して、発煙した。 (製品破損)	基板上の電解コンデンサーの内部短絡により異常発熱したため、電解コンデンサーの内圧が上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	コンデンサーが故障しても発熱・発煙するのみで、最終的にヒューズが切れて終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/06/23)
2009-1116 2009/07/12 (事故発生地) 福岡県	照明器具（蛍光灯、インバーター式） FPH-2934ZK（ブランド： 東芝） 和光電気（株） 不明	照明器具から発煙した。 (製品破損)	制御基板中の電解コンデンサーに不良品が混入していたため、コンデンサーが劣化し異常発熱して内圧上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/07/22)
2009-1899 2009/09/29 (事故発生地) 愛知県	照明器具（蛍光灯、インバーター式） FPH-2934ZK（ブランド： 東芝（株）） (株) L D F 不明	照明器具から発煙した。 (製品破損)	制御基板中の電解コンデンサーに不良品が混入していたため、コンデンサーが劣化し異常発熱して内圧上昇し、安全弁が作動して電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/10/09)
2008-3946 2008/11/00 (事故発生地) 新潟県	照明器具（蛍光灯、インバーター式） FCZ9633 東芝ライテック（株） 約10年	電灯をつけたら白煙が発生した。 (製品破損)	長期使用（約10年）により、点灯回路の電解コンデンサーが劣化し発熱したため、内圧が上昇して安全弁が作動し、電解コンデンサー内部の電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、電解液が噴出して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0673 2009/04/28 (事故発生地) 岐阜県	照明器具（蛍光灯、インバーター式） FPH-72072ZKN（ブランド：東芝） 和光電気（株） 約2か月	照明器具裏面のウレタン樹脂が焦げ、天井の一部を煤で汚損した。 (製品破損)	電源基板のトランジスタに不具合品が混入したため、トランジスタが焼損した際の熱が伝わり、ウレタン樹脂が焦げ、天井の一部を煤で汚損したものと推定される。 (A3)	他に同種事故の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2009/06/04)
2008-3614 2008/11/18 (事故発生地) 福岡県	照明器具（足下灯） NL-994 (株) オーム電機 約1年	夜間用の足下灯が暗くなってきたのでコンセントから取り外したところ、本体樹脂部が焦げていた。 (製品破損)	蛍光管の寿命末期に抵抗に過電流が流れて異常発熱し、周囲の外郭樹脂が変色・変形したものと推定される。 (A1)	異常発熱による変色、変形するのみで発火に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、2009（平成21年）1月輸入品から、蛍光管の点灯回路を改良し寿命末期の電流増加を抑えるとともに、電流ヒューズを組み込んでいる。	消費者センター (受付:2008/11/26)
2006-0859 2006/06/22 (事故発生地) 宮崎県	照明器具（天井つり下げ型） P34SL (株) ヤザワコーポレーション 約1年4か月	ホームセンターで、ペンダントライトを店頭展示していたところ、発煙した。 (製品破損)	ペンダントライトのランプ熱がセード内にこもったことにより、熱の影響でコードの被覆が溶融し、発煙したものと推定される。 (A1)	2006（平成18）年7月10日付のホームページ及び7月12日付の新聞に社告を掲載し、製品の回収、返金を行っている。	製造事業者 (受付:2006/07/20)
2007-4349 2007/08/00 (事故発生地) 大阪府	照明器具（白熱電球） TP-252 トヨスター（株） 約2か月	天井に取り付けた照明器具から電球が落下して、床が焦げた。 (拡大被害)	電球の口金とガラス球が接着不良であったため、ガラス球が外れ落下したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年9月付けホームページに告知を記載し、電球交換を実施するとともに、販売先の在庫品の電球交換を実施した。 なお、2007（平成19）年9月以降の新規販売分については、他社製の電球に変更している。	消費者センター (受付:2007/11/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1007 2008/05/16 (事故発生地) 東京都	照明器具（白熱電球） CP-63 山東電気（株） 約12年	60Wの白熱灯が3個ついた照明器具が焦げた。 (製品破損)	電源コードの接続端子が締め付け不足であったため、接触不良が生じ異常発熱して、外郭樹脂の一部が焦げたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2008/06/10)
2009-0136 2009/04/11 (事故発生地) 京都府	食器乾燥機 不明	台所の食器乾燥機付近から出火し、住宅を全焼した。 (拡大被害)	事故品から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/04/13)
2009-1442 2009/07/20 (事故発生地) 北海道	食器乾燥機 約14日	運転後の食器乾燥機から異臭がし、本体カバーが触れないぐらい熱くなった。 (被害なし)	事故品に焼損や焦げ等の異常箇所は認められず、通電確認すると正常作動し、発煙や異臭は生じないことから、製品に起因しない事故と推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/08/28)
2009-1272 2009/07/29 (事故発生地) 福岡県	食器乾燥機 約10年	食器乾燥機の乾燥タイマーをかけたところ、焦げ臭いにおいがし、直後に発煙した。 (製品破損)	送風ファンがカバーと擦れる状態であることから、風量が低下したため、ヒーターの温度が上昇し温風吹き出し口付近の樹脂が発煙したか、吸い込み口のフィルターを装着していなかったため、可燃物が入り込んでヒーターに接触し着火した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/08/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0269 2007/04/13 (事故発生地) 宮城県	食器乾燥機 SSK-TS61 三洋電機(株) 約11か月	使用中の食器乾燥機から発煙し、異臭がした。 (製品破損)	送風モーターのローターが偏心していたため、風量が低下してヒーターが異常過熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であり、最終的に温度ヒューズが動作して通電を遮断し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 製造事業者 (受付:2007/04/16)
2008-5427 2008/06/16 (事故発生地) 千葉県	食器洗い乾燥機 不明	食器洗い乾燥機から焦げ臭いにおいがした。 (被害なし)	ペットボトルのふたを当該機で洗浄したため、運転中の水圧でふたがヒーターカバーの端の隙間から落下し、ヒーターの熱によって溶融したものと推定される。 。なお、取扱説明書には『プラスチック容器等の軽くて小さい食器は入れない。洗浄水で飛ばされて下に落ち、発煙や故障の原因となる。』旨記載されている。 (E1)	使用者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/30)
2007-0424 2007/04/05 (事故発生地) 長崎県	食器洗い乾燥機 約5年	食器洗い乾燥機から発火して、電源プラグ部と延長コードのコンセント部を焼損し、床が焦げた。 (拡大被害)	延長コードのコンセント刃受けと、食器洗い乾燥機のプラグの栓刃の間で接触不良が生じ異常発熱し、焼損したものと考えられるが、接触不良となった原因は特定できなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/04/25)
2009-2172 2009/10/22 (事故発生地) 和歌山県	食器洗い乾燥機 EUD350 TOTO(株) 約6年	運転中の食器洗い乾燥機から異臭がして発煙し、階下まで水漏れした。 (拡大被害)	基板設計上の不備により、基板上的電源コネクタ部において、機器の振動や通電による温度変化によってコネクタ接触部に微摺動が生じ、酸化スズが生成され、接触抵抗が増大して発熱し、基板上的ポッティング材が溶解し発煙したものと推定される。	2008(平成20)年2月25日付けホームページ及び翌26日付け新聞に社告を掲載するとともに、顧客リストをもとにDMを送付し、無償で点検・修理を実施している。 なお、当該品は既に製造を終了している。	消費者センター 製造事業者 (受付:2009/11/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5315 2009/03/07 (事故発生地) 北海道	食器洗い乾燥機 NP-60SS5 松下電器産業(株)(現在: パナソニック(株)) 約3年11か月	食器洗い乾燥機を使用したところ、 下かごの樹脂製小物入れが焦げて溶け 落ちた。 (製品破損)	事故品のポンプユニットの不具合により、ヒーター が空焚き状態となり、ヒーター近傍の樹脂製小物入れ が溶融したものと考えられるが、ポンプユニットの不 具合の原因は特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、最終的に安全装置が作 動して通電が停止し、拡大被害に至っていないこ とから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応 じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/03/18)
2008-4379 2009/01/09 (事故発生地) 京都府	食器洗い乾燥機 NP-60SS5 松下電器産業(株)(現在: パナソニック(株)) 約4年	使用中の食器洗い乾燥機から異臭が し、庫内の収納容器の一部が溶融した 。 (製品破損)	事故品のポンプ内の洗浄・排水切替弁が外れたため 、洗浄水が排水されて空焚き状態となり、ヒーター近 傍の樹脂製小物入れが溶融したものと考えられるが、 切替弁が外れる状況が再現せず、原因の特定はできな かった。 (G3)	事故原因が不明であり、最終的に安全装置が作 動して通電が停止し、拡大被害に至っていないこ とから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応 じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2009/01/16)
2008-4106 2008/12/23 (事故発生地) 兵庫県	食器洗い乾燥機(ビル トイン型) 約6か月	使用中の食器洗い乾燥機のヒーター 部から発煙した。 (拡大被害)	使用者がさい箸を所定の場所に置かなかったため、 運転中の水圧でさい箸が飛ばされてヒーターの上に落 ち、さい箸が焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には『さい箸等の軽いものは中央 部に置かない』旨の注意表示が記載されている。 (E1)	使用者の誤使用とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/12/26)
2009-0330 2009/04/12 (事故発生地) 石川県	食器洗い乾燥機(ビル トイン型) 約10年	ビルトイン型の食器洗い機を使用 中、プレーカーが落ちて機器後部から発 火し、周辺と床面などを焼損した。 (拡大被害)	施工時に、コンセントプラグ仕様の電源コードを改 造(切断して屋内配線と手よりで結線)していたため 、接触不良により異常発熱し、発火したものと推定さ れる。 なお、施工説明書の注意事項には『電源コードを切 断したり、屋内配線ケーブルと直結しない。』旨が記 載されている。 (D1)	施工不良による事故で、製品の不具合に起因す る事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、施工業者は特定できなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1299 2009/08/01 (事故発生地) 大阪府	食器洗い機 SMI5022 ポッシュ (株) 約19年4か月	電気食器洗い機を使用中に異臭がし、発煙した。 (製品破損)	ドアスイッチの接続端子部が緩み、接触不良を起こし、発煙したものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年11月1日、2006(平成18)年11月1日、2007(平成19)年2月19日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、2007年2月26日には全国紙に折り込みチラシを入れ、さらに納入実績のあるユーザーにDMを送付し、無償点検・修理を実施している。 なお、2007年8月からDMを送付しても連絡の取れないユーザーには戸別訪問し、無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/08/10)
2009-0537 2009/05/11 (事故発生地) 鹿児島県	食器洗い機 SPS6012 (FD7103) ポッシュ (株) 約18年	使用中の食器洗い機から異臭がし、発煙した。 (製品破損)	雑音防止コンデンサに不具合があったため破裂し、発煙したものと推定される。 (A3)	2004(平成16)年11月1日、2006(平成18)年11月1日、2007(平成19)年2月19日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、2007年2月26日には全国紙に折り込みチラシを入れ、さらに納入実績のあるユーザーにDMを送付し、無償点検・修理を実施している。 なお、2007年8月からDMを送付しても連絡の取れないユーザー宅を直接訪問し、無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/05/22)
2009-1225 2009/07/24 (事故発生地) 大阪府	食器洗い機 SPI5320 (FD6805) ポッシュ (株) 約17年	使用中の食器洗い機から異臭がし、発煙した。 (製品破損)	食器洗い機のメインターミナル部が接触不良を起こして発熱し、焦げたものと推定される。 (A2)	2004(平成16)年11月1日、2006(平成18)年11月1日、2007(平成19)年2月19日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、2007年2月26日には全国紙に折り込みチラシを入れ、さらに納入実績のあるユーザーにDMを送付し、無償点検・修理を実施している。 なお、2007年8月からDMを送付しても連絡の取れないユーザー宅を直接訪問し、無償点検・修理を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/07/31)
2008-2626 2008/09/02 (事故発生地) 大阪府	水槽用ウォータークーラー アクアクーラー20 グレー NHC-032 (株) マルカン 約2日	水槽(海水)の温度を維持するため使用していた水槽用ウォータークーラー一付近から出火した。 (製品破損)	当該品内部にある冷却タンク(樹脂製)のかん合部に溶着不良があったため、海水が漏れ出しA/Cインレットの端子部に付着して、トラッキング現象が生じて発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、冷却タンク組立工程及び最終動作試験工程における水漏れ検査の強化及び改善を実施した。	国の行政機関 (受付:2008/09/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4336 2008/10/00 (事故発生地) 鹿児島県	水槽用循環ポンプ 不明	水槽用循環ポンプの差込みプラグ付近から出火した。 (製品破損)	コンセントと水槽用ポンプの差込みプラグ間に、埃や水分等が付着してトラッキング現象が発生し、出火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関 (受付:2009/01/14)
2007-1545 2007/05/02 (事故発生地) 兵庫県	水槽用循環ポンプ Rio200 神畑養魚(株) 約2年	海水用水槽内の水中ポンプから黒い煤が噴出して水面から発煙し、魚が死んだ。 (拡大被害)	ポンプ用モーター軸受けの摩耗などにより、ポンプ羽根が、回転時に本体樹脂部と接触して、モーターコイルが過負荷状態となり異常発熱したが、安全装置がなかったため、本体樹脂がひび割れて水が浸入し、コイル間で短絡が生じ、発煙したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年12月3日付けのホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 。なお、当該機の販売は既に終了しており、後継機種は保護用温度ヒューズを追加するとともにポンプ用モーター軸受けの材質を変更した。	消費者 (受付:2007/06/12)
2008-4924 2007/02/05 (事故発生地) 秋田県	水槽用循環ポンプ Rio600 神畑養魚(株) 不明	水槽内の観賞魚用水中ポンプから黒い煤が噴き出して、水面から発煙した。 (拡大被害)	ポンプ用モーター軸受けの摩耗などにより、ポンプ羽根が、回転時に本体樹脂部と接触して、モーターコイルが過負荷状態となり異常発熱したが、安全装置がなかったため、本体樹脂がひび割れて水が浸入し、コイル間で短絡が生じ、発煙したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年12月3日付けのホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 。なお、当該機の販売は既に終了しており、後継機種は保護用温度ヒューズを追加するとともにポンプ用モーター軸受けの材質を変更した。	輸入事業者 (受付:2009/02/17)
2008-4927 2007/06/11 (事故発生地) 大阪府	水槽用循環ポンプ Rio800 神畑養魚(株) 不明	水槽内の観賞魚用水中ポンプから黒い煤が噴き出して、水面から発煙した。 (製品破損)	ポンプ用モーター軸受けの摩耗などにより、ポンプ羽根が、回転時に本体樹脂部と接触して、モーターコイルが過負荷状態となり異常発熱したが、安全装置がなかったため、本体樹脂がひび割れて水が浸入し、コイル間で短絡が生じ、発煙したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年12月3日付けのホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 。なお、当該機の販売は既に終了しており、後継機種は保護用温度ヒューズを追加するとともにポンプ用モーター軸受けの材質を変更した。	輸入事業者 (受付:2009/02/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4926 2007/05/26 (事故発生地) 大阪府	水槽用循環ポンプ Rio1400 神畑養魚(株) 不明	水槽内の観賞魚用水中ポンプから黒い煤が噴き出して、水面から発煙した。 (製品破損)	ポンプ用モーター軸受けの摩耗などにより、ポンプ羽根が、回転時に本体樹脂部と接触して、モーターコイルが過負荷状態となり異常発熱したが、保護用サーマルプロテクターの周囲に気泡があったため、正常に作動せず本体樹脂がひび割れて水が浸入し、コイル間で短絡が生じ、発煙したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年12月3日付けのホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該機の販売は既に終了しており、2008(平成20)年1月からの販売品は、周囲に気泡が入らないよう保護用サーマルプロテクターの埋め込み方法を変更するとともにポンプ用モーター軸受けの材質を変更した。	輸入事業者 (受付:2009/02/17)
2008-4925 2007/03/12 (事故発生地) 愛知県	水槽用循環ポンプ Rio2500 神畑養魚(株) 不明	水槽内の観賞魚用水中ポンプから黒い煤が噴き出して、水面から発煙した。 (拡大被害)	ポンプ用モーター軸受けの摩耗などにより、ポンプ羽根が、回転時に本体樹脂部と接触して、モーターコイルが過負荷状態となり異常発熱したが、保護用サーマルプロテクターの周囲に気泡があったため、正常に作動せず本体樹脂がひび割れて水が浸入し、コイル間で短絡が生じ、発煙したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年12月3日付けのホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該機の販売は既に終了しており、2008(平成20)年1月からの販売品は、周囲に気泡が入らないよう保護用サーマルプロテクターの埋め込み方法を変更するとともにポンプ用モーター軸受けの材質を変更した。	輸入事業者 (受付:2009/02/17)
2009-2294 2009/11/11 (事故発生地) 石川県	水槽用照明器具 不明	水槽用照明器具とテーブルタップの接続部分から出火し、照明器具のコードと敷物を焼いた。 (拡大被害)	テーブルタップと水槽用照明器具の差込みプラグ間に、埃や水分等が付着してトラッキング現象が発生し、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/11/16)
2008-4460 2008/12/20 (事故発生地) 長野県	水道凍結防止ヒーター 約8年	浴室の水道凍結防止ヒーター付近から出火した。 (拡大被害)	給湯配管への施工の際、仕様の異なるヒーターを使用し、サーモスタットが給湯配管から外れていたため、外気温が低温時にヒーターに連続通電され異常過熱し、出火したものと推定される。 (D1)	施工事業者である(株)ヤマヒサは、2009(平成21)年1月26日付けのホームページに点検調査のお知らせを掲載し、顧客宅の巡回訪問を行い、取付の点検、確認を行っている。	不明 (受付:2009/01/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4461 2009/01/14 (事故発生地) 長野県	水道凍結防止ヒーター 不明	ブレーカーが落ち、浴室付近から出火し、水道凍結防止ヒーター付近が激しく燃えていた。 (拡大被害)	施工業者によるヒーターの施工不良があったため、異常発熱し、出火したものと推定される。 (D1)	施工業者である(株)ヤマヒサは、2009(平成21)年1月26日付けのホームページに点検調査のお知らせを掲載し、顧客宅の巡回訪問を行い、取付の点検、確認を行っている。	不明 (受付:2009/01/20)
2006-0917 2006/07/04 (事故発生地) 北海道	扇風機 約1年	扇風機付近から発火し、本体が焼け、周囲が焦げた。 (拡大被害)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2006/07/26)
2008-3534 2008/10/00 (事故発生地) 大阪府	扇風機 約4か月	タワー型の扇風機から発煙して燃え出し、本体プラスチック部分が溶け、下に敷いていたカーペットが焦げた。 (拡大被害)	事故品が入手できないため、調査することができなかった。 (G2)	事故品が入手できず、調査不能であるため、措置はとれなかった。	市町村 (受付:2008/11/19)
2008-2899 2008/09/20 (事故発生地) 千葉県	扇風機 約4か月	寝ころんでいた男児の足が使用中の扇風機にぶつかった際に、扇風機が傾いて壁に当たり、元の位置に戻った。そのまま使用を継続していたところ、およそ3分後に、扇風機の羽根が破損して破片の一部が飛び散った。 (製品破損)	事故品の羽根(AS樹脂製)4枚のうち、1枚が羽根の中央部で破断しており、別の1枚の先端が欠けていた。モーターケースの嵌合部分に変形して隙間が生じていたことから、壁に衝突した際に相応の衝撃があったと考えられ、衝突時の衝撃によって羽根に発生したクラックが、その後の使用に伴って伸展し、破損に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/10/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1747 2009/08/09 (事故発生地) 埼玉県	扇風機 PJ-303TF シャープ(株) 約36年	扇風機から発火し、扇風機と床の一部が焦げた。	事故品の写真によると、本体の支柱上部付近から出火したものと推定されるが、事故品は既に廃棄されているため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、長期使用の扇風機から発火するおそれがあることから、2007(平成19)年9月7日付けホームページに古い扇風機の機種・型式及び製造年を公表し、注意喚起を行っている。また、カタログ、取扱説明書、ホームページ上で長期使用製品に対する「愛情点検」の啓発を実施している。さらに、(財)家電製品協会、(社)日本電機工業会、(社)電子情報技術産業協会、(社)日本冷凍空調工業会では、経済産業省と協力し、長期使用の家電製品に関する安全点検チラシの作成、ユーザーへの啓発活動を行っている。	製造事業者 (受付:2009/09/28)
2009-1497 2009/08/00 (事故発生地) 新潟県	扇風機 不明	使用中の扇風機から異臭がして発熱し、部屋に白煙が充満した。	事故品は正常に動作し、異臭や異常発熱、発煙等はなく、内部の電気部品にも異常は認められないことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/09/02)
2009-1521 2009/00/00 (事故発生地) 神奈川県	扇風機 約6年	扇風機の羽根が1枚割れて飛び散った。	扇風機の後ガードの一部が変形していることから、運転中に後ガードから物が入り込んだため、羽根が破損したものと推定される。 なお、取扱説明書に「ガードの中や可動部へ指などを入れない」「不安定な場所や障害物の近くでは使わない」などの注意表示を記載している。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/09/04)
2008-2241 2008/08/26 (事故発生地) 熊本県	扇風機 EF-308(ブランド:(株)ゼネラル) 三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株) 約40年	使用中の扇風機の一部から発煙した。	長期使用(40年間)により、コンデンサーの絶縁性が劣化して短絡・発熱し、コンデンサーの充填材が噴出したものと推定される。	製造から30年以上経過している扇風機について、2007(平成19)年8月25日及び2008(平成20)年6月10日に新聞広告を掲載し、2007(平成19)年9月1日からテレビ広告を実施するなどして、使用の中止を呼びかけるとともに、製品の廃棄のお願いをしている。また、財団法人家電製品協会、社団法人日本電機工業会、社団法人電子情報技術産業協会、社団法人日本冷凍空調工業会では、経済産業省と協力して、現在、長期間使用している家電製品に関する注意喚起のためのチラシを各自治体を通じて全国の各世帯に配布している。	消費者センター (受付:2008/09/01)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4051 2007/07/00 (事故発生地) 兵庫県	扇風機 FC301J パナソニックエコシステムズ(株) 約12年	使用中の扇風機が突然停止し、本体が高温になった。 (被害なし)	長期使用(約12年)により、モーター軸受けの潤滑油が劣化または流出したため、回転が低下し巻線が発熱したものと推定される。 (C1)	2007(平成19)年9月7日及び2008(平成20)年10月1日付けホームページに告知を掲載し、長期使用の扇風機に対する注意喚起を行っている。また、(財)家電製品協会及び(社)日本電機工業会においても、扇風機の安全点検チラシの作成、ユーザーへの啓発活動を行っている。	消費者 (受付:2008/12/24)
2009-1274 2009/07/23 (事故発生地) 長野県	扇風機 F35-142 ブラザー工業(株) 約37年	タイマーをかけて使用中の扇風機から火花が出て、発煙した。 (製品破損)	長期使用(約37年)により、風量切替用の変圧器(トランス)が絶縁劣化したため、レイヤショートが生じて火花が発生し、発煙したものと推定される。 (C1)	2009(平成21)年1月14日付けホームページに告知を掲載し、長期使用の扇風機に対する注意喚起を行っている。また、(財)家電製品協会及び(社)日本電機工業会においても、扇風機の安全点検チラシの作成、ユーザーへの啓発活動を行っている。	製造事業者 (受付:2009/08/06)
2009-1697 2009/09/10 (事故発生地) 福岡県	扇風機 EF-6YZC 三洋電機(株) 約41年	扇風機のモーター部から火が出て、階段の一部が焦げた。 (拡大被害)	長期使用(約41年)により、コンデンサーが劣化し、内部短絡を生じて異常発熱し、出火したものと推定される。 (C1)	製造から30年以上経過している扇風機について、2007(平成19)年8月25日、2008(平成20)年6月10日及び2009(平成21)年6月10日~13日に新聞広告を掲載し、2007(平成19)年9月1日からテレビ広告を実施するなどして、使用の中止、製品の廃棄の呼びかけている。また、財団法人家電製品協会、社団法人日本電機工業会、社団法人電子情報技術産業協会、社団法人日本冷凍空調工業会では、経済産業省と協力して、現在、長期間使用している家電製品に関する注意喚起のためのチラシを各自自治体を通じて全国の各世帯に配布している。	消費者センター (受付:2009/09/18)
2009-0566 2009/05/22 (事故発生地) 香川県	扇風機 不明 不明 不明	扇風機から出火し、和室20平方メートルを焼損した。 (拡大被害)	長期使用により、モーターの巻線の絶縁が劣化したためレイヤショートし、スパーク・発火したものと推定される。 (C1)	製造業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/05/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0932 2009/07/01 (事故発生地) 島根県	扇風機 TSK-F1202R 燦坤日本電器(株) 約6年	扇風機付近から異臭がしたため確認したところ、台座の裏が焦げて、床も変色していた。 (拡大被害)	電源制御用のフィルムコンデンサーの絶縁不良により、異常電流が流れて発熱し、コンデンサー内部の樹脂が溶け出して発煙に至ったものと推定される。 (A3)	発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、既販品について措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/02)
2007-3199 2007/08/27 (事故発生地) 福岡県	扇風機 MF-30HR99 森田電工(株) 不明	使用中の扇風機から火花と煙が出て、首振り部分の配線が焦げた。 (製品破損)	内部配線の組み付け不良のため、首振り部で応力が加わり内部配線の芯線が半断線し、異常発熱し絶縁被覆が焦げて発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2007/08/31)
2008-3953 2008/12/08 (事故発生地) 埼玉県	扇風機(大型) 約5年9か月	清掃業者が床にかけたワックスを乾燥させるために送風機を使用していたところ、出火し、機器と床を焼損した。 (拡大被害)	事故品は、使用者が改造し、モーターやコンデンサー等の部品を交換しているが、焼損が著しく、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/12/16)
2009-0894 2009/06/25 (事故発生地) 神奈川県	扇風機(卓上用) EF-210 (株)泉精器製作所 約7年	使用中の扇風機から「シュー」という音がして発煙、発火し、後方モーター部分のプラスチックが焦げた。 (製品破損)	首振り部の配線に繰り返し応力が加わり、断線・短絡しスパークしたものと考えられるが、配線に繰り返し応力が加わった原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/06/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0210 2009/04/07 (事故発生地) 広島県	扇風機（壁掛け用） 不明	壁に設置していた壁掛扇風機付近から出火し、居室を焼損した。 (拡大被害)	モーター及び電源コードから発火した痕跡は認められなかったが、その他の電気部品が入手できないことから、調査できなかった。	事故品の全ての部品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/04/16)
2009-1468 2009/08/10 (事故発生地) 北海道	扇風機（壁掛け用） 約14日	使用中の扇風機の後ろガードを持って風向きを調整していたところ、ガードの隙間に右手小指が入り、羽根にあたって切り傷を負った。 (軽傷)	被害者が、当該機の稼働中に後ろガードを掴んだため、ガードの隙間から指が入り、回転中の羽根と接触してけがを負ったものと推定される。 なお、取扱説明書の注意事項には、「ガードの中や可動部へ指などを入れない、けがをする恐れがある。」旨を記載している。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、風向きを変える際の注意事項を、より判り易く変更した。	輸入事業者 (受付:2009/08/31)
2009-0399 2008/06/07 (事故発生地) 愛知県	洗面化粧台 M-60W (株)ベルテクノ（現在： (株)ベルキッチン） 約17年2か月	洗面台の照明スイッチを入れたところ、スイッチ部がスパークし、発煙した。 (製品破損)	タンブラー式スイッチが斜め上向きに取り付けられており、スイッチ内部に水分が溜まりやすい構造であったため、スイッチ内部の端子間でトラッキング現象を起こし、発煙、スパークしたものと推定される。	2009（平成21）年5月15日けホームページ並びに同月16日け新聞に社告を掲載し、無償修理を実施している。	製造事業者 (受付:2009/05/11)
2009-0400 2009/04/03 (事故発生地) 愛知県	洗面化粧台 M-60W (株)ベルテクノ（現在： (株)ベルキッチン） 約18年1か月	洗面台の照明スイッチが故障したのでスイッチ部を外したところ、配線が焦げていた。 (製品破損)	タンブラー式スイッチが斜め上向きに取り付けられており、スイッチ内部に水分が溜まりやすい構造であったため、スイッチ内部の端子間でトラッキング現象を起こし、発煙、スパークしたものと推定される。	2009（平成21）年5月15日けホームページ並びに同月16日け新聞に社告を掲載し、無償修理を実施している。	製造事業者 (受付:2009/05/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0423 2008/02/11 (事故発生地) 広島県	洗面化粧台 M-75WH (株) ベルキッチン 約17年	洗面台のコンセントが故障したのでコンセント部分を外したところ、内部が焦げて穴が開いており、リード線の被覆も焦げていた。 (製品破損)	長期使用(約17年)により、コンセント内部の電線接続部が腐食したため、接触抵抗が増加し異常発熱して発煙に至ったものと推定される。 (C1)	異常発熱による発煙のみで拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/05/11)
2009-0424 2009/01/07 (事故発生地) 愛知県	洗面化粧台 M-75WH (株) ベルキッチン 約17年	洗面台の曇り止めスイッチを入れたところ、スイッチ内部から発煙した。 (製品破損)	長期使用(約17年)により、スイッチ可動接点部が腐食したため、接触抵抗が増加し異常発熱して発煙に至ったものと推定される。 (C1)	異常発熱による発煙のみで拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/05/11)
2008-2120 2008/08/14 (事故発生地) 福岡県	洗面化粧台 SCL-75M タカラスタンダード(株) 不明	洗面台のコンセントにヘアードライヤーをつないで使用していたところ、洗面台上部から発煙した。 (製品破損)	当該品内部にある端子台の接続ねじ部で接触抵抗が増大し、異常発熱して発煙したものと考えられるが、接触抵抗が増大した原因は特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/08/26)
2007-0873 2007/05/09 (事故発生地) 奈良県	洗面化粧台ミラーキャビネット MLCX-903TH (株) I N A X 約1年10か月	洗面化粧台でヘアードライヤーを使用していたところ、キャビネットから煙が出て、スイッチボックス内部が焼損し、キャビネットの樹脂が一部溶解した。 (拡大被害)	当該品のコンセントと内部配線が接続不良であったため、接触不良を生じ異常発熱して焼損したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2007/05/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1246 2009/07/23 (事故発生地) 東京都	掃除機 EL334 富士見産業（株） 約14日	使用中の掃除機から焦げ臭いにおいがし、排気口から火花が見えた。 (製品破損)	モーターの整流子の真円度不良及び表面の傷等があったため、カーボンブラシが損傷し、整流子との接触状態が悪くなって火花が大きくなったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、整流子とブラシの火花のみで拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/08/04)
2009-1283 2009/06/07 (事故発生地) 香川県	掃除機 約13年	使用中の掃除機の差込みプラグから発煙した。 (製品破損)	差込みプラグのプロテクター付近で断線スパークが生じて発煙したものと考えられるが、使用中の過度の繰り返し応力によるものか、電源コードとプラグ刃のカシメ不良で生じた異常発熱によるものか、断線した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/08/07)
2009-1525 2009/09/03 (事故発生地) 静岡県	掃除機 不明	使用中の掃除機の排気口から発煙し、モーター付近とフィルターなどが焦げた。 (製品破損)	紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターベアリングに付着してグリス切れとなり発熱し、周囲の樹脂部品が焼損したものと考えられるが、紙パックの使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/09/04)
2008-5433 2009/03/00 (事故発生地) 不明	掃除機 スティッククリーナー PV16 テスコム電機（株） 約1日1回	掃除機を初めて使用したところ、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	製造時に、モーターの組み付け不良があったかまたは整流子に汚れが付着したことにより、整流子でのスパークが激しくなり、モーターの巻線が異常発熱し、レイヤショートし発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、最終的に電流ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、既製品について措置はとらなかった。 なお、今後は検査を強化することにより品質管理の徹底を図ることとした。	輸入事業者 (受付:2009/03/31)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2009-0619 2009/05/16 (事故発生地) 北海道	掃除機 約6か月	掃除機の電源コードを引き出すために、コード収納部付近に手を入れたところ、指に傷を負った。 (軽傷)	当該機のコード収納部付近にはバリや突起等は認められないことから、被害者が電源コードを引き出す際に、コード引き出し口の角部に指を強くこすりつけたため、指にすり傷を負ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/05/28)
2008-1457 2008/06/15 (事故発生地) 千葉県	掃除機 DC12プラスタービンヘッド ダイソン（株） 不明	掃除機のフレキシブル隙間ノズルを伸ばした時に、ノズルのロックボタンを押していた左手の親指が、本体とボタンの間に挟まれた。また、元に戻した時に、手のひらを挟み、擦過傷を負った。 (軽傷)	当該機の隙間ノズルは、伸縮の際に内側の管に付いているロックボタンを解除する構造であるが、ロックボタンが固く力が必要であるため、ロックが解除されずはずみで一気に伸び縮みし、伸び操作時にロック用の孔とロックボタンの間に指を挟んだり、縮み操作時に外側の管と内側の管の隙間に手を挟んだものと推定される。 なお、当該部品について手を挟む危険性がある旨の注意表示がなかった。 (B4)	他に同種事故発生の情報はなく、既販品については措置はとらなかった。 なお、現在販売しているものに関しては、取扱説明書に、手を挟まないように注意表示を行い、2009（平成21）年6月末ごろに、ノズル樹脂部分の改良を開始予定である。	消費者センター (受付:2008/07/11)
2008-5434 2009/03/00 (事故発生地) 不明	掃除機 スティッククリーナー PV16 テスコム電機（株） 約5か月	掃除機を使用したところ、白煙が上がり、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	内部配線の接続部（閉端接続子）が仕様通り外郭樹脂に固定されていなかったため、閉端接続子がモーターの整流子と接触して摩擦熱により溶融し、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、最終的に電流ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品について措置はとらなかった。 なお、今後は作業指導及び検査を強化することにより、品質管理の徹底を図ることとした。	輸入事業者 (受付:2009/03/31)
2009-1634 2009/08/12 (事故発生地) 神奈川県	掃除機 約11年8か月	使用中の掃除機後部から発煙した。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用し、かつ紙パックを固定するフックが破損等により無い状態であったため、ごみが漏れやすくなり、さらにモーター前面のフィルターが無い状態であったため、紙パックから漏れたごみが、モーターの整流子に多量に付着してスパークが激しくなり、発熱・発煙したものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には、『純正以外の紙パックを使用した場合、故障の恐れがある。』旨記載されている。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であり、カーボンブラシの摩耗により通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、（社）日本電機工業会は、ホームページに『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2009/09/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1897 2009/09/07 (事故発生地) 神奈川県	掃除機 不明	使用中の掃除機から発煙し、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用したため、紙パックからゴミが漏れてファンと整流板の隙間に入り込み、過負荷となってファンのバランスがくずれ、ファンと整流板が接触して整流板が摩擦で溶け、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『純正以外の紙パックを使用した場合、モーターが発煙・発火する恐れがある。』旨記載されている。	被害者の誤使用とみられる事故であり、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、(社)日本電機工業会は、ホームページに『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	製造事業者 消費者センター (受付:2009/10/09)
2008-2918 2008/09/25 (事故発生地) 千葉県	掃除機 約10年	使用中の掃除機から異臭がし、本体後部から火花が出て動かなくなった。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用していたため、紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターの整流子に付着してスパークが激しくなり、カーボンブラシの摩擦により通電停止したものと推定される。 なお、取扱説明書には『純正以外の紙パックを使用した場合、性能、品質の保証はできない。』旨記載されている。	被害者の誤使用とみられる事故であり、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、現行機種種の取説及び、(社)日本電機工業会のホームページに『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	消費者 (受付:2008/10/06)
2008-2765 2004/00/00 (事故発生地) 不明	掃除機 約9年	掃除機から発煙した。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用していたため、紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターの整流子に付着してスパークが激しくなり、発熱・発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『純正以外の紙パックを使用した場合、性能、品質は保証できない。』旨記載されている。	現行機種種の取扱説明書及びホームページに、『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。 なお、(社)日本電機工業会は、ホームページで同様の注意喚起を行うとともに、純正以外の紙パックを製造、販売している事業者にも、事故発生的事实を伝えることとした。	製造事業者 (受付:2008/09/22)
2008-2766 2006/07/18 (事故発生地) 不明	掃除機 約11年	掃除機から発煙した。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用していたため、紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターの整流子に付着してスパークが激しくなり、発熱・発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『純正以外の紙パックを使用した場合、性能、品質は保証できない。』旨記載されている。	現行機種種の取扱説明書及びホームページに、『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。 なお、(社)日本電機工業会は、ホームページで同様の注意喚起を行うとともに、純正以外の紙パックを製造、販売している事業者にも、事故発生的事实を伝えることとした。	製造事業者 (受付:2008/09/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2767 2006/10/20 (事故発生地) 不明	掃除機 約11年	掃除機から発煙した。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用していたため、紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターの整流子に付着してスパークが激しくなり、発熱・発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『純正以外の紙パックを使用した場合、性能、品質は保証できない。』旨記載されている。	現行機種種の取扱説明書及びホームページに、『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。 なお、(社)日本電機工業会は、ホームページで同様の注意喚起を行うとともに、純正以外の紙パックを製造、販売している事業者にも、事故発生の事実を伝えることとした。	製造事業者 (受付:2008/09/22)
2008-2768 2006/12/02 (事故発生地) 不明	掃除機 約11年	掃除機から発煙した。 (製品破損)	被害者が純正以外の紙パックを使用していたため、紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターの整流子に付着してスパークが激しくなり、発熱・発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『純正以外の紙パックを使用した場合、性能、品質は保証できない。』旨記載されている。	現行機種種の取扱説明書及びホームページに、『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。 なお、(社)日本電機工業会は、ホームページで同様の注意喚起を行うとともに、純正以外の紙パックを製造、販売している事業者にも、事故発生の事実を伝えることとした。	製造事業者 (受付:2008/09/22)
2008-5095 2009/01/29 (事故発生地) 京都府	掃除機 不明	使用中の掃除機から発火し、フローリングが白く変色した。 (拡大被害)	被害者が純正以外の紙パックを使用していたため、紙パックから細塵が漏れて本体内部に入り込み、モーターベアリングに付着してグリス切れとなり発熱し、周囲の樹脂部品が焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には『純正以外の紙パックを使用した場合、故障の恐れがある。』旨記載されている。	被害者の誤使用とみられる事故であり、火災などの拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 なお、(社)日本電機工業会は、ホームページに『純正以外の紙パックを使用した場合、発火する恐れがある。』旨掲載し、注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2009/03/02)
2009-0888 2009/06/23 (事故発生地) 東京都	掃除機(サイクロン式) VS-1004 (株)ベルソス 約3年	使用中の掃除機の音が大きくなってフィルターの後部から青白い炎が出て、モーターの焼けるにおいがした。 (製品破損)	モーターの整流子の真円度不良及び表面の傷等があったため、カーボンブラシが損傷し、整流子との接触状態が悪くなって火花が大きくなったものと推定される。	整流子とブラシの火花のみで拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、今後はモーター整流子の品質管理を強化する	消費者センター (受付:2009/06/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5093 2009/02/23 (事故発生地) 愛知県	掃除機（サイクロン式） DC12 ダイソン（株） 約1年10か月	使用中の掃除機から爆発音がし、差し込みプラグ付近の電源コードが溶けて発煙した。 (製品破損)	使用中、プラグ側のプロテクター部分に負荷が加わり芯線が断線しスパークが生じ、発煙したものと考えられるが、断線した原因が、構造上によるものか製造上によるものか、特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/03/02)
2008-5353 2009/03/08 (事故発生地) 神奈川県	掃除機（サイクロン式） DC12 ダイソン（株） 約3年4か月	使用中の電気掃除機の差し込みプラグ付近から発煙した。 (製品破損)	使用中、プラグ側のプロテクター部分に負荷が加わり芯線が断線しスパークが生じ、発煙したものと考えられるが、断線した原因が、構造上によるものか製造上によるものか、特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/03/23)
2008-1947 2008/08/08 (事故発生地) 三重県	掃除機（サイクロン式） 約1年	階段掃除の際、しゃがむような状態で左膝の上に掃除機を乗せて使用していたところ、膝部分に軽い火傷を負った。 (軽傷)	事故品に異常は認められず、詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/08/12)
2008-2836 2008/09/09 (事故発生地) 東京都	掃除機（サイクロン式） 約1年3か月	掃除機が突然吸い込まなくなったので中を開けてみたところ、青い火花が見えた。 (製品破損)	事故品内部に異常は確認されず、吸い込み力の低下や異常な火花が生じた原因は特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報は無いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/09/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4257 2008/12/28 (事故発生地) 神奈川県	掃除機（サイクロン式） TV-2000SV (株) オーム電機 約1日	使用後のハンディクリーナーの電源をOFFにして床に置いた後、排気口から突然発煙、発火し、排気フィルターが焦げた。	製造時に本体内部に混入した導電性の異物が、動作時に発生する内部の気流によって移動し、コードリールの端子接続部を異極間で短絡したため、発煙・発火し、排気フィルターが焦げたものと推定される。 なお、当該製品に同梱されているチラシに『吸込力が弱くなったり運転音が高くなったと感じたときなどにはフィルターのお手入れをする』旨の記載はされていたが、手入れを行わなかったときの想定される事象に関する記載はなかった。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、製品組み立て時に、本体内に金属部品の破片などが混入しないように品質管理の徹底を行った。	消費者 (受付:2009/01/09)
2008-3649 2008/10/30 (事故発生地) 広島県	掃除機（サイクロン式） MC-F2MV6 松下電器産業（株）（現在： パナソニック（株）） 約5年19日	使用中の電気掃除機の排気口から白煙が吹き出した。	被害者がフィルターを掃除せずに使用し続けたため、フィルターが目詰まり状態になり、モーターへの冷却風が少なくモーターへの負荷が大きくなり、異常スパークが発生し発煙したものと推定される。 なお、当該製品に同梱されているチラシに『吸込力が弱くなったり運転音が高くなったと感じたときなどにはフィルターのお手入れをする』旨の記載はされていたが、手入れを行わなかったときの想定される事象に関する記載はなかった。	カーボンブラシが異常摩耗して通電しなくなり、発煙のみで終息していることから、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/11/28)
2007-1514 2007/05/20 (事故発生地) 青森県	掃除機（サイクロン式） MC-F200NXM 松下電器産業（株）（現在： パナソニック（株）） 約3年5か月	掃除機を使用していたところ、掃除機の後ろ部分から煙が出てきた。	被害者がフィルターを掃除せずに使用し続けたため、フィルターに負圧が加わり取り付け部などの隙間から入り込んだ埃が、モーター整流子とカーボンブラシ摺動面に付着し、摩耗してスパークが激しくなり巻線に過電流が流れ、巻線が異常発熱してレイヤショートし発煙したものと推定される。 なお、当該製品に同梱されているチラシに『吸込力が弱くなったり、運転音が高くなったと感じたときなどにはフィルターのお手入れをする』旨の記載はされていたが、手入れを行わなかったときの想定される事象に関する記載はなかった。	最終的に電流ヒューズが溶断し、発煙のみで終息していることから、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2007/06/08)
2008-3829 2008/10/22 (事故発生地) 神奈川県	掃除機（スティック型） 不明	スティック型の掃除機を使用中、延長管が急に縮んだために腰をひねった。	延長管カバー内のロック体が摩耗したため固定保持力が低下し、その状態のまま修理をせずに使用していたところに、事故当日不具合を知らない被害者が使用したため、急な延長管の縮みによりバランスを崩し腰をひねったものと推定される。 なお、ロック体が摩耗した原因は、過度の衝撃の繰り返し等が考えられる。	故障のまま使用したことによる事故であり、消費者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2008/12/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5276 2008/11/04 (事故発生地) 静岡県	掃除機（充電式） ZB271WF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電電池が破裂し、壁と床の一部が汚染した。 (拡大被害)	充電電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)
2008-5277 2008/11/12 (事故発生地) 兵庫県	掃除機（充電式） ZB271RF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電電池が破裂した。 (製品破損)	充電電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)
2008-5278 2008/12/01 (事故発生地) 兵庫県	掃除機（充電式） ZB271WF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電電池が破裂し、壁と床の一部が汚損した。 (拡大被害)	充電電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)
2008-5279 2008/12/23 (事故発生地) 広島県	掃除機（充電式） ZB271RF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電電池が破裂し、壁と床の一部が汚損した。 (拡大被害)	充電電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5280 2009/02/22 (事故発生地) 福岡県	掃除機（充電式） ZB271TF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電池が破裂した。 (製品破損)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)
2008-5281 2009/02/23 (事故発生地) 東京都	掃除機（充電式） ZB271GF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電池が破裂し、ドアの一部が破損した。 (拡大被害)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/03/16)
2009-0359 2009/04/19 (事故発生地) 東京都	掃除機（充電式） ZB271WF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電池が破裂した。 (製品破損)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/05/07)
2009-0647 2009/04/19 (事故発生地) 東京都	掃除機（充電式） ZB271WF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	充電中の電気掃除機の充電池が破裂した。 (製品破損)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0648 2009/05/20 (事故発生地) 神奈川県	掃除機（充電式） ZB271WF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	使用中の電気掃除機の充電池が破裂した。 (製品破損)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/02)
2009-1216 2009/07/24 (事故発生地) 不明	掃除機（充電式） ZB271WF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	製品充電中、ハンディークリーナー内部の充電池が破裂した。 (製品破損)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/07/30)
2009-1760 2009/09/18 (事故発生地) 不明	掃除機（充電式） ZB271RF エレクトロラックス・ジャパン(株) 不明	電気掃除機を使用中、充電池が破裂し、本体の一部が破損した。 (製品破損)	充電池の封止部の加工処理が不十分であったため、充電時等における内圧の上昇に耐えきれず、充電池が破裂したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年4月3日付けホームページ及び4月10日付け新聞に社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/09/29)
2007-3320 2007/08/23 (事故発生地) 東京都	掃除機（充電式） CT-244B (株)シー・シー・ピー 約5か月1回	充電中の掃除機から発煙し、電池ボックス内のニッケルカドミウム電池が破裂した。 (製品破損)	当該品に内蔵のニッケルカドミウム電池に不良品が混入したため、内部短絡して異常発熱したことにより、電池の内部圧力が急激に上昇し、安全弁が動作する前に破裂し、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2007/09/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5089 2009/02/11 (事故発生地) 兵庫県	太陽光発電器（パワー コンディショナー） PVN-403（ブランド：京セラ（株）） オムロン（株） 約2年5か月	洗面所の壁に設置された太陽光発電器のパワーコンディショナーから発火し、端子とカバーの一部が焦げた。	設置業者の施工不良により、端子台のねじ締め付け不足のため、接触抵抗が増大し、端子台が発熱し、発火、焼損に至ったものと推定される。	2007（平成19）年11月7日付けのホームページに社告を掲載するとともに、設置業者へねじ端子締め付け状態の点検を要請した。また、本体に工事に対する注意喚起ラベルを追加貼付した。	消費者 (受付:2009/03/02)
2009-0966 2009/06/12 (事故発生地) 愛知県	太陽光発電器（昇圧ユニット） 約1日	住宅の外壁に設置した太陽光発電器の昇圧ユニットから異音が生じ、白煙が出た。	設置工業者が設置作業時に接続端子台の出力配線を逆接続し、さらに工事中断時に太陽電池接続箱のブレーカーを切り忘れて帰ったため、翌日、日が昇ると同時に出力側より異常電流が流れ込み、昇圧ユニットが発煙したものと推定される。	施工不良による事故であるため、製造事業者より設置工業者に対して再発防止の徹底を指導した。	製造事業者 (受付:2009/07/06)
2008-2096 2008/08/11 (事故発生地) 長野県	太陽光発電器（接続ユニット） JB40A 京セラ（株） 約1年1か月	太陽光発電器の接続ユニットから発熱、発煙して、接続ユニットが焼損した。	設置業者の施工不良により、太陽電池モジュールからパワーコンディショナーへの配線を行う接続ユニット内の端子台のねじ締め付け不足のため、接触抵抗が増大し、端子台が発熱し、発煙、焼損に至ったものと推定される。	2007（平成19）年11月7日付けのホームページに社告を掲載するとともに、設置業者へねじ端子締め付け状態の点検を要請した。また、本体に工事に対する注意喚起ラベルを追加貼付した。	製造事業者 (受付:2008/08/22)
2007-6138 2008/02/04 (事故発生地) 富山県	蓄熱式湯たんぽ エコ湯一ゆ HW-001 フカダック（株） 約1か月20日	蓄熱式ゆたんぽを充電しようと電源プラグをコンセントに差し込んだところ、「パチッ」という音とともにブレーカーが落ち電源コードが電源プラグ付近で断線した。	電源コードのプラグ側プロテクターに試し打ち品が混入したため、成型不良により被覆が損傷し芯線が接触して短絡、スパークしたものと推定される。	2008（平成20）年7月28日付けでホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/02/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0526 2008/03/10 (事故発生地) 富山県	蓄熱式湯たんぼ エコ湯一ゆ HW-001 フカダック (株) 約1か月16日	蓄熱式ゆたんぼを充電しようと電源プラグをコンセントに差し込んだところ、電源プラグのコード付け根部分から火花が飛び散り、手と腕が煤が付いて真っ黒になった。	電源コードのプラグ側プロテクターに試し打ち品が混入したため、成型不良により被覆が損傷し芯線が接触して短絡、スパークしたものと推定される。	2008(平成20)年7月28日付けでホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/04/25)
2008-0400 2008/04/10 (事故発生地) 富山県	蓄熱式湯たんぼ エコ湯一ゆ HW-001 フカダック (株) 約2か月18日	蓄熱式湯たんぼを通電していたところ、本体接続プラグとプラグ受けが溶けていた。	当該品はAC電源により本体に蓄熱し、電源コードを本体から外して使用する湯たんぼであるが、被害者が電源コードの接続プラグを本体に接続する際、確実に差し込まれているか分かりづらい構造であったため、接触不良が生じて異常発熱し、周囲の樹脂が溶融したものと推定される。 。なお、取扱説明書には『接続プラグをプラグ穴にしっかりと差し込む』旨記載されている。	2008(平成20)年7月28日付けでホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種は、接続プラグ内に差し込み不足を検知するリミットスイッチ及び電流ヒューズを追加している。	消費者センター (受付:2008/04/22)
2008-0159 2008/03/16 (事故発生地) 富山県	蓄熱式湯たんぼ エコ湯一ゆ HW-001 フカダック (株) 約1年3か月	蓄熱式湯たんぼを通電していたところ、電源コードの接続部分が焦げて発煙し、本体接続プラグとプラグ受けが溶けた。	当該品はAC電源により本体に蓄熱し、電源コードを本体から外して使用する湯たんぼであるが、被害者が電源コードの接続プラグを本体に接続する際、確実に差し込まれているか分かりづらい構造であったため、接触不良が生じて異常発熱し、周囲の樹脂が溶融したものと推定される。 。なお、取扱説明書には『接続プラグをプラグ穴にしっかりと差し込む』旨記載されている。	2008(平成20)年7月28日付けでホームページに告知を掲載し、注意喚起を行っている。 。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種は、接続プラグ内に差し込み不足を検知するリミットスイッチ及び電流ヒューズを追加している。	消費者センター (受付:2008/04/09)
2009-0771 2009/06/02 (事故発生地) 東京都	調光器 (壁埋込み式) 約3日	調光器が異常に発熱し、外郭が溶けた。	当該調光器を用いて低電圧(12又は24V)電球を使用する際は、調光器→降圧トランス→低電圧電球の順番で接続すべきところ、降圧トランス→調光器→低電圧電球と接続したため、当該調光器に過電流が流れ、異常発熱し外郭が熱変形したものと推定される。	施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 。なお、施工業者は特定できなかった。	輸入事業者 (受付:2009/06/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4078 2008/12/20 (事故発生地) 神奈川県	直流電源装置 ES1910用充電器RC01 セイコーエスヤード(株) 不明	洗面台の上でシェーバーを充電中に発火し、洗面台が焦げて周辺が煤で汚損した。 (拡大被害)	充電器内にある発振トランスの巻線部に絶縁不良があったため、巻線間が一部短絡して過電流が流れ、回路のヒューズ抵抗が溶断した際の熱により、ヒューズ抵抗周辺の充填材が炭化してバイパス回路を形成し、さらにその部分に電流が流れて過熱、発火した。 (A1)	2000(平成12)年6月から2003(平成15)年10月までに、新聞に計6回の社告を行い、ホームページにも掲載し、製品の回収、交換を行っている。また、充填材を炭化しにくい材質に変更し、発振トランスの巻線相互間の耐圧チェックを全数実施した。経済産業省は、都道府県に消費者への情報周知を要請するとともに、同省のホームページに掲載した。さらに当機構は「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起した。	輸入事業者 (受付:2008/12/25)
2008-4931 2009/02/16 (事故発生地) 長崎県	直流電源装置 ES1910用充電器RC01 セイコーエスヤード(株) 不明	洗面化粧台の上でシェーバーを充電中に発火し、洗面化粧台と洗面所の壁の一部が焦げ、周辺が煤で汚損した。 (拡大被害)	充電器内にある発振トランスの巻線部に絶縁不良があったため、巻線間が一部短絡して過電流が流れ、回路のヒューズ抵抗が溶断した際の熱により、ヒューズ抵抗周辺の充填材が炭化してバイパス回路を形成し、さらにその部分に電流が流れて過熱、発火した。 (A1)	2000(平成12)年6月から2003(平成15)年10月までに、新聞に計6回の社告を行い、ホームページにも掲載し、製品の回収、交換を行っている。また、充填材を炭化しにくい材質に変更し、発振トランスの巻線相互間の耐圧チェックを全数実施した。経済産業省は、都道府県に消費者への情報周知を要請するとともに、同省のホームページに掲載した。さらに当機構は「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起した。	輸入事業者 (受付:2009/02/18)
2008-5272 2009/03/07 (事故発生地) 山口県	直流電源装置 ES1815用充電器RC01 セイコーエスヤード(株) (現在:セイコースポーツ ライフ(株)) 不明	畳の上でシェーバーを充電中、充電器から発火し、畳が焦げ、周辺が煤で汚損した。 (拡大被害)	充電器内にある発振トランスの巻線部に絶縁不良があったため、巻線間が一部短絡して過電流が流れ、回路のヒューズ抵抗が溶断した際の熱により、ヒューズ抵抗周辺の充填材が炭化してバイパス回路を形成し、さらにその部分に電流が流れて過熱、発火した。 (A1)	2000(平成12)年6月から2003(平成15)年10月までに、新聞に計6回の社告を行い、ホームページにも掲載し、製品の回収、交換を行っている。また、充填材を炭化しにくい材質に変更し、発振トランスの巻線相互間の耐圧チェックを全数実施した。経済産業省は、都道府県に消費者への情報周知を要請するとともに、同省のホームページに掲載した。さらに当機構は「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起した。	製造事業者 (受付:2009/03/16)
2009-1904 2009/10/01 (事故発生地) 埼玉県	直流電源装置 ES1910用充電器RC01 セイコーエスヤード(株) (現在:セイコースポーツ ライフ(株)) 未使用	キッチンカウンターの上でシェーバーを充電中、充電器から発火し、壁クロスなどが焦げ、手に火傷を負った。 (軽傷)	充電器内にある発振トランスの巻線部に絶縁不良があったため、巻線間が一部短絡して過電流が流れ、回路のヒューズ抵抗が溶断した際の熱により、ヒューズ抵抗周辺の充填材が炭化してバイパス回路を形成し、さらにその部分に電流が流れて過熱、発火した。 (A1)	2000(平成12)年6月から2003(平成15)年10月までに、新聞に計6回の社告を行い、ホームページにも掲載し、製品の回収、交換を行っている。また、充填材を炭化しにくい材質に変更し、発振トランスの巻線相互間の耐圧チェックを全数実施した。経済産業省は、都道府県に消費者への情報周知を要請するとともに、同省のホームページに掲載した。さらに当機構は「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起した。	輸入事業者 (受付:2009/10/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0727 2008/04/25 (事故発生地) 福岡県	電気あんか 不明	電気あんか本体と毛布が焦げて、穴が開いた。 (拡大被害)	事故品の本体カバー及びスポンジシートには、折り曲げによるシワが認められたことから、本体を折り曲げて使用していたため、ヒーター線が重なった箇所温度が上昇し、ヒーター線を固定しているフェルト製カバーの接着がはがれ、ヒーター線が移動してヒーター線同士が接触し過熱が生じ、ヒーター線の被覆、フェルト製カバー及びスポンジシートを焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には『折り曲げて使用しないで下さい。火災や故障の原因となります。』旨記載されている。	被害者の不注意による事故とみられることから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/05/16)
2008-4383 2008/12/21 (事故発生地) 大阪府	電気あんか 約1年1か月	使用中の電気あんかの電源コードプロテクター部が焼損し、ふとんとシーツが焦げた。 (拡大被害)	電源コードのプロテクター部に屈曲等の外力が繰り返し加わったため、電源コードの芯線が断線し、短絡・スパークしたものと考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 なお、取扱説明書には、電源コードの取扱いに関する注意表示が記載されている。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は、既に生産を修了しており、後継機種については、本体ラベルにも電源コードの取扱いに関する注意表示をすることとした。	輸入事業者 (受付:2009/01/19)
2008-0948 2008/06/01 (事故発生地) 埼玉県	電気あんか 約3年	ふとんの中で使用していた電気あんかの本体とコードの接続部分が焦げ、火花が出た。 (製品破損)	電源コードの本体側プロテクター付近で断線し短絡して火花が生じ、プロテクター樹脂が焦げたものと考えられるが、使用状況が不明であり、コードが断線した原因は特定できなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は2005年度に輸入し、販売を終了している。	消費者 (受付:2008/06/05)
2008-4687 2009/01/20 (事故発生地) 千葉県	電気あんか 約6年	使用中の電気あんかから突然火花が散り、火傷を負った。 (軽傷)	電源コードの本体側プロテクター部に屈曲等の外力が繰り返し加わったため、電源コードの芯線が断線し、短絡・スパークしたものと考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 なお、取扱説明書には、電源コードの取扱いに関する注意表示が記載されている。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、当該品は、既に生産を修了しており、後継機種については、本体表示にプロテクター一部の曲げを禁止する図を追加するとともに、電源コード等の取扱いに関する注意喚起のチラシを添付することとした。	消費者センター (受付:2009/02/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0070 2008/01/29 (事故発生地) 神奈川県	電気あんか 約7年	電気あんかを使用して就寝したところ、あんか本体のコードの付け根部分が焦げて、タオルシーツ、毛布などの一部が焦げた。 (拡大被害)	電源コードを本体に巻き付けて収納することが使用期間中繰り返し行われたために、本体の電源コードプロテクター部がねじれた状態で繰り返し屈曲され、芯線が断線してスパークが発生し周囲を焦がしたものと推定される。 なお、取扱説明書には「断線の恐れがあるため、プロテクターを折り曲げない、コードを本体に巻き付けない。」旨の記載をしている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	市町村 (受付:2008/04/02)
2009-0160 2009/03/06 (事故発生地) 佐賀県	電気あんか 約6年	電気あんかを使用して就寝中、左足ふくらはぎに低温火傷を負った。 (軽傷)	当該品の温度特性等の機能に異常は認められないことから、当該品に長時間触れた状態で就寝していたため、低温火傷を負ったものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には『使用時は身体から離して使用する。低温火傷のおそれがある。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	販売事業者 (受付:2009/04/15)
2008-3991 2008/12/17 (事故発生地) 愛媛県	電気あんか 約31年	電気あんかを使用していたところ、足の裏に低温火傷を負い、皮が剥がれた。 (軽傷)	被害者（認知症・左半身不随）の足を暖めようと、家族が電気あんかの上に直接足をのせて使用したため、低温火傷を負ったものと推定される。 なお、取扱説明書には『長時間触れて使用すると低温火傷になる恐れがある。身体が不自由な場合はタオルなどで包んで使用する。』旨記載されている。	被害者の家族の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2008/12/19)
2008-3870 2008/11/16 (事故発生地) 和歌山県	電気あんか（ソフトタイプ） 約1年	使用中の電気あんかの一部が溶け、毛布の一部が焦げた。 (拡大被害)	電気あんかをいすで踏むなど、異常な荷重をヒーター線に加えたため、ヒーター線が断線して発熱し、毛布の一部が焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には『落としたり強い衝撃を与えない。あんかを踏みつけたり、傷を付けたりしない。故障や火災の原因となる。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	販売事業者 (受付:2008/12/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5040 2009/01/04 (事故発生地) 岩手県	電気オープン 不明	購入後数回使用した電気オープンで、ピザを作ろうと予熱を始めたところ、後部から発煙した。事業者に申し出たら新品を渡されたが、それを使ったら、また煙が出た。 (製品破損)	事故品の機能、内部部品に異常は見られず、ピザ焼き用の陶器板に付着した食品カス等が、加熱されて発煙したものと推定される。 なお、本体取扱説明書には、『陶器板に付着した食品カスは取り除く』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/02/25)
2008-5147 2008/10/22 (事故発生地) 神奈川県	電気オープントースター KZ-PE20-KP シャープ (株) 約7か月	オープントースターを使用すると、度々、漏電遮断器が落ちる。 (被害なし)	被害者がパン屑トレイをアルミ箔で包んでおり、アルミ箔の一部がヒータ管に接触していたため、アルミが溶融しアルミ成分がヒータ管のガラス組織に拡散して絶縁抵抗が低下し、さらに事故品の下に置かれていた金属皿にアルミ箔が接触したことで、ステンレスキッチンを通して、漏洩電流が流れたものと推定される。 なお、取扱説明書には『アルミ箔を使用する際、ヒータ管に接触しないようにする。』旨の注意表示はなかった。	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については取扱説明書に注意文を追記することとした。	消費者センター (受付:2009/03/06)
2009-1335 2009/08/06 (事故発生地) 埼玉県	電気オープンレンジ NE-N150 パナソニック (株) 約11年	使用中の電子レンジの右側から「バチッバチッ」と音がして火花が見え、発煙した。 (製品破損)	インバーター基板上の高圧トランスに、巻線の絶縁被膜にピンホールがある不具合品が混入したか、基板組み付け時に巻線に傷を付けてしまったため、巻線が絶縁不良によりレイヤショートし、スパーク・発煙したものと考えられるが、絶縁不良となった原因の特定はできなかった。	事故原因は不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、保護回路により通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/08/13)
2007-4635 2007/10/28 (事故発生地) 兵庫県	電気オープンレンジ RO-LD1 三菱電機ホーム機器 (株) 約6年	電気オープンレンジのレンジ機能を使用したところ、異常音が生じ、レンジの右壁面庫外から発火した。 (製品破損)	インバーター用のパワートランジスターに不良品が混入したため、内部短絡して、抵抗が焼き切れ、発火したものと推定される。 (A3)	インバーター回路は、オープンモードで終息しており、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/11/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4280 2008/12/22 (事故発生地) 山梨県	電気オープンレンジ 不明	使用中に右側底面から火花が出て異臭が発生したので、スイッチを切りコンセントを抜いた。 (製品破損)	インバータ基板の高圧トランスのはんだ付け部とアース間で絶縁不良状態となったため、放電が生じて焼損し、異臭が発生したものと考えられるが、絶縁不良となった原因が、内部に散見されるゴキブリの糞によるものか、その他の導電性異物によるものか、特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/09)
2008-3830 2008/10/00 (事故発生地) 神奈川県	電気オープンレンジ 約1年6か月	電気オープンレンジのオープン機能でクッキーを焼いていたところ、庫内のセラミック底板の一部が真っ赤になってひび割れた。 (製品破損)	オープン使用時専用の付属角皿にクッキーを載せて焼く際、オープンではなく誤って電子レンジのボタンを押す使用を繰り返したため、マイクロ波が部分的に集中して庫内底面セラミックが異常発熱し、赤熱してひび割れたものと推定される。 なお、取扱説明書及び角皿の上に同梱したチラシには、『電子レンジ加熱のときは角皿を使用しない。庫内底面セラミック割れるおそれがある。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/12/09)
2008-3393 2008/10/28 (事故発生地) 兵庫県	電気オープンレンジ ER-7V5 東芝ホームアプライアンス(株) 約4年5か月	さつまいもをラップに包み電子レンジのオートメニューでゆで調理していたところ、レンジ内部から発煙した。 (被害なし)	さつまいもを包んだラップが緩かったため、オートメニューで加熱した際に温度検知が正確に行えず、過加熱されてさつまいもが焦げ、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書にはラップの包みが緩かった場合の危険性について記載されていない。	他に同種事故発生の情報はなく、電子レンジ庫内は金属で囲まれており、火災等の拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、取扱説明書に『ラップを正しく使わなかった場合、食品が発煙・発火するおそれがある。』旨記載されている。	輸入事業者 (受付:2008/11/07)
2009-1366 2009/08/13 (事故発生地) 北海道	電気オープンレンジ 約12年	電子レンジで、ラップに包んだじゃがいもをオート加熱モードで調理したところ、じゃがいもが燃えて発煙した。 (被害なし)	じゃがいもの加熱調理終了後に、再度自動加熱を行ったため、じゃがいもが過加熱されて焦げ、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『加熱終了後、再度自動で追加加熱しない。食品が焦げることがある。追加加熱する場合は、手で様子を見ながら行う。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらないが、修理等により顧客を訪問した際に、電子レンジの使い方に関する啓発チラシを配布している。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/08/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4378 2008/12/07 (事故発生地) 大阪府	電気オープンレンジ 約7年	電気オープンレンジをターンテーブルに何も載せずに作動させたところ、火花が出た。 (製品破損)	ターンテーブルに付着した汚れに電波が集中して過熱して焦げた際に火花の発生や発煙が生じたものと推定される。 なお、取扱説明書に『汚れたまま使用すると焦げや火花が生じる』旨記載がある。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/16)
2008-4216 2008/12/21 (事故発生地) 東京都	電気オープンレンジ ER-F3 東芝ホームアプライアンス(株) 約1か月	電子レンジから食品を取り出す際、ドアフック部分で手に擦り傷を負った。 (軽傷)	ドアフック(樹脂製)の内側外周に微細なバリがあったため、食品を取り出す際に擦り傷を負ったものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/01/07)
2009-0674 2009/05/26 (事故発生地) 愛知県	電気オープンレンジ 不明	電気オープンレンジでビニール袋に入ったままのフランスパンを解凍していたところ、数秒後に「バシッ」という音がしてビニール袋が燃え、扉のガラスにひびが入った。 (製品破損)	フランスパンのビニール袋を閉じている針金(ビニタイ)を付けたまま解凍したため、針金と扉の金属板間にスパークが発生し、ビニール袋に着火し、扉のガラスに熱応力が加わり、ひび割れたものと推定される。 なお、取扱説明書には、『金属部がガラスに触れるとスパークを起こし、ガラスが割れる。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/06/04)
2008-3999 2008/12/15 (事故発生地) 東京都	電気オープンレンジ EMO-FR2 (S) 三洋電機(株) 約6年	電子レンジで冷凍食品を調理したところ、レンジ内から白煙が出た。 (製品破損)	マグネトロンフィルタ用貫通形コンデンサの絶縁性能が低下して高電圧がマグネトロンの外郭にリークし、高圧トランスの2次側巻線に過電流が流れ異常発熱し、巻線表面のワニスが発煙したものと考えられるが、絶縁性能が低下した原因の特定はできなかった。	他に同種事故発生の情報はなく、電流ヒューズが作動しており拡大被害に至る可能性も低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-0821 2006/06/28 (事故発生地) 兵庫県	電気オープンレンジ NE-A555 松下住設機器(株)(現在: パナソニック(株)) 約15年	電子レンジでご飯を温め中に、突然「パン」と音がして煙が出て、発火した。消火の際、溶けた樹脂が落ちてフロアマットが焦げ、流し台の一部が熱で変形した。	ラッチスイッチ付近から発火し、ドアフック(樹脂)に着火したものと考えられるが、焼損が著しいことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品はダイオードから発火する事故が発生していることから、2007(平成19)年5月30日付けホームページ、及び5月31日付けの新聞に社告を掲載し、無償で部品交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/07/13)
2009-0049 2009/03/17 (事故発生地) 大阪府	電気オープンレンジ 不明	電子レンジで牛乳をマグカップに入れて温め、取り出す際にマグカップを持ったところ、指に軽い火傷を負った。	金色の模様が施されたマグカップを使用したため、模様部分に電波が集中して異常に加熱されたため、取り出す際に指が触れて火傷を負ったものと推定される。 なお、取扱説明書には『金銀の模様のある器は、火花が出るため使用しない。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/03)
2008-2090 2008/06/23 (事故発生地) 神奈川県	電気オープンレンジ 約11年5か月	使用中の電子レンジの庫内右側から火花が出た。	繰り返しの使用により食品カス等が導波管カバー(マイカ板)を汚し、付着した汚れが加熱され炭化・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『食品や肉汁などで汚れたままにしない(発煙や発火の原因になる)。』旨の注意表示がある。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/08/22)
2007-3904 2007/10/15 (事故発生地) 青森県	電気オープンレンジ 約1年3か月	外出先から帰宅したところ、電子レンジから火花が出ていた。	庫内に付着していた食品カスや油の汚れに電波が集中して加熱され炭化・スパークしたものと考えられるが、帰宅したときに事故品が作動していた原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2007/10/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2608 2008/08/30 (事故発生地) 東京都	電気オープンレンジ 約10年3か月	電子レンジで冷凍食品を解凍していたところ、鉄板の焼けるようなにおいがして、煙が出た。 (被害なし)	庫内のヒーター管表面に付着した食品汚れが、解凍モード運転中のヒーター間欠通電により加熱され、発煙に至ったと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2008/09/16)
2009-1524 2009/08/19 (事故発生地) 兵庫県	電気オープンレンジ 約4年	電子レンジで冷凍食品を加熱中、庫内で発火した。 (被害なし)	庫内の付属品や導波管カバー（マイカ板）に付着した食品カス等に電波が集中して加熱され、炭化・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『庫内や付属品に食品カスなどがついたまま使用しない。火花や発火の原因となる。』旨を記載している。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/09/04)
2008-1226 2008/04/00 (事故発生地) 秋田県	電気オープンレンジ EMO-CH6 三洋電機コンシューマエレクトロニクス（株） 不明	使用中の電子レンジから、突然音がして火花が上がり、背面から火が出た。 (製品破損)	高圧コンデンサーの端子と本体の間をブッシング表面に沿ってトラッキング現象が生じたため、発火したものと考えられるが、トラッキング現象が生じた原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/06/24)
2007-6907 2008/03/05 (事故発生地) 宮城県	電気オープンレンジ RO-SD2 三菱電機ホーム機器（株） 約9年1か月	使用中の電子レンジから異臭がして白煙が出た。 (製品破損)	高圧トランスの不良品が混入したため、巻線がレイヤショートし、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であり、最終的に安全装置（電流ヒューズ）が作動して通電を遮断し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/03/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2817 2008/09/20 (事故発生地) 静岡県	電気オープンレンジ EMO-MRI 三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株) 約9年9か月20日	電子レンジで自動調理ボタンを押して食品を温めていたところ、「パチパチ」という音がして本体の右側面のすき間から火が出た。 (製品破損)	高圧リレーの端子間でトラッキング現象が生じたため、発火したものと考えられるが、トラッキング現象が生じた原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/09/26)
2009-1072 2009/07/03 (事故発生地) 長野県	電気オープンレンジ 約1か月	電子レンジで冷凍食品を加熱していたところ、手動設定した時間が過ぎても終了せず、発煙し食品が炭化した。 (被害なし)	事故品で再現試験を実施したが、事故内容は再現せず、内部部品や制御基板等には異常が無いことから、被害者が設定時間を誤ったため、食品が長時間加熱され炭化し、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『食品は加熱しすぎない。発煙発火の原因となる』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/07/16)
2008-4850 2009/02/00 (事故発生地) 千葉県	電気オープンレンジ 約4年5か月	電子レンジで加熱終了後、食品を取り出して扉を閉めたところ、操作もしていないのに勝手に動き出した。 (被害なし)	事故品の操作パネル部に接触不良等の異常は認められず、扉を閉めると作動するといった異常が再現できないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2009/02/12)
2009-2448 2009/11/00 (事故発生地) 埼玉県	電気オープンレンジ 約29年	電源プラグは差しているが使用していない電気オープンレンジから焦げ臭いにおいがして、発煙した。 (被害なし)	事故品は既に廃棄されており、入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/11/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6035 2007/12/20 (事故発生地) 三重県	電気オープンレンジ 約7年	電子レンジで大判焼き1個を自動加熱で温めて目を離していたところ、台所に黒煙が立ちこめて大判焼きが炭化した。 (被害なし)	自動加熱で温めた際、温度センサーが作動せずに加熱時間が長くなったため、大判焼きが炭化して発煙したと推定されるが、事故品の温度センサーは正常に作動し、事故の状況が再現しないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (受付:2008/02/06)	消費者センター
2008-1661 2008/07/13 (事故発生地) 三重県	電気オープンレンジ EMO-FR400 三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株) 約4年5か月	自動メニューでトーストを焼いていたところスイッチが切れずに黒く焦げ、さらに、次々と自動メニューが作動して止まらなくなった。 (製品破損)	製造時に、操作パネルの『脱臭(空焼き)』キー裏側に粘着テープが誤って付着したため、パネルと接点間のすき間が狭くなったことにより、軽く触れるだけで『脱臭』キーが入り、空焼き状態となってトーストが黒く焦げたものと推定されるが、その後、自動メニューが誤作動したことについては、耐ノイズ性試験及び再現試験においても再現できず、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、粘着テープ等の異物の付着の確認を徹底することとした。 (受付:2008/07/30)	消費者
2008-5181 2005/05/23 (事故発生地) 栃木県	電気オープンレンジ NE-A560 パナソニック(株) 約16年9か月	使用中の電気オープンから異臭がして発煙、発火し、電源接続部と配線の一部が焼損した。 (製品破損)	製造時に内部配線の接続部にカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し発火したのと考えられるが、事故品は被害者により修理されており、事故時の状況が確認できないため、原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。 (受付:2009/03/09)	消費者
2009-2205 2009/10/22 (事故発生地) 群馬県	電気オープンレンジ 約1年5か月	電子レンジから発煙した。 (拡大被害)	製品前面操作パネルの下部及び底部カバーの一部が焼損しているが、当該品から出火した痕跡は認められず、焼損した原因は特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (受付:2009/11/06)	輸入事業者

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3342 2008/10/07 (事故発生地) 沖縄県	電気オープンレンジ NE-A555 松下電器産業(株)(現在: パナソニック(株)) 約17年	電子レンジでご飯を温めていたところ、機器右側から発煙、発火し、レンジ置き台、床、マットが焦げた。 (拡大被害)	長期使用(約17年)により、吸気口付近に多量の埃が堆積しダイオードブリッジが高温条件下となり、ダイオードブリッジ内部素子と電極を接合しているはんだ部にクラックが生じスパークが発生し、付近の樹脂に着火して発煙・発火したものと推定される。 (C1)	2007(平成19)年5月30日付けホームページ、及び5月31日付けの新聞に社告を掲載し、無償で部品交換を行っている。また、新聞折り込みチラシの配布及び修理履歴に基づくDMを送付し、使用者の把握に努めている。	製造事業者 (受付:2008/11/05)
2008-5363 2009/03/15 (事故発生地) 北海道	電気オープンレンジ NE-AB70 松下住設機器(株)(現在: パナソニック(株)) 約20年	電子レンジでご飯を温めていたところ、庫内から樹脂が焦げるようなにおいがして発煙した。 (製品破損)	長期使用(約20年)により、ターンテーブルの軸穴及び軸の先端が摩耗したため、ターンテーブルが傾いた状態で回転し、金属製のターンテーブルと庫内底面が近接して、レンジ使用時にスパークが発生し、近傍の樹脂製コネクターを焦がし、発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者 (受付:2009/03/24)
2008-3293 2008/10/28 (事故発生地) 広島県	電気オープンレンジ 不明	調理中のオープンレンジの縁から煙が出て、電気配線の焦げるにおいがした。 (被害なし)	電気部品に異常は認められないことから、被害者の繰り返しの使用により庫内に付着していた食品カス等が、オープン調理時に加熱され炭化し、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『庫内やドアに油・食品カス・煮汁をつけたまま加熱しない。発火・発煙などの原因になる。』旨記載している。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/10/30)
2008-4587 2009/01/05 (事故発生地) 東京都	電気オープンレンジ 不明	電子レンジを使用中、電源コードのプラグの根元部がショートして発煙した。 (製品破損)	電源コードを持ってコンセントから抜くことをくり返していたため、差し込みプラグの根元部で半断線し、スパークが生じたものと推定される。 なお、取扱説明書には、『プラグを抜く時は電源コードを持って引き抜かない。ショートして発火することがある。』旨記載されている。 (E2)	使用者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0319 2009/04/16 (事故発生地) 大阪府	電気オープンレンジ ER-C5 東芝ホームアプライアンス (株) 約3年3か月	使用中の電子レンジから大きな音が生じて発煙し、火花が出た。 (製品破損)	当該機の導波管カバーに導電性のある異物が混入する部品不良があり、その異物にマイクロ波が集中するため、スパークが発生し、導波管カバーに穴を開けたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年10月28日付けホームページに社告を掲載し、無償で部品交換を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、導波管カバーのメーカーを変更した。	製造事業者 (受付:2009/04/27)
2007-6052 2008/02/03 (事故発生地) 大阪府	電気オープンレンジ 約6年	電気オープンレンジで食品を温めていたところ、背面と前面から発煙した。 (被害なし)	当該機庫内にあった食品及び電気部品などに焼けや発火など発煙した痕跡はなく、通電しても異常は確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/02/07)
2008-5094 2009/01/17 (事故発生地) 愛知県	電気オープンレンジ 約3年	電子レンジでじゃがいもを加熱していたところ発煙した。 (拡大被害)	当該品の作動確認では、電気部品に異常は認められず、正常に機能していることから、被害者がじゃがいもを長時間加熱したため、過加熱され、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『食品は加熱しすぎない。発煙・発火の恐れがあるので様子を見ながら加熱する。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/02)
2008-3392 2008/10/02 (事故発生地) 千葉県	電気オープンレンジ 約10か月	さつまいもを電子レンジで2分に設定して温めていたところ、発煙した。 (被害なし)	当該品の作動確認では、電気部品に異常は認められず、正常に機能していることから、被害者が設定時間を間違い加熱し過ぎたため、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には『食品は加熱しすぎない、発煙・発火の恐れがある。』、『手動で加熱する場合は様子を見ながら加熱する。』旨を記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2008/11/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2386 2009/10/28 (事故発生地) 岡山県	電気オープンレンジ 不明	使用中の電子レンジから大きな音がして庫内から発煙、発火し、調理中のさつまいもが焦げた。 (被害なし)	当該品の電気部品に異常は認められず、正常に機能していることから、被害者が長時間設定したため、さつまいもが過加熱され、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『少量の食品や乾燥したものを加熱しすぎない。発煙・発火の原因となる。』旨記載されている。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/11/26)
2009-1652 2009/09/03 (事故発生地) 宮城県	電気オープンレンジ 約3年	電子レンジでマグカップに入った味噌汁を温めた後、取り出そうと庫内に手を入れたところ、異音が生じ、指に火傷を負った。 (軽傷)	当該品は、開扉時の安全スイッチに異常はなく正常に動作しており、当該品を使用したことと火傷を負ったことの因果関係を含め、原因の特定はできなかった。 なお、被害者は、冷却用ファンが作動している音を異音と認識したものと考えられる。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/09/14)
2009-0485 2009/05/13 (事故発生地) 神奈川県	電気オープンレンジ 約6年	使用中の電子レンジから突然発火した。 (製品破損)	導波管カバー（マイカ板）に付着した食品カス等に電波が集中して加熱され炭化・スパークしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『庫内や付属品について食品くずや汁を付けたままにしない。スパークなどの原因になる。』旨記載している。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/05/15)
2008-5347 2009/03/11 (事故発生地) 大阪府	電気オープンレンジ 約7年2か月	さつまいもを電子レンジで加熱していたところ、レンジ内部から発煙した。 (被害なし)	普段どおりレンジ出力『弱（200W）』で14分間加熱しようとしたところ、出力を間違えて『強（900W）』に設定したため、さつまいもが過加熱されて発煙に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4967 2009/02/09 (事故発生地) 京都府	電気オープンレンジ 約11年	電子レンジを使用中、庫内で発火した。 (製品破損)	本体の差込プラグをコンセントに接続した直後にレンジ機能で自動加熱したため、温度センサーの予熱不足により、正常に作動せず加熱時間が長くなり、調理物が燃えたものと推定される。 なお、取扱説明書には『自動加熱する際は、差込みプラグを接続してから2～3分待つこと。センサーが正常に働かず、適切な加熱ができない。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/02/19)
2008-5096 2009/02/18 (事故発生地) 大阪府	電気オープンレンジ（ビルトイン型） 約7年2か月	使用中の電子レンジの内部から発煙した。 (製品破損)	焼き芋を温めるため、手動で加熱時間を設定した際に設定時間が長すぎたため、焼き芋が過加熱されて発煙したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/02)
2008-4258 2008/12/24 (事故発生地) 栃木県	電気カーペット 約1年1か月	電気カーペットが温かくならず、コントローラーから焦げたようなにおいがした。 (製品破損)	カーペット本体に大きなシワが生じた状態で使用したため、ヒーター線同士の発熱により部分的に過熱状態となり、ヒーター線と温度検知線が短絡してヒューズが溶断した際に、焦げたようなにおいがしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『シワのある状態では使用しない。感電や故障の原因となる。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/09)
2009-0026 2009/03/23 (事故発生地) 滋賀県	電気カーペット HJ-D20G シャープ（株） 約16年	電気カーペットのコントローラーの一部が溶け、カーペットカバーの一部が変色した。 (拡大被害)	コントローラー内の温度ヒューズにおいて、構成部品のコイルスプリングが欠品したものが混入したため、カーペット本体を折り曲げた状態で使用し本体が異常発熱した際に、温度ヒューズが正常に作動せず通電し続け、コントローラー内の抵抗が異常発熱し、外郭樹脂が溶融したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、抵抗が熱により断線して通電が停止し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3639 2008/11/26 (事故発生地) 京都府	電気カーペット FC-113R 森田電工（株） 約1年2か月	電気カーペットの電源が入らなくなったのでコントローラーを裏返したところ、焦げて樹脂が溶けており、下のじゅうたんも焦げた。 (拡大被害)	コントローラー内の電源コード取付部にはんだ付け部に不良があったため、発熱し、焼損に至ったものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター 消防機関 (受付:2008/11/27)
2008-3667 2008/11/29 (事故発生地) 群馬県	電気カーペット SYC-DW20 三洋電機（株） 約14年	使用中の電気カーペットから煙が出て、畳が焦げた。 (拡大被害)	コントローラー内部のヒーター用リレーのはんだ付け部に不良があったため、接触不良となり、異常発熱して焼損したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、今後の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/01)
2008-4976 2009/01/07 (事故発生地) 静岡県	電気カーペット 不明	防水タイプの電気カーペットを使用中、コントローラ部から出火して、下に敷いてあったじゅうたんの一部が焦げた。 (拡大被害)	コントローラー部分は防水構造になっていないため、ペットの尿等の水分がかかった影響で、コントローラーのコネクター部でトラッキング現象が生じ、出火に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書には「コネクターや操作部に水やお茶をこぼさない」「犬や猫などのペットの暖房用に使用しない」と記載されている。 (F1)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、今後の製品については、梱包箱に「本体操作部やコネクターは防水ではありません」と追記し、取扱説明書には既存の表示に加えて操作部が防水でないことを明示する等内容を改善することとした。	製造事業者 (受付:2009/02/19)
2008-3489 2008/11/04 (事故発生地) 神奈川県	電気カーペット KBN-B20D (G) 日本電熱（株） 約7年1か月	電気カーペットを使用中、「プチプチ」という音とともに発煙し、焦げ臭いにおいがして、家人の気分が悪くなった。 (製品破損)	コントロール基板上のリレーに不良品が混入したため、接点の接触不良により異常発熱し、リレーケースや基板が焼損、発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生情報はなく、温度ヒューズが作動して終息し発火に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/11/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4332 2008/12/26 (事故発生地) 栃木県	電気カーペット 約2か月	使用中の電気カーペットのスイッチがショートして焦げ臭くなった。 (製品破損)	ヒーターが部分的に過熱状態となり、ヒーター線と温度検知線が短絡してヒューズが溶断した際に、焦げたようなにおいがした可能性が考えられるが、使用状況等が不明のため、原因の特定はできなかった。 なお、スイッチに短絡等の異常はなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、ヒューズが溶断して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/14)
2008-4965 2009/01/11 (事故発生地) 福岡県	電気カーペット 不明	電気カーペットから発火し、アクセントラグ、こたつごとん、フローリングなどの一部が焦げた。 (製品破損)	ヒーター線に異常は認められず、電気カーペット本体よりも表面のカバーの方が焼損が著しいことから、当該製品からの出火ではないと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/02/19)
2008-4629 2009/01/17 (事故発生地) 千葉県	電気カーペット 不明	電気カーペットから煙が出て発火し、本体と上カバー、フローリングの一部が焦げた。 (拡大被害)	事故品の焼損状況は、ヒーター線が配線されていない縁辺部から中心部に向かって焼損した様相を呈していた。さらに、コントローラーは、ヒーター線と温度検知線が短絡したことにより、ヒューズが溶断して通電しない状態となっており、安全装置が適切に作動する状況であったと考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/28)
2008-3784 2008/00/00 (事故発生地) 静岡県	電気カーペット 約4年	電気カーペットが温まらなくなったので電気屋を呼んで内部を確認したところ、ヒーター線が切れて、カーペットの内面が一部焦げていた。 (製品破損)	収納時等に、カーペットの一部が強く折り曲げられ、感熱線(安全装置)付きヒーター線が損傷したため、通電した際にヒーター線が過熱し、カーペット内面を焦がしたものと思われる。 なお、取扱説明書には『折りたたんだホットカーペットの上に重いものを置かない。』、『段差のない平らな場所に広げて敷く。』旨記載されていた。 (E2)	消費者の不注意とみられる事故であり、感熱線が働いて終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/12/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2008-3712 2008/11/23 (事故発生地) 茨城県	電気カーペット DC-Z30BG (株) コロナ 約11年11か月	使用中の電気カーペットのコントローラ部分から「チリチリ」という音とともに発煙し、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	長期使用(約12年)により、コントローラ内部にある基板上のリレー接点が著しく荒れて、リレー接点間でスパークや接触抵抗の増加が発生したため、リレー接点が異常発熱し、樹脂製のリレーケースが溶融・発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/12/02)
2008-3177 2008/10/06 (事故発生地) 不明	電気カーペット HC-30BD (ブランド: (株) 富士通ゼネラル) 日本電熱 (株) 約12年	電気カーペットを使用中、焦げ臭かったのでコントローラ部を確認したところ、煙が出て裏面の一部が変形していた。 (製品破損)	長期使用(約12年)により、コントロール基板内のリレー接点が荒れて接触抵抗が増大し、発熱してリレー外郭樹脂や周囲の可燃物が加熱され発煙、焼損したものと推定される。 (C1)	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品の製造は既に終了している。	製造事業者 (受付:2008/10/22)
2008-3825 2008/11/29 (事故発生地) 神奈川県	電気カーペット EC-23H (ブランド: (株) ダイエー) (株) ロヴィック (倒産) 約15年	電気カーペットの下に銀色のマットを敷いて使用中、温度を最大に調節した直後に発煙した。 (製品破損)	長期使用(約15年)により、コントロール基板にあるリレー内部の接点が劣化し、接点間の接触抵抗が増大したため、異常発熱し発煙したものと推定される。 (C1)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/12/09)
2008-4913 2008/12/16 (事故発生地) 不明	電気カーペット EC-706FC サンサニー工業 (株) 約20年2か月	使用中の電気カーペットのコントローラ部分から振動音がし、焦げ臭くなつて煙が出た。 (製品破損)	長期使用(約20年)により、コントローラ内部にある基板上のリレー接点が著しく荒れて、リレー接点間でスパークや接触抵抗の増加が発生したため、リレー接点が異常発熱し、基板を焦がしたものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、最終的にヒューズが作動して通電を遮断し終息することから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/02/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4325 2008/12/00 (事故発生地) 愛知県	電気カーペット MKP-20G (株)ロヴィック(倒産) 約5年	使用中の電気カーペットのコントローラ部分から「ボン」という大きな音がし、黒煙が出て異臭がした。	当該品のスライド式電源スイッチが、端子のはんだ付けのみで固定する構造であったため、スイッチ操作時の応力によって、はんだ割れが生じてスパークし、基板が焼損したものと推定される。	事業者が倒産しており、コントローラ一部の外郭樹脂の溶融で終息し、外部にスパーク等が出ていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/01/13)
2008-4864 2008/12/30 (事故発生地) 愛知県	電気カーペット MKP-20H (株)ロヴィック(倒産) 約11年2か月	使用中の電気カーペットのコントローラ部分から異臭がし、コントローラの裏面が溶けて、下に敷いていた敷物の一部に穴が開いた。	当該品のスライド式電源スイッチが、端子のはんだ付けのみで固定する構造であったため、スイッチ操作時の応力によって、はんだ割れが生じてスパークし、基板が焼損したものと推定される。	事業者が倒産しており、コントローラ一部の外郭樹脂の溶融で終息し、外部にスパーク等が出ていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/02/12)
2008-5274 2009/03/08 (事故発生地) 熊本県	電気カーペット MKP-30F (株)ロヴィック(倒産) 不明	使用中の電気カーペットのコントローラ部分から発煙して異臭がし、コントローラの裏面が溶けた。	当該品のスライド式電源スイッチが、端子のはんだ付けのみで固定する構造であったため、スイッチ操作時の応力によって、はんだ割れが生じてスパークし、基板が焼損したものと推定される。	事業者が倒産しており、コントローラ一部の外郭樹脂の溶融で終息し、外部にスパーク等が出ていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/03/16)
2009-1193 2009/07/06 (事故発生地) 兵庫県	電気かみそり 約6か月	電気かみそりを使用中、口の左側に5cmほどの切り傷を負った。	当該品の外刃(網刃)の端部が破損しており、外刃表面の傷及び外刃フレームに打痕がみられることから、通常使用による破損は考えにくく、外力により破損したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/07/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3540 2007/02/03 (事故発生地) 東京都	電気かみそり HQ8140 (ブランド: (株) フィリップス) 小泉成器 (株) 約6か月	電気かみそりを充電後、洗面所に1時間くらい置いてたところ、電気かみそりが動き、本体下部から煙が出た。 (拡大被害)	当該品内部の基板上にあるトランジスターに不良品が混入したため、トランジスターが焼損し、基板と本体の一部が溶融し発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	国の行政機関 製造事業者 (受付:2007/02/26)
2007-5136 2007/12/19 (事故発生地) 群馬県	電気グリル鍋 KS-0281 杉山金属 (株) 約4年	電気グリル鍋で調理後、底面のプラスチック部分が溶けてテーブルにへばりついたので無理矢理はがしたところ、テーブルに傷が付いた。 (拡大被害)	当該品内部に使用されていたヒーター盤 (金属円盤の外周にシーズヒーターが取り付けられたもの) が形状不良であったため、ヒーター盤と鍋の密着不良となった部分で異常発熱し、近傍の底部樹脂が溶融したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/12/28)
2008-4645 2009/01/19 (事故発生地) 群馬県	電気こたつ 約3年	電気こたつのヒーターのガラス管が破裂した。 (製品破損)	ガラス管に生じた傷が、管内の封入ガスの圧力や使用中の熱によって徐々に進行し、封入ガスが抜けてヒーター線が過熱し、破裂したものと考えられるが、3シーズン使用した後の事故であり詳細な使用状況が不明であるため、傷が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/01/30)
2007-5395 2007/12/00 (事故発生地) 東京都	電気こたつ EK75BR 滝口木材 (株) 約14日	手探りでこたつの中の温度調節つまみを探していたところ、フレーム下の隙間に指が3本入り、ヒーターに接触して火傷を負った。 (軽傷)	こたつの天板とヒーターユニット外郭との隙間が大きかったため、温度調節つまみを手探りしていた際に指が隙間に入り、ヒーターユニット内部の金属板に触れ、火傷を負ったものと推定される。 (A1)	他に同種事故発生の情報がないことから、事故の発生状況を注視し、必要に応じて措置をとることとした。 なお、今後はこたつの天板とヒーターユニット外郭との隙間を小さくすることとした。	市町村 (受付:2008/01/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4586 2009/01/06 (事故発生地) 大阪府	電気こたつ 約12年	電気こたつを使用中、こたつぶとんの一部が焼損した。 (拡大被害)	こたつぶとんが電気こたつのヒーターユニット部に接触した状態で使用されていたため、ふとんの一部がヒーターユニットの熱で焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には、「ふとんをやぐらの中に押し込んで使用しない(火災の原因になる)」旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/27)
2008-5226 2009/03/06 (事故発生地) 福井県	電気こたつ DY-C75B-7 (株)電響社 約3か月	使用中の電気こたつ内で発火し、カーペットとフローリングが焦げて、足首に軽い火傷を負った。 (軽傷)	ヒーターユニット本体のプラグ受けを固定しているビス(タッピングネジ)が空転状態だったため、保持力が低下してビスが脱落し、電気こたつ使用時の振動や衝撃等により、プラグ受けの固定が外れ、プラグ受けの口金ピンが金属製筐体と接触して、ショートしたものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、プラグ受けの固定方法をナット締めに変更している。	消費者センター (受付:2009/03/11)
2009-0070 2009/02/03 (事故発生地) 東京都	電気こたつ YHF-K60 クレオ工業(株) 約3か月	電気こたつのヒーターユニットの口金ピンと固定板がショートした。 (製品破損)	ヒーターユニット本体のプラグ受けを固定しているビス(タッピングネジ)の長さが短かったため、プラグ受けの固定が外れ、プラグ受けの口金ピンが金属製筐体と接触し、ショートしたものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、適切な長さのボルトに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/04/06)
2006-2974 2007/01/21 (事故発生地) 山梨県	電気こたつ 約6年	住宅から出火して、電気こたつの上掛けと畳の一部を焦がし、家人3人と知人が煙を吸って病院に搬送された。 (軽傷)	事故品が既に処分されており入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 輸入事業者 (受付:2007/01/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4995 2007/12/12 (事故発生地) 大阪府	電気こたつ 約1年	電気こたつを使用していたところ、 掛けぶとんの一部が焼損した。 (拡大被害)	事故品の電気部品には異常は認められず、掛けふとんがこたつ内部へと押し込まれたため、ヒーターユニットと接触・蓄熱し、ふとんが焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書及び本体表示には、「ふとんをやぐらの中に押し込んで使用しない(火災の原因になる)」旨、記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/12/19)
2006-2792 2006/12/26 (事故発生地) 滋賀県	電気こたつ DF-750 (DH) (株) 山善 約3年	家具調電気こたつの電源スイッチを入れて数分後に、黒い煙が出て、ファンのコイルが焦げた。 (製品破損)	製造工程でファン用モーターのコイルに傷が付いたため、絶縁不良となりレイヤショートし発煙、焼損したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、組立工程でコイル部を傷つけないようモーターの取扱いについての管理を徹底することとした。	消費者センター 製造事業者 輸入事業者 (受付:2007/01/15)
2008-4577 2009/01/00 (事故発生地) 埼玉県	電気こたつ CHM-755 (ブランド: (株) ニコーエイジェンシー) (株) 創工社 不明	こたつぶとんが一部焦げ、こたつ本体の樹脂フレームも一部熱変形した。 (拡大被害)	製造時にヒーターユニットをネジで固定し忘れたため、仮止めが一部外れてヒーターユニットが宙づり状態となり、こたつぶとんに接触して焦げ、本体の樹脂フレームも熱変形したものと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、既製品について措置はとらなかった。 なお、販売を中止し在庫品を全数点検することとした。	製造事業者 (受付:2009/01/27)
2008-4253 2008/12/07 (事故発生地) 千葉県	電気こたつ MR-120SH (株) 山善 約1か月	電気こたつが暖まらないので中間スイッチを触ったところ、熱くなっている人差し指に火傷を負い、中間スイッチとカーペットが焦げていた。 (軽傷)	中間スイッチと電源コードを接続する端子のネジの締め付けが不十分であったため、接触不良により異常発熱し、中間スイッチとカーペットが焦げたものと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、既製品について措置はとらなかった。 なお、今後はドライバーの締め付けトルクの管理と作業方法の指導を徹底することとした。	輸入事業者 (受付:2009/01/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4442 2009/01/09 (事故発生地) 岩手県	電気こたつ 不明	集合住宅の一室から出火し、約1平方メートルを焼いた。 (拡大被害)	電気こたつ付近からの出火と考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G2)	事故品の焼損が著しく、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/20)
2008-3419 2008/11/02 (事故発生地) 山形県	電気こたつ 不明	木造2階建て住宅から出火し、約50平方メートルと隣接する住宅約56平方メートルの2棟を全焼した。 (拡大被害)	電源コードに溶融痕が認められることから、家具等による踏みつけによってコードが機械的ストレスを受けたため、半断線状態となり、短絡・スパークし、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/11/11)
2008-4116 2008/12/20 (事故発生地) 大阪府	電気こたつ 不明	使用中の電気こたつから焦げ臭いにおいがし、こたつふとんとコードが焦げた。 (拡大被害)	電源コードの本体側プロテクター部に屈曲等の外力が繰り返し加わったため、電源コードの芯線が断線し、短絡・スパークしたものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2008-4985 2009/02/11 (事故発生地) 大阪府	電気こたつ 約23年	電気こたつの電源コードから火花が出て、衣類の一部が焦げ、子供が臀部に火傷を負った。 (軽傷)	電源プラグ先端付近に屈曲等の機械的ストレスが加わり、芯線が半断線状態となりスパークし、火傷を負ったものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/02/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0129 2006/12/00 (事故発生地) 新潟県	電気こたつ（ヒーターユニット） MF-511SEW メトロ電気工業（株） 約3年	使用中の電気こたつのヒーターユニット部分から発煙した。 (製品破損)	送風用モーターコイルの不具合により絶縁不良が発生したため、レイヤーショートし、発煙したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 (A3)	製造事業者 (受付:2007/04/05)
2007-0225 2004/04/00 (事故発生地) 埼玉県	電気こたつ（ヒーターユニット） MF-511SEW（こたつブランド：静和貿易（株）） メトロ電気工業（株） 約2年	使用中の電気こたつから異臭がして、発煙した。 (製品破損)	送風用モーターコイルの不具合により絶縁不良が発生したため、レイヤーショートし、発煙したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 (A3)	製造事業者 (受付:2007/04/11)
2008-0276 2007/12/05 (事故発生地) 千葉県	電気こたつ（取り替えユニット） 約3か月10回	こたつのヒーターユニットを取り替えて電源を入れたところ、強いにおいが発生し、気分が悪くなった。 (軽傷)	事故品から、わずかににおいは感じられたが、化学物質放散試験の結果、事故の症状を引き起こす可能性のある物質は検出されず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、金属プレス品にプレス油が多く残存した場合には、当該油がにおう可能性が考えられることから、プレス油の多量の付着が確認された際には、脱脂処理を行うこととした。 (G1)	消費者センター (受付:2008/04/15)
2008-4874 2009/01/28 (事故発生地) 茨城県	電気こたつ（中間スイッチ付きコード） OYM379BR コイズミファニテック（株） 約11年	電気こたつを使用中、中間スイッチから出火した。 (拡大被害)	長期使用（約11年）により、電源コードの中間スイッチ付近のコードが屈曲等の繰り返しにより断線し、短絡、スパークを生じたものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。 (C1)	輸入事業者 (受付:2009/02/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3695 2008/11/26 (事故発生地) 青森県	電気こたつ（中間スイッチ付きコード） KY-137DFC 東芝ホームテクノ（株） 約21年	電気こたつの電源を入れたら、コントローラー付近のコードから火花が出て断線した。 (製品破損)	長期使用（約21年）により、電源コードのコントローラー側のプロテクター付近の芯線が断線し、短絡、スパークを生じたものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/12/01)
2008-4899 2009/02/14 (事故発生地) 滋賀県	電気こたつ（中間スイッチ付きコード） 約20年	使用中の電気こたつのコントローラー付近の電源コードから火花が飛んで発火し、じゅうたんが焦げた。 (拡大被害)	電源コードのコントローラー付近に屈曲の痕が確認されたことから、引っ張りや折り曲げ等のストレスが繰り返し加わったため、電源コードで半断線状態となり、異常発熱しコード内部の被覆が溶融し、短絡・スパークして発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/02/16)
2008-3711 2008/11/19 (事故発生地) 長崎県	電気こたつ（中間スイッチ付コード） NN8420 (株) エスジーユー 約4年1か月	電気こたつのスイッチを入れたところ、中間スイッチが溶融して異臭がした。 (製品破損)	電気こたつの中間スイッチ付き電源コードの製造工程において、スイッチの「入・切」動作が重いものに限りに可動片にグリスを塗布し生産したところ、正規のリチウムグリスではなく、シリコングリスが多量に塗布されたものが混入し、そのグリスの一部が接点部に達し接触不良となり発熱し、スイッチ部の樹脂が溶けたものと推定される。 (A3)	2005（平成17）年4月20日及び12月13日付けの新聞に社告を掲載し、中間スイッチ付きコードを無償交換するとともに、在庫品のコードの取り替えを実施し、工場内のシリコングリスを使用禁止し、グリス塗布の方法の徹底を行った。さらに、未回収品による同種事故が発生したことから、2007（平成19）年2月13日には経済省が注意喚起のプレスリリースを行い、2月14日に事業者が再々社告を行った。	消費者センター (受付:2008/12/02)
2008-4638 2009/01/25 (事故発生地) 三重県	電気こたつ（中間スイッチ付コード） TS750 (株) エスジーユー 約3年	使用中の電気こたつの中間スイッチ部分が溶融し、カーペットに穴が開き、床が黒くなった。 (拡大被害)	電気こたつの中間スイッチ付き電源コードの製造工程において、スイッチの「入・切」動作が重いものに限りに可動片にグリスを塗布し生産したところ、正規のリチウムグリスではなく、シリコングリスが多量に塗布されたものが混入し、そのグリスの一部が接点部に達し接触不良となり発熱し、スイッチ部の樹脂が溶けたものと推定される。 (A2)	2005（平成17）年4月20日及び12月13日付けの新聞に社告を掲載し、中間スイッチ付きコードを無償交換するとともに、在庫品のコードの取り替えを実施し、工場内のシリコングリスを使用禁止し、グリス塗布の方法の徹底を行った。さらに、未回収品による同種事故が発生したことから、2007（平成19）年2月13日には経済省が注意喚起のプレスリリースを行い、2月14日に事業者が再々社告を行った。	消費者センター (受付:2009/01/29)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3648 2008/11/08 (事故発生地) 東京都	電気こたつ（掘こたつ用） K-601HD 三洋電機コンシューマエレクトロニクス（株） 約17年	使用中の電気こたつから異臭がし、火が出た。 (製品破損)	長期使用（約17年）により、やぐら内の電源コードが硬化したことにより耐屈曲性が劣化し、断線部（ヒーターユニットの電源コード保護スプリング先端部に屈曲荷重が加わったため、芯線が全断線となりスパークが発生し短絡、被覆が発火したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/11/27)
2008-3713 2008/11/13 (事故発生地) 千葉県	電気こんろ 不明	調理中の吹きこぼれにより、電気こんろの内部に水分が入って漏電し、ブレーカーが落ちた。 (被害なし)	事故品のヒーター内部に吹きこぼれ等の水分が浸入して絶縁不良となり、漏電ブレーカーが動作した可能性が考えられるが、事故品が入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/12/02)
2009-0568 2009/05/13 (事故発生地) 長崎県	電気こんろ 約5年10か月	揚げ物調理のためなべに油を入れてふたをし、ラジエントヒーターで加熱後、煙が出たのでふたをはずしたところ、油が発火し、レンジフードのフィルターが溶解した。	電気こんろに天ぷら油の入ったなべをかけたまま放置したため、天ぷら油が過熱して発火し、レンジフードのフィルターが溶解したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/25)
2009-0795 2008/09/09 (事故発生地) 東京都	電気こんろ 不明	電気こんろ周辺が焼損し、天井とエアコンなどに延焼した。 (拡大被害)	電気こんろに天ぷら油の入ったフライパンをかけたまま放置したため、天ぷら油が過熱して発火し、周囲の可燃物に燃え移ったものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/06/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2008-4983 2009/02/08 (事故発生地) 大阪府	電気こんろ 不明	電気こんろの上ののせた両手鍋の取っ手が溶け、布巾や床も焦げた。 (拡大被害)	電気こんろに鍋をかけたまま放置したため、鍋の食材が発火し、周囲の可燃物に燃え移ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/02/20)
2007-1903 2006/06/26 (事故発生地) 兵庫県	電気こんろ YEC-1301A (ブランド: イシバシテック (株)) 八州電機工業 (株) (倒産) 不明	電気こんろの上に置いていたカセットこんろが爆発して、付近のタオルや床面が焼損した。 (拡大被害)	電気こんろのスイッチに体の一部や物が接触し、通電状態になったのを気付かなかったため、電気こんろ上に置かれていたカセットこんろが加熱され、ガスボンベが爆発したものと推定される。 (B1)	今後の事故発生状況を注視するとともに、ユーザーから要望があれば、スイッチの改修を行うこととした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2007/06/20)
2008-0669 2008/05/05 (事故発生地) 京都府	電気こんろ YEC-1301A (ブランド: イシバシテック (株)) 八州電機工業 (株) (倒産) 約18年	集合住宅のミニキッチンに組み込みの電気こんろの上に置いていた紙類が焼損した。 (拡大被害)	電気こんろのスイッチに体の一部や物が接触し、通電状態になったのを気付かなかったため、電気こんろ上に置かれていた可燃物に着火し、焼損したものと推定される。 (B1)	今後の事故発生状況を注視するとともに、ユーザーから要望があれば、スイッチの改修を行うこととした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関 (受付:2008/05/12)
2006-1018 2006/06/24 (事故発生地) 東京都	電気こんろ HK-1102 クリナップ (株) 約18年	集合住宅の一室で、電気こんろの周りが焦げ、部屋が煤で汚損した。 (拡大被害)	被害者が外出の際、知らぬ間に体の一部が電気こんろのつまみに触れてスイッチが入り、こんろの上に置いていた可燃物が加熱され、出火したものと推定される。 (B1)	2002 (平成14) 年2月よりホームページ並びに2007 (平成19) 年5月8日から10日の間の新聞に社告を掲載し注意喚起と改修を行っている。また、(社)日本電機工業会、キッチン・バス工業会と連携し、ポスター等で安全に使用するための啓発活動を行っている。さらに当機構は、2005 (平成17) 年1月13日付けで「特記ニュース」を発行し、消費者に注意喚起を行った。 なお、当該製品以降の1988 (昭和63) 年10月生産品より、スイッチつまみの突出をなくしている。	製造事業者 (受付:2006/08/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4499 2006/02/19 (事故発生地) 大阪府	電気こんろ FH-31B 富士工業(株) 不明	電気こんろの上に置いていたカセット こんろのポンベが破裂し、ドアなど が破損した。 (拡大被害)	被害者が知らぬ間に、身体等の一部がこんろのつま みに触れてスイッチが入り、カセットこんろのポンベ が加熱され、破裂したものと推定される。 (B1)	(社)日本電機工業会、キッチン・バス工業会 と連携し、ポスター等で安全に使用するための啓 発活動を行い、当該製品以降の1988(昭和 63)年10月生産品より、つまみの突出をなく すとともに、2002(平成14)年2月よりホ ームページ並びに2007(平成19)年5月8 日から3日間、新聞に注意喚起と改修の促進を掲 載した。また、2007(平成19)年6月20 日に、小型キッチンユニット用電気こんろ協議会 を新たに設立し、7月4日及び8月1日に新聞紙 上で「謹告」を行い、つまみの無償改修を行って いる。さらに当機構は、2005(平成17)年 1月13日付けで「事故情報特記ニュース」を発 行し、消費者に注意喚起を行った。	製造事業者 (受付:2009/01/21)
2008-4542 2009/01/19 (事故発生地) 京都府	電気こんろ SBE-101-100V(ブランド :サンウェーブ工業(株)) 富士工業(株) 不明	当該製品の上に置いていたカセット コンロのポンベが破裂した。 (拡大被害)	被害者が電気こんろのスイッチに触れ、通電状態に なったの気づかなかつたため、こんろの上に置いて いたカセットこんろが加熱されてポンベが破裂し、漏 洩したガスが引火、爆発して、窓ガラス、カセットこ んろが損壊したものと推定される。 (B1)	(社)日本電機工業会、キッチン・バス工業会 と連携し、ポスター等で安全に使用するための啓 発活動を行っている。また、当該製品以降の昭和 63年10月生産品より、スイッチつまみに突出 をなくすとともに、平成19年5月8日から10 日の間の新聞並びに平成20年2月29日、ホ ームページに注意喚起と改修の促進を掲載した。さ らに当機構は、平成17年1月13日付けで「特 記ニュース」を発行し、消費者に注意喚起を行っ た。	消防機関 製造事業者 (受付:2009/01/26)
2009-1700 2009/07/23 (事故発生地) 兵庫県	電気こんろ 不明	集合住宅の一室から出火し、電気こ んろ周辺の壁が焦げるなどした。 (拡大被害)	被害者が湯を沸かしたままで寝てしまったため、輻 射熱によって周囲の可燃物が焼損したものと推定され る。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/09/18)
2009-0477 2009/05/06 (事故発生地) 群馬県	電気こんろ(ラジエン トヒーター式) 不明	電気こんろで揚げ物を調理中、目を 離れた間にフライパンから発火した。 (拡大被害)	使用者が、揚げ物調理中にその場を離れたため、天 ぶら油が過熱し出火したものと推定される。 なお、本体のトッププレート及び取扱説明書には『 揚げ物中はそばを離れない』旨、記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0028 2009/04/01 (事故発生地) 栃木県	電気こんろ（ラジエントヒーター式） 約4年5か月	電気こんろのスイッチを「切」にして就寝し、翌朝見てみると、ヒーターに通電されており、上に置いていたフライパンが黒く変色した。 (拡大被害)	制御基板上にゴキブリの死骸があり、抵抗等にゴキブリの接触した痕跡が確認できることから、信号回路にゴキブリが接触し、通電したため、異常作動したものと推定される。 (F1)	偶発的な事故であるため、既販品については、措置はとらなかった。 なお、今後販売する製品については、信号回路周辺に防湿剤（コート剤）を塗布することとした。	消費者 (受付:2009/04/02)
2009-0922 2009/06/10 (事故発生地) 三重県	電気こんろ（ラジエントヒーター式） 不明	電気こんろで天ぶらを調理中、なべに引火して燃え広がり、台所の扉が変形した。 (拡大被害)	電気こんろに天ぶらなべをかけたまま放置したため、なべの油が過熱し、火災に至ったものと推定される。 。なお、本体のトッププレート及び取扱説明書には『揚げ物中はそばを離れない』旨、記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/07/01)
2009-1267 2009/07/27 (事故発生地) 愛知県	電気こんろ（ラジエントヒーター式） IBI-227RE-2N (IBI-227RE-2S) (株) 萬品電機製作所 約4年10か月12日	電気こんろ付近から出火し、上に置いていたゴミ袋が焼損するなどした。 (拡大被害)	当該機の耐ノイズ性が十分でなかったため、改修対策済みであるにもかかわらず電源スイッチが入り、当該製品の上に置かれていたカセットこんろを加熱した可能性が考えられるが、耐ノイズ性試験において異常は認められず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該事業者は同年8月1日をもって倒産しており、販売事業者により、特定アパートに納入・設置されており、ユーザーが把握できているため、入居者への告知文のチラシを配布し、代替品への交換、及び制御基板（改良品）の修理・交換を行っている。	販売事業者 (受付:2009/08/05)
2009-0610 2009/05/16 (事故発生地) 大阪府	電気こんろ（ラジエントヒーター式） MDS-113REB (株) 萬品電機製作所 約10か月	電気こんろの上に置いていたカセットこんろのボンベが爆発し、台所の一部が焼損した。 (拡大被害)	当該機の耐ノイズ性が十分でなかったため、社告を行い改修対策済みであるにもかかわらず電源スイッチが入り、当該製品の上に置かれていたカセットこんろを加熱した可能性が考えられるが、耐ノイズ性試験において異常は認められず、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該事業者は2008（平成20）年6月24日付けホームページに社告を掲載し、注意喚起を行うとともに対象製品について無償改修を実施していたが、同年8月1日をもって倒産しており、同年8月27日に破産管財人により注意喚起及び有償での交換の案内が行われている。また、経済産業省は同年7月18日にプレスリリースを行い、消費者に対して対象製品の使用の中止を呼びかけるとともに、販売事業者及び関係団体に対して注意喚起等の協力要請を行っている。さらに、当機構は同年12月26日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に注意喚起を行っている。	消防機関 (受付:2009/05/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3794 2008/11/29 (事故発生地) 東京都	電気ジャーポット 約10年	夜、水を満した電気ポットを98℃に設定したところ、翌朝、空焚きになっていた。 (製品破損)	事故品の基板に水漏れの痕跡が認められたことから、使用に伴って本体内部に水分が浸入し、制御回路が故障してヒーターが通電し続けたものと推定されるが、使用状況が不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、空焚きの状態となっても、温度ヒューズの溶断により通電が遮断され、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/12/08)
2008-3860 2008/00/00 (事故発生地) 福島県	電気ジャー炊飯器 不明	炊飯中に、途中で蓋が開き蒸気が外に漏れ出してご飯が炊けない。 (製品破損)	事故品は既に修理されており、交換した部品も廃棄されて入手できないことから調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/12/10)
2006-3101 2006/12/07 (事故発生地) 岩手県	電気ジャー炊飯器 約10年	点火していない石油ストーブの上で使用していた炊飯器の本体外郭樹脂が全焼し、溶融樹脂がフローリングに落ちて着火、フローリングの一部が焼損した。 (拡大被害)	炊飯器の電源コードに認められた溶融痕からが出火したと考えられるが、使用状況などが不明であり、焼損が著しいため原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/01/31)
2008-4039 2008/11/17 (事故発生地) 京都府	電気ジャー炊飯器 不明	炊飯中の炊飯器から湯気が噴出し、指に火傷を負った。 (軽傷)	炊飯中の蒸気口に手を近づけたため、火傷を負ったものと推定される。 なお、本体蒸気口近傍及び取扱説明書に『蒸気口に手などを近づけない』旨記載されている。 (E2)	消費者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/12/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4040 2008/11/28 (事故発生地) 広島県	電気ジャー炊飯器 RC-5YMV 東芝ホームテクノ(株) 約1回	購入後、初めて炊飯器を使用したところ、本体が熱くなって溶接のようなにおいがした。 (軽傷)	内釜が製造不良により変形していたため、内釜とヒーターの接触状況が不完全な状態となり、正常に制御できずヒーターが連続通電となって外釜塗装が加熱され異臭がしたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、温度ヒューズで保護されており、拡大被害に至る可能性が低いことから措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/12/24)
2009-0138 2009/04/08 (事故発生地) 山形県	電気ジャー炊飯器(1H式) SR-TG18C パナソニック(株) 約5年11か月25日	保温状態になった炊飯器から樹脂の焦げるようなにおいがしたので見たところ、電源が切れており、ブレードも落ちていた。 (製品破損)	インバーター基板にある電力制御用トランジスター(IGBT)に不良品が混入したため、内部短絡を生じ異常発熱して当該トランジスターが破損、発煙したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/04/13)
2009-2257 2009/11/03 (事故発生地) 北海道	電気ジャー炊飯器(1H式) J10-C100 タイガー魔法瓶(株) 約7年	使用中の炊飯器から「パチパチ」と異音がし、ふたの樹脂が割れて変形した。 (製品破損)	上ぶた外郭(ポリプロピレン製)を構成する上下部品の溶着処理が不十分で隙間のある不良品が混入したため、隙間から炊飯時の水蒸気が吹き込んで上ぶた内部の断熱材(発泡スチロール)が膨張したことで外郭樹脂が圧迫され、破損したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、単品不良とみられる事故であるため、既製品についての措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に販売を終了しているが、製造部門における検査確認作業の徹底を図った。	消費者センター (受付:2009/11/11)
2009-0250 2009/04/02 (事故発生地) 岡山県	電気ジャー炊飯器(1H式) NP-CA15 象印マホービン(株) 約5年2か月	炊飯中の炊飯器の底の方から発煙し、ヒンジカバーの下と底の一部が溶解した。 (製品破損)	製造工程において、外郭の金属胴板の接合部に鉄系の異物が噛み込んだため、ヒンジから垂れた水分が浸入し異物が錆びた影響により、胴板も徐々に腐食して胴板の抵抗値が増大し、1H加熱コイルの磁力線により異常発熱して、周囲の樹脂製ヒンジカバーや底が溶融、発煙したものと推定される。 なお、胴板の抵抗値は小さいため通常はほとんど発熱することなく、水分が付着しても腐食しないようコーティングされている。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品の製造は既に終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0474 2009/05/03 (事故発生地) 三重県	電気ジャー炊飯器（IH式） 約6か月	炊飯器で炊飯中、炊きあがる直前にブレーカーが飛び、その後、コンセントにプラグを再び差し込んだら火花が散った。 (製品破損)	当該品の加熱基板上に実装された整流素子が短絡破壊したために、電源ブレーカーが遮断され、コンセントに電源プラグを差しなおしたときに、短絡電流が流れて火花が生じたものと思われるが、整流素子が破壊した原因については、ノイズ等の影響が考えられるが、特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2009/05/14)
2007-0694 2007/04/19 (事故発生地) 東京都	電気ジャー炊飯器（IH式） RCK-10EX 東芝ホームテクノ（株） 約5年10か月	台所で焦げ臭いにおいがし、電気炊飯器の内釜を外すと、縁が焦げ付いて穴があき中身のコードが見えていた。数日前から焦げ臭いにおいがしていた。 (製品破損)	本体上部の保温用ヒーター線が、製造不良により交差して組み付られていたため、交差部分で異常発熱して周囲の樹脂が溶融し、穴が開いたものと推定される。 (A2)	本体内側の樹脂が一部溶融して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター 製造事業者 (受付:2007/05/16)
2009-0356 2009/00/00 (事故発生地) 千葉県	電気ジャー炊飯器（IH式） RCK-10FGX 東芝ホームテクノ（株） 不明	保温釜の本体側面の上部に穴が開いて中の赤い配線が見える。 (製品破損)	本体上部の保温用ヒーター線が、製造不良により交差して組み付られていたため、交差部分で異常発熱して周囲の樹脂が溶融し、穴が開いたものと推定される。 (A2)	本体内側の樹脂が一部溶融して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/05/07)
2008-1263 2008/06/11 (事故発生地) 神奈川県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 約5年	電気スタンドのセードの内側が、熱で焦げて変形していた。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/06/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2925 2002/09/21 (事故発生地) 広島県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2926 2003/11/06 (事故発生地) 福岡県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2927 2004/04/19 (事故発生地) 北海道	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2928 2004/05/10 (事故発生地) 愛媛県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2933 2004/09/15 (事故発生地) 東京都	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2934 2004/09/12 (事故発生地) 愛知県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2935 2004/12/08 (事故発生地) 神奈川県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2936 2004/12/23 (事故発生地) 兵庫県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2937 2005/01/05 (事故発生地) 東京都	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2938 2005/05/22 (事故発生地) 埼玉県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2939 2005/04/24 (事故発生地) 神奈川県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2940 2005/05/24 (事故発生地) 神奈川県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2945 2005/07/28 (事故発生地) 山梨県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2946 2005/08/05 (事故発生地) 大阪府	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2947 2005/10/26 (事故発生地) 長野県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2948 2006/07/25 (事故発生地) 千葉県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2949 2006/08/10 (事故発生地) 東京都	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2950 2006/08/11 (事故発生地) 静岡県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2951 2006/08/11 (事故発生地) 新潟県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2952 2006/09/08 (事故発生地) 広島県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2953 2006/09/11 (事故発生地) 佐賀県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2954 2006/09/18 (事故発生地) 鳥取県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2955 2006/10/09 (事故発生地) 北海道	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2956 2006/10/06 (事故発生地) 徳島県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2957 2006/10/15 (事故発生地) 北海道	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2958 2006/12/27 (事故発生地) 岡山県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2959 2007/02/15 (事故発生地) 愛知県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2960 2007/03/05 (事故発生地) 新潟県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2961 2007/05/24 (事故発生地) 兵庫県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2962 2007/06/05 (事故発生地) 兵庫県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2963 2007/06/28 (事故発生地) 福岡県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2964 2007/07/02 (事故発生地) 東京都	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2965 2007/07/17 (事故発生地) 兵庫県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2966 2007/07/17 (事故発生地) 福井県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2967 2007/07/17 (事故発生地) 福井県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2968 2007/09/03 (事故発生地) 大阪府	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2969 2007/09/20 (事故発生地) 岡山県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2970 2007/10/31 (事故発生地) 東京都	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2971 2007/11/06 (事故発生地) 兵庫県	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2972 2008/01/07 (事故発生地) 東京都	電気スタンド(蛍光灯、インバーター式) LK-H299 ツインバード工業(株) 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。 (製品破損)	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。 (A1)	2009(平成21)年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003(平成15)年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005(平成17)年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2973 2008/04/21 (事故発生地) 福岡県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2974 2008/05/07 (事故発生地) 青森県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-2975 2008/05/19 (事故発生地) 東京都	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） LK-H299 ツインバード工業（株） 不明	電気スタンドのセード内側の蛍光灯のフィラメント近くが茶色く変色し、変形した。	セードの耐熱温度が低かったため、蛍光灯の寿命末期においてフィラメント周辺が高温となった際に、セードが変色、変形したものと推定される。	2009（平成21）年1月30日よりホームページに告知を掲載して注意喚起を行い、今後の事故状況を注視することとした。 なお、2003（平成15）年4月よりセードを耐熱性の高い材質に変更し、2005（平成17）年9月に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/10/06)
2008-4628 2009/01/18 (事故発生地) 広島県	電気スタンド（蛍光灯、インバーター式） IS-270 (株)永泰産業 不明	電気スタンドを使用中、異臭がして点灯しなくなり、蛍光灯取付部が焦げた。	当該機は、蛍光灯が使用末期になるとフィラメント周辺が高温になる場合があるため、樹脂製の蛍光灯カバーが溶融したものと推定される。	2008（平成20）年1月29日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該機は既に製造を終了しており、後継機種については、蛍光灯の発熱温度を検知し、蛍光灯への通電を停止する保護回路を追加している。	消費者 (受付:2009/01/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4518 2009/01/17 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ 不明	集合住宅の居間の電気ストーブ付近から出火して、同室の居間約3平方メートルを焼き、家人1人が死亡した。 (死亡)	可燃物が電気ストーブのヒーター部に接触したため着火し、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/22)
2008-4031 2008/12/13 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ 不明	住宅の寝室から発煙し、家人1人が死亡した。 (死亡)	使用中の電気ストーブにベッドの毛布が覆い被さったため、出火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/12/22)
2008-3758 2008/11/23 (事故発生地) 三重県	電気ストーブ 不明	幼児が電気ストーブの電源を入れて転倒させた際、転倒スイッチが作動せず床が焦げた。 (拡大被害)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/12/03)
2002-1430 2003/01/02 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ 約10年	居室のソファで寝ていたところ、使用していた電気ストーブが燃え、カーペットが焼損し、フローリングの床が約1平方メートル焼け焦げた。 (拡大被害)	事故品の電気部品に異常発熱した痕跡はないことから、可燃物が電気ストーブのヒーター部に近接したため着火し、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2003/01/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3598 2008/11/11 (事故発生地) 福岡県	電気ストーブ SR-V803 東芝ホームテクノ(株) 不明	脱衣所で使用していた電気ストーブから発火した。 (製品破損)	製造時にヒーターとリード線を接続するファストン端子に無理な力が加わったため、使用に伴い徐々に接触抵抗が増大して異常発熱し、発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、2008(平成20)年2月18日よりホームページに『暖房器具を安全にお使いいただくために』を掲載し、運転中に動作が不安定になったり、異常な音や振動がする場合、使用を中止する旨注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2008/11/25)
2008-4161 2008/12/17 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ 不明	電気ストーブ付近から出火して、ふとん、毛布などの一部が焼損し、2人が煙を吸って病院に搬送された。 (軽傷)	通電中の電気ストーブにふとんが掛かったため、発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/05)
2008-4706 2009/01/27 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ 不明	5階建て集合住宅の一室から出火して、約20平方メートルが焼け、家人1人が煙を吸って重体になった。電気ストーブのあった部屋が激しく燃えていた。 (重傷)	電気ストーブから出火したものと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/02/03)
2007-7073 2008/03/15 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ 不明	木造2階建て住宅から出火して、同住宅約50平方メートルを全焼し、隣接する木造2階建て住宅約90平方メートルを焼いた。 (拡大被害)	電気ストーブから出火した可能性が考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/03/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5253 2009/03/05 (事故発生地) 富山県	電気ストーブ 不明	木造2階建て住宅から出火して、全焼し、家人3人がのどや手足に重症の火傷を負った。 (重傷)	電気ストーブから出火した可能性が考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/03/13)
2008-4032 2008/12/13 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ 不明	木造2階建て住宅から出火して、約109平方メートルを全焼し、家人2人が煙を吸い込み病院に運ばれた。 (軽傷)	電気ストーブの近くに積んであった古新聞が崩れ、電気ストーブに接触し発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/12/22)
2008-4267 2008/12/29 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ 不明	プレハブ平屋から出火して、同プレハブ約33平方メートルと木造2階建て母屋約89平方メートルを全焼し、隣家の2階なども焼き、家人1人が死亡、1人が軽傷を負った。プレハブのストーブ付近が激しく燃えていた。 (死亡)	電気ストーブの周囲に置かれていた可燃物が、ヒーター部に接触して着火し、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/09)
2008-4269 2009/01/07 (事故発生地) 奈良県	電気ストーブ 不明	木造2階建て母屋から出火して、母屋と離れの計約143平方メートルを全焼し、家人が死亡した。 (死亡)	電気ストーブの周囲に置かれていた可燃物が、ヒーター部に接触して着火し、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5230 2009/03/03 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ 不明	電気ストーブから出火し、周辺を焼損した。 (拡大被害)	電気ストーブの前に積み重ねて置いていた洗濯物がストーブのヒーター部に接触して着火し、周囲の可燃物に延焼したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/03/11)
2009-0395 2009/04/18 (事故発生地) 愛知県	電気ストーブ 約5か月	電気ストーブ付近から出火し、鉄筋3階建て集合住宅の1室を焼損した。 (拡大被害)	電気ストーブの電源スイッチ接点、転倒オフスイッチ接点は正常であり、内部配線、電源コードに溶融痕などの異常は認められないことから、電気ストーブの不具合による火災ではないと推定される。 (F2)	製品には起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/05/08)
2007-5852 2008/01/23 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ 不明	集合住宅の一室から出火して、同室約15平方メートルを焼き、家人が両足に軽い火傷を負った。 (軽傷)	電気ストーブの熱により可燃物が加熱され火災に至ったものと考えられるが、焼損が著しいことから原因の特定はできなかった。 (G1)	製造事業者が不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/01/30)
2008-3644 2008/11/07 (事故発生地) 三重県	電気ストーブ 不明	木造2階建て集合住宅1階の玄関付近から出火した。玄関に積まれていたごみの中に、コンセントに接続されたままの電気ストーブがあった。 (拡大被害)	電源コードに溶融痕が認められたが、解析した結果は一次痕か二次痕か判定することができず、事故品の焼損が著しいことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/11/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4507 2009/01/14 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ 約4年	電気ストーブのプラグをコンセントに差ししても電源が入らないことがありプラグを振ったりして使用していた。事故当日も電源が入らず、そのままにしていたところ、しばらくするとプラグ付近から発火し、火花が飛んでカーテンが燃え、壁が焦げた。	電源プラグのプロテクター付近が断線し、正常に作動しなかった状態にもかかわらず、電源コードを振るなどして使用し続けたため、断線部分で異常発熱を生じ、短絡して火花が飛んだものと推定される。	他に同種事故発生情報がなく、被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/21)
2008-4696 2001/00/00 (事故発生地) 新潟県	電気ストーブ 不明	電気ストーブを使用したところ、頭痛や吐き気を覚え、目が「チカチカ」した。 なお、2001(平成13)年に購入した当時の症状であり、以降は使用を控えていた。	当該製品には、表面及びヒーターに塗装が施されていることから、使用初期には残留している溶剤成分が加熱により放散する可能性が考えられるが、事故品は購入から8年が経過しており、事故品を確認した時点で強い臭気は感じられず、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品は、2000(平成12)年に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/02/03)
2008-4261 2008/12/25 (事故発生地) 岐阜県	電気ストーブ 不明	木造2階建て住宅から出火して、約100平方メートルを全焼し、隣家2軒の窓ガラスが割れ、家人1人が両足に軽い火傷を負った。	被害者が、居間で暖をとるため体に巻いていたシーツに電気ストーブのヒーター部が接触したため、シーツが燃えだし出火に至ったものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/09)
2009-1693 2009/09/08 (事故発生地) 富山県	電気ストーブ 不明	木造2階建て集合住宅の一室で、電気ストーブ付近から出火し、そばにあった座ぶとんなどが燃えた。	被害者が、電気ストーブの近くに可燃物を置いたまま使用したため、輻射熱により可燃物が発火し、火災に至ったものと推定される。	使用者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/09/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4524 2009/01/15 (事故発生地) 群馬県	電気ストーブ 不明	木造平屋住宅から出火して、8.2平方メートルを全焼し、家人1人が死亡した。 (死亡)	被害者が、電気ストーブをつけたまま就寝したため、寝具等の可燃物がヒーターに接触・着火し、出火に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/23)
2008-4945 2009/02/11 (事故発生地) 群馬県	電気ストーブ 不明	木造2階建て住宅から出火し、2階部分約3.3平方メートルを焼いた。 (拡大被害)	被害者が、電気ストーブをつけたまま就寝したため、寝具等の可燃物がヒーターに接触・着火し、出火に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/02/18)
2008-5361 2009/03/12 (事故発生地) 石川県	電気ストーブ 不明	電気ストーブ付近から出火し、住宅を全焼した。 (拡大被害)	被害者が電気ストーブにタオルを掛けたまま電源を入れたため、輻射熱でタオルが発火し、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/03/24)
2008-4208 2008/12/20 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ 不明	鉄筋1.3階建て集合住宅の一室から出火して、同室約8.0平方メートルを全焼し、家人2人が軽い火傷を負った。電気ストーブがついたままになっていた。 (軽傷)	被害者が電気ストーブをつけたまま就寝したため、ふとんがストーブに接触して火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3714 2008/11/21 (事故発生地) 福島県	電気ストーブ 不明	集合住宅の一室から出火し、ふとんの一部を焼いた。 (拡大被害)	被害者が電気ストーブをつけたまま就寝したため、寝具がヒーターに接触・着火し、出火に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/12/02)
2008-3773 2008/11/20 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（オイルヒーター） RH-7744（6593.10型） (株) グループセブジャパン 不明	何年かぶりに電源を入れたところ、電源ケーブルの引き込み口から発煙、発火し、火傷を負った。電源ケーブルと内部配線を接続するネジ端子部が焼けて焦げていた。 (軽傷)	電源ケーブルと内部配線を接続する接続端子のネジが締め付け不良であったため、接触抵抗が増加し異常発熱して配線被覆が焼損し発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2008/12/05)
2008-4140 2008/12/20 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（オイルヒーター） 約4年	オイルヒーターを最大電力で使用中心、機体下部が光り、発煙した。 (製品破損)	被害者が、電源コードの本体引き出し部に無理な力を加えたため、電源コードの片方が断線し、火花が生じ、発煙したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/01/05)
2008-4003 2008/11/19 (事故発生地) 静岡県	電気ストーブ（カーボンヒーター） FCR-900 (株) 山善 約2年	使用中の電気ストーブのヒーター管が割れて火花が出た。 (製品破損)	ヒーターのガラス管ガス封入部分の内側に起点があったことから、ヒーター管製造時に生じた気泡等の不具合を起点とし、使用中の熱等の影響によって破壊が伸展して破損に至るとともに、ヒーター管に空気が流入して発熱線がスパークしたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品の輸入・販売は既に終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3613 2008/11/18 (事故発生地) 福岡県	電気ストーブ（カーボンヒーター） S-700CL 総合技研（株） 約5年	使用中のカーボンヒーターのガラスヒーター管が破裂し、じゅうたんが焦げた。	ヒーターのガラス管製造時に不具合があり、使用中、ヒーターの熱等の影響によってガラス管に亀裂が入り、破壊したものと推定される。	2004（平成16）年2月11日付けの新聞に社告を掲載し、製品の無償点検・修理を行っていたが、事業者が裁判所の破産宣告を受け対応できない状態となったため、当機構は、2005（平成17）年4月28日付けの事故情報特記ニュースで事業者の無償点検・修理を受けていないものは使用を中止するよう注意喚起を行い、さらに同年12月1日付けの「事故情報特記ニュース」で更なる注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2008/11/26)
2008-3642 2008/11/26 (事故発生地) 北海道	電気ストーブ（カーボンヒーター） S-700CL 総合技研（株） 約5年	使用中のカーボンヒーターのヒーター一部分が破裂して破片が飛び散り、じゅうたんが焦げた。	ヒーターのガラス管製造時に不具合があり、使用中、ヒーターの熱等の影響によってガラス管に亀裂が入り、破壊したものと推定される。	2004（平成16）年2月11日付けの新聞に社告を掲載し、製品の無償点検・修理を行っていたが、事業者が裁判所の破産宣告を受け対応できない状態となったため、当機構は、2005（平成17）年4月28日付けの事故情報特記ニュースで事業者の無償点検・修理を受けていないものは使用を中止するよう注意喚起を行い、さらに同年12月1日付けの「事故情報特記ニュース」で更なる注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2008/11/27)
2005-2271 2006/01/26 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（カーボンヒーター） S-700CL 総合技研（株） 約2年	電気ストーブのガラス管が、突然「バン」という音とともに破裂し、落ちた破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管製造時に不具合があり、使用中、ヒーターの熱等の影響によってガラス管に亀裂が入り、破裂したものと考えられるが、事故品が入手できないことから、調査できなかった。	2004（平成16）年2月11日付けの新聞に社告を掲載し、製品の無償点検・修理を行っていたが、事業者が裁判所の破産宣告を受け対応できない状態となったため、当機構は、2005（平成17）年4月28日付けの「事故情報特記ニュース」で事業者の無償点検・修理を受けていないものは使用を中止するよう注意喚起を行い、さらに同年12月1日付けの「事故情報特記ニュース」で更なる注意喚起を行っている。	消費者 (受付:2006/01/26)
2008-3542 2008/11/13 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（カーボンヒーター） S-700CL 総合技研（株） 約5年	大きな音とともにカーボンヒーターから火花が散り、ガラス片が飛散して畳の一部が焦げた。	ヒーターのガラス管製造時に不具合があり、使用中、ヒーターの熱等の影響によってガラス管に亀裂が入り、破裂したものと考えるが、事故品の確認ができないことから、調査できなかった。	2004（平成16）年2月11日付けの新聞に社告を掲載し、製品の無償点検・修理を行っていたが、事業者が裁判所の破産宣告を受け対応できない状態となったため、当機構は、2005（平成17）年4月28日付けの「事故情報特記ニュース」で事業者の無償点検・修理を受けていないものは使用を中止するよう注意喚起を行い、さらに同年12月1日付けの「事故情報特記ニュース」で更なる注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2008/11/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2377 2009/11/00 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約1日	カーボンヒーターを1時間程使用したところ、差込みプラグの樹脂部分が異常に熱くなった。 (被害なし)	差込みプラグの樹脂部に熱変形等の異常はなく、通電したところ正常に作動し、異常な温度上昇は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/11/25)
2008-4328 2008/12/15 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約2年	カーボンヒーターの一部が点灯せず、スイッチも切れなくなり、スイッチ部分の樹脂が溶けて異臭がした。 (製品破損)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/01/13)
2007-5074 2007/11/00 (事故発生地) 新潟県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約7日	子供部屋で、毎朝、使用していた電気ストーブが、購入後1週間後、スイッチを入れたところ、約30分で上部が溶けた。 (製品破損)	事故品にタオル等の可燃物を掛けて使用したことにより、樹脂が溶けたものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/12/26)
2008-5157 2009/03/04 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（カーボンヒーター） SCB2000 (株)星和電機 約4年2か月	電気ストーブをつけてから15分くらい経った頃、洗面所内が白い煙で充満していることに気づき、付け根のところから火も見えた。 (製品破損)	事故品のヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの不具合により、ダイオードが内部短絡し、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	輸入事業者と連絡が取れず、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/03/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4494 2009/01/19 (事故発生地) 香川県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約3か月	電気ストーブをベッドの上で使用 中、異臭がしてガードが外れ、毛布が焦 げた。 (拡大被害)	事故品の外郭樹脂が一部熱変形していたが、通電し ても正常に動作し異常発熱は認められず、事故時の詳 細な状況が不明であることから、原因の特定はできな かった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。	消費者センター (受付:2009/01/21)
2008-3770 2008/12/03 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約11日	使用中の電気ストーブが焦げ臭いに おいとも発煙し、スイッチは黒ず んでいた。 (製品破損)	事故品の本体ガードが変色・変形していたが、通電 しても正常に動作し異常発熱は認められず、使用状況 等は不明であることから、原因の特定はできなかった 。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。	消費者センター (受付:2008/12/04)
2008-4631 2008/12/00 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約11か月	カーボンヒーター上部のつまみスイ ッチ部が焼けて溶けたようになり、ス イッチが動かなくなった。 (製品破損)	事故品は、事業者が不良品として扱い、既に廃棄し ており、スイッチの接触不良と考えられるが、事故品 が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であ るため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/01/28)
2004-1878 2004/11/19 (事故発生地) 滋賀県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約11か月	木造2階建て住宅2階の電気ストー ブを使用していた子供部屋から出火し 、2階部分の約73平方メートルを焼 損し、家人2名が煙を吸って軽傷を負 った。 (軽傷)	就寝中にふとんが電気ストーブのヒーター部に接触 したため着火し、出火に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	消防機関 (受付:2004/12/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4681 2008/11/20 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約1年	使用中の電気ストーブの台座の中央付近から出火し、本体や畳などが焼損した。 (拡大被害)	転倒オフスイッチの接点不良により異常発熱し、出火した可能性が考えられるが、事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事業者の所在が不明であり、事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/02/02)
2008-4762 2009/01/20 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 約10か月	カーボンヒーターを3口の延長コードに接続して使用していたところ、プラグ部分から発火し、焦げた。 (製品破損)	電源コードの電源プラグ付け根部分に過度の屈曲や機械的ストレスが加わったため断線・スパークし、焦げたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/02/06)
2008-4193 2008/12/30 (事故発生地) 兵庫県	電気ストーブ（カーボンヒーター） TSK5328CT 燦坤日本電器（株） 約2年	電気ストーブから異音がして数分後に燃え上がり、家人が煙を吸って喉を痛め、手に軽い火傷を負った。 (軽傷)	当該機のヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの不具合により、ダイオードが内部短絡し、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	2008（平成20）年4月21日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。	消費者センター (受付:2009/01/06)
2008-5039 2009/02/21 (事故発生地) 愛媛県	電気ストーブ（カーボンヒーター） NC-WT900 (株)山善 不明	店舗兼住宅の住宅の一室で使用されていたカーボンヒーターから出火し、床の一部を焼損した。 (拡大被害)	当該品の電線を接続している端子の接続状態が不完全であったため、端子接続部の接触抵抗が増加して発熱し、近接した樹脂が徐々に炭化し、発火したものと推定される。 (A2)	2006（平成18）年2月6日及び同年11月14日付けの新聞並びにホームページに社告を掲載し、製品の回収を行っている。	消防機関 (受付:2009/02/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5053 2009/01/30 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（カーボンヒーター） PLM-30615 (株)東京衡機製造所（現在：(株)テークスグループ） 約5年	使用中のカーボンヒーターから「パチパチ」と音がして、本体上部より発火した。 (製品破損)	内部配線のファストン端子にカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/02/27)
2007-5950 2008/01/29 (事故発生地) 栃木県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 不明	集合住宅の一室から出火し、同室の床の一部や家具などを焼いた。 (拡大被害)	被害者がカーボンヒーターをつけたまま居眠りをしたため、周囲に積んであった洗濯物がカーボンヒーターと接触し、出火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/02/04)
2006-2239 2006/12/02 (事故発生地) 京都府	電気ストーブ（カーボンヒーター） TS-907CR（ブランド：MATSUO チャコールヒーター） 森田電工（株） 約2か月	共同住宅の一室で使用していた電気ストーブの一部が焼損した。 (製品破損)	本体底部における内部配線の金属管スリーブによる接続がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し、発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、作業指示書の改善と教育・訓練の徹底を図ることとした。	消防機関 製造事業者 (受付:2006/12/06)
2008-4781 2009/01/23 (事故発生地) 静岡県	電気ストーブ（カーボンヒーター） CBH-D900 (株)ミュージーコーポレーション 約5年	カーボンヒーターを使用中、電源スイッチの操作ができなくなり、異臭がして発煙した。 (製品破損)	本体内部の電源コードの固定不良により、電源コードと首振り機構部品とが摺動し、電源コードが断線して、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	2004（平成16）年2月12日及び2005（平成17）年2月21日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、店頭告知を行い、無償で修理・点検を実施している。 また、首振り機構部品の金型修正（電源コード貫通孔を大きくする）を行い、摺動部へのコード接触力の軽減対策を行った。	輸入事業者 (受付:2009/02/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5139 2008/12/31 (事故発生地) 島根県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KK22-140H コーナン商事（株） 約6年	使用中のハロゲンヒーターのヒーターのガラス管が割れ、畳などが焦げた。	ガラスヒーター管の封止に不具合があり、電線の酸化に伴う体積増加によって破損に至った可能性が考えられるが、全てのガラス破片を回収できなかったことから、原因の特定はできなかった。	2009（平成21）年5月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに店頭告知を行い、製品を回収し、代替品への交換を実施している。	輸入事業者 (受付:2009/03/05)
2006-3958 2007/03/20 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年	ハロゲンヒーターを「強」の状態です約30分間の使用中、突然ヒーターのガラス管が破裂し、ガラス管の破片が周囲に飛び散り、畳を焦がした。	ガラス管が破裂した起点や使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 輸入事業者 (受付:2007/03/22)
2009-0720 2009/06/08 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約6年	ハロゲンヒーターのスイッチを入れたところ、破裂して火の粉が飛び、近くにあったふとんが焦げた。	ガラス管中央部が破損しており、ガラス管の製造不良と考えられるが、ヒーターガードや本体外郭に衝撃を受けたような凹みが見られることから、破損した原因は特定できなかった。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/06/10)
2008-3608 2008/11/19 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KDH-801 (株)大旺インターナショナルジャパン 約3年	扇風機型のハロゲンヒーターのヒーター管上側から2cmほどの炎が出た。	ガラス製ヒーター管の封止工程が不完全であったために、封止部に亀裂が生じて空気が流入し、フィラメントが過熱、溶断した際にスパークしたものと推定される。	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であるため、当機構は2008（平成20）年3月12日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者 (受付:2008/11/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6220 2008/02/11 (事故発生地) 熊本県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） CH-2200iR (株)大旺インターナショナルジャパン 約2年	ハロゲンヒーターの具合が悪いので調べたら、プリント基板上のコネクタが焦げていた。 (製品破損)	コネクタのピンに不良品が混入したため、接触不良となって異常発熱し、コネクタが焼損したものと推定される。 (A3)	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であるため、当機構は2008（平成20）年3月12日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者 (受付:2008/02/14)
2008-4377 2009/01/11 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） CH-2200iR (株)大旺インターナショナルジャパン 約5年	ハロゲンヒーターの底部が熱くなっていたので確認したところ、コネクタ一部分が黒く焦げていた。 (製品破損)	コネクタのピンに不良品が混入したため、接触不良となって異常発熱し、コネクタが焼損したものと推定される。 (A3)	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であるため、当機構は2008（平成20）年3月12日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者 (受付:2009/01/16)
2008-3987 2008/11/10 (事故発生地) 奈良県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） PSH-873 森田電工（株） 約3年2か月	ハロゲンヒーターのスイッチを切ったのに、電源が入ったままになっていたため電源プラグを抜いた。 (製品破損)	スイッチの可動接点を開閉させる接点バネに不良品が混入したため、バネが折損して可動接点が外れ、固定接点と端子板の間で溶着し、スイッチを回しても接点が開かず、電源が切れない状態になったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	市町村 (受付:2008/12/18)
2008-4536 2009/01/18 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） PHM-405 (株)千住 約1年1か月	ハロゲンヒーターのスイッチを切ろうとしたが、操作ができなくなり、スイッチが「入」の状態から戻らなくなった。 (製品破損)	スイッチボタン周囲の飾りパネルの接着不良があったため、使用に伴い接着剤の層がボタンと飾りパネルの隙間に入り込んだため、ボタンが引っかかり戻らなくなったものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であることから、措置はとらなかった。 なお、当該品の輸入・販売は既に終了している。	消費者センター (受付:2009/01/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3585 2007/02/10 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） GRUSS YS-903HA (株)シー・アイ・シー 約4年	ハロゲンヒーターの電源が、切れなくなった。 (製品破損)	スイッチ接点の不良品が混入したため、使用に伴い接点荒れを起こして接点が溶着し、スイッチが切れなかったものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入及び販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/02/28)
2007-7015 2008/01/12 (事故発生地) 愛媛県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約2年	ハロゲンヒーターを使用後、ヒーター管が破損し、飛散したガラス破片によりカーペットの一部が溶けた。 (拡大被害)	すべての破片を回収できなかったことから、破損の起点は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/03/17)
2009-1064 2009/02/00 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約3年	ハロゲンヒーターを片付けようとしたところ、ランプガードが破損して落下した。 (製品破損)	セラミック製ランプガードの組み付け不良、または使用時に強い外力が加わり破損したのと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/07/15)
2008-5195 2009/01/00 (事故発生地) 熊本県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年	電気ストーブの電源プラグをコンセントに差し込むだけで、電源が入ってしまう。 (被害なし)	タッチ式のメインスイッチがスイッチカバーに押しつけられてスイッチが入ってしまったか、電源電線から入るノイズにより誤作動したのと考えられるが、原因を特定することはできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/03/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0651 2008/04/20 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SEH-142GSJ (株) マサオコーポレーション 約6年	使用中のハロゲンヒーターの部品が外れて、機器本体から火花が飛び散り、クッションが焦げた。	ハロゲンヒーター管と内部配線を接続する圧着端子部がカシメ不良であったため、端子部が異常発熱し、リード線が断線するとともに、その端子部を封止しているセラミックが破損したものと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2008/05/08)
2007-1395 2007/02/19 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F803N (株) シー・アイ・シー 約3年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片で畳が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、ヒーター線とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)
2008-3821 2008/11/29 (事故発生地) 富山県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） NSH-800RI (株) メディア・プライス 約5年11か月	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でフローリングが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、ヒーター線とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/09)
2007-1396 2007/03/15 (事故発生地) 長野県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800N (株) シー・アイ・シー 約3年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片で畳が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1397 2007/04/16 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800H (株)シー・アイ・シー 約4年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片で畳が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)
2007-1398 2007/04/20 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800H (株)シー・アイ・シー 約3年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)
2007-1399 2007/01/28 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約3年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片でビニール床が1cmくらい焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)
2007-1400 2007/04/18 (事故発生地) 福岡県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約3年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片で床、ホットカーペット、こたつふとんが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1401 2007/04/26 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約3年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、破片で床と衣類が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/06/05)
2008-4081 2008/11/06 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800H (株)シー・アイ・シー 約4年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片で畳が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、販売履歴で確認できた購入者へ電話連絡により、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/25)
2008-4082 2008/11/28 (事故発生地) 広島県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800H (株)シー・アイ・シー 約4年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でカーペットと鞆が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、販売履歴で確認できた購入者へ電話連絡により、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/25)
2008-4083 2008/10/04 (事故発生地) 栃木県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約4年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片で畳が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、販売履歴で確認できた購入者へ電話連絡により、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4084 2008/11/20 (事故発生地) 愛知県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約4年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片で電気カーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、販売履歴で確認できた購入者へ電話連絡により、回収と返金を実施している。 なお、当該品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2008/12/25)
2007-6986 2008/01/00 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SUN-801Ci (株)大旺インターナショナルジャパン 約14日	使用中のハロゲンヒーターが突然爆発し、火花が散って動かなくなった。ハロゲンヒーター管の端部に亀裂が入っていた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子として使用されている金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良があり、異常発熱して溶断した際に、ガラス管に亀裂が入り、火花が出たものと推定される。	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であるため、当機構は2008（平成20）年3月12日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者センター (受付:2008/03/14)
2007-6949 2008/03/12 (事故発生地) 青森県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） EH-802R 豊田通商（株） 約4年3か月	ハロゲンヒーターをつけて就寝したところ、3時間後に異音とともにヒーターのガラス管が割れて飛び散り、畳を焦がした。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂し、高温となったガラスが飛散し畳が焦げたものと推定される。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/03/13)
2006-3263 2006/12/09 (事故発生地) 山口県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F803R (株)シー・アイ・シー 不明	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂して、飛び散った破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2007/02/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0033 2008/12/13 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約6年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/02)
2009-0034 2008/12/30 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約5年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/02)
2009-0035 2008/11/28 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約5年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/02)
2009-0036 2009/02/12 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約6年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でカーペットが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0037 2008/12/15 (事故発生地) 長野県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約6年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でカーベツトが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/02)
2009-0364 2009/02/25 (事故発生地) 石川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約6年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でフローリングが焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/05/07)
2009-0807 2009/03/10 (事故発生地) 三重県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） YS-F800R (株)シー・アイ・シー 約5年	ハロゲンヒーターを使用中、ハロゲン管が破裂してガラスの破片でじゅうたん、畳が焦げた。	ヒーターのガラス管の端部において、端子に使用している金属棒とモリブデン箔の接続部で接触不良が生じ、異常に発熱したためにモリブデン箔が酸化・膨張してガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。	2007（平成19）年1月31日、11月1日、2008（平成20）年11月20日付けの新聞及びホームページにお詫びと製品回収の社告を掲載し、販売店店頭及び売場にて告知ポスターを掲示するとともに、コールセンターを設置し、回収と返金を実施している。 なお、当該製品は2004（平成16）年3月で輸入・販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/19)
2008-4097 2008/12/24 (事故発生地) 大分県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） HWM-915 (株)三和通商 約6年	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が破裂し、ガラスの破片でホットカーベツトが焦げた。	ヒーターのガラス管製造時に不具合があり、ヒーター管の端部にあるモリブデン箔付近から亀裂が入り破裂したものと推定される。 なお、出力切替え（強・弱）用ダイオードの部品不良により、ダイオードの特性が劣化し、内部短絡・破損し、底部樹脂は溶融していた。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、今後の事故の発生状況を注視し必要に応じ措置をとることとした。 なお、当該製品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4025 2008/12/10 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） V-800ST （株）日本ビネガーポトラーズ 約5年10か月	使用中の電気ストーブの後部から煙が出て、出火した。 (製品破損)	ヒーターランプの弱出力切替用ダイオードの個体不良により、本体上部カバー内のダイオードが発熱、発煙したものと推定される。 (A2)	2004（平成16）年8月26日付け等の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、販売会社等に文書通知による消費者への周知を依頼し、無償点検及び代替品との交換を実施していたが、2009（平成21）年2月3日付けをもって製品回収のみ対応することとなった。	輸入事業者 消費者センター (受付:2008/12/22)
2008-5101 2009/02/09 (事故発生地) 福井県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） V-800ST （株）日本ビネガーポトラーズ 約6年	使用中のハロゲンヒーターから異音が生じ、後部から発煙した。 (製品破損)	ヒーターランプの弱出力切替用ダイオードの個体不良により、本体上部カバー内のダイオードが発熱、発煙したものと推定される。 (A2)	2004（平成16）年8月26日付け等の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、販売会社等に文書通知による消費者への周知を依頼し、無償点検及び代替品との交換を実施していたが、2009（平成21）年2月3日付けをもって製品回収のみ対応することとなった。	消費者センター (受付:2009/03/03)
2008-5345 2009/03/22 (事故発生地) 岡山県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） V-800ST （株）日本ビネガーポトラーズ 約7年4か月	ハロゲンヒーターを使用していたところ、突然明るくなり、上部から発煙した。 (製品破損)	ヒーターランプの弱出力切替用ダイオードの個体不良により、本体上部カバー内のダイオードが発熱、発煙したものと推定される。 (A2)	2004（平成16）年8月26日付け等の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、販売会社等に文書通知による消費者への周知を依頼し、無償点検及び代替品との交換を実施していたが、2009（平成21）年2月3日付けをもって製品回収のみ対応することとなった。	消防機関 (受付:2009/03/23)
2007-6906 2008/01/27 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SKJ-902R エスケイジャパン（株） 不明	使用中のハロゲンヒーターから突然火花が散り、金属片が落ちてじゅうたんが焦げた。 (拡大被害)	ヒーター巻線の形状を安定化させる再結晶化処理の不良品が混入したため、通電時の発熱により、ヒーター巻線が軟化して延び、下方に偏り異常過熱し、近くを支持していた金属製ヒータークリップが酸化し、脱落して絨毯を焦がしたものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられるため、既製品について措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に販売を終了している。	販売事業者 (受付:2008/03/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3992 2008/12/14 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） IR-4423 (株) アイアン 約5年11か月	ハロゲンヒーターのスイッチを入れたところ、異音が生じて煙が出た。 (製品破損)	ヒーター管とリード線が接続不良であったため、接触不良により異常発熱し、断線、スパークしたものと推定される。 (A2)	他に同種事例も発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/19)
2007-5497 2008/01/10 (事故発生地) 愛媛県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SKJ-800K エスケイジャパン（株） 約7年	ハロゲンヒーターを「弱」で使用していたところ、本体上部から火が出て、発煙し、異臭が生じた。 (製品破損)	ヒーター管とリード線の接続部がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し、断線、スパークが生じ発煙、異臭が生じたものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。 なお、既に当該品は生産を終了しており、今後は品質管理の徹底を行うこととした。	消費者センター (受付:2008/01/18)
2007-5067 2007/12/24 (事故発生地) 奈良県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） IR-4424 (株) アイアン 約2か月	使用中のハロゲンヒーターから異音が生じ、台座中心部から発火した。 (製品破損)	ヒーター管とリード線の接続部がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し、断線、スパークしたものと推定される。 (A2)	他に同種事例も発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2007/12/25)
2008-4439 2009/01/10 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） HA552C (株) アマミ 約6年	使用中のハロゲンヒーターから、「パーン」と音がして火が床に飛び、ビニールの床が焦げて小さい砂のようなものが落ちた。 (製品破損)	ヒーター管のガス封入部の処理が不良であったため、ヒーター線が劣化して断線した際にヒーター管内圧が上がり封止ガラス片が飛び出し、床を焦がしたと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該輸入事業者は倒産しており、今後の事故の発生状況を注視することとする。	消費者センター (受付:2009/01/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-7202 2006/12/00 (事故発生地) 熊本県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） MS-872HRi 森田電工（株） 約2年	ハロゲンヒーターのスイッチを入れたところ、ヒーター前面中央部から発煙した。	ヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの素子が破損し、発煙・発火したものと推定される。	2008（平成20）年5月16日付けホームページに告知を掲載し、「（1）400W/800Wに切り換わらない。（2）焦げ臭いにおいがする。（3）煙が出てきた。」場合は、連絡するよう注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2008/03/26)
2006-3686 2006/10/08 (事故発生地) 北海道	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） BJL801（ブランド：（株）インターコンプ） 住友商事（株） 約2年8か月	ハロゲンヒーターをリビングで使用し、ハロゲンヒーターのヒーター管が破裂し、床が焦げた。	ヒーター製造時に不具合があったか、または被害者の取扱い時にヒーターに傷を付けた等の理由により、通電中にガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。	2007（平成19）年6月14日及び同年10月17日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、製品を引き取り、代金の返済を実施している。	販売事業者 (受付:2007/03/06)
2007-6657 2008/02/15 (事故発生地) 沖縄県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） BJH881（ブランド：（株）インターコンプ） 住友商事（株） 約3年	ハロゲンヒーターのヒーター管が破裂し、ガラスの破片で床、畳、じゅうたんが焦げた。	ヒーター製造時に不具合があったか、または被害者の取扱い時にヒーターに傷を付けた等の理由により、通電中にガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。	2007（平成19）年6月14日及び同年10月17日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、製品を引き取り、代金の返済を実施している。	販売事業者 (受付:2008/02/29)
2008-0424 2008/03/05 (事故発生地) 広島県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） BJH800（ブランド：（株）インターコンプ） 住友商事（株） 約5年2か月	ハロゲンヒーターから異音が生じ、ヒーター管が破裂して飛び散り、フローリングが焦げた。	ヒーター製造時に不具合があったか、または被害者の取扱い時にヒーターに傷を付けた等の理由により、通電中にガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。	2008（平成20）年3月21日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、製品を引き取り、代金の返済を実施している。	販売事業者 (受付:2008/04/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3099 2008/10/15 (事故発生地) 福岡県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年10か月	電気ストーブのスイッチを入れたところ、数分後にヒーターのガラス管が破裂した。 (製品破損)	ヒーター製造時に不具合があったか、または本体に打痕が認められることから、被害者の取扱い時にヒーターに傷を付けた等の理由により、通電中にガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定されるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了している。	消費者センター (受付:2008/10/17)
2009-1078 2009/07/12 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） PLM30414 プラコム（株） 約6年	ハロゲンヒーターを使用していたところ、ヒーターのガラス管が割れた。 (製品破損)	ヒーター製造時に不具合があり、通電中にガラス管に亀裂が入り、ガラス管の内部封入ガスの圧力によって破裂したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/16)
2008-4141 2008/11/20 (事故発生地) 新潟県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） MS-H873CRi 森田電工（株） 約2年1か月	使用中のハロゲンヒーターの中心部分が白くなり、火花が出そうで危ない。 (製品破損)	ヒーター線に不良があったため、通電時にヒーター線が局部過熱してガラス管内で溶断し、その影響でガラス管の内面が白化したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、ヒーター線が溶断して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に輸入・販売を終了している。	消費者センター (受付:2009/01/05)
2007-6110 2007/12/27 (事故発生地) 岩手県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） DWS-301 (株)大旺インターナショナルジャパン 約10年	使用中のハロゲンヒーターの頭の部分から煙が出た。 (製品破損)	ヒーターリード線と電源リード線を接続している圧着スリーブのサイズが適切でなく、かつ、圧着方法が適切でなかったため、接続部分の接触抵抗が製造当初から高く、繰り返し使用による発熱でリード線の酸化が進行したため、更に接触抵抗が増加して異常発熱し、圧着スリーブに近接していた背面カバーに焦げ穴が開いたものと推定される。 (A1)	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であるため、当機構は2008（平成20）年3月12日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者 (受付:2008/02/12)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5419 2008/12/10 (事故発生地) 兵庫県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） AM-100 (株)大旺インターナショナルジャパン 約9年	電気ストーブの背面カバーの一部が破損し、電線が露出していた。 (製品破損)	ヒーターリード線と電源リード線を接続している圧着スリーブのサイズが適切でなく、かつ、圧着方法が適切でなかったため、接続部分の接触抵抗が製造当初から高く、繰り返し使用による発熱でリード線の酸化が進行したため、更に接触抵抗が増加して異常発熱し、圧着スリーブに接触していた背面カバーに穴が開いたものと推定される。 (A1)	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2009/03/30)
2008-4053 2008/12/16 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年9か月	ハロゲンヒーターのリモコンを所定の位置に装着したまま使用中、近くにいた子どもが熱いと言ったので見たら、床にリモコンが落ちており蓋部分と電池の一部が溶けた。 (製品破損)	リモコンの裏ぶたは、ヒーターガードと同じ形状に熱変形していることから、誤ってヒーターガードの上に置いたため、変形したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/12/24)
2008-4438 2008/12/29 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約1年	ハロゲンヒーターのタイマースイッチを120分にセットして外出したところ、約1時間後に出火し、3名が軽傷を負った。 (軽傷)	火災現場の状態から、当該品からの出火と考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/01/20)
2007-0136 2007/01/00 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年	電気スタンド（インバーター式蛍光灯）のタッチセンサーに触れると、使用していないリモコン式ハロゲンヒーターが点灯した。 (被害なし)	蛍光灯点灯時のノイズの影響により誤作動した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2007/04/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2893 2006/11/00 (事故発生地) 愛知県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約1年11か月	電気ストーブの電源を入れると、プラスチックが溶ける（焦げる）ような臭いがし、部屋中に臭いがこもる。 (被害なし)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/10/02)
2008-4751 2008/12/00 (事故発生地) 鹿児島県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約3年	ハロゲンヒーターのスイッチを入れたところ、マイナスイオン発生口から煙が出てきた。 (被害なし)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/02/05)
2008-4752 2008/12/00 (事故発生地) 鹿児島県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約1年10日	使用中のハロゲンヒーターのハロゲン管が突然破裂して、破片が飛び散り、居間の柱や壁が焦げた。 (拡大被害)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/02/05)
2008-4920 0000/00/00 (事故発生地) 不明	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 不明	ハロゲンヒーターの電源のオン・オフができず、常時オンの状態で、強弱の切り替えもできない。 (製品破損)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、被害者への対応はとらなかった。	消費者 (受付:2009/02/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4962 2009/02/00 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約2年	使用中のハロゲンヒーターから「ボン」という音がして、ヒーター管の裏側から火花が出た。 (被害なし)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/02/19)
2009-0109 2009/03/31 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年3か月	ハロゲンヒーターを使用していたところ、焦げ臭いにおいがして上部から煙が出た。 (被害なし)	事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であり、過去に同一型式品において製造不良による発火事故が発生していることから、当機構は2008（平成20）年3月12日付けで『事故情報特記ニュース』を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者 (受付:2009/04/09)
2008-5014 2008/09/18 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） IR-4617 (株) アイアン 約1年	ハロゲンヒーターを移動しようとして支柱部分を持ったところ、台座から支柱部分が外れた。 (製品破損)	事故品の台座と支柱との接合面に挟まれているABS樹脂製の当て板が破断しており、当該部品の応力が集中しやすい隅角のアール処理が十分行われていなかったことに加えて、使用者は日常的に支柱部を持って当該品を移動していたために、断続的に過度の応力が集中したことで当該部品の破断し、台座と支柱が分離したものと推定される。 (B1)	他に同種事故発生の情報はなく、今後の事故発生状況を注視することとし、既製品についての措置はとらなかった。 なお、当該製品の販売は既に終了している。	消費者 (受付:2009/02/24)
2008-3817 2008/11/00 (事故発生地) 茨城県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 不明	使用中のハロゲンヒーターのプラグ部分から発煙したためコンセントからプラグを抜いたところ、異常発熱していた。 (軽傷)	事故品は既に廃棄されていることから、調査不能であった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	販売事業者 (受付:2008/12/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4624 2009/01/28 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約3年	扇風機形の使用中のハロゲンヒーターを使用中、首部分が折損し、コード1本でぶらさがった状態となり、床が高温となった。 (製品破損)	折損部位の破面解析の結果、首部分の背面に延性破壊箇所が認められ、当該箇所から内側（前面方向）に向かって疲労破壊を示すストライエーションが確認されたことから、転倒等の衝撃によって生じた傷等が、繰り返しの使用によって伸展し、破損に至ったものと考えられるが、傷等が生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (G1)	消費者センター (受付:2009/01/28)
2008-4105 2008/12/02 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約4年	使用中のハロゲンヒーターが消えたので、本体を持ち上げて床に置いたところ、火花が散ってじゅうたんが焦げた。 (製品破損)	電源コードの本体側ブッシング部に応力が集中したため、電源コードの芯線が半断線状態となって異常発熱し、短絡、スパークしたものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (G1)	輸入事業者 (受付:2008/12/26)
2008-3811 2008/11/30 (事故発生地) 山形県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） HA-80 (株)アママミ（倒産） 約3年	朝、ハロゲンヒーターのスイッチを入れたところ、しばらくして本体から煙が出たので、あわててコンセントを抜いて、風呂場に持っていき、水を掛けて消火した。 (製品破損)	電源基板上のリレー端子部にはんだ付け不良があったため、はんだクラックが生じてスパークし、発煙したものと推定される。 (A2)	輸入事業者が倒産（2006（平成18）年12月）しており措置がとれなかったため、今後の事故発生状況を注視することとした。 (A2)	消防機関 (受付:2008/12/08)
2006-0265 2006/01/16 (事故発生地) 長崎県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） NSH-800RI、NSH-800-14AI (株)メディア・プライス 約3年	ハロゲンヒーターを「弱」で使用中心、本体底部から発煙、発火した。 (拡大被害)	当該機のヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの不具合により、ダイオードが内部短絡し、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	2006（平成18）年4月25日、10月18日付けの新聞に社告を掲載し、無償で点検・修理を行うとともに温度ヒューズを追加することとした。 (A2)	輸入事業者 (受付:2006/04/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5050 2008/12/30 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） TSK-5323TD 燦坤日本電器（株） 不明	使用中のハロゲンヒーターから異臭がして、反射板の上部が黒くなり電源コードも熱くなった。 (製品破損)	当該機のヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの不具合により、ダイオードが内部短絡し、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/02/26)
2006-2960 2006/12/00 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SKJ-F82HR エスケイジャパン（株） 約3年	DVDレコーダーのリモコンで音量アップしたところ、横に置いていたハロゲンヒーターが作動した。 (被害なし)	当該品に用いられている赤外線式リモコンの使用周波数域の制御コードが、室内で使われていたDVD機器（サラウンドアンプ）のリモコンの制御コードの一部と一致したため、誤作動を起こしたものと推定される。 (A1)	当該製品は2003（平成15）年に輸入を終了しており、誤作動による火災等の事故は発生していないため、既製品の措置はとらなかった。 なお、現在は、電源スイッチをリモコンで操作できない仕様に変更しており、製造事業者独自のリモコンコードを用いている。さらに当機構では、2006（平成18）年11月15日付けで「特記ニュース」を発行し、消費者に注意喚起を行っている。	消費者センター (受付:2007/01/23)
2007-4544 2007/09/17 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SHH-1000 (株)星和電機 約6年	使用中のハロゲンヒーターの後部から発煙した。 (製品破損)	当該品のヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの不具合により、ダイオードが内部短絡し、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	輸入事業者と連絡が取れず、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者 (受付:2007/11/27)
2008-4950 2009/02/10 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） TSK-5310 燦坤日本電器（株） 約5年3か月	ハロゲンヒーターのスイッチを入れたところ、黒煙が上がリ、異臭により喉や目に痛みを感じ、頭痛などの症状が出た。 (軽傷)	当該品のヒーター出力（強・弱）切り替え用ダイオードの不具合により、ダイオードが内部短絡して発煙し、異臭が発生したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかったものの、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者 (受付:2009/02/18)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3565 2008/01/00 (事故発生地) 京都府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 約3年2か月	使用中のハロゲンヒーターの上部が熱で変形した。 (製品破損)	当該品の点灯、作動に異常は認められず、変形した反射板の樹脂カバー上部に繊維の付着が認められることから、衣類等がストーブに覆い被さって蓄熱し、樹脂カバー上部が熱変形したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/11/21)
2008-5086 2009/02/23 (事故発生地) 北海道	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） CH-340RI (株) センチュリー 約5年	ハロゲンヒーターの操作パネルの一部が茶色く焦げた。 (製品破損)	当該品はヒーター出力（強・弱）切り替え用に、ダイオード2個を並列に接続する仕様であったが、1個を逆向きに接続したため、分流されず異常発熱し、接触していた操作パネルの樹脂が焦げたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、2003（平成15）年12月以降、当該品の輸入・販売を中止している。	消費者センター (受付:2009/03/02)
2008-4915 2008/12/20 (事故発生地) 群馬県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） HAH2002 (株) 東京企画販売 不明	使用中のハロゲンヒーターから異音とともに白煙が発生し、火の粉が落ちて量が焦げた。 (拡大被害)	内部配線とヒーター管端部のリード線との金属管スリーブ（ステンレス製）による接続がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し断線、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はなことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に輸入を終了している。	消費者センター (受付:2009/02/17)
2008-4259 2008/12/31 (事故発生地) 埼玉県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） FH-911 フカダック（株） 約5年	ハロゲンヒーターを廊下で使用していたところ、ヒーター右側面から発火し火柱を上げた。 (製品破損)	内部配線とヒーター管端部のリード線との金属管スリーブ（鉄製）による接続がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し、出火に至ったものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年1月15日付けホームページに社告を掲載し、製品回収を実施している。	消費者センター (受付:2009/01/09)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6584 2008/02/18 (事故発生地) 愛媛県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） BJH800（ブランド：（株）インターコンプ） 住友商事（株） 約4年	ハロゲンヒーターから異臭がし、ヒーター後ろの配線の接続部分が黒く変色した。 (製品破損)	反射板の裏側において、内部配線を接続するファストン端子に接触不良があったため、異常発熱し発煙・焼損したものと推定される。 (A2)	2008（平成20）年3月21日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、製品を引き取り、代金の返済を実施している。	販売事業者 (受付:2008/02/28)
2007-0883 2007/01/28 (事故発生地) 三重県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KSH-880 (株)ジェ・ネット 約5年	使用中のハロゲンヒーターから発煙、発火して、カーペットが焦げた。 (拡大被害)	反射板の裏側において、内部配線を接続する金属管スリーブにカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年12月25日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収、代金返済を行っている。	輸入事業者 (受付:2007/05/22)
2007-4261 2001/11/22 (事故発生地) 愛知県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KSL-881 (株)ジェ・ネット 不明	ハロゲンヒーターから発煙し、本体プラスチック部分が溶けてカーペットに付着した。 (拡大被害)	反射板の裏側において、内部配線を接続する金属管スリーブにカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年12月25日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収、代金返済を行っている。	輸入事業者 (受付:2007/11/07)
2007-4262 2001/12/30 (事故発生地) 愛知県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KSH-880 (株)ジェ・ネット 不明	ハロゲンヒーターから発煙し、本体のカバーの一部が溶けて穴が開いた。 (製品破損)	反射板の裏側において、内部配線を接続する金属管スリーブにカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年12月25日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収、代金返済を行っている。	輸入事業者 (受付:2007/11/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4263 2002/01/04 (事故発生地) 三重県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KSH-880 (株)ジェ・ネット 不明	ハロゲンヒーターから発煙し、内部配線が焼損した。 (製品破損)	反射板の裏側において、内部配線を接続する金属管スリーブにカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年12月25日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収、代金返済を行っている。	輸入事業者 (受付:2007/11/07)
2008-3865 2008/12/09 (事故発生地) 大分県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） KSL-881 (株)ジェ・ネット 不明	ハロゲンヒーター後部の部品がショートし、火花が出てプラスチック部分が溶けた。 (製品破損)	反射板の裏側において、内部配線を接続する金属管スリーブにカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、焼損したものと推定される。 (A2)	2007（平成19）年12月25日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収、代金返済を行っている。	消費者センター (受付:2008/12/11)
2008-4978 2009/02/15 (事故発生地) 岡山県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） ICS-2002TG (株)瀬戸内通商 約5年4か月	使用中のハロゲンヒーターから突然発火し、煙が出た。 (製品破損)	反射板の裏側における内部配線のファストン端子が差込不良であったため、接触不良により異常発熱し、端子絶縁カバーが焦げ発煙したものと推定される。 (A2)	2009（平成21）年3月より、販売店が戸別訪問し回収を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2009/02/20)
2009-0754 2009/00/00 (事故発生地) 広島県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） DHS-501 (株)大旺インターナショナルジャパン 約7年7か月	ハロゲンヒーターのヒーター部分の裏側が焦げた。 (製品破損)	反射板の裏側における内部配線の圧着スリーブ（銅製）による接続がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し、付近の外郭樹脂が焦げたものと推定される。 (A2)	輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置が取れない状況であるため、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2009/06/12)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5151 2009/03/05 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 不明 (株)大旺インターナショナルジャパン 約5か月	ハロゲンヒーターを使用中、「パン」という音がし、発火して溶け、エアコンの吹き出し口や床が焦げた。	反射板の裏側における内部配線の金属管スリーブ（アルミ製）による接続がカシメ不良であったため、接触不良により異常発熱し、発火したものと推定される。	輸入業者が不明で連絡が付かず、措置がとれない状況であるため、当機構は2008（平成20）年3月12日付で「事故情報特記ニュース」を発行し、消費者に対して使用中止を呼びかけている。	消費者 (受付:2009/03/06)
2008-5379 2009/03/17 (事故発生地) 福井県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） IR-4291 (株)アイアン 約7年	使用中のハロゲンヒーターから焦げ臭いにおいがし、台座底面の一部が変形して畳が焦げた。	本体の強弱切替え用ダイオードの部品不良により、弱使用時にダイオードが異常発熱し、ヒートシンク及び留め金具の温度が上昇してネジ受けのプラスチックが溶け、ヒートシンクが脱落して台座の一部が熱変形し、畳を焦がしたものと推定される。	外郭樹脂の溶融で終息し、発火に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/03/25)
2008-4087 2008/12/22 (事故発生地) 福岡県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SKJ-802AS エスケイジャパン（株） 約2年	使用中のハロゲンヒーターから煙が出た。	本体の強弱切替え用ダイオードの部品不良により、弱使用時にダイオードが短絡・過熱し、発煙したものと推定される。	他に同種事故発生の情報はなく、発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/12/25)
2006-3738 2007/03/07 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） SKJ-802A エスケイジャパン（株） 約5年	ハロゲンヒーターから発煙した。	本体の出力切替え（強・弱）の弱使用時に使っているダイオードの特性が劣化し、短絡・過熱して発煙したものと推定される。	2008（平成20）年4月18日付けでプレスリリースを行うとともに自社ホームページに社告を掲載し、無償点検又は代替品との交換を行っている。	消費者センター 輸入事業者 (受付:2007/03/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0222 2006/12/09 (事故発生地) 福島県	電気フライヤー 約5年	木造2階建て住宅の1階台所にあった電気フライヤーから出火し、電気フライヤーと換気扇1台、じゅうたん1枚を焼損した。 (拡大被害)	焼損状況から出火元はフライヤー本体と考えられるが、当該品の焼損が激しく、また、使用状況が不明であることから原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 販売事業者 (受付:2007/04/10)
2009-1505 2009/08/28 (事故発生地) 神奈川県	電気ポット 約10年	使用中の電気ポットのコードから発火した。 (製品破損)	コードの中央部で断線しており、断線部付近の絶縁被覆が傷ついていることから、コードに屈曲等の機械的ストレスが繰り返し加わったため、内部の芯線が断線し、スパークが生じ、発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/09/02)
2008-2203 2008/08/19 (事故発生地) 福井県	電気ポット PV0-A400 タイガー魔法瓶(株) 約2年10か月	電気ポットの湯が出ず、持ち手の本体付け根部分から煙が出て異臭がした。 (製品破損)	ヒーター制御用のトライアックが焼損していたが、はんだ付け部に異常は認められないことから、トライアックに過電流が流れて発煙・焼損したものと考えられるが、過電流が流れた原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/08/27)
2009-0332 2009/04/23 (事故発生地) 宮城県	電気ポット PLK-30EL 東芝ホームテクノ(株) 約2年6か月	保温設定がしてある電気ポットを満水にして沸騰させたが、そのまま沸騰を続け保温設定に切り替わらず空焚きになり止まった。再度、水を入れたが沸騰しても止まらず沸騰が続いた。 (被害なし)	事故品に入れた水が沸騰しても、制御回路が正常に作動せずメインヒーターへの通電が遮断されなかったため、水が蒸発した後、空焚き検知回路により、止まったものと考えられるが、通電しても事故は、再現されず制御回路が正常に作動しなかった原因は特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/04/28)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6786 2008/03/02 (事故発生地) 広島県	電気ポット Z-PK2146 三洋セールスアンドマーケティング(株)(現在:三洋電機(株)) 不明	台所でパーンと音がしたので行って見たら、流しのカウンターに置いていたポット本体の上部と蓋が飛んで落ちており、黄色い粉も散っていた。 (製品破損)	事故品のヒーター管に多数の孔食や亀裂が認められることから、孔食部から内部に浸入した水が電熱線で加熱されて高温の水蒸気となり、ヒーター管内の圧力が上がり破裂し、充填されていた酸化マグネシウムが飛散したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/03/05)
2009-2013 2009/08/19 (事故発生地) 静岡県	電気ポット 約5年	旅館で使用中の電気ポットを客の子供が倒し、熱湯が両足にかかって火傷を負った。 (軽傷)	事故品の内ぶたパッキンには白化やひび割れの劣化が認められたことから、当該品を過って倒したために内容物である湯が、内ぶたパッキンの隙間から漏れ出したものと推定される。 なお、取扱説明書には「内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください」とし、交換の必要がある旨が記載されていた。 (E2)	使用者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、2006(平成18)年以降、内ぶたパッキンの劣化による火傷の危険性について、製品本体にも注意表示している。	輸入事業者 (受付:2009/10/19)
2009-0616 2009/05/13 (事故発生地) 京都府	電気ポット 不明	電気ポットから出火し、コーヒーマーカークーラーやまほうびんなどが熱で溶解した。 (拡大被害)	事故品上部の注ぎ口、操作パネル付近が焼損しているが、内部に出火元となるような痕跡は確認されず、通電したところ、制御回路は正常に動作したことから、製品からの出火ではないものと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/05/27)
2008-3113 2008/10/04 (事故発生地) 千葉県	電気ポット OE-001 IV (株)ドリテック 約14日	湯を注ごうと電気ポットの取っ手を持ったところ、異常な熱を持っており、握った親指の付け根に水ぶくれができた。 (軽傷)	取っ手部の勘合部に隙間が開いていたことから、沸騰直後の湯を注ぐ際に蒸気が漏れて、火傷したと推定されるが、取っ手に隙間が生じた原因は、特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品の製造は、既に終了している。	製造事業者 (受付:2008/10/20)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5388 2009/03/12 (事故発生地) 神奈川県	電気ポット CV-AX22 象印マホービン(株) 約5年11か月	電気ポットの底から水が漏れ、下に敷いていたビニールクロスが変色し、じゅうたんなどにしみができた。 (拡大被害)	内容器底部とヒーター押さえ板を固定する溶接工程において、溶接時の過電流あるいは溶接端子の圧着過多などの要因により溶接不良(微小な穴あき又は母材の痩せ)が生じ、更に約6年の使用期間中に腐食の影響が加わり、穴が拡大して水が漏れたものと推定される。 (A2)	当該品は既に製造を終了しており、空焚き状態となっても安全装置が働き、拡大被害の恐れがないため、既販品については、措置はとらなかった。 なお、2009(平成21)年8月以降販売の新製品より順次、外周の溶接法を8点スポット溶接からシーム溶接(線溶接)に変更することとした。 (受付:2009/03/27)	製造事業者 (受付:2009/03/27)
2009-1159 2009/07/15 (事故発生地) 福岡県	電気ポット 不明	冷蔵庫の後方に落としたまま放置していた電気ポット用の電源コード付近から出火し、冷蔵庫背面と壁が焼損した。 (拡大被害)	被害者が電気ポットの本体を1年以上前に廃棄していたにもかかわらず、電源コードをコンセントに接続した状態で、冷蔵庫の背面に落としたまま放置していたため、事故の2日前に冷蔵庫を動かした際に、当該コードの本体側マグネットプラグが冷蔵庫の蒸発皿内に落下して、端子部が蒸発皿内の水と接触して短絡し、出火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 (受付:2009/07/24)	消防機関 (受付:2009/07/24)
2007-6446 2008/02/05 (事故発生地) 山形県	電気ポンプ(下水処理用) 50DWSA5.4SA(ブランド: :(株)荏原製作所) (株)オークテック 約5年	家庭内の下水処理タンクの排水用水中ポンプから漏電し、停電になった。 (製品破損)	当該品の内部にあるポンプモーター用リレーに不良品が混入したため、リレー接点に溶着が生じてモーターが連続運転状態となり、コイルが焼損して水漏れが生じ漏電したものと推定される。 (A3)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 (受付:2008/02/22)	消費者センター (受付:2008/02/22)
2009-1067 2009/07/04 (事故発生地) 東京都	電気やかん 7100JP(ブランド:ラッセルホブス) (株)大石アンドアソシエイツ 約1年4か月	電気湯沸器のスイッチを入れたところ、青い炎が上がった。 (製品破損)	やかん内部のヒーターとスイッチを接続するカシメ部が、十分に工程管理できない構造であったため、カシメ不良により接触抵抗が増大して発熱し、樹脂製の底面カバーを溶融したものと推定される。 (A1)	2008(平成20)年8月より、ホームページに社告を掲載し、無償で修理・交換を行っている。 なお、2008年3月より、リード線を金属板に変更し、カシメ部がない構造に変更している (受付:2009/07/15)	消費者センター (受付:2009/07/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2494 2006/11/28 (事故発生地) 千葉県	電気やかん アプレシア カフェオレ (株) グループセブ ジャパン 約6か月	電気やかんを幾度か空焚きしたら、焦げてしまった。 (製品破損)	空焚き防止装置の接点部品が変形した不良品が混入したため、空焚きした際に適切に作動せずヒーターが異常過熱し、底面部の樹脂が焦げたものと推定される。 (A3)	2007(平成19)年1月17日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検、部品交換を行っている。また、空焚き防止装置の受入検査を全品検査とするとともに、空焚き防止試験の検査を徹底することとした。	販売事業者 (受付:2006/12/21)
2006-2167 2006/11/06 (事故発生地) 不明	電気やかん アプレシア メタリックノワール (株) グループセブ ジャパン 約7日	電気ケトルの底面と電源プレート部分の樹脂が溶け、損傷した。 (製品破損)	空焚き防止装置の接点部品が変形した不良品が混入したため、空焚きした際に適切に作動せずヒーターが異常過熱し、底面部の樹脂が溶融したものと推定される。 (A3)	2007(平成19)年1月17日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検、部品交換を行っている。また、空焚き防止装置の受入検査を全品検査とするとともに、空焚き防止試験の検査を徹底することとした。	販売事業者 (受付:2006/12/01)
2006-3082 2006/12/20 (事故発生地) 東京都	電気やかん アプレシア メタリックノワール (株) グループセブ ジャパン 約3か月	電気やかんを空焚きした際、底面と電源プレート部分の樹脂が溶けて、キッチン台が数センチ変色した。 (拡大被害)	空焚き防止装置の接点部品が変形した不良品が混入したため、空焚きした際に適切に作動せずヒーターが異常過熱し、底面部の樹脂が溶融したものと推定される。 (A3)	2007(平成19)年1月17日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検、部品交換を行っている。また、空焚き防止装置の受入検査を全品検査とするとともに、空焚き防止試験の検査を徹底することとした。	販売事業者 (受付:2007/01/30)
2009-1085 2009/06/27 (事故発生地) 千葉県	電気やかん ティファール BF51002290A (株) グループセブ ジャパン 約3年3か月	電気ケトル本体が受け台に入らなくなり、コードがケトル本体から飛び出て焦げ、発煙した。 (製品破損)	電源接続コネクタと内部配線を繋ぐファストン端子がカシメ不良であったため、接触不良が生じ内部配線が異常発熱して、ケトルの外郭樹脂が変形、溶融し発煙したものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、製造時における工程管理を強化した。	消費者 (受付:2009/07/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3136 2008/10/11 (事故発生地) 神奈川県	電気やかん 約12日	電気やかんで沸かした湯で紅茶を飲んだところ、悪臭がし、下痢をした。 (軽傷)	同等品で沸かした湯には多少のプラスチック臭が感じられたものの、当該製品は食品衛生法に定める規格基準に適合しているものであり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/10/20)
2008-5335 2009/03/03 (事故発生地) 京都府	電気やかん オヴェア 1.7L BF752022 (株) グループセブジャパン 約2年	使用中の電気やかんの底面と電源プレート部分の接点から炎と煙が出た。 (製品破損)	内部配線のファストン端子にカシメ不良があったため、使用に伴い徐々に接触抵抗が増大して異常発熱し、断線した際に発煙・火花が生じたものと推定される。	他に同種事故発生情報はなく、発煙のみで終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、今後は工場での品質管理の再徹底を行うこととした。	消費者センター (受付:2009/03/23)
2008-4961 0000/00/00 (事故発生地) 不明	電気やかん DEK-0702 (株) ドウシシャ 不明	電気湯沸器の底の樹脂部分が変形した。 (製品破損)	内部配線を接続する圧着端子のカシメ不良により、接続部が異常発熱し、本体底面の樹脂に接触し溶融したものと推定される。	2009(平成21)年3月3日付けホームページに社告を掲載し、本体底面に異常がある製品は無償で交換を実施している。 なお、今後はカシメ治具の変更を行い、検査を徹底することとした。	輸入事業者 (受付:2009/02/19)
2009-2196 2009/10/25 (事故発生地) 神奈川県	電気衣類乾燥機 約1年11か月	電気衣類乾燥機を使用後、タオルなどを取り出さず放置していたところ、数時間後に発火した。 (被害なし)	衣類乾燥機の電気部品に異常は認められず、ドラム内のタオル類のみが焼損し、焼損したタオル類からは植物性油分が検出されたことから、洗濯物に残留した植物油が乾燥時の熱により酸化が促進され、酸化する際に発生した熱が蓄熱し、自然発火に至ったものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には『油などの酸化熱による自然発火や引火を防止するため、油類の付着した衣類は洗濯後も絶対に乾燥しない。』旨記載している。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、(社)電機工業会はホームページに『油分の付着した衣類・タオル等の布類を乾燥すると自然発火し、火災につながるおそれがある』旨を注意喚起している。	製造事業者 (受付:2009/11/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5090 2009/02/03 (事故発生地) 三重県	電気衣類乾燥機 不明	電気衣類乾燥機から発火した。 (製品破損)	衣類乾燥機の電気部品に異常は認められず、ドラム内は油の臭気がし、フィルターに油煙の付着が認められたことから、洗濯物に残留した植物油が乾燥時の熱により酸化が促進され、酸化する際に発生した熱が蓄熱し、自然発火に至ったものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書に『油などの酸化熱による自然発火や引火を防止するため、油類の付着した衣類は洗濯後も絶対に乾燥しない』旨を記載している。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/03/02)
2006-3911 2007/02/09 (事故発生地) 山口県	電気衣類乾燥機 ED-D602 東芝家電製造(株) 約18年	衣類乾燥機から発煙した。 なお、当日使用した際、操作パネルの上部が光っておいがしたので電源プラグを抜いていた。 (製品破損)	操作パネル内部の電源、ヒーター及びモーター制御用回路を含む電子ユニットの100V回路基板に接続されたリード線端子のはんだ付け部が、接触不良により部分的に発熱を起し電子ユニットカバーを溶かし、着火したものと推定される。	1990(平成2)年5月29日付けの新聞、2007(平成19)年4月10日付けの新聞及びホームページに社告を行い、電子ユニットの改良品(はんだ付け、ランド面積の拡大、端子ハトメ化など実施したもの)への交換及び電子ユニットカバーの難燃材部品(難燃ポリプロピレン)への交換を継続して実施している。	製造事業者 (受付:2007/03/20)
2006-0789 2006/06/20 (事故発生地) 千葉県	電気衣類乾燥機 約20年	「バーン」という音が出て、電気衣類乾燥機のコンセント部から発火した。 (拡大被害)	電源プラグとコンセントの接触不良あるいは、電源プラグ内部にある芯線のカシメ不良により発火したものと考えられるが、焼損が激しく原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2006/07/06)
2006-2485 2006/11/30 (事故発生地) 愛知県	電気衣類乾燥機 WTL4310 ボッシュ(株) 不明	衣類乾燥機から発火した。 (拡大被害)	当該機は運転中に停止してしまう不具合があり、製品内部から出火した可能性が考えられるが、事故品を入手できないことから、調査できなかった。	当該機種は、メインターミナルの接触不良、コンデンサーの不具合のため、2004(平成16)年11月1日、2006(平成18)年11月1日、2007(平成19)年2月19日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象機種は無償点検・修理を実施している。 なお、当該機は点検・修理は実施されていなかった。	製造事業者 (受付:2006/12/21)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0670 2009/04/27 (事故発生地) 大分県	電気温水器 約8年6か月	温泉施設のトイレ内に設置された小型電気温水器の温水タンクが破裂し、洗面カウンターと木製キャビネットが破損した。 (拡大被害)	温水タンクは溶接部が全周破断しており、ヒーター管も腐食し折損していたが、安全弁等の安全装置に異常はなく、水圧及び蒸気圧による破裂試験を行ったが、温水タンクは部分的に破損するのみであることから、何らかの可燃性ガスがタンク内に滞留し、折損したヒーターの火花が引火・爆発した可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報がないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2009/06/03)
2008-5045 2009/02/15 (事故発生地) 北海道	電気温水器 約16年	台所の勝手口付近に設置された、電気温水器の端子台部分より発煙した。 (製品破損)	施工時に電源端子台のネジ止めが不十分であったため、使用に伴いネジが徐々に緩み、接触不良により異常発熱し、発煙・焼損したものと推定される。 なお、施工説明書の注意事項には『端子台に端子金具で確実にネジ止めする。』旨を記載している。 (D1)	当該事故原因は、施工業者によって行われた際の施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/02/26)
2009-0072 2009/03/30 (事故発生地) 群馬県	電気温水器 約16年	電気温水器付近から異音が生じ、発煙した。 (製品破損)	専用の電源ケーブル引き込み口があるにもかかわらず、設置時に金属製本体カバーに穴を開けて電源ケーブルを引き込んだため、当該穴によりケーブルの被覆に傷が付いて芯線が露出し、短絡・発火したものと推定される。 なお、施工説明書には『200V電源ケーブルを専用の穴に通す。』旨記載されている。 (D1)	施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。 なお、施工業者は特定できなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/07)
2009-0645 2009/04/25 (事故発生地) 石川県	電気温水器 GRE-4611 三菱電機(株) 不明	電気温水器内部の部品が焼損した。 (拡大被害)	当該機器内部のヒーター用リレー付近から出火したものと考えられるが、当該部分が焼失しており、出火した原因については特定できなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/06/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4256 2008/12/07 (事故発生地) 東京都	電気温水器 約10年	小売店のトイレ内洗面所の混合栓から熱湯が出て、幼児が両手に火傷を負った。 (軽傷)	不特定多数が使用する場所に貯湯温度が調節可能な公衆施設用タイプを設置せず、高温でしか貯湯されない住宅用タイプを設置していたため、高温の湯が出湯し、幼児が火傷を負ったものと推定される。 なお、使用されていた住宅用タイプは、洗面台に高温で少量を貯湯し水と混合して、適温湯量を確保する製品となっている。 (D1)	当該事故原因は、施主（小売店）の設置不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/09)
2008-3938 2008/07/00 (事故発生地) 岐阜県	電気温水器（ユニットバス用） 即湯システム SKT-1A (株) INAX 約8年3か月	システムバスの電気温水器のスイッチを入れると漏電遮断器が作動したため、スイッチを切っておいたところ、電気温水器の配線がある浴室天井から水が漏れた。 (拡大被害)	当該製品のシール材の劣化と材料切削くずの噛み込みにより、温水タンクから樹脂製カバー内に漏水が生じて漏電遮断器が作動したが、スイッチを切っておいたところ、ヒーター用電源コード（シース内部）を通じて浴室天井に水が伝わり、漏水が生じたものと考えられる。 (A1)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2008/12/15)
2008-5318 2008/11/02 (事故発生地) 北海道	電気温風機（蓄熱式） 約1年7か月	暖房機の風量調節を「強」にしたところ、温風吹き出し口の前に置いていた座いすから出火して、床、壁などを焼損し、家人1人が煙を吸って病院に搬送された。 (軽傷)	事故品の温風吹出口の直近に座椅子が置かれていたため、温風により座椅子が高温となり発火し、延焼したものと推定される。 なお、本体表示及び取扱説明書の注意・警告事項に、『本体の近くに燃えやすい物を置かない。温風吹出口を塞がない。火災の原因となる。』の旨を記載している。 (E1)	ホームページ上で、消費者向けの『電気蓄熱式暖房器を安全に使うための注意喚起』を掲載し、使用上の注意を呼びかけている。	消防機関 (受付:2009/03/19)
2007-5933 2008/01/21 (事故発生地) 福島県	電気温風機（蓄熱式） 不明	蓄熱暖房機の設置してある部屋から出火し、住宅を全焼した。 (拡大被害)	当該品の吹き出し口に可燃物が放置されていたため、熱風があたり出火に至ったものと考えられるが、事故品は既に廃棄されており、入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	製造業者等は不明であり、事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	不明 (受付:2008/02/04)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5001 2009/02/03 (事故発生地) 北海道	電気温風機(蓄熱式) 約10年10か月	学生寮の室内に設置されている、電気温風機付近から発煙し、異臭を生じた。 (拡大被害)	被害者が当該品の上部にふとんを覆い被せたため、温風吹出口が塞がれ、ふとんが加熱されて焦げ、発煙したものと推定される。 なお、当該品の本体表示や取扱説明書には「温風吹出口を塞がない。本体の近くに燃えやすいものを置かない。」旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/02/23)
2009-0223 2009/03/21 (事故発生地) 茨城県	電気床暖房器 Binal heatex バイナルヒーテックス(株) 約12年6か月	床暖房器を使用中、異臭がして床が発熱した。確認したところ、床板の裏面の一部が炭化していた。 (拡大被害)	事故品が部分的に異常発熱したため、事故品及び床板が焼損したものと考えられるが、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造業者は既に倒産(1999(平成11)年)しており、事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2009/04/17)
2006-2014 2006/01/24 (事故発生地) 長野県	電気床暖房器 マイダンディⅡ ジェイ・ピー・エイチ(株) (倒産) 約6年3か月	床暖房の上でこたつふとんと座ぶとんを併用していたところ、床材が変色した。 (拡大被害)	当該機に使用されている温度センサーの数量が不足していたため、カーボン発熱体の部品不良により、床にじゅうたん、ふとん、ソファ等置いて熱がこもった際に、発熱体が異常高温となったにもかかわらず、温度センサーが作動せず、床材が変形、変色、焼損等したものと推定される。	2008(平成20)年7月に製造事業者が倒産したため、措置はとれなかった。 なお、当該品の販売は、2000(平成12)年8月に終了している。	製造事業者 (受付:2006/11/17)
2006-2015 2006/01/00 (事故発生地) 石川県	電気床暖房器 マイダンディⅢ ジェイ・ピー・エイチ(株) (倒産) 約3年6か月	床暖房の上で座ぶとんを常時使用していたところ、床材が変色した。 (拡大被害)	当該機に使用されている温度センサーの数量が不足していたため、カーボン発熱体の部品不良により、床にじゅうたん、ふとん、ソファ等置いて熱がこもった際に、発熱体が異常高温となったにもかかわらず、温度センサーが作動せず、床材が変形、変色、焼損等したものと推定される。	2008(平成20)年7月に製造事業者が倒産したため、措置はとれなかった。 なお、当該品の販売は、2003(平成15)年11月に終了している。	製造事業者 (受付:2006/11/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0642 2007/04/01 (事故発生地) 岐阜県	電気炊飯器 約3年	電気炊飯器から出火して、炊飯器と近くにあった電子レンジを焼損した。 (拡大被害)	上蓋樹脂部及びヒンジ部は焼失しているが、内部に発火元となる痕跡は確認されず、下部にあるコードリール中央部の接点部に熔融痕が確認されたが、コードリールに巻いてあったコードの被覆はほとんど焼損していないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/05/15)
2008-4779 2009/02/04 (事故発生地) 千葉県	電気炊飯器 RC-10NH 東芝ホームテクノ(株) 約1年1か月	突然ブレーカーが落ちた。電力会社が調べたところ、炊飯器による過電流といわれた。 (製品破損)	当該品は保温中にサージ検知回路が働いた場合、電源制御用部品(IGBT)に過電圧が加わることがあるため、当該部品が破損して内部短絡し、過電流が流れたものと推定される。 (A1)	高速型ブレーカーの作動、または、当該品内部の電流ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/02/06)
2008-1052 2008/05/04 (事故発生地) 宮城県	電気炊飯器 約10年	タイマーを入れておいた電気炊飯器から異臭と異音が生じ、火が出て、電子レンジなどの一部が焼損した。 (拡大被害)	被害者が電源コードを交換した際に、電源コードをねじり接続したため、接触不良により異常発熱し、短絡し発火したものと推定される。 (E4)	被害者の修理・改造不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2008/06/13)
2008-5058 2009/02/22 (事故発生地) 兵庫県	電気洗濯機 AW-70DC (株)東芝 約2年2か月	脱水乾燥中の洗濯機から異臭が生じ、洗濯槽の樹脂が溶け、洗濯物に付いて焦げた。 (拡大被害)	ベッド用敷きパッドを洗濯ネットに入れずに脱水乾燥運転したため、ベッド用敷きパッドの一部が洗濯槽から飛び出し、樹脂製カバーと擦れ、摩擦によりカバーが熔融したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『毛布、カーペットカバーなどは専用ネットに入れる。洗濯物が洗濯・脱水槽から飛び出し洗濯機や衣類が損傷するおそれがある。』旨記載されていたが、ベッド用敷きパッドに対する記載はされていなかった。 (B4)	樹脂製カバーの熔融のみで終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、取扱説明書に『ベッドパッドなどは専用ネットに入れる。』旨追記することとした。	消費者センター (受付:2009/02/27)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3418 2008/11/01 (事故発生地) 埼玉県	電気洗濯機 不明	木造2階建て住宅から出火し、約149平方メートルを全焼した。 (拡大被害)	焼損の状態等から洗濯機から出火したものと考えられるが、事故品の焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/11/11)
2007-3600 2007/09/19 (事故発生地) 埼玉県	電気洗濯機(乾燥機付) 約5年	洗濯槽の金属部分に触れたところ、感電して手が赤くなった。 (軽傷)	事故品に漏電等の異常は認められず、正常に動作することから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/09/28)
2009-0464 2009/05/10 (事故発生地) 千葉県	電気洗濯機(乾燥機付) 約2年6か月	容量9kgの洗濯機でベッドカバー2枚(綿製品2.4kg)をネットに入れて洗濯し、その後外出したところ、家の中から轟音がしたので戻ってみると洗濯機の側面がぼこぼこに変形し、膨らんでふたが開かない状態となり、フローリングも傷がついた。 (拡大被害)	事故品は、既に廃棄されており、事故品が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/13)
2008-3202 2008/10/10 (事故発生地) 愛知県	電気洗濯機(乾燥機付) BW-D9HV 日立アプライアンス(株) 約5か月	洗濯機で薄いタオルケット2枚とシングルシーツ1枚を洗濯中、突然爆発音がしたので確認したところ、洗濯機が防水パンから飛び出し、傾いた状態で停止しており、機器が変形し、床に傷がついた。 (拡大被害)	製造時の組み付け不良により内部配線が固定具から外れていたため、洗濯槽が異常振動した際に停止させる安全スイッチに接触して動きが悪くなり、洗濯槽のバランスが崩れた時に正常に作動せず、洗濯機が移動したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、既販品について措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 消費者センター (受付:2008/10/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3496 2008/11/04 (事故発生地) 新潟県	電気洗濯機（乾燥機付） NW-D6BX 日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション（株） 約6年2か月	電気洗濯乾燥機で乾燥運転中、機器の背面部から発煙した。	当該品の内ふたの上部にこぼれた洗剤に水が掛かり、洗剤液となって外槽部に流れ込み、ヒーターのリード線に付着して芯線を腐食させるとともに、脱水時の振動により、リード線が断線・スパークして近傍のプラスチック樹脂に着火し、焼損したものと推定される。	2004（平成16）年1月27日、2005（平成17）年12月21日、2007（平成19）年2月27日及び2008（平成20）年2月19日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で改修を実施している。	製造事業者 (受付:2008/11/17)
2008-3181 2008/03/08 (事故発生地) 兵庫県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約6年	運転中のドラム式洗濯乾燥機から異音と異臭がし、電源が切れた。 なお、事故品は以前、メーカーサービス員による修理が行われていた。	サービス員が修理の際、本体内部のリード線をねじり接続していたため、接触不良により異常発熱して断線、ショートし、接続部に巻かれていたビニールテープが焦げたものと推定される。	当該サービス員がこれまでに行った修理済み品を確認したところ、同様の不具合は確認されなかったことから、今後の事故の発生状況を注視することとした。 なお、全国のサービス員にリード線をねじり接続しないよう周知徹底した。	製造事業者 (受付:2008/10/23)
2008-4381 2009/01/11 (事故発生地) 岡山県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約3年5か月	脱水中の洗濯機から突然大きな音がし、ドラムが変形して中ぶたがちぎれ、外ぶたと部品が飛び散った。	ジャージの袖がドラム蓋に食い込んでいたことから、衣類がドラム蓋に挟み込まれ、ドラムロックが半掛かりとなった状態で運転され、脱水途中の遠心力によりドラム蓋が開き、内蓋とスライド蓋が破損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「内蓋やドラム蓋を閉める際に、衣類を挟まない」旨が記載されている。	被害者の不注意とみられる事故のため、措置はとらなかった。	市町村 (受付:2009/01/19)
2008-3863 2008/09/00 (事故発生地) 山梨県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約2年	洗濯機ドアの透明樹脂パネルが破損したため、ドアを交換したところ、ドア上部から水蒸気が漏れた。	ドア交換時の取り付けに不具合があり、ドアとシール部材との密着性が低くなったため、水蒸気が漏れたものと推定される。	サービス部門に対してドア交換時の注意指導を行うこととした。	消費者センター (受付:2008/12/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0685 2009/04/28 (事故発生地) 奈良県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） TW-150VC 東芝ホームアプライアンス（株） 約2年5か月	使用中の洗濯乾燥機から異音が生じ、槽内の樹脂部分が溶けて焦げた。 (製品破損)	ペットの毛が付着した洗濯物を洗濯・乾燥したため、乾燥の際に通風路が毛で塞がれて風量が低下し、槽内の温風吹き出し口樹脂が溶融し焦げたものと推定される。 なお、取扱説明書には『ペットの毛が付着した敷物などは、洗濯・乾燥してはいけません』旨記載されているが、『発煙・発火に至る危険性がある』旨の記載はなかった。 (B4)	安全装置（温度ヒューズ）が作動し、終息していることから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種種の取扱説明書には『ペットの毛が付いたものを洗濯しない。性能低下・部品変形などの恐れがある。』旨記載を検討することとした。	消費者センター (受付:2009/06/05)
2009-1317 2009/01/00 (事故発生地) 三重県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約5年	使用中の電気洗濯機の機器内で火花が散って扉が焦げた。 (製品破損)	過去に当該品の本体と洗濯ドラム（水槽）を接続するツリパネが折損する故障があり、サービス員が修理した際に洗濯ドラムのツリパネウケとツリパネの嵌合部が甘くなっていたため、使用に伴う振動等により、ツリパネがツリパネウケから外れ、脱水ドラムと本体ドア内側のガラス面が干渉し、火花が生じたものと推定される。 (D2)	他に同種事故の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター (受付:2009/08/11)
2008-5327 2009/03/19 (事故発生地) 大阪府	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約5年1か月23日	電源を入れた洗濯乾燥機から焦げ臭いにおいがし、発煙した。 (被害なし)	乾燥用ヒーターに洗剤成分の焦げ付きが認められることから、洗濯時にヒーター表面に洗剤成分が付着し、乾燥時に洗剤成分が一時的に焦げて発煙したものと推定される。 (F2)	製品には問題がない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/03/19)
2009-0852 2009/06/10 (事故発生地) 京都府	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約4年6か月	洗濯機のドラム内の乾燥フィルターが溶けて、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	給水異常と排水異常のエラー表示が何度も出て停止していたが、使用者が点検せず繰り返し使用したため、綿埃等が送風ファンやダクト内等に徐々に付着し、排気温度が異常上昇して吹出口付近の乾燥フィルターが過熱され溶融したものと推定される。 なお、取扱説明書には『エラー表示が出たら点検し、点検しても直らない場合はプラグを抜き修理を依頼する。』旨、記載されていた。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であり、乾燥ヒーターへの通電は温度ヒューズが作動し終息していることから、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/06/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4901 2007/12/05 (事故発生地) 京都府	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約1年5か月	洗濯終了後、乾燥を開始してしばらくしたら、洗濯機から発煙し、焦げ臭いにおいがした。 (被害なし)	事故品に異常は認められず、正常に動作することから、洗濯時にヒーターに付着した汚れが、乾燥運転時に一時的に焦げ、発煙したものと推定される。 なお、当該品はヒーターに付着した汚れを、乾燥運転時にヒーターの熱により除去する構造であるが、事故品は汚れが多かったため若干の発煙に至ったものと推定される。 (F2)	発煙はヒーター表面に付着した汚れが熱せられた瞬間だけ発生するもので、すぐに収まり発火には至らず、ヒーター部は金属板で覆われていることから、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2007/12/14)
2007-1041 2007/04/14 (事故発生地) 神奈川県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） TW-742EX 東芝ホームアプライアンス（株） 約4年	電気洗濯乾燥機で乾燥運転後、20分ほどして製品上部から発火し、消火剤で部屋が汚れた。 (拡大被害)	製品内部の洗剤ケース下部に配置されたヒーター配線に、垂れ落ちた液体洗剤が付着したため、液体洗剤の成分（界面活性剤）により、リード線被覆の絶縁が劣化し、発火に至ったものと推定される。 (A1)	2008（平成20）年4月16日付け新聞及びホームページで社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2007/05/29)
2007-3624 2006/08/24 (事故発生地) 東京都	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） TW-742EX 東芝ホームアプライアンス（株） 約3年6か月	電気洗濯乾燥機の上部から炎が上ががり、洗濯機本体と脱衣所の一部を焼損して、キッチンや居間の天井が煤で汚れ、家人が火傷を負った。 (軽傷)	製品内部の洗剤ケース下部に配置されたヒーター配線に、垂れ落ちた液体洗剤が付着したため、液体洗剤の成分（界面活性剤）により、リード線被覆の絶縁が劣化し、発火に至ったものと推定される。 (A1)	2008（平成20）年4月16日付け新聞及びホームページで社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2007/10/01)
2009-0118 2009/03/19 (事故発生地) 新潟県	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約3年3か月	洗濯乾燥機で乾燥運転をしていたところ、洗濯機の中から発煙した。 (製品破損)	電気部品に異常はなく、ドラム内に油の付着が認められることから、油が付着した洗濯物を乾燥したため、熱により酸化が促進され、酸化する際に発生した熱が蓄熱し、自然発火に至ったものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には『油が付着した洗濯物は乾燥しない。酸化熱による自然発火の恐れがある。』旨記載している。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0259 2008/11/20 (事故発生地) 東京都	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） Euro3000 (株) 桜川ポンプ製作所 約1年9か月	洗濯機の振動により、内部の配線が外れ、異臭がした。 (製品破損)	当該機の内部配線の振動対策が不十分であったため、脱水時等の振動により、乾燥制御用サーモスタットのコネクター部分に張力が加わり接触不良が生じて、コネクター樹脂が焦げ、異臭がしたものと推定される。 (A1)	2009（平成21）年7月1日付けホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/04/21)
2008-5439 2009/03/23 (事故発生地) 大阪府	電気洗濯機（乾燥機付、ドラム式） 約1年6か月	自動洗濯乾燥モードで洗濯機を運転して就寝したところ、真夜中に突然大きな音がして、洗濯機のドア窓の内側が割れていた。 (製品破損)	当該製品のドア窓は、樹脂（外側）と耐熱強化ガラス（内側）の2層構造で、事故品は窓内面のガラスが破損していた。ガラス表面についた傷や異物などが起点となり、使用中に自然破壊したものと考えられるが、起点となった傷等が確認できず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/03/31)
2006-3104 2006/12/28 (事故発生地) 東京都	電気洗濯機（全自動） AW-F70HVP 東芝家電製造（株） 約5年11か月	使用中の洗濯機から発煙し、本体左下後方から発火、防水パンの一部も焦げた。 (拡大被害)	モーターリード線の1本が断線し、溶融痕があることから、リード線が運転時の振動などにより半断線状態となり、エラー表示が出て停止していたが、使用者が修理依頼せず、繰り返し使用したため、発煙・発火したものと推定される。 (B2)	2007（平成19）年3月27日付けの新聞及びホームページに『エラー表示が出た場合は、速やかに修理・点検を依頼する』旨掲載し、注意喚起を行っている。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種は、リード線にストレス等が集中しないように確認を徹底している。	製造事業者 (受付:2007/01/31)
2009-0749 2009/05/23 (事故発生地) 東京都	電気洗濯機（全自動） MAW-V7RP-H（ブランド：三菱電機（株）） 日本建鐵（株） 約8年	洗濯機の右側面上部内側から発火し、周辺を焼損した。 (拡大被害)	製造時に、制御ユニットに使用されているリード線に傷等を付けたため、リード線が半断線状態となって異常発熱し、リード線間で短絡・発火したものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、中古市場に流通していた同等品28台について検査し、問題がないことが確認されたため、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/06/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2374 2006/11/14 (事故発生地) 神奈川県	電気洗濯機（全自動） JW-Z50A ハイアールジャパンセールス（株） 約2年6か月	洗濯機右下周辺から出火し、本体右下 部と防水パンの一部が焦げた。 (拡大被害)	洗濯用モーターの進相用のフィルムコンデンサーが 絶縁不良となったため、ショート・破裂し、出火した ものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後 の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応する こととした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2006/12/14)
2009-0831 2009/05/09 (事故発生地) 埼玉県	電気洗濯機（全自動） 約1年	洗濯機の電源が入らないので確認し たところ、電源コードが黒く焦げて火 花が散り、周辺が焦げていた。 (製品破損)	電源コードに張力が加わった状態で使用されてい たため、洗濯機の振動により本体の電源コード引き出し 部で応力が加わり、断線、短絡したものと考えられる が、使用状況が不明であり原因の特定はできなかった 。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。	消費者センター (受付:2009/06/22)
2009-2531 2009/11/20 (事故発生地) 群馬県	電気洗濯機（全自動） 不明	外出中に、洗濯機から発煙し、衣類 が焦げてバルセーターが溶けた。 (拡大被害)	被害者の証言によれば、洗濯機に衣類を入れる際に 、衣類から焦げ臭いにおいを感じていることから、く ん焼状態（炎が伴わない燃焼）に気付かず洗濯槽内 に入れたため、衣類が焦げて、バルセーターと洗濯槽 の一部を焼損したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/12/07)
2008-4166 2008/12/12 (事故発生地) 千葉県	電気洗濯機（二槽式） 約9年5か月	二槽式洗濯機に洗濯物を入れてタイ マーを回したところ、洗濯槽から火柱 が上がり、髪の一部と鼻と頬に火傷を 負った。 (軽傷)	事故品に異常はなく、オイルの付いた洗濯物に機械 部品のアルコール系脱脂スプレー（主成分：有機溶 剤、噴射剤：L Pガス）を吹きかけていたことから、 洗濯槽内部に可燃性ガスが滞留し、タイマーを回した 際の火花が引火し、火が上がったと推定される。 なお、取扱説明書及び本体には「アルコール等の付 着した洗濯物を入れると爆発や火災の原因になる」旨 表示されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/01/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1986 2006/10/25 (事故発生地) 兵庫県	電気洗濯機（二槽式） 約27年	脱水中の洗濯機から発煙し、洗濯機の下の下も焦げた。	脱水槽のブレーキと連動している蓋丁番部が破損し、ブレーキが僅かに働いている状態で脱水槽が回転したため、摩擦熱及びモーターの過負荷により過電流が流れて異常発熱し、発火したものと考えられるが、事故品のモーターを載せ換えて通電したところ、ブレーキにより脱水槽が回転せず、モーターがロック状態となって安全装置が作動し、発火に至ることはないことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者 (受付:2006/11/16)
2009-0742 2009/06/01 (事故発生地) 茨城県	電気洗濯機（二槽式） ES-56GS シャープ（株） 不明	使用中の洗濯機から発火してパネルの一部が焼損し、近くにあったコンセント、壁、カーテンの一部が焼損した。	当該機の脱水蓋スイッチ部に洗剤液の泡やほこり等が付着・堆積したため、スイッチの接点板間でトラッキング現象が発生し、発火したものと推定される。	2007（平成19）年3月16日付け新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。また、2008（平成20）年1月21～27日までインターネット検索サイトへ広告を掲載し、2009（平成21）年4月6日から、当該事業者製品の修理対応の際に、顧客にチラシを配布するとともに、同年5月から販売店に対してもチラシを配布している。 なお、当該品は既に販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/06/11)
2006-3803 2007/02/09 (事故発生地) 埼玉県	電気洗濯機（二槽式） ES-56GS-C シャープ（株） 約4年11か月	電気洗濯機の操作パネルの一部が焼損した。	当該機の脱水蓋スイッチ部に洗剤液やほこり等が付着・堆積したため、スイッチの接点板間でトラッキング現象が発生し、発火したものと推定される。	2007（平成19）年3月16日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。また、脱水蓋スイッチの接点固定樹脂をポリブチレンテレフタレートから耐トラッキング性能が高いポリアミド（ナイロン66）へ変更する。	製造事業者 (受付:2007/03/13)
2008-3414 2008/10/22 (事故発生地) 岐阜県	電気洗濯機（二槽式） ES-25E-CM シャープ（株） 約7年	脱水運転中の洗濯機の脱水槽に誤って手を入れたため、手に洗濯物が巻きつき、右手中指の骨にひびが入った。 なお、当該洗濯機の脱水槽の内蓋は以前から壊れ、内蓋がない状態で、さらに、衣類のおさえ蓋も使用していなかった。	被害者が脱水槽のブレーキが故障していたことを認識していたにもかかわらず、修理をせず使用し続けたことに加え、脱水槽の回転が完全に停止していない状態で脱水槽に手を入れたため、洗濯物が指に絡み負傷したものと推定される。 なお、本体上面部及び取扱説明書には、『脱水槽が完全に止まるまでは、洗濯物に手を触れない』旨記載されている。	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、2001（平成13）年より注意チラシを配布し、2006（平成18）年11月28日から30日及び2007（平成19）年3月19日に（社）日本電機工業会より安全啓発の新聞掲載を実施し、2008（平成20）年8月より、ホームページに『洗濯機を安全にお使いいただくためにお知らせとお願い』を追加掲載している。	輸入事業者 (受付:2008/11/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3902 2005/11/07 (事故発生地) 東京都	電気足温器 ジャルカDX (株)高千穂産業(倒産) 約10か月	電気足温器を使用中、底部ヒーター部分が焦げた。 (製品破損)	ゴム状の導電シートが、熱と使用による弾力低下によって亀裂が生じやすいものであったため、導電シート亀裂部が異常過熱し、本体底部が溶融したものと推定される。 (A1)	輸入事業者は既に倒産しており、販売事業者が2007(平成19)年7月17日よりホームページに社告を掲載し、製品回収及び代金の返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2007/03/19)
2006-3903 2006/09/13 (事故発生地) 東京都	電気足温器 ジャルカSD (株)高千穂産業(倒産) 約2年4か月	電気足温器を使用中、底部ヒーター部分が焦げた。 (製品破損)	ゴム状の導電シートが、熱と使用による弾力低下によって亀裂が生じやすいものであったため、導電シート亀裂部が異常過熱し、本体底部が溶融したものと推定される。 (A1)	輸入事業者は既に倒産しており、販売事業者が2007(平成19)年7月17日よりホームページに社告を掲載し、製品回収及び代金の返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2007/03/19)
2007-0384 2007/03/12 (事故発生地) 香川県	電気足温器 ジャルカDX (株)高千穂産業(倒産) 約2年	使用中の電気足温器から「パチパチ」と音がして火花が飛び、底部が溶けた。 (製品破損)	ゴム状の導電シートが、熱と使用による弾力低下によって亀裂が生じやすいものであったため、導電シート亀裂部が異常過熱し、本体底部が溶融したものと推定される。 (A1)	輸入事業者は既に倒産しており、販売事業者が2007(平成19)年7月17日よりホームページに社告を掲載し、製品回収及び代金の返金を行っている。	製造事業者 (受付:2007/04/24)
2007-0385 2007/02/07 (事故発生地) 千葉県	電気足温器 ジャルカSD (株)高千穂産業(倒産) 約2年2か月	使用中の電気足温器から異臭がして、底部ヒーター部分が溶けた。 (製品破損)	ゴム状の導電シートが、熱と使用による弾力低下によって亀裂が生じやすいものであったため、導電シート亀裂部が異常過熱し、本体底部が溶融したものと推定される。 (A1)	輸入事業者は既に倒産しており、販売事業者が2007(平成19)年7月17日よりホームページに社告を掲載し、製品回収及び代金の返金を行っている。	製造事業者 (受付:2007/04/24)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2635 2007/02/08 (事故発生地) 北海道	電気文具（鉛筆削り機） DES-02 (株) デビカ 約6か月	電動鉛筆削り機のコードの根元がショートして、コードが切れ本体が焦げた。	電源コードの本体側付け根部に繰り返し外力を受けたため、コードが断線、ショートして火花が生じたものと推定される。	2007（平成19）年8月22日付けのホームページ及び8月23日付け新聞で社告するとともに、DMを送付し、無償で部品交換を行っている。 なお、既に当該品の製造は終了している。	輸入事業者 (受付:2007/07/31)
2009-2140 2009/10/00 (事故発生地) 長崎県	電気文具（鉛筆削り機） CN0422436A（ブランド：セイカ） (株) デビカ 不明	電気鉛筆削り機の電源コードの本体根元から火花がでた。	電源コードの本体側付け根部に繰り返し外力を受けたため、コードが断線、ショートして火花が生じたものと推定される。	2007（平成19）年8月22日付けのホームページに告知を掲載し、同年8月23日付け新聞に社告を掲載するとともに、DMを送付し、無償で部品交換を行っている。 なお、当該品は、既に製造を終了している。	販売事業者 (受付:2009/10/30)
2008-0396 2008/03/28 (事故発生地) 京都府	電気毛布 約11年	電気毛布から発火し、毛布のプラグ部分付近が焼損した。	事故品の焼損状況は、ヒーター線が配線されていない縁辺部から中心部に向かって焼損した様相を呈していた。さらに、コントローラーは、ヒーター線と温度検知線が短絡したことにより、ヒューズが溶断して通電しない状態となっており、安全装置が適切に作動する状況であったと考えられるが、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2008/04/21)
2008-2889 2008/04/00 (事故発生地) 茨城県	電気毛布 約7か月	電気敷毛布を使っていたところ、ヒーター線が全部片側に寄って団子状態になった。	上下の毛布が縫い付けられた間に配線されたヒーター線が、縫い付けが外れて片側に偏った可能性が考えられるが、事故品が入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品のヒーター線は、検知線と発熱線の間に感温層を有する二重巻線構造のため、ヒーター線が偏っても検知線と発熱線の位置関係は変わらず、異常温度上昇時には安全装置が動作し通電を停止するため、拡大被害に至る可能性は低い構造となっている。	消費者センター (受付:2008/10/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5018 2008/12/05 (事故発生地) 東京都	電気毛布（敷毛布） 約1か月	電気敷毛布を使用したところ、体に低周波のような細かな振動を感じた。スイッチを切ってもコンセントを抜くまで振動がおさまらなかったため、使用を中止した。 (被害なし)	電源スイッチやその他の電気部品に異常は認められず、漏洩電流及び絶縁性能に問題はなく、複数の被験者により実際に使用したところ振動等を感じることはなかったことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (受付:2009/02/24)	消費者センター
2006-3353 2007/01/19 (事故発生地) 神奈川県	電気冷温水給水器（卓上型） CMT型 富士の湧水（株） 約11か月	卓上タイプの冷温水ディスペンサー内部の温水サーモスタットが焦げた。 (製品破損)	機器内上部で生成した結露水が、下部のサーモスタットに流れ落ちる構造であったため、流れ落ちた結露水によってサーモスタットの接点が腐食し、接触不良により異常発熱したものと推定される。 (A1)	2007（平成19）年2月20日、直売顧客及び代理店へ当該機種の修理実施に関する通知文書を送付し、2007（平成19）年3月10日付けのホームページに当該機種の修理実施について掲載している。 (受付:2007/02/14)	輸入事業者
2006-3354 2006/08/10 (事故発生地) 東京都	電気冷温水給水器（卓上型） CMT型 富士の湧水（株） 約4か月	卓上タイプの冷温水ディスペンサー内部の温水サーモスタットが焦げた。 (製品破損)	機器内上部で生成した結露水が、下部のサーモスタットに流れ落ちる構造であったため、流れ落ちた結露水によってサーモスタットの接点が腐食し、接触不良により異常発熱したものと推定される。 (A1)	2007（平成19）年2月20日、直売顧客及び代理店へ当該機種の修理実施に関する通知文書を送付し、2007（平成19）年3月10日付けのホームページに当該機種の修理実施について掲載している。 (受付:2007/02/14)	輸入事業者
2008-5245 2008/10/28 (事故発生地) 神奈川県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーの内部に火花が見えた。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、スパークしたものと推定される。 (A3)	2009（平成21）年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009（平成21）年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。 (受付:2009/03/13)	輸入事業者

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4968 2009/02/03 (事故発生地) 神奈川県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから焦げ臭いにおいがする。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/02/19)
2008-5246 2008/10/28 (事故発生地) 神奈川県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから異臭がした。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2008-5250 2009/02/03 (事故発生地) 東京都	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから焦げ臭いにおいがする。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、異臭がしたものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2008-5248 2009/01/09 (事故発生地) 福島県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーの温水ができない。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、焼損ヒーターに通電しなくなったものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5249 2009/01/22 (事故発生地) 兵庫県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーの温水ができない。	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、焼損しヒーターに通電しなくなったものと推定される。	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2008-5243 2008/07/09 (事故発生地) 東京都	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから発煙し、異臭がした。	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、発煙・異臭がしたものと推定される。	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2008-5242 2008/01/08 (事故発生地) 鹿児島県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから発煙した。	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、発煙したものと推定される。	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2008-5244 2008/08/08 (事故発生地) 栃木県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから発煙した。	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、発煙したものと推定される。	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5251 2009/02/06 (事故発生地) 愛知県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーから発煙した。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接触不良により異常発熱し、樹脂ケースが炭化して端子間でトラッキング現象が生じ、発煙したものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2008-5247 2008/11/17 (事故発生地) 埼玉県	電気冷温水給湯器 YO-04L (株) ナック 不明	ウォーターサーバーの温水が異常に高温となった。 (製品破損)	温度調節用サーモスタットに接点不良のものが混入したため、接点で溶着し連続通電状態になったものと推定される。 (A3)	2009(平成21)年3月4日付けホームページに社告を掲載するとともに、当該品はレンタル専用であるため、契約している顧客に対して順次交換を行うこととした。 なお、2009(平成21)年2月から、サーモスタットを信頼性の高いものに変更している。	輸入事業者 (受付:2009/03/13)
2007-2962 2006/12/11 (事故発生地) 兵庫県	電気冷温水給湯器 アクアクレール203L CACH03 アクアクララ(株) 約2年	1歳児が電気冷温水給湯器の湯が出るレバーを押しすぎて、右手に火傷を負った。 (軽傷)	乳幼児が温水フォーセット(蛇口)に触れた時に、温水用レバーの2つの部品(上下のレバーをつまんだ状態で押し下げないと給湯されない安全装置になっている。)が重なっていたか、もしくは乳幼児が重ねてレバーを下ろした時にレバー表面の仕上げ不良等から滑りが悪くなり、温水フォーセットの天板上に発生しないはずの支点が発生したため、レバーが動作し給湯口の弁が開栓したものと推定される。 (A1)	2007(平成19)年9月19日より全顧客への注意喚起及び確認事項文書を送付するとともにホームページにより注意喚起している。また、2007(平成19)年10月より年次メンテナンス時に仕様を変更した新型品との交換作業を随時実施している。	消費者センター (受付:2007/08/23)
2008-3592 2008/10/08 (事故発生地) 愛知県	電気冷温水給湯器 YCH-720W (株) 中京医薬品 不明	電気冷温水給湯器から発煙した。 (製品破損)	冷水タンク内のジョイントナットの締め付けが緩かったため、使用中にジョイントナット部分から漏れた水が、ヒーター制御用サーモスタット(バイメタル)に浸入し、トラッキングを起こして発熱・発煙したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年10月7日付けホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。 なお、今後は製造工場に対してジョイントナットの締め付け管理の徹底を指示し、設置前の機器点検を徹底するとともに、注意表示の改善を行うこととした。	輸入事業者 (受付:2008/11/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3593 2008/10/14 (事故発生地) 愛知県	電気冷温水給湯器 YCH-720W (株)中京医薬品 不明	電気冷温水給湯器から発煙した。 (製品破損)	冷水タンク内のジョイントナットの締め付けが緩かったため、使用中にジョイントナット部分から漏れた水が、ヒーター制御用サーモスタット(バイメタル)に浸入し、トラッキングを起こして発熱・発煙したものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年10月7日付けホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。 なお、今後は製造工場に対してジョイントナットの締め付け管理の徹底を指示し、設置前の機器点検を徹底するとともに、注意表示の改善を行うこととした。	輸入事業者 (受付:2008/11/25)
2009-1819 2009/09/01 (事故発生地) 奈良県	電子ピアノ 不明	幼児の指が電子ピアノの鍵盤蓋と天屋根の間に挟まり、軽傷を負った。 (軽傷)	鍵盤蓋はスライド式で、通常は少し持ち上げて軽く押せば収納できる構造であるが、被害者が左手を鍵盤蓋に置いた状態で蓋を強い力で押したため、鍵盤蓋が一気に収納され、置いていた左手が蓋とともに持って行かれて天屋根との隙間で指を挟み、負傷したものと推定される。 (E2)	消費者(保護者)の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/10/05)
2008-4766 2009/01/18 (事故発生地) 東京都	電子レンジ 約6か月	電子レンジでパンを加熱しようとして、10秒を2回押すつもりが、誤って10分を2回押してしまい、パンが焦げて家中に煙が充満した。 (製品破損)	加熱時間の設定を間違えたため、食品(パン)を加熱し過ぎ、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『少量の食品を加熱しすぎない。加熱中はそばを離れない。発煙・発火の原因となる。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/02/06)
2007-4671 2007/08/17 (事故発生地) 群馬県	電子レンジ 約13年	電子レンジを掃除しようと、回転皿(ガラス製)を引き出したところ、皿が半分に割れて落下し、左足の甲に1cm程度の裂傷を負った。 (軽傷)	回転皿(ガラス製)の中央付近に傷が入っており、電子レンジから引き出した際に衝撃が加わったため、傷を起点として皿が割れたものと考えられるが、傷が入った原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/12/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4186 2008/11/15 (事故発生地) 福島県	電子レンジ 約7年	使用中の電子レンジの本体から発煙した。 なお、以前から調理しても温まらないことが幾度かあった。 (製品破損)	吸気口から入り込んだ多量のほこりが、冷却ファンに堆積して風量が減少し、熱によりインバーター基板上のコンデンサーの特性が変化して、電波が発振せず食品が温まらないことあったが、そのまま繰り返し使用を続けたため、パワートランジスターが熱により破壊し、ショート・発煙に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書には、『異常や故障があった場合は使用を中止し、販売店に点検を相談する。』旨記載されている。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であり、他に同種事故発生情報はなく、電流ヒューズが作動して終息し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/01/06)
2008-3189 2008/05/19 (事故発生地) 東京都	電子レンジ RE-T3 シャープ(株) 約1年5か月	電子レンジで自動加熱していたところ、破裂音がしてレンジの後部から発火した。 (製品破損)	高圧トランスの一次側巻線とファストン端子が接続不良であったため、接触抵抗が増大し異常発熱してスパークしたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、既に当該品の製造は終了している。	製造事業者 (受付:2008/10/23)
2007-4167 2007/10/24 (事故発生地) 宮城県	電子レンジ 約5年	電子レンジでさつまいもを10分間加熱したところ、発煙し、火災報知器が作動し、さつまいもは黒く焦げた。 (製品破損)	事故品の作動確認では、電気部品に異常は認められず、正常に機能していることから、被害者が食材を長時間加熱したため、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『食品は加熱しすぎない。発煙・発火の恐れがあるので様子を見ながら加熱する。』旨記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/10/30)
2008-3422 2008/10/27 (事故発生地) 長野県	電子レンジ 不明	電子レンジから発煙した。 (被害なし)	事故品の電気部品には異常は認められず、庫内受け皿上に調理物の焦げ痕があることから、食材の加熱しすぎにより発煙したのと考えられるが、使用状況等は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2008/11/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0128 2008/04/06 (事故発生地) 神奈川県	電子レンジ NE-TS40 松下電器産業(株)(現在: パナソニック(株)) 約2年10か月6日	電子レンジの出力を解凍モードにし、冷凍食材を約3分間解凍したところ、食材が黒こげになり、レンジ内に煙が充満した。 (製品破損)	出力制御用スイッチの不良のため、接点が溶着して出力制御(断続動作)ができず連続動作状態となり、食材の過加熱により発煙したものと推定される。 (A3)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	市町村 (受付:2008/04/08)
2009-1249 2009/07/27 (事故発生地) 山梨県	電子レンジ NE-AC60 松下住設機器(株)(現在: パナソニック(株)) 約17年	使用中の電子レンジから異音が生じ、発煙、発火し、底面から溶け出したプラスチックでレンジの置き台などが焦げ、右手に火傷を負った。 (軽傷)	長期間(約17年)使用により、吸気口付近に多量の埃が堆積しダイオードブリッジが高温条件下となり、ダイオードブリッジ内部素子と電極を接合しているはんだ部にクラックが生じスパークが発生し、付近の樹脂に引火して発煙・発火したものと推定される。 (C1)	2007(平成19)年5月30日付けホームページ、及び5月31日付けの新聞に社告を掲載し、無償で部品交換を行っている。また、新聞折り込みチラシの配布及び修理履歴に基づくDMを送付し、使用者の把握に努めている。	製造事業者 (受付:2009/08/04)
2009-2055 2009/10/18 (事故発生地) 長野県	電子レンジ MD-665B 株式会社マルマン(倒産) 約17年	電子レンジで食品を温めていたところ、発煙し、庫内の食品が炭化した。 (製品破損)	長期使用(約17年)により、タイマー内の接点が摩耗し溶着したため、連続通電状態となり食品が異常過熱され発煙したものと推定される。 (C1)	輸入事業者は既に倒産しており、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消防機関 (受付:2009/10/21)
2009-0397 2009/02/24 (事故発生地) 高知県	電子レンジ ER-247 東芝ホームアプライアンス(株) 約20年	使用中の電子レンジから発煙した。 (製品破損)	長期使用(約20年)により、高圧トランスの二次側巻線部が絶縁劣化してレイヤショートを起こし、発煙したものと推定される。 (C1)	他に同種事故発生の情報はなく、最終的にヒューズが作動して通電が停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/05/08)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0327 2009/03/30 (事故発生地) 神奈川県	電子レンジ 不明	電子レンジのオープン機能を使用後、電源コードから「バシッ」と音がして発煙、発火した。 (製品破損)	電源プラグのコードプロテクタ付根部に明らかな素線の断線が認められることから、使用中の繰り返し屈曲応力等が加えられたため、半断線を生じアーク放電により、発煙・発火したものと推定される。 なお、取扱説明書には「電源コード・電源プラグを傷つけない、無理に曲げる、引っ張る、ねじるなどをすると破損・火災・感電・ショートの原因になる。」旨、記載されている。	消費者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/27)
2008-2650 2008/08/17 (事故発生地) 福島県	電子レンジ 約9年8か月	電子レンジを運ぼうとしてレンジ底部に両手をかけたところ、右手の指2本に切り傷を負った。 (軽傷)	当該機の右下部のキャビネット(外カバー)の一部が変形し、3mmの隙間があったため、運ぼうとした際に当該隙間に指が挟まり、痛みを感じて当該機を落とした時に指を切創したものと推定されるが、隙間がどの時点で出来たかは不明のため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2008/09/18)
2009-0530 2009/05/18 (事故発生地) 富山県	電子レンジ 約3年	米と水を容器に入れて電子レンジで加熱調理をしていたところ、操作パネルから出火し、周辺の物が溶けた。 (拡大被害)	当該製品の仕様と異なる周波数の地域で使用していたことから、過負荷により本体内部の電気部品から発火した可能性が考えられるが、焼損が著しいため出火元となった電気部品が特定できず、過負荷による影響を受けたかどうかも含め、原因の特定はできなかった。 なお、取扱説明書には『庫内やドアに汚れが付着したまま使用しない。発煙や火花がでる原因となる。』旨記載されている。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	警察機関 (受付:2009/05/21)
2009-0076 2009/04/02 (事故発生地) 東京都	電子レンジ 約2年6か月	使用中の電子レンジから火花や煙が出て、扉の一部が溶けた。 (軽傷)	当該品の作動確認では、電気部品に異常は認められず、正常に作動していることから、ドア内側下部の樹脂製部品に汚れが付着したまま使用したため、付着した汚れが加熱されて炭化・スパークし、樹脂製部品が溶融したものと推定される。 なお、取扱説明書には『庫内やドアに汚れが付着したまま使用しない。発煙や火花がでる原因となる。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/04/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1237 2006/09/07 (事故発生地) 京都府	電子レンジ 約3年4か月	電子レンジで調理中、庫内に向かって右側から発火した。 (製品破損)	被害者の繰り返しの使用により食品カス等が導波管カバー（マイカ板）を汚し、付着した汚れが加熱され炭化・スパークし、火花が庫内壁面を焦がしたものと推定される。 なお、取扱説明書には『庫内や付属品に食品カスなどがついたまま加熱しない。汚れがついたまま使用すると、火花や発火、発煙につながる。』旨記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2006/09/07)
2008-4366 2008/12/00 (事故発生地) 愛知県	電子レンジ 約12年9か月	使用中の電子レンジの庫内上部と側面から「パチパチ」と音がして火花が発生し、左後方から灰色の煙が出た。 (製品破損)	本体の電気部品には異常が認められず、回転皿にスパーク痕が確認されたことから、この部分に高周波が集中したものと考えられるが使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、輸入事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/01/15)
2005-1101 2004/12/24 (事故発生地) 東京都	電子式冷温蔵庫 EZ-12 大自工業（株） 約3か月	約3ヶ月間連続使用していた電子冷蔵庫から発火した。 (拡大被害)	スイッチ基板の銅箔パターンに施したはんだ盛りが不適切であったため、パターン間で回路が短絡し、異常発熱したものと推定される。	2009（平成21）年10月16日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2005/10/06)
2005-1102 2005/07/27 (事故発生地) 京都府	電子式冷温蔵庫 EZ-12 大自工業（株） 約1年	使用中の電子冷蔵庫から発火した。 (拡大被害)	スイッチ基板の銅箔パターンに施したはんだ盛りが不適切であったため、パターン間で回路が短絡し、異常発熱したものと推定される。	2009（平成21）年10月16日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で製品交換を行っている。	輸入事業者 (受付:2005/10/06)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2077 2008/04/18 (事故発生地) 石川県	電子消臭芳香器（プラグ式） 約1か月	居間にある2口壁コンセントの上側にプラグ式電子消臭芳香器、下側に携帯電話用のACアダプターを差して使用していたところ、携帯電話用のACアダプターが「バン」とはじけ火花が出て、黒煙が上がった。 なお、プラグ式電子消臭芳香器は、加熱ヒーターが組み込まれた上部の本体と下部の薬液ボトルで構成され、薬液ボトルから延びた芯にしみ込んだ薬液を加熱拡散するものであった。	破損したACアダプターに当該製品の内容液（植物油等）のにおい及び鏡面破損の痕跡が残っていたことから、プラグ式電子消臭芳香器を過って倒し、薬液ボトルの空気穴や芯から多量の内容液が漏れて本体内部に溜まり、再度、コンセントに差し込んだ際、内容液が伝い垂れて、直下に差し込んでいたACアダプター筐体（ポリカーボネート製）の脆化及びACアダプターのプラグ刃付近でのショートを引き起こしたものと推定される。	消費者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、製品の仕様及び表示の見直しについて検討することとした。	消費者センター (受付:2008/08/22)
2009-1763 2009/09/12 (事故発生地) 福岡県	電磁調理器 不明	IHクッキングヒーターで加熱中のシチューが突然飛び散り、顔と手に火傷を負った。	とろみがあるシチューをかき混ぜずにふたをした状態で加熱したため、流動性が低く加熱されにくい上層部が、局部的に加熱される下層部の沸騰をおさえる状態になっていたところに、ふたを取った刺激で圧力バランスが崩れて下層部の水蒸気が急激に噴き出したものと推定される。 なお、取扱説明書及び本体には、突沸に類する現象及びその危険性について警告表示されていた。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/09/29)
2008-4689 2008/12/26 (事故発生地) 石川県	電磁調理器 不明	IHクッキングヒーターに載せたフライパンから発火した。	左側ヒーターに載せたなべを加熱しようとして、誤って右側ヒーターのスイッチを押してしまったため、右側に載せていた油の入ったフライパンが加熱され、油が発火したものと推定される。 なお、通電中のスイッチ及びヒーター部は、ランプが点灯する構造となっている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書には、『揚げ物をするときは、揚げ物キープで調理する。そばを離れない。必ず付属の天ぷらなべを使う。500g未満の油では調理しない。油が発火するおそれがある。』旨記載している。	製造事業者 (受付:2009/02/02)
2009-2150 2009/10/15 (事故発生地) 広島県	電磁調理器 不明	IHクッキングヒーターを使用してなべで湯を沸かしていたところ、湯が噴き出し、顔に火傷を負った。	作動状態を含め、当該品に異常は認められなかったことから、突沸現象が生じた可能性が考えられるが、詳細な使用状況は不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/10/30)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2313 2009/11/09 (事故発生地) 大阪府	電磁調理器 不明	IHクッキングヒーターを使用して なべで湯を沸かしていたところ、湯が 噴き出し、火傷を負った。 (軽傷)	作動状態を含め、当該品に異常は認められなかった ことから、突沸現象が生じた可能性が考えられるが、 詳細な使用状況は不明であり、原因の特定はできな かった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。	製造事業者 (受付:2009/11/18)
2009-0164 2009/03/29 (事故発生地) 岡山県	電磁調理器 約3年10か月	IHクッキングヒーターから異臭が し、発煙した。 (製品破損)	雑音防止用コンデンサーの一部が焼損し、異臭、発 煙が生じたものと考えられるが、当該コンデンサーに 不具合があったのか、外来サージによる過電圧印加に よるものなのか、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情 報はないことから、今後の事故発生状況を注視し 、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2007-3149 2007/08/28 (事故発生地) 京都府	電磁調理器 約7年	プラスチックが焼けるようなにおい がするので台所を点検したところ、I Hヒーター付近が熱く、異音が生じた。 (製品破損)	事故品が入手できないことから、調査できなかった 。 (G2)	製造業者等は不明であり、事故品が入手できな いことから、調査不能であるため、措置はとれな かった。	消費者センター (受付:2007/08/29)
2008-4023 2008/11/29 (事故発生地) 大阪府	電磁調理器 不明	電磁調理器で揚げ物を調理中に出火 し、壁が焦げた。 (拡大被害)	被害者が少量の油で揚げ物調理したため、温度調節 機能が正常に作動せず、油が過熱して発火に至ったも のと推定される。 なお、取扱説明書には「最小油量800g(0.9 L)よりも少ない油で揚げ物をしない」旨記載されて いる。	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	国の行政機関 (受付:2008/12/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2008-3814 2008/12/04 (事故発生地) 高知県	電磁調理器 不明	電磁調理器の上で使用していたカセットこんろから発煙した。 (拡大被害)	被害者が電磁調理器の上でカセットこんろを使用中、カセットこんろのスイッチを切るつもりが、誤って電磁調理器の電源を入れたため、カセットこんろの部品（配線部）が加熱され発煙したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/12/08)
2009-2427 2009/10/31 (事故発生地) 京都府	電磁調理器 不明	IHクッキングヒーターで揚げ物を調理中、天ぷら油から発火した。 (拡大被害)	揚げ物調理中にその場を離れ、さらに、温度センサーが検知できない、中央に凹みのあるなべ及び少量の油（約400g）により調理を行ったため、油が発火したものと推定される。 なお、取扱説明書には『調理中はその場を離れない。付属のなべを使用する。揚げ物調理は800g未満の油では行わない。発火の原因になる。』旨の警告表示が記載されている。 (E1)	使用者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/11/27)
2009-0074 2009/03/19 (事故発生地) 広島県	電磁調理器（ビルトイン型） 約3年10か月	IHクッキングヒーターで加熱を開始したまま目を離れた間に天ぷら鍋の油が発火し、操作パネルの一部とレンジフードの一部が熱変形した。 (拡大被害)	付属の専用鍋を使用していたが、油が少量（200g）で、加熱モードが『揚げ物』でなく『通常』であったため、目を離れた間に油が過熱され、発火したものと推定される。 なお、本体及び取扱説明書には、『揚げ物調理中そばを離れない。揚げ物調理をする時は『揚げ物』モードを使用する。油は500g未満では調理しない。油が発火するおそれがある。』旨記載されており、専用鍋には油量500gの位置に刻印をしている。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/04/07)
2007-2224 2007/05/26 (事故発生地) 大阪府	電磁調理器（ビルトイン型） 不明	IHクッキングヒーターにサラダ油を少量入れた片手鍋をかけ、タイマーセットして加熱スイッチを入れ、その場を離れていたところ、炎が上がり台所の側壁を焼損した。 (拡大被害)	揚げ物を調理する際に、『揚げ物』モードを使用せず、『加熱』モードを使用し、さらに市販の鍋に少量のサラダ油を入れて加熱したため、油温が急激に上昇し、油が発火したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『揚げ物をするときは、揚げ物キーで調理する』、『そばを離れない』、『必ず付属の天ぷらなべを使う』、『500g未満の油では調理しない』旨記載している。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2007/07/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3501 2008/11/16 (事故発生地) 埼玉県	電磁調理器(卓上用) IC-D1 三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株) 約1年	IH調理器で調理中、ゴムの焦げるようなにおいがして調理器から白い煙が噴き出し、トッププレートが火傷するぐらい熱くなった。	制御基板上のフィルムコンデンサーに不良品が混入したため、コンデンサー内部のフィルムとリード接続部で接触不良により異常発熱し、発煙したものと推定される。 なお、トッププレートは正常時においても温度は高くなるものであり、事故品の温度に異常は認められなかった。	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であり、電流ヒューズが溶断して終息し、拡大被害に至る可能性は低いことから、既製品については措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については部品メーカー及び製造工程へのフィードバックを行う等品質管理の強化を徹底することとした。	消費者 (受付:2008/11/17)
2009-0829 2006/03/10 (事故発生地) 不明	電動コーヒーミル SKU179396(シルバー) スターバックスコーヒー ジャパン(株) 不明	電動コーヒーミルのスイッチを切った後も、刃が回転し続ける。	押しボタンスイッチを押すための連結棒周囲の隙間に、挽き豆が入り込むことがある構造であったため、スイッチの戻りが悪くなり、スイッチを切っても刃の回転が止まらなかったり、スイッチを入れなくても刃が回転してしまうものと推定される。	2009(平成21)年6月17日付けホームページ及び新聞に社告を掲載し、製品の回収と返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/22)
2009-0858 2006/11/13 (事故発生地) 不明	電動コーヒーミル SKU179396(シルバー) スターバックスコーヒー ジャパン(株) 不明	電動コーヒーミルのスイッチを入れていないのに、コンセントを差しただけで回転する。	押しボタンスイッチを押すための連結棒周囲の隙間に、挽き豆が入り込むことがある構造であったため、スイッチの戻りが悪くなり、スイッチを切っても刃の回転が止まらなかったり、スイッチを入れなくても刃が回転してしまうものと推定される。	2009(平成21)年6月17日付けホームページ及び新聞に社告を掲載し、製品の回収と返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/25)
2009-0859 2007/05/22 (事故発生地) 不明	電動コーヒーミル SKU179396(シルバー) スターバックスコーヒー ジャパン(株) 不明	電動コーヒーミルのスイッチを切っても、刃の回転が止まらない。	押しボタンスイッチを押すための連結棒周囲の隙間に、挽き豆が入り込むことがある構造であったため、スイッチの戻りが悪くなり、スイッチを切っても刃の回転が止まらなかったり、スイッチを入れなくても刃が回転してしまうものと推定される。	2009(平成21)年6月17日付けホームページ及び新聞に社告を掲載し、製品の回収と返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0860 2007/08/24 (事故発生地) 不明	電動コーヒーマル SKU179396 (シルバー) スターバックスコーヒー ジャパン (株) 不明	電動コーヒーマルのスイッチを入れていないのに、刃が回転する。 (被害なし)	押しボタンスイッチを押すための連結棒周囲の隙間に、挽き豆が入り込むことがある構造であったため、スイッチの戻りが悪くなり、スイッチを切っても刃の回転が止まらなかったり、スイッチを入れなくても刃が回転してしまうものと推定される。 (A1)	2009 (平成21) 年6月17日付けホームページ及び新聞に社告を掲載し、製品の回収と返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/25)
2009-0861 2008/04/24 (事故発生地) 不明	電動コーヒーマル SKU179396 (シルバー) スターバックスコーヒー ジャパン (株) 不明	電動コーヒーマルのふたを開けたところ、スイッチを入れていないのに刃が回転する。 (被害なし)	押しボタンスイッチを押すための連結棒周囲の隙間に、挽き豆が入り込むことがある構造であったため、スイッチの戻りが悪くなり、スイッチを切っても刃の回転が止まらなかったり、スイッチを入れなくても刃が回転してしまうものと推定される。 (A1)	2009 (平成21) 年6月17日付けホームページ及び新聞に社告を掲載し、製品の回収と返金を行っている。	輸入事業者 (受付:2009/06/25)
2008-0348 2007/11/18 (事故発生地) 宮崎県	電動ベッド 不明	リモコンスイッチから手を離してもベッドの背上げ動作が止まらなかった。 (被害なし)	リモコンスイッチの樹脂製ケースが熱変形したため、ボタンの縁がケースに引っ掛かってボタンが戻らなくなり、ベッドの背上げが最大角度まで動いた可能性が考えられるが、内部の電気部品に異常は認められず、使用状況等が不明であるため、ケースが変形した原因の特定はできなかった。 (G1)	他に同種事故発生の情報はなく、事故原因が不明であるため、今後の事故発生状況を注視することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/04/17)
2008-5328 2009/03/15 (事故発生地) 宮城県	電動ベッド 約3日	電動ベッドを使用中、脚側の床 (マットを敷く面で4分割されている) を上げようとした際に、床が外れてベッドフレームから脱落した。 (被害なし)	設置業者がベッドを組立てる際に、脚側の床をベッド本体に固定する組付けピンの脱落防止のために挿入するスナップピンを正しく奥まで挿入しなかったため、使用中に組付けピンが外れ、脚側の床が抜け落ちたものと推定される。 (D1)	当該設置業者及び管理しているレンタル卸業者 (販売先) に対して、ベッドの組立に関する再指導を実施した。	消費者センター (受付:2009/03/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4772 2009/01/31 (事故発生地) 神奈川県	電動ミシン 約5年6か月	電動ミシンを使用中、布押さえレバーを上げようとしたところ、急に針を固定するネジ部分が持ち上がり、右手親指が本体とネジの間に挟まれて抜けなくなり、軽傷を負った。 (軽傷)	被害者が布押さえレバーを上げようとした際、身体または縫製中の布によって、本体手前側にあるスタート・ストップスイッチが押されたため、針や針固定ネジなどの可動部が作動し、指が固定ネジとミシン本体との間に挟まれたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/02/06)
2009-0824 2009/06/14 (事故発生地) 神奈川県	電動工具（ドライバー、ドリル兼用） 約1日	電動ドリルで作業中、突然刃が三つに折れ、一部が顔にあたって切り傷を負った。 (軽傷)	折れたドリル刃の強度に問題はなく、被害者が穴開け作業中に曲げ荷重を加えたため、ドリル刃が折損したものと推定される。 なお、取扱説明書には「保護メガネ、保護マスクを使用して下さい。」との記載があるが、被害者は保護具を使用していなかった。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/06/22)
2008-3054 2008/03/17 (事故発生地) 神奈川県	電動歯ブラシ 約1回	電動歯ブラシを使用中、ブラシの柄（ブラシ土台のプラスチック円形部分）が上前歯の差し歯に触れ、差し歯の一部が欠け落ちた。 (軽傷)	差し歯に当たったとされるブラシの柄に異常はなく、本体駆動並びにブラシを検査した結果社内規格どおりであり、使用状況が不明のため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2008/10/14)
2009-0938 2009/06/00 (事故発生地) 岐阜県	電動歯ブラシ（充電式） デンタルソニックプロ (有) i a m p l a n n i n g 約4か月	使用中の電動歯ブラシの持ち手のスイッチ部分が熱くなり、火花と煙が出て、顔に軽い火傷を負った。 (軽傷)	本体カバーが接着不良であったため、内部に水が浸入し、回路が短絡してトランジスターが焼損し、外郭樹脂が溶融し火花が出たものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は、2009（平成21）年4月で輸入販売を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3057 2007/01/29 (事故発生地) 大阪府	電熱マット（痩身用） 約4か月	電熱マットを使用中に発煙、発火し、周囲が溶けて火花が出た。 (製品破損)	事故品のヒーター一部分に断線が認められたが、被害者の要望により、事故品の分解等ができず、原因究明に至る調査ができなかった。 (G2)	被害者の要望により、調査開始前に事故品の返却を行ったことから調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/01/29)
2006-3691 2007/02/07 (事故発生地) 大阪府	電熱マット（痩身用） 約4か月	電熱マットの一部が焦げた。 (製品破損)	電熱マットに機械的ストレスが加わったため、ヒーター板が破断して局所的に異常発熱し、焦げたものと考えられるが、使用状況等が不明であり、ヒーター板が破断した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	販売事業者 (受付:2007/03/06)
2009-2101 2009/10/20 (事故発生地) 山梨県	電話機（コードレス） 約4年	コードレス電話機の子機で通話中に、「カチ」という音の後、通話が切れた。電池ボックスのカバーを外して、電話をかけ直そうとしたが繋がらず、その後スパークした。 (製品破損)	バッテリーパック（ニッケル水素）を子機に接続するリード線が、コネクター部で断線・短絡したため、コネクターが焼損するとともにリード線の被覆が溶融したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、リード線が断線した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、リード線が短絡してもバッテリーパック内の保護回路が作動し、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/10/26)
2008-3989 2008/12/10 (事故発生地) 福岡県	配線器具（1口タップ） 不明	集合住宅の一室の壁コンセント付近から出火し、壁の一部などを焼損した。 (拡大被害)	壁コンセントに接続されていた1口タップとテレビの差込みプラグとの間に埃等が付着し、トラッキング現象が生じて発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2008/12/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3765 2008/11/27 (事故発生地) 山形県	配線器具（コードリール） 不明	木造2階建て住宅から出火して、約262平方メートルを全焼し、家人1人が煙を吸って軽傷を負った。 (軽傷)	延長コードが短絡して出火し、火災に至ったものと考えられるが、事故品の焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/12/04)
2008-4168 2009/01/03 (事故発生地) 大阪府	配線器具（コンセント） 約12年	オイルヒーターの電源を抜こうとしたところ、電源プラグのカバーが溶融し、埋め込みコンセントの一部が炭化していた。 (拡大被害)	事故品の屋内配線の接続端子部から製品には使用していない硫黄成分が検出されたことから、異物が付着したため、接続端子部で接触不良を起こして異常発熱し焼損したものと考えられるが、接触不良の原因となった硫黄を含有する異物の由来については、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/01/05)
2009-1075 2009/06/00 (事故発生地) 徳島県	配線器具（コンセント） 不明 不明 約30年	エアコンの電源プラグと壁のコンセントが燃えた。 (製品破損)	長期使用（30年以上）により、当該品と屋内配線を接続するネジ締め付け部で緩みが生じたため、接触抵抗が増大し異常発熱してコンセントの樹脂ケース部が焼損、発煙したものと推定される。 (C1)	製造業者等が、不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/07/08)
2008-4326 2008/12/17 (事故発生地) 滋賀県	配線器具（コンセント） 約33年	使用中のエアコンのプラグを接続したコンセント付近から発煙した。 (製品破損)	内部の金属部品から硫黄が検出されたことから、刃受けばねが硫化腐食し、接触抵抗が増大したため発熱し、さらに銅の酸化が促進され刃受けばねとプラグが接触不良となり、焼損・発煙に至ったものと考えられるが、硫黄の発生源が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/01/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3014 2008/09/30 (事故発生地) 福島県	配線器具（コンセント） 不明	木造一部2階建て住宅から出火し、約109.82平方メートルを全焼した。 (拡大被害)	壁コンセントの受刃と延長コードのプラグの間で接触不良となり、異常発熱して発火した可能性が考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/10/08)
2009-0804 2009/04/02 (事故発生地) 埼玉県	配線器具（コンセント） 約7年	壁コンセントにオイルヒーターを接続して使用していたところ、コンセントとオイルヒーターの電源プラグが焦げた。 (拡大被害)	壁コンセント内部の電極端子板と屋内配線との接続部で接触不良が生じたため、本来流れるべき電極端子板に電流が流れず、屋内配線を接続固定するステンレス製ばね（錠ばね）に電流が流れて異常発熱し、発火したものと考えられるが、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2009/06/18)
2009-0926 2009/06/00 (事故発生地) 愛知県	配線器具（コンセント） 不明	電気ケトルの電源プラグの刃の付け根部樹脂が溶融し、壁コンセントが焦げた。 (拡大被害)	壁コンセント内部の電極端子板と屋内配線との接続部で接触不良が生じたため、本来流れるべき電極端子板に電流が流れず、屋内配線を接続固定するステンレス製ばね（錠ばね）に電流が流れて異常発熱し、発火したものと考えられるが、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 なお、電気ケトルの電源プラグには原因となる異常はなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	市町村 (受付:2009/07/01)
2007-6696 2008/02/27 (事故発生地) 宮城県	配線器具（スイッチ付コンセント） 約1年	コンセントにつないだマルチタップにオイルヒーターをつないでいたところ、コンセント付近から焦げ臭いにおいがし、マルチタップが焦げていた。 (製品破損)	刃受けとオイルヒーターの栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと考えられるが、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報は無いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2008/03/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3636 2007/08/21 (事故発生地) 千葉県	配線器具（スイッチ付コンセント） 不明	スイッチ付コンセントにエアコンのプラグを接続して使用していたところ、コンセントとエアコンプラグなどが焼損した。 (拡大被害)	当該品の刃受けに荒れが認められることから、刃受けとエアコンの栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと考えられるが、エアコンが入手できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/10/02)
2007-4674 2006/09/14 (事故発生地) 愛知県	配線器具（スイッチ付コンセント） 不明	節電タップにエアコンのプラグを接続して使用していたところ、タップ差込み部とエアコンプラグが溶け、壁のコンセントも焦げた。 (製品破損)	当該品の刃受けに荒れが認められることから、刃受けとエアコンの栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと考えられるが、エアコンが入手できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2007/12/03)
2007-5965 2008/01/03 (事故発生地) 佐賀県	配線器具（スイッチ付コンセント） 約2か月	エアコンを接続して使用していた節電タップから発煙し、エアコンのプラグ、節電タップのコンセント差し込み口が焦げた。 (拡大被害)	当該品の刃受けに荒れが認められることから、刃受けとエアコンの栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと考えられるが、エアコンが入手できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/02/04)
2007-4675 2007/01/29 (事故発生地) 兵庫県	配線器具（スイッチ付コンセント） 不明	節電タップに加湿器を接続して使用していたところ、焦げ臭いにおいがして接続部分が溶けた。 (製品破損)	当該品の刃受けに荒れが認められることから、刃受けと加湿器の栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと考えられるが、加湿器が入手できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2007/12/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4676 2007/02/22 (事故発生地) 不明	配線器具（スイッチ付コンセント） 不明	節電タップに暖房器具を接続して使用していたところ、焦げ臭いにおいがした。 (製品破損)	当該品の刃受けに荒れが認められることから、刃受けと暖房器具の栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと考えられるが、暖房器具が入手できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2007/12/03)
2008-0169 2008/02/13 (事故発生地) 東京都	配線器具（スイッチ付タップ） 約1年	マルチタップにACアダプターを接続して、携帯電話を充電後、タップから突然火花が出て、差込み口が黒く焦げた。 (製品破損)	マルチタップに接続していた充電用ACアダプターのプラグの栓刃間を導電性の異物等が短絡して火花が発生し、差込み口を焦がしたものと考えられるが、ACアダプターは提供されず、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/04/10)
2009-0961 2009/06/30 (事故発生地) 奈良県	配線器具（スイッチ付マルチタップ） SSW-66G (株) オーム電機 約1年	マルチタップのスイッチ部を操作した際に火花が生じた。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が成形不良により破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと推定される。 (A3)	本体内部で一時的に火花が生じて終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/07/06)
2009-1342 2009/05/21 (事故発生地) 熊本県	配線器具（スイッチ付マルチタップ） AC-P3 ティアック（株） 不明	スイッチ付マルチタップにミニコンポを接続し、スイッチを入れたところ、火花が散ってスイッチが取れた。 (製品破損)	当該品本体にタンブラー式スイッチを圧入する工程で、本来の治具とは異なる不適切なものを使用したため、スイッチを支えている回転軸部分に亀裂が生じて、使用中に破損し摺動ピンで押さえつけられていた可動切片が移動し、ばねと短絡しスパークしたものと推定される。 (A2)	2008（平成20）年3月28日付けでホームページに使用上の注意事項を掲載し、注意喚起を行っている。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2009/08/14)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0441 2009/03/18 (事故発生地) 大阪府	配線器具（タイマー付 コンセント） 約4か月	デジタルタイマー付きコンセントが 焼損した。 (製品破損)	基板上のリレーのはんだ付け部に異物が付着したため、トラッキング現象により焼損したものと推定されるが、異物が特定できず、使用状況等も不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報は無いことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。	販売事業者 (受付:2009/05/12)
2009-0043 2009/03/20 (事故発生地) 不明	配線器具（テーブルタ ップ） CNT-204 (株) ニコーエージェンシ ー 約6か月	節電スイッチ付き4口マルチタップ のうちの1口のスイッチが入らなくな った。 (製品破損)	スイッチ端子と接続金具をはんだ付けし忘れたため、金具がずれて外れ、電源が入らなくなったものと推定される。 (A2)	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/04/03)
2007-7055 2008/03/01 (事故発生地) 兵庫県	配線器具（テーブルタ ップ） 不明 協和物産（株） 約2年	オイルヒーターとテレビ、ビデオデ ッキの電源に使用していたテーブルタ ップから異臭がし、裏面が焦げていた 。 (製品破損)	スイッチ付きタップのスイッチ内部で、接触不良により異常発熱し、周辺樹脂が焦げたものと推定される。 (A2)	事業者の所在が不明であるため、措置はとれなかったが、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。	消費者センター (受付:2008/03/18)
2008-3853 2008/12/02 (事故発生地) 神奈川県	配線器具（テーブルタ ップ） 不明	木造2階建て住宅から出火し、約 81平方メートルを全焼した。こたつ 付近が燃えていた。 (拡大被害)	テーブルタップから出火した可能性が高いと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/12/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3777 2008/11/27 (事故発生地) 千葉県	配線器具（テーブルタップ） 不明	木造2階建て住宅から出火して、約175平方メートルを全焼した。 (拡大被害)	テーブルタップのコードが、椅子の下敷きとなり、コード内の芯線に溶融痕が認められることから、外部からの機械的ストレスにより、芯線が半断線状態となり、被覆を溶かしてスパークし、発火・延焼したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2008/12/05)
2009-1151 2009/07/14 (事故発生地) 千葉県	配線器具（テーブルタップ） 約3年	テーブルタップ付近から発煙、発火し、焦げて穴が開き、周辺が溶けた。 (拡大被害)	テーブルタップを水槽のそばで使用していたため、当該品に水が掛かってタップの内部でトラッキング現象が生じ、発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/07/23)
2009-0073 2009/01/15 (事故発生地) 岡山県	配線器具（テーブルタップ） 不明	ハロゲンヒーターを接続したテーブルタップから大きな音が生じ、火花が出た。 (製品破損)	マルチタップ側のコード引き出し部付近で、過度の屈曲や機械的ストレスが繰り返されたため、コードの芯線が半断線状態となり、短絡・スパークしたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、ホームページに配線器具の日常点検を促す注意喚起を掲載するとともに、日本配線器具工業会と連携して啓発パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2009/04/07)
2009-0765 2009/03/31 (事故発生地) 東京都	配線器具（テーブルタップ） 約3年	3口のテーブルタップに電気ストーブを接続して使用していたところ、テーブルタップが溶融した。 (製品破損)	延長コードの刃受けと電気ストーブの栓刃の間で接触不良が生じたため、異常発熱して樹脂部が溶融し変色・変形したものと考えられるが、接触不良が生じた原因は特定できなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/06/15)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0561 2009/05/17 (事故発生地) 愛知県	配線器具（テーブルタップ） 約11年3か月	スチール棚の上に設置していた観賞魚用水槽の下部付近から出火し、壁の一部と水槽の一部を焼損した (拡大被害)	延長コードをスチール棚に掛けてタップ部を吊り下げて使用していたため、スチール棚に設置していた水槽の水が、タップにかかり、水分が内部に浸入し、トラッキングが生じて発火に至ったものと推定される。 なお、延長コードを含めた水槽セットはリース品で水の入れ替えなどはリース会社が行っていた。	設置不良による事故で、製品に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2009/05/25)
2009-1650 2009/08/23 (事故発生地) 長崎県	配線器具（テーブルタップ） 不明	テーブルタップ付近から出火し、鉄筋2階建ての住宅の1階の一部を焼いた。 (拡大被害)	事故品のコードに溶融痕が認められたが、解析の結果、一次痕か二次痕か判定できず、原因の特定できなかった。	製造業者等が不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	警察機関 (受付:2009/09/14)
2007-3333 2007/08/25 (事故発生地) 宮城県	配線器具（テーブルタップ） 不明	住宅の台所周辺から出火し、電気炊飯器や電気ポットの一部と家具や配線器具を焼いた。 (拡大被害)	事故品の定格を超えた電化製品を接続し使用していたため、コードのプラグ付近で異常発熱し、ショートして火災に至ったものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2007/09/07)
2009-1512 2009/09/01 (事故発生地) 栃木県	配線器具（テーブルタップ） 不明	テーブルタップが変形し、差し込んでいた除湿機の電源プラグが抜けなくなった。 (製品破損)	除湿機の電源プラグの差し込みが不十分であったため、接触不良により異常発熱し、タップが熱変形したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/09/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5205 2008/01/19 (事故発生地) 埼玉県	配線器具（テーブルタップ） 約1年	節電スイッチ付き4口マルチタップにオイルヒーターを接続して使用していたところ、マルチタップの差込口が変色、変形した。 (製品破損)	当該品にオイルヒーターを接続して使用していた際に、刃受けと栓刃の間で接触不良が生じたため、異常発熱して樹脂部が溶融し変色・変形した可能性が考えられるが、オイルヒーターが入手できないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)
2008-5198 2008/12/10 (事故発生地) 千葉県	配線器具（テーブルタップ） 約8か月	節電スイッチ付き4口マルチタップにホットプレートを接続して使用していたところ、マルチタップの差し込み口と外郭裏側が変色、変形した。 (製品破損)	当該品にホットプレートを接続して使用していた際に、刃受けと栓刃の間で接触不良が生じたため、異常発熱して樹脂部が溶融し変色・変形した可能性が考えられるが、ホットプレートが入手できないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)
2008-5202 2009/01/31 (事故発生地) 兵庫県	配線器具（テーブルタップ） 不明	節電スイッチ付き4口マルチタップに電気ストーブを接続して使用していたところ、差し込み口が少し溶けた。 (製品破損)	当該品の内部にゴミブリが入り込んだため、刃受けの極間で短絡状態となって異常発熱し、樹脂部が溶融したものと推定される。 (F1)	偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)
2008-5200 2008/12/28 (事故発生地) 埼玉県	配線器具（テーブルタップ） 約7か月	節電スイッチ付き4口マルチタップの1口が変形した。 (製品破損)	当該品の内部に液体の調味料等が入り込んだため、腐食等により刃受けと栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して樹脂部が溶融したものと推定される。 なお、取扱説明書には、『コンセントにプラグ以外の異物を入れない。水のかかる場所では使用しない。感電や火災の原因になる。』旨、記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5201 2009/01/20 (事故発生地) 千葉県	配線器具（テーブルタップ） 不明	節電スイッチ付き4口マルチタップにセラミックヒーターを接続して使用していたところ、マルチタップの1口が溶けて変色した。 (製品破損)	当該品の内部に液体の調味料等が入り込んだため、腐食等により刃受けと栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して樹脂部が溶融し変色したものと推定される。 。なお、取扱説明書には、『コンセントにプラグ以外の異物を入れない。水のかかる場所では使用しない。感電や火災の原因になる。』旨、記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)
2008-5207 2009/02/18 (事故発生地) 愛知県	配線器具（テーブルタップ） 不明	節電スイッチ付き6口マルチタップに蓄熱式電気ストーブを接続していたところ、マルチタップの差し込み口が溶けて変色し、裏側が溶融して穴が開いた。 (製品破損)	当該品の内部に塩素系の異物の付着が認められることから、腐食等により刃受けと栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して樹脂部が溶融し変色したものと考えられるが、異物が付着した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)
2008-5199 2008/12/24 (事故発生地) 大阪府	配線器具（テーブルタップ） 不明	節電スイッチ付き6口マルチタップの1口が変色した。 (製品破損)	当該品の内部に塩分を含んだ異物が入り込んだため、腐食等により刃受けと栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱して樹脂部が溶融し変色したものと推定される。 。なお、取扱説明書には、『コンセントにプラグ以外の異物を入れない。水のかかる場所では使用しない。感電や火災の原因になる。』旨、記載されている。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)
2008-5203 2009/02/24 (事故発生地) 広島県	配線器具（テーブルタップ） 約1年	節電スイッチ付き6口マルチタップにテレビ、ステレオ、ビデオデッキと空気清浄機を接続して使用していたところ、空気清浄機の差し込みプラグを接続していたコンセントが熱くなり、本体裏側が変形した。 (製品破損)	当該品の内部に小動物の尿が入り込んだため、刃受けの極間で短絡状態となって異常発熱し、樹脂部が変形したものと推定される。	偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1308 2009/02/28 (事故発生地) 茨城県	配線器具（テーブルタップ） 約10年	テーブルタップに電気掃除機を接続して使用していたところ、大きな音とともに発煙して溶解し、畳と床の一部が焼損した。 (拡大被害)	被害者は、普段から当該テーブルタップに掃除機を接続して使用していたことから、強い引っ張りや屈曲等の機械的ストレスにより、タップ側プロテクター部のコード芯線が半断線し、異常発熱して短絡・スパークし、発煙したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、新聞、ホームページ及び配線器具工業会のパンフレット等で、消費者への啓発活動を継続実施している。	消費者センター (受付:2009/08/10)
2009-0936 2009/06/08 (事故発生地) 福井県	配線器具（マルチタップ） 不明	キッチンカウンター付近から煙と炎が上がり、上に置いていた炊飯器やマルチタップ、延長コードが焼損し、壁の一部が焦げた。 (拡大被害)	3口マルチタップから出火したものと考えられるが、焼損が著しく、欠損部の確認ができないことから、出火した原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	不明 (受付:2009/07/02)
2007-6238 2008/02/11 (事故発生地) 福岡県	配線器具（マルチタップ） 約2年	マルチタップに接続したオイルヒーターを使用していたところ、タップの差し込み部から発火した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の接点に接触不良が生じて異常発熱し焼損したものと推定されるが、使用状況等が不明であり、スイッチの爪部分が破損した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/02/15)
2007-6936 2008/02/28 (事故発生地) 大阪府	配線器具（マルチタップ） 約5年	コンセントに差し込まれたマルチタップと延長コードとの接続部分が焼け焦げた。 (製品破損)	マルチタップと延長コードの接触不良により、異常発熱したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、接触不良となった原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2008/03/12)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1371 2008/06/27 (事故発生地) 広島県	配線器具（マルチタップ） 約6か月	壁コンセントに取り付けたマルチタップに延長コードを接続し使用していたところ、マルチタップと延長コードのプラグ部分から青白い火花が出ていた。 (製品破損)	マルチタップの刃受金具と延長コードのプラグ刃の間で接触不良が生じたため、スパークしたものと考えられるが、使用状況が不明なため、接触不良が生じた原因の特定は出来なかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/07/04)
2008-4773 2009/01/13 (事故発生地) 東京都	配線器具（マルチタップ、3口） 約3か月	3口タップに電気カーペットを接続して使用中、カーペットの電源プラグとの接続部分が溶けて変形した。 (拡大被害)	当該品の刃受金具が両極とも広がっていたため、プラグ刃との接触抵抗が増大して異常発熱し、タップの樹脂が焦げて変形したものと考えられるが、刃受金具が広がった原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/02/06)
2009-0217 2009/03/20 (事故発生地) 兵庫県	配線器具（延長コード） 約1年	使用中の節電スイッチ付4口マルチタップが変色、溶解し、差し込んでいたプラグが抜けなくなった。 (製品破損)	スイッチボタンにひびや欠けが認められることから、スイッチに衝撃等が加わった際にスイッチ内部の可動片と中央端子部の接触圧力が低下し、接触抵抗が増大し、異常発熱したものと考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/04/17)
2005-2735 2006/02/28 (事故発生地) 愛知県	配線器具（延長コード） 約1年	スイッチ付きテーブルタップより煙と火花が出て、タップとホットカーペットカバーの一部が焼損した。 (拡大被害)	スイッチ部から液体が浸入したため、タップ内部でトラッキングが生じて焼損に至ったものと推定される。 。なお、商品外装箱には、注意喚起として、『水のかかりやすい場所での使用及び濡れた手で触らない。』旨記載している。 (E2)	消費者の不注意とみられる事故のため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2006/03/03)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6338 2007/10/29 (事故発生地) 大阪府	配線器具(延長コード)	スイッチ付きマルチタップにパソコンを接続してタップのスイッチを入れたところ、スイッチ部から火花が出た。	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2008/02/18)
2009-0167 2004/02/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株)	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0168 2004/04/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株)	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0169 2004/07/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株)	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0170 2004/09/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0171 2004/10/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0172 2004/12/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0173 2005/05/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0174 2005/07/00 (事故発生地) 不明	配線器具（延長コード） WHS2924 パナソニック電気（株） 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0175 2005/09/00 (事故発生地) 不明	配線器具（延長コード） WHS2924 パナソニック電気（株） 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0176 2005/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具（延長コード） WHS2924 パナソニック電気（株） 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0177 2005/12/00 (事故発生地) 不明	配線器具（延長コード） WHS2924 パナソニック電気（株） 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ（通電ランプ内蔵）を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0178 2006/09/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップから火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0179 2006/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0180 2007/09/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部から火花が出た。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、本体内部で一時的に火花が発生して終息し、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2006-0807 2006/07/06 (事故発生地) 東京都	配線器具(延長コード) 不明	パソコンテーブル上で使用していたテーブルタップのスイッチ部分から発火した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、スイッチ内部の金具と通電ランプ用のスプリングが接触して火花が発生したものと推定されるが、使用状況等が不明であり、スイッチの爪部分が破損した原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、薬品が影響した可能性も考えられることから、耐薬品性を向上することとした。	消費者団体 (受付:2006/07/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0181 2003/08/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0182 2004/02/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0183 2004/02/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0184 2004/05/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0185 2004/07/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0186 2004/10/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0187 2004/10/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0188 2004/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0189 2005/01/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0190 2005/03/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0191 2005/06/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0192 2005/07/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0193 2005/07/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0194 2005/08/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0195 2005/08/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0196 2005/09/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0197 2005/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0198 2005/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0199 2005/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0200 2005/11/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0201 2006/01/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0202 2006/04/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0203 2006/05/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 約5年	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0204 2006/10/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0205 2006/12/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が脱落した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0206 2007/05/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2009-0207 2007/05/00 (事故発生地) 不明	配線器具(延長コード) WHS2924 パナソニック電気(株) 不明	スイッチ付きマルチタップのスイッチ部が破損した。 (製品破損)	タンブラー式の電源スイッチ(通電ランプ内蔵)を支えている樹脂製の爪部が破損したため、電源スイッチの操作部が外れたものと考えられるが、樹脂製の爪部が破損した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/04/16)
2008-5204 2008/03/04 (事故発生地) 奈良県	配線器具(延長コード) 約1か月	テーブルタップに延長コードをつないで電気ストープを使用していたところ、テーブルタップの差し込み口が変色、変形した。 (製品破損)	テーブルタップのプラグ保持力に異常は認められず、延長コードは廃棄されており入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者 (受付:2009/03/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2005-2407 2006/01/25 (事故発生地) 大阪府	配線器具(延長コード)	ホットプレートを使用後、1時間程して延長コードのコンセント部分が熱くなり、変形してプラグも抜けなくなった。 (拡大被害)	マルチタップと差込みプラグの接触不良により異常発熱したものと考えられるが、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2006/02/03)
2007-1921 2007/06/12 (事故発生地) 大阪府	配線器具(延長コード)	ホットプレートをつなげて使用していたテーブルタップの付け根部分から発火して、下に敷いていたカーペットが焦げた。 (拡大被害)	マルチタップ側のコードプロテクター部分で屈曲した状態で断線し、溶融痕が認められたことから、屈曲等の機械的ストレスがコードに繰り返し加えられ、芯線が半断線が生じたため異常発熱し、被覆が溶融して短絡したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/06/20)
2008-2314 2008/02/13 (事故発生地) 兵庫県	配線器具(延長コード)	電気ストーブに接続して使用していたテーブルタップの電源コードが熱くなって火花が出て畳が焦げた。 (拡大被害)	マルチタップ部に過度な外的応力が加わったため、外郭樹脂が破損し、内部のコードが半断線状態となり異常発熱し、短絡・スパークし畳が焦げたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/09/03)
2008-4570 2009/01/17 (事故発生地) 岩手県	配線器具(延長コード)	木造平屋住宅から出火し、同住宅170平方メートルを半焼した。 (拡大被害)	延長コードから出火した可能性が高いと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等が不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2009/01/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4650 2008/12/20 (事故発生地) 長野県	配線器具(延長コード) 不明	延長コードと除湿乾燥機を接続して使用していたところ、異臭がして、コードの接続部が異常に熱くなり変形し、上にあった衣類が変色した。 (拡大被害)	延長コードと除湿乾燥機のコード接続部で接触不良となり、接触抵抗が増加したため、異常発熱し、樹脂が溶融・変形し、異臭がしたものと考えられるが、使用状況等は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/01/30)
2009-0119 2009/03/04 (事故発生地) 三重県	配線器具(延長コード) 不明	2階建て住宅の2階居室から出火し、家人一人が軽症を負った。 (軽傷)	延長コードにあった溶融痕を解析したところ一次痕と判定され、溶融痕近傍の被覆に押し潰された跡が見られたことから、延長コードが長期間たんに踏まれていたため、被覆が絶縁劣化を起こし、極間短絡して出火に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/04/10)
2007-6882 2008/03/03 (事故発生地) 京都府	配線器具(延長コード) 約5年	使用中の延長コードから焦げたようなにおいがして、異音とともに発煙してプレーカーが落ち、壁のクロスが焦げた。 (拡大被害)	延長コードの1口タップ内部でトラッキング現象によって発煙、発火したものと推定されるが、焼損が著しいことからトラッキング現象が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品の製造は既に終了している。	消費者センター (受付:2008/03/10)
2009-0751 2009/06/07 (事故発生地) 福岡県	配線器具(延長コード) 不明	事務所内の延長コード付近から出火した。 (拡大被害)	延長コードのトラッキングによる火災である可能性が高いと考えられるが、複数ある延長コードの配線状況が明確でなく、すべての部品が回収されていないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/06/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5206 2009/02/14 (事故発生地) 石川県	配線器具(延長コード)	テーブルタップに延長コードをつないで電気ストーブを使用していたところ、テーブルタップの差し込み口が変色、変形した。	延長コードの許容電流値を超えて使用しており、延長コードのプラグの差し込みも不十分であったため、プラグが異常発熱して樹脂部が溶融し変色したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	不明 (受付:2009/03/10)
2004-2393 2005/01/29 (事故発生地) 大阪府	配線器具(延長コード)	壁面コンセントに接続していた延長コードの差し込みプラグ付近から出火し、約35平方メートルが焼損した。	延長コードの差し込みプラグ部分でトラッキング現象によって発火したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、トラッキング現象が生じた原因の特定はできなかった。	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2005/02/17)
2007-0049 2006/00/00 (事故発生地) 千葉県	配線器具(延長コード)	延長コードのコンセント側が熱で変形した。	延長コードの刃受けと、接続していた電気製品の差し込みプラグの栓刃の間で接触不良が生じ、異常発熱により樹脂部が変形したものと考えられるが、接続していた電気製品が確認できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2007/04/03)
2009-1136 2009/01/04 (事故発生地) 神奈川県	配線器具(延長コード)	セラミックファンヒーターを延長コードにつなげて使用していたところ、プラグ接続部分が高温になり、じゅうたんが焦げた。	延長コードの定格容量(12A)を超えて使用することを繰り返したため、刃受け部が異常発熱し、じゅうたんが変色したものと推定される。 なお、接続していたセラミックファンヒーター(定格1365W)の取扱説明書には『定格15A(1500W)以上の延長コードを使用する』旨記載されていた。	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/07/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2640 2009/12/09 (事故発生地) 富山県	配線器具(延長コード)	木造2階建て住宅の1階寝室の家具など約1.2平方メートルを焼損した。 (拡大被害)	延長コードの半断線により短絡・スパークし発火したものと推定されるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等が不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/12/14)
2009-0001 2009/03/29 (事故発生地) 群馬県	配線器具(延長コード)	コンセント付近から出火し、差し込まれていた携帯電話用充電器と延長コードが焼損した。 なお、コンセントの前には、ペットを飼育しているかごが置かれていた。 (拡大被害)	携帯電話用充電器に内部から発火した痕跡はなく、延長コードにはペットが噛んだと思われる傷が認められることから、延長コードの被覆が損傷して芯線が短絡・スパークし、周囲の綿埃などに着火して延焼したものと推定される。 (F1)	製造業者等は不明であり、偶発的な事故であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/04/01)
2006-2790 2007/01/02 (事故発生地) 京都府	配線器具(延長コード)	自宅の2階で使用していた延長コードの差込みプラグ部分から発煙し、同プラグの一部及び壁付コンセントが溶融した。 (拡大被害)	差込プラグの可動部の接触不良により、異常発熱して樹脂部が溶融し発煙したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 製造事業者 (受付:2007/01/15)
2007-7174 2007/12/00 (事故発生地) 東京都	配線器具(延長コード)	壁コンセントに延長コードをつないで携帯電話を充電していたところ、延長コードのプラグから発煙。当該プラグと壁コンセントの刃受け部分が焦げた。 (拡大被害)	差込プラグの可動部の接触不良により、異常発熱して樹脂部が溶融し発煙したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に輸入、販売を終了している。	消費者センター (受付:2008/03/25)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-0050 2006/00/00 (事故発生地) 大阪府	配線器具(延長コード)	延長コードの差込みプラグが焦げた。 (拡大被害)	差込みプラグの栓刃とコンセントの刃受けの間で接触不良が生じ、異常発熱により樹脂部が焦げたものと考えられるが、コンセントが確認できないことから、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/04/03)
2008-3660 2008/11/16 (事故発生地) 愛知県	配線器具(延長コード)	延長コードに電気ストーブをつないで使用していたところ、延長コードの刃受け付近で発火し、畳が焦げた。 (拡大被害)	事故品のコードプロテクター付近に、過度な屈曲や機械的ストレスが加わったため、コードの芯線が半断線状態となり、短絡・スパークしたものと推定される。 (E2)	消費者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/11/28)
2008-4806 2008/12/25 (事故発生地) 京都府	配線器具(延長コード)	スイッチ付OAタップにパソコンを接続して使用中、スイッチと差し込み口の間付近から異音が生じ、火花が散った。 (製品破損)	事故品のスイッチ内部に多量のほこりが認められることから、スイッチ内部に入り込んだほこりが接点間に挟まって接触不良が生じ、火花が発生したものと考えられるが、使用状況等が不明であり、ほこりが入り込んだ原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、スイッチ内部で一時的に火花が生じるだけで、スイッチ部の溶融、発火等は生じていないことから、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター (受付:2009/02/09)
2008-0407 2008/02/01 (事故発生地) 福岡県	配線器具(延長コード) TAP-245 サンワサプライ(株)	電気炊飯器のタイマーをセットしたが炊飯されておらず、接続していた延長コードの差し込みプラグ及びコンセントが焦げていた。 (拡大被害)	事故品のプラグ刃の可動部分がカシメ不良であったため、接触抵抗が増大して異常発熱し、プラグ及び接続されたコンセントの樹脂が焦げたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター (受付:2008/04/22)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4196 2008/12/27 (事故発生地) 神奈川県	配線器具(延長コード) SN1533CR (株)ヤザワコーポレーション 約1か月	電熱ヒーターを接続して、定格内で使っていたマルチタップのプラグ部分が焼損した。 (拡大被害)	事故品のプラグ刃の可動部分がカシメ不良であったため、接触抵抗が増大して異常発熱し、プラグ刃周囲の外郭樹脂が焦げたものと推定される。 (A2)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者 (受付:2009/01/06)
2006-4012 2006/11/00 (事故発生地) 滋賀県	配線器具(延長コード) 約5か月	寝室で、3口延長コードに電気ストーブとテレビを差し込み使用していたところ、マルチタップ部から「パチパチ」と音がして発火し、ストーブのコンセントと敷いていたゴザを焦がした。 (拡大被害)	事故品のマルチタップ部と電気ストーブの差込プラグ間で、接触不良となり異常発熱し、発煙・発火したものと考えられるが、使用状況等が不明であるため、接触不良となった原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 (受付:2007/03/26)	市町村 製造事業者 (受付:2007/03/26)
2008-5081 2009/02/20 (事故発生地) 福岡県	配線器具(延長コード) 約2年	延長コード付近から出火し、周辺を焼損した。 (拡大被害)	事故品の一部が入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	製造業者等が不明であり、事故品の一部が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 (受付:2009/03/02)	消防機関 (受付:2009/03/02)
2008-5192 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	配線器具(延長コード) 不明	マルチタップのスイッチ部分が外れて部品が飛び散っていたため、スイッチを元に戻そうとしたところ、火花が散りショートした。 (製品破損)	事故品の外れ飛び散った部品を元に戻す際、スイッチ内部で短絡が生じ、スパークしたものと考えられるが、飛び散った部品を支えていた樹脂製の爪部が破損した原因は、使用状況が不明であり特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、薬品が影響した可能性も考えられることから、耐薬品性を向上することとした。	製造事業者 (受付:2009/03/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1296 2006/08/25 (事故発生地) 長野県	配線器具(延長コード)	延長コードから出火し、壁の一部を焼損した。事故品は通常、電気炊飯器と電気ポットのプラグを差して使用していたが、出火当時は、電気ポットのプラグは差していたが、本体接続のマグネットプラグは外していた。	事故品の定格を超えた電化製品を接続し使用していたため、コードのコンセント付近で異常発熱し、ショートして火災に至ったものと推定される。	被害者の誤使用と見られる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2006/09/14)
2009-0218 2009/03/20 (事故発生地) 兵庫県	配線器具(延長コード)	使用中の節電スイッチ付7口マルチタップが変色、溶解した。	刃受け金具には磨耗などの発熱痕跡はないことから、埃の侵入等により接触不良があったものと考えられるが、通電しても異常温度上昇は認められず、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/04/17)
2007-4895 2007/12/12 (事故発生地) 大阪府	配線器具(延長コード)	炊飯器のプラグを差し込んで使用していたテーブルタップから発煙した。	炊飯器の差し込みプラグに異常は認められないことから、当該品の刃受け部の接触不良により、異常発熱した可能性が考えられるが、製造時に刃受けに不良があったのか、当該品が炊飯器の上部に設置されていたため、水蒸気の影響を受けたのか、原因の特定は出来なかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2007/12/14)
2008-3867 2008/11/17 (事故発生地) 石川県	配線器具(延長コード)	テーブルタップとそれに接続していた冷蔵庫と壁を焼損した。	掃除する際にバケツで水をまいていたことから、テーブルタップ内の受刃間でトラッキングが発生し、焼損したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2008/12/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3588 2008/11/17 (事故発生地) 奈良県	配線器具(延長コード)	電気ポットを接続して使用していた延長コードから火花が散った。 (製品破損)	当該延長コードにねじれた痕跡があることから、過度の屈曲や機械的ストレスが加わったため断線・スパークし、焦げたものと考えられるが、使用状況等が不明のため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/11/25)
2007-6652 2008/01/00 (事故発生地) 宮城県	配線器具(延長コード)	コンセントに差し込んだままの延長コードのプラグが溶融し片刃が焼損していた。 (拡大被害)	当該品の可動式プラグの片側の栓刃のリベットが外れていることから、接触不良により、異常発熱して焼損したのと考えられるが、製品の不具合によるものか、使用時に過度な外力が加わったものか、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/02/29)
2008-0358 2008/03/17 (事故発生地) 千葉県	配線器具(延長コード)	6口のテーブルタップに電気ファンヒーターと電話の子機の充電器、プリンターを接続して使用していたところ、電気ファンヒーターのプラグとテーブルタップの口が焦げて熱変形した。 (製品破損)	当該品の刃受けと電気ファンヒーターの栓刃の間で、接触不良が生じたため、異常発熱して樹脂部が溶融変形し、焦げたものと考えられるが、使用状況等は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/04/17)
2008-5005 2009/02/11 (事故発生地) 神奈川県	配線器具(延長コード)	スイッチ付きの6口テーブルタップにハロゲンヒーターをつないで使用していたところ、焦げ臭いにおいがし、ハロゲンヒーターのプラグを差した場所が溶けて穴が開いていた。 (製品破損)	当該品の刃受け金具が熱くなり、周囲の外郭樹脂を溶融したのと考えられるが、ハロゲンヒーターのプラグとテーブルタップの刃受けの接触不良によるものか、スイッチ接点の接触不良によるものか、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/02/23)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3979 2008/12/14 (事故発生地) 東京都	配線器具(延長コード)	セラミックファンヒーターを接続していたマルチタップの差し込みプラグから火花が出て焦げた。	被害者が当該品を組み立て時に、差し込みプラグと電源コードを接続するネジの締め付けが不十分であったため、接触不良により異常発熱し、スパークし焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には『ネジはゆるみのないようにしっかりと締める。』旨記載されている。	消費者の設置・施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2008/12/17)
2008-4455 2009/01/12 (事故発生地) 愛知県	配線器具(延長コード)	延長コードに電気ストーブ、テレビ、ドライヤーを差し込んで使用していたところ、延長コードの差し込みプラグ付近から出火し、壁を焼損した。	壁コンセントに差し込まれた当該品の差し込みプラグ部分が、長期間にわたりベッドで押さえつけられ、差し込みプラグのプロテクター付近で過度に折り曲げられて半断線となり、さらに当該品の定格容量を超える電気製品を使用したため、半断線部分が異常発熱して被覆が溶け、短絡して発火に至ったものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2009/01/20)
2008-0642 2008/03/00 (事故発生地) 東京都	配線器具(可動式タップ) スイングタップ (株)ピーエヌエス	タップが熱くなり光ったので内部を確認したところ、金属部分が黒くなっており、樹脂部が黄変していた。	事故品のプラグ刃の可動部分がカシメ不良であったため、接触抵抗が増大して異常発熱し、樹脂部が焦げたものと推定される。	事業者の所在が不明であるため、措置はとれなかったが、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応を行うこととした。	消費者センター (受付:2008/05/07)
2008-3781 2008/12/02 (事故発生地) 滋賀県	配線器具(中間スイッチ付こたつ用電源コード) NN8440 (株)エスジーユー	電気こたつを使用中に焦げ臭いにおいがし、中間スイッチに接していたふとんの一部が焦げた。	電気こたつの中間スイッチ付き電源コードの製造工程において、スイッチの「入・切」動作が重いものだけに限り可動片にグリスを塗布し生産したところ、正規のリチウムグリスではなく、シリコングリスが多量に塗布されたものが混入し、そのグリスの一部が接点部に達し接触不良となり発熱し、スイッチ部の樹脂が溶けたものと推定される。	2005(平成17)年4月20日及び12月13日付けの新聞に社告を掲載し、中間スイッチ付きコードを無償交換するとともに、在庫品のコードの取り替えを実施し、工場内のシリコングリスを使用禁止し、グリス塗布の方法の徹底を行った。さらに、未回収品による同種事故が発生したことから、2007(平成19)年2月13日には経済省が注意喚起のプレスリリースを行い、2月14日に事業者が再々社告を行った。	消費者センター (受付:2008/12/05)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-4356 2008/12/25 (事故発生地) 和歌山県	配線器具（中間スイッチ付こたつ用電源コード） 約2年	中間スイッチ付こたつ用電源コードから発火し、ふとんなどが焦げた。 (拡大被害)	本体側プラグの金属製プロテクター端部からコードが露出する部分でコードの芯線に機械的ストレスが加わり、断線・スパークして発火し、ふとんを焦がしたものと考えられるが、使用状況等は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、1999（平成11）年度以降の後継機種には、安全性を向上させるため、難燃性と耐スパーク性に優れたコードを採用している。	消費者センター (受付:2009/01/15)
2007-4653 2007/11/15 (事故発生地) 京都府	配線器具（埋込スイッチ） 約1年8か月	埋込式のスイッチから発煙、発火した。 (製品破損)	施工業者が、定格電流値が低い当該品（定格電流0.5A）を屋外の防水コンセント用に設置したため、消費者が掃除機（電流10A）を使用した際にスイッチ部に過電流が流れ、発熱・発火したものと推定される。 (D1)	当該事故原因は、配線器具取付業者によって行われた際の施工不良による事故で、製品の不具合に起因する事故ではないため、措置はとらなかった。なお、本体定格表示及びカタログ表示の改訂と負荷容量シール大きくして追加し、注意喚起を行うこととした。	消防機関 (受付:2007/11/30)
2008-3233 2008/10/11 (事故発生地) 埼玉県	白熱電球 不明	照明器具の電球からガラス部分が外れて落下し、床のマットが溶けた。 (拡大被害)	口金とガラス部分との接着部が高温状態となったため、接着していた接着剤が劣化し外れたものと考えられるが、使用していた照明器具が確認できず、接着部が高温状態となった原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2008/10/27)
2008-3423 2008/11/10 (事故発生地) 神奈川県	白熱電球 不明	照明器具の白熱電球が切れた後、電球のガラス部分だけが落下した。 (製品破損)	事故品は、ガラス球が口金付近で円周に沿って破断しており、起点とみられる箇所には傷があったことから、繰り返しの使用による熱ストレス（点灯・消灯時の温度差）で傷が伸展して破損に至ったものと考えられるが、傷が生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2008/11/11)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2846 2008/09/12 (事故発生地) 神奈川県	美顔器 約2日2回	スチーム式美顔器を使用したところ、熱湯が飛んで顔にかかり、火傷を負った。 (軽傷)	当該製品は、金属製の容器に約25mLの水を入れてヒーターで加熱し、発生するスチームに顔をかざす美顔器で、使用初期にあつて偶発的に突沸現象が生じた可能性や、規定量を超えて容器いっぱいの水を入れたために沸騰水のしぶきが強く揚がった等の可能性が考えられるが、詳細な使用状況は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、熱湯の飛散が懸念される状況について、取扱説明書に追記することとした。	消費者センター (受付:2008/09/30)
2009-1423 2009/05/23 (事故発生地) 神奈川県	美顔器 ECL-TEP (株)エビス 約7日	美顔器を連続して約1週間使用したところ、顔の一部が腫れた。 (重傷)	当該製品は、超音波の振動を利用した美顔器で、取扱説明書には1日1回(週2~3回)を目安に使用する旨記載されているが、被害者が連続して1週間使用したために顔の一部が腫れたものと推定される。 なお、取扱説明書及び本体には、毎日使用した場合に異常が生じる可能性がある旨の注意事項は表示されていなかった。 (B4)	他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2009/08/26)
2009-2236 2009/10/29 (事故発生地) 大阪府	美顔器 約3年	スチーム式美顔器を使用したところ、熱湯が飛んで顔と首にかかり、火傷を負った。 (軽傷)	被害者は、製品に付属の給水カップを使用せず、他の容器(コップ)を用いて満水表示を超える量を注水しており、また、注水後に本体を動かしていることから、沸騰時のしぶきが強くあがつて蒸気吹出口から飛散し、顔や首にかかったものと推定される。 なお、製品本体には、吹出口から湯滴が飛び出す可能性があることとして、「水を入れた状態で本体をゆすらない」「給水カップ以外で水を入れない」などが警告表示されていた。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/11/10)
2009-2095 2009/10/13 (事故発生地) 東京都	無停電電源装置(UPS) Smart UPS/SU700J (株)エーピーシー・ジャパン 約4年	無停電電源装置の電源が落ちたので入れなおしたところ、発煙した。 (製品破損)	インバータ回路に使用されているトランジスターに不具合品が混入したため、トランジスターが内部短絡し発煙したものと推定される。 (A3)	保護回路が働いて通電を停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入、販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/10/26)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-2096 2009/10/15 (事故発生地) 不明	無停電電源装置 (UPS) Smart UPS/SU700J (株) エーピーシー・ジャパン 約4年	無停電電源装置のバッテリー交換を行い、セルフテストを実施したところ、「バチッ」という音とともに白煙と焦げ臭いにおいが発生した。 (製品破損)	インバータ回路に使用されているトランジスタに不具合品が混入したため、トランジスタが内部短絡し発煙したものと推定される。 (A3)	保護回路が働いて通電を停止し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に輸入、販売を終了している。	輸入事業者 (受付:2009/10/26)
2009-0887 2009/06/19 (事故発生地) 広島県	目覚まし時計 (交流式) 約12年	目覚まし時計から発火して、時計本体と時計を置いていた石油ストーブの一部が焼損した。 (製品破損)	前面カバーのみが焼損しており、通電したところ正常に動作して異常発熱することなく、内部の電気部品に発火に至る痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。 なお、事故時に石油ストーブは使用していなかった。	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者 (受付:2009/06/29)
2008-2258 2001/03/25 (事故発生地) 千葉県	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約1年3か月	浴室暖房乾燥機付近から発火し、ユニットバスが煤けた。 (製品破損)	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることをお願いしている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2008-2259 2003/04/16 (事故発生地) 東京都	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約1年8か月	運転中の浴室暖房乾燥機付近から発火し、1階10平方メートルと天井、内壁4平方メートルを焼損した。 (拡大被害)	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることをお願いしている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2269 2005/07/22 (事故発生地) 神奈川県	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約4年2か月	入浴中に異臭がしたので天井点検口を開けたところ、発煙しており、浴室暖房乾燥機の電源電線の被覆の一部が溶けていた。	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることを願っている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2008-2270 2005/10/09 (事故発生地) 埼玉県	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約2年9か月	浴室暖房乾燥機付近から発火し、浴室天井の中央部が溶解、焼損した。	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることを願っている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2008-2271 2005/10/24 (事故発生地) 静岡県	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約4年11か月	浴室暖房乾燥機の暖房運転を開始したところ、発煙し、浴室天井の裏面ボードが焦げた。	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることを願っている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2008-2272 2005/11/03 (事故発生地) 愛知県	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約5年3か月	浴室暖房乾燥機の乾燥運転中にプレカーが落ち、浴室天井中央部が焼損した。	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中のお願いと施工業者へ点検を依頼することを願っている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることを願っている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2277 2006/06/18 (事故発生地) 東京都	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約4年10か月	浴室暖房乾燥機付近から発火し、浴室と洗面、トイレ、台所の天井を焼損した。 (拡大被害)	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。 (D1)	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中止のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中止のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることをお願いしている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2008-2278 2006/12/03 (事故発生地) 愛知県	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約5年2か月	浴室暖房乾燥機の運転中にブレーカーが落ち、浴室天井に穴が空いた。 (拡大被害)	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。 (D1)	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中止のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中止のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることをお願いしている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2008-2279 2006/12/15 (事故発生地) 京都府	浴室換気乾燥暖房機 UH-2A (ブランド: (株) INAX) 三菱電機 (株) 約4年9か月	運転中の浴室暖房乾燥機付近から発火し、浴室と脱衣場を焼損した。 (拡大被害)	当該製品設置工事の際、電源電線と屋内配線との接続部の施工が適切に行われなかったため、接続部の接触抵抗が高くなり、異常発熱し焼損したものと推定される。 なお、設置・施工説明書には、『電気工事は有資格者が内線規程に基づき行う。配線接続が不完全な場合、火災のおそれがある。』旨記載されている。 (D1)	2006 (平成18) 年7月1日、12月18日、12月25日、2007年 (平成19) 年1月11日付け新聞に告知を掲載し、使用中止のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。また、日本浴室ユニット工業会などは2006年 (平成18) 年9月12日付け新聞に告知を掲載し、使用中止のお願いと施工業者へ点検を依頼することをお願いしている。さらに、経済産業省は2007年 (平成19) 年3月23日付け新聞に告知を掲載し、使用の中止のお願いと点検については施工業者またはメーカーに問い合わせることをお願いしている。	製造事業者 (受付:2008/09/02)
2009-1001 2009/05/00 (事故発生地) 京都府	浴室換気乾燥暖房機 (壁取付式) V-111BKA-RN 三菱電機 (株) 約2年6か月	浴室暖房機が発熱し、天井が変形した。 (拡大被害)	ヒーターを制御する部品 (フォトトライアックカバー) が故障し、運転スイッチを入れなくても、元電源を通电するだけでヒーターに通電されたため、当該品が運転していない無風の状態でより熱気が上昇し、当該品直上の天井が加熱され、変色・変形したものと考えられるが、制御部品が故障した原因の特定はできなかった。 (G3)	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はなく、最終的に安全装置が作動して発熱のみで終息していることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	国の行政機関 (受付:2009/07/10)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1136 2006/08/24 (事故発生地) 大阪府	浴室暖房乾燥機 4161-5501 (ブランド: 大阪ガス) (株) ハーマンプロ 約3年	集合住宅の一室で、浴室暖房乾燥機を使用中に突然、室内のプレーカーが落ち、浴室の天井裏から煙が出て、本体の一部を焼いた。 なお、当該品は社告対象品で、点検・部品交換を実施済みのものであった。	電装基板に用いられているトランジスターの設計上の余裕度の不足と部品のバラツキにより、トランジスターが異常発熱した際に、熱影響により周囲の電解コンデンサーから電解液が液漏れし、基板上でトラッキング現象を生じて、発火したものと推定される。	2006 (平成18年) 6月23日、8月18日、8月21日、8月24日、10月30日付け等の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償部品交換・点検を行っている。	製品評価技術基盤機構 製造事業者 (受付:2006/08/28)
2006-1054 2006/08/12 (事故発生地) 大阪府	浴室暖房乾燥機 4161-5501 (ブランド: 大阪ガス) (株) ハーマンプロ 約2年	集合住宅の一室の浴室から出火し、浴室約10平方メートルを焼いた。浴室暖房乾燥機が設置されている天井付近から火が出ていたとのことから出火原因を調べている。	電装基板に用いられているトランジスターの設計上の余裕度の不足と部品のバラツキにより、トランジスターが異常発熱した際に、熱影響により周囲の電解コンデンサーから電解液が液漏れし、基板上でトラッキング現象を生じて発火したか、あるいは異常発熱した当該FETにAC100Vの内部配線が接触し、短絡、発火したものと推定される。	2006 (平成18年) 6月23日、8月18日、8月21日、8月24日、10月30日付け等の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償部品交換・点検を行っている。	製品評価技術基盤機構 消防機関 製造事業者 (受付:2006/08/14)
2006-3799 2006/11/06 (事故発生地) 福岡県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) バスポカ BP-7 昭和鉄工 (株) 約10年6か月	24時間風呂から発煙し、製品内部のコントローラーの一部が焼損した。	制御基板上的ヒーター用リレーがはんだ付け不良であったため、通電時の熱ストレス等によりはんだクラックが生じてスパークし、発煙・発火したものと推定される。	2007 (平成19年) 6月30日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/13)
2006-3800 2007/01/22 (事故発生地) 広島県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) バスポカ BP-7 昭和鉄工 (株) 約10年6か月	24時間風呂から発火し、製品内部のコントローラーの一部が焼損し、その周囲の部品を焦がした。	制御基板上的ヒーター用リレーがはんだ付け不良であったため、通電時の熱ストレス等によりはんだクラックが生じてスパークし、発煙・発火したものと推定される。	2007 (平成19年) 6月30日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/13)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3801 2007/01/07 (事故発生地) 秋田県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) グランツ24 GR-8 昭和鉄工(株) 約3年9か月	24時間風呂から発火し、製品内部のコントローラーの一部が焼損し、その周囲の部品を焦がした。 (製品破損)	制御基板上のヒーター用リレーがはんだ付け不良であったため、通電時の熱ストレス等によりはんだクラックが生じてスパークし、発煙・発火したものと推定される。 (A2)	2007(平成19)年6月30日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/13)
2006-3798 2007/01/12 (事故発生地) 愛知県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) トルマリンバスII TB-II 昭和鉄工(株) 約10年15日	24時間風呂から発火して焼損し、浴室の壁と天井の一部が煤けた。 (拡大被害)	制御基板上のヒーター用リレーがはんだ付け不良であったため、通電時の熱ストレス等によりはんだクラックが生じてスパークし、発煙・発火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、原因の特定はできなかった。 (G1)	2007(平成19)年6月30日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/13)
2006-1759 2006/09/16 (事故発生地) 神奈川県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) BC-100 (株)荏原シンワ 不明	木造2階建て住宅から出火して、同住宅と隣接する木造住宅2棟計約260平方メートルを全焼し、家人1人が死亡、1人が右足にけがを負った。 (死亡)	当該品付近からの出火と考えられるが、事故品を入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は使用環境や長期間の使用により、操作パネルにおけるコネクタ部、或いは端子部等の経年劣化が促進され、極めて希ではあるが、発熱、発煙、発火の可能性があることから、2006(平成18)年12月12日付けの新聞に社告を掲載し、無料で点検を実施しており、2008(平成20)年6月に当該品の事業から撤退している。	製品評価技術基盤機構 国の行政機関 (受付:2006/10/26)
2006-2028 1997/12/10 (事故発生地) 神奈川県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) BC-100 (株)荏原シンワ 約3年9か月	浴室と浴室上の2階部分約20平方メートルを焼損した。 なお、浴室には24時間風呂が設置されていた。 (拡大被害)	当該品付近からの出火と考えられるが、事故品を入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は使用環境や長期間の使用により、操作パネルにおけるコネクタ部、或いは端子部等の経年劣化が促進され、極めて希ではあるが、発熱、発煙、発火の可能性があることから、2006(平成18)年12月12日付けの新聞に社告を掲載し、無料で点検を実施しており、2008(平成20)年6月に当該品の事業から撤退している。	製造事業者 (受付:2006/11/17)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2029 1994/12/26 (事故発生地) 東京都	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) BC-100 (株)荏原シンワ 不明	脱衣所、廊下を全半焼した。 なお、浴室には24時間風呂が設置 されていた。	当該品付近からの出火と考えられるが、事故品を入 手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であ るため、措置はとれなかった。 なお、当該品は使用環境や長期間の使用により 、操作パネルにおけるコネクタ部、或いは端子部 等の経年劣化が促進され、極めて希ではあるが、 発熱、発煙、発火の可能性があることから、 2006(平成18)年12月12日付けの新聞 に社告を掲載し、無料で点検を実施しており、 2008(平成20)年6月に当該品の事業から 撤退している。	製造事業者 (受付:2006/11/17)
2006-2038 1996/11/20 (事故発生地) 石川県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) BC-100 (株)荏原シンワ 約2年	ふろ場から出火して、24時間風呂 を半焼し、浴室内の樹脂製品が変形、 浴室の壁の一部を損傷した。	当該品付近からの出火と考えられるが、事故品を入 手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であ るため、措置はとれなかった。 なお、当該品は使用環境や長期間の使用により 、操作パネルにおけるコネクタ部、或いは端子部 等の経年劣化が促進され、極めて希ではあるが、 発熱、発煙、発火の可能性があることから、 2006(平成18)年12月12日付けの新聞 に社告を掲載し、無料で点検を実施しており、 2008(平成20)年6月に当該品の事業から 撤退している。	製造事業者 (受付:2006/11/20)
2006-3889 2007/02/26 (事故発生地) 神奈川県	浴槽用電気温水循環器 (24時間風呂) 約3年	24時間風呂が焼損し、浴室内に煤 が付着した。	被害者が電源コードを修理した際に、電源コードの 途中でねじり接続したため、接触不良により異常発熱 し、短絡し発火したものと推定される。 なお、取扱説明書には『電源コードを切断しない。 』旨記載されている。	被害者の修理不良とみられる事故であるため、 措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2007/03/19)
2008-3948 2008/12/09 (事故発生地) 不明	冷温庫(CDプレーヤ ー付き、AC/DC兼 用) SC-04(ブランド:(株) ホンダコムテック) (株)コア 不明	車載用電源コードを使用し、CDプ レーヤー付冷温庫でCDを聞いていた ところ、プラグから焦げ臭いにおいが してCDプレーヤーが停止、ショート した。	シガープラグ内部のヒューズ用コイルスプリングに 、電流が流れる構造であったため、電熱線状態になり 、周囲の樹脂から異臭がしたものと推定される。	景品であることから顧客に電話連絡し、改善品 に全数交換した。	販売事業者 (受付:2008/12/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-5087 2008/12/30 (事故発生地) 熊本県	冷蔵庫 約4年	冷蔵庫の自動製氷機で作った氷を食べたところ、異物が混入しており、口の中を切った。 (軽傷)	事故品の自動回転製氷皿（ポリプロピレン製）には、破損し欠落した部分が認められるとともに、側面には白化や変形があったことから、一定程度の大きさの食品等が製氷皿と製氷ユニット内壁の間に挟み込まれ、製氷皿の回転動作時や扉の開閉時に生じた負荷によって変形、破損し、その破片が製氷水中に混入したものと考えられるが、詳細な使用状況は不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、取扱説明書には、「貯氷箱の奥には物を入れない」旨が記載されている。	製造事業者 (受付:2009/03/02)
2008-4270 2008/12/12 (事故発生地) 愛知県	冷蔵庫 不明	2階建て住宅から出火し、約27.5平方メートルを焼損した。 (拡大被害)	事故品の電気部品や内部配線に異常は認められないことから、差込みプラグ付近から出火した可能性が考えられるが、差込みプラグ及び接続していたマルチタップが入手できないことから、調査できなかった。 (G2)	事故品の一部が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/01/09)
2009-0796 2009/06/08 (事故発生地) 東京都	冷蔵庫 GR-273ASV 東芝ホームアプライアンス(株) 約26年6か月	冷蔵庫の扉が落下し、右足小指の付け根を骨折した。 (軽傷)	長期使用（26年6ヶ月）により、扉のヒンジ部に繰り返し過大なストレスが加わり破損し、扉が落下したものと推定される。 (C1)	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。 なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者 (受付:2009/06/18)
2008-3513 2008/11/11 (事故発生地) 北海道	冷蔵庫 GR-2008TC 東芝ホームアプライアンス(株) 約30年	小学校の理科室で、冷蔵庫の背面下部から発煙し、コンプレッサー付近の配線が溶けた。 (製品破損)	長期使用（約30年）により、始動リレー内部の絶縁性能が低下したため、リーク電流が流れてスパークが生じ周辺樹脂や配線が発煙、焼損したものと推定される。 (C1)	2008（平成20）年11月5日付の新聞及び自社ホームページ上に、長期使用によるお知らせを掲載するとともに、使用中を呼びかけるチラシを販売店等に配布している。 なお、1982（昭和57）年度製品から始動リレーを接点タイプから無接点タイプ（PTCリレー）に変更し、材質もフェノール樹脂からメラミンフェノール樹脂に変更し難燃化しており、1995（平成7）年度製品より、リレーカバーの樹脂部品を難燃ABS樹脂に変更し、難燃性を向上している。	消防機関 (受付:2008/11/19)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-1685 2009/09/10 (事故発生地) 大阪府	冷蔵庫 約6年	冷蔵庫の扉を開けたところ、「ギシッ」という音とともに扉が外れ、コードだけでつながっている状態になった。 (製品破損)	扉を勢いよく開く等の過大な慣性力の影響により、下部ヒンジ部周辺の扉枠が破壊したものと推定されるが、破損に至る過大な力と特定できる痕跡は確認できず、通常の開閉使用で発生しない箇所の破損もみられることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2009/09/16)
2008-2782 2008/09/14 (事故発生地) 愛知県	冷蔵庫 約11年	冷蔵庫の一番上の扉を開けた途端、扉がはずれて落下し、床に傷がついた。 (拡大被害)	扉下側の樹脂ヒンジが破損しており、破損破面を確認したところ衝撃破面であることから、扉を最大に開いた際に扉ストッパーも兼ねているヒンジに過大な力が加わって破損したと考えられ、その状態で使い続けたため、ヒンジを固定している扉下部にも亀裂が生じて破損し、扉が落ちたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2008/09/24)
2008-4004 2008/12/04 (事故発生地) 岐阜県	冷蔵庫 不明	木造2階建て住宅の押入内に設置していた冷蔵庫付近から出火し、2階部分を焼損した。 (拡大被害)	冷蔵庫の電気部品や配線に出火元となる異常は確認できなかったことから、当該製品からの出火ではないと推定される。 (F2)	製造業者等は不明であり、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2008/12/19)
2008-4894 2009/02/03 (事故発生地) 京都府	冷蔵庫 約3か月	冷蔵庫付近の床を拭いていた時に冷蔵庫の背面パネルで手の甲を切った。 (軽傷)	冷蔵庫の背面パネル下部の一部が変形していたため、変形部で手を切ったと推定される。 なお、納品時の冷蔵庫に傷や変形は無かったことから、台所をリフォームした際に冷蔵庫の背面パネルを変形させた可能性が考えられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、2009(平成21)年1月から生産している冷蔵庫は、背面パネル端部全周を折り曲げ加工している。	輸入事業者 (受付:2009/02/16)

製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2009-0370 2009/05/04 (事故発生地) 福岡県	冷蔵庫 約7年	倉庫内の冷蔵庫付近から出火した。 (拡大被害)	冷蔵庫内部から発火したものと考えられるが、事故品の焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2009/05/08)
2006-3831 2007/02/21 (事故発生地) 兵庫県	冷蔵庫 約17年	冷蔵庫付近から発火して、左部分を焼損、周辺の障子2枚も焼損し、床が焦げた。 (拡大被害)	冷蔵庫本体下部に多量のネズミの糞、及び布きれやビニール等による営巣が確認でき、本体から約10cmの位置の電源コードの焼損が著しいことから、電源コードの絶縁被覆をネズミがかじったことにより、芯線同士が短絡・スパークし、出火したものと推定される。 (F1)	製品に起因しない偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2007/03/14)
2007-4944 2007/11/13 (事故発生地) 兵庫県	冷蔵庫(ワイン用) QJ-EW61(ブランド:シャープ(株)) ドメティック(株) 約16年	破裂音とガス漏れ警報機の音で、ワインクーラーを確認したところ、周囲に汚れが付着し、漏洩したアンモニアで気分が悪くなった。 (軽傷)	製造工程において、冷媒回路配管内への油分混入により、長期使用(約16年)の間に、配管にピンホールや亀裂が生じ、冷媒に含まれるアンモニア水溶液が漏れ出し、事故に至ったものと推定される。 (A2)	2008(平成20)年4月7日にプレス公表を実施し、4月8日に新聞社告を掲載して、使用の中止を呼びかけるとともに、対象製品について、回収を実施した。	消防機関 (受付:2007/12/18)
2008-4432 2008/12/05 (事故発生地) 北海道	冷凍庫 約20年	一般住宅の納屋から異臭がしたので、確認すると冷凍庫の庫内灯部分が焦げていた。 (製品破損)	被害者が、庫内ランプを正規品より定格の大きなランプに交換したため、長時間、庫内ドアを開ける等、ランプが連続点灯した際、周辺樹脂が加熱され、焼損したものと推定される。なお取扱説明書に「庫内灯を交換するときは、必ず庫内灯用の電球を使う。」旨、記載されている。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者 (受付:2009/01/19)